PRIDE・GP超濃密先取り情報満載!!
紙のプロレス
MMA & PRO-WRESTLING MAGAZINE
880 yen
RADICAL
独占発掘スクープ!
猪木vs食人大統領アミン戦の真実!!
71
2004
帰国直後独占インタビュー
ミルコ・クロコップ
早くも『PRIDE・GP』優勝宣言!
A・ホドリゴ・ノゲイラ
美濃輪も撃破!
次は近藤有己戦か!?
ヴァンダレイ・シウバ
喧嘩力士が
『PRIDE』に殴り込み!
戦闘竜
2・15
K-1沖縄大会リポート&
3・14
K-1MMA大展望!!
やっぱりプロレスが
イッチバ〜ン対談
小川直也
×
ジミー鈴木
待望の本誌初登場!
川田利明
ヴァーッと魅力大噴火!
佐々木健介
トークライブ
ストーンコールド大暴れ!
WWE総力大特集!!
プロレス≠演劇論を語る!!
AKIRA
男
HUSTLE
プロレスよ、
踊れ!
Let's
Dancing!
3・7『ハッスル2』は大フィーバー!!
紙のプロレス RADICAL
NO. 71
超濃密先取り情報!!
発売元:(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地
発行元:(株)タブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話/03-3403-5188

格闘技世界大戦
開戦前から激化！

Cro Cop
ミルコ・クロコップ

WELCOME BACK OUR HERO!!

「"PRIDEのエース"として無差別級GPは必ず私が制覇するよ」

ミルコ・クロコップ、ベビーフェース人気爆発! これまで、その残酷なまでの強さから一部でヒール的な見方をされていたミルコが、ノゲイラに敗れて以来の『PRIDE』参戦となった今回、ヒーローとして大歓声で迎えられた。冷酷なサイボーグから愛国の戦士へ。『PRIDE・GP』でも主役となること間違いないミルコを帰国後、国際電話でキャッチした。

聞き手/堀江ガンツ 撮影/乾晋也(2・1)、吉澤晃(2・15)
designed by hisa(Two Three)

Mirco C

今回の滞在で最大の収穫は、日本のメディアにクロアチアをアピールできたこと

——今回、初めて２週間強という長い期間日本に滞在したわけですけど、振り返ってみて感想はいかがですか？

ミルコ　日本に行く前は今回は時間的に余裕があると思っていたんだが、実際来てみると非常にタイトなスケジュールで、目の回るような忙しさだったね。ただその分、試合、練習、インタビュー取材、そしてもちろん小泉首相とお会いできたことなど、非常に充実した時間を過ごせて、いまは達成感と安堵感に浸っているところだよ。

——初めての日本長期滞在で困ったこと、不自由なことはありませんでしたか？

ミルコ　やはり息子の顔が見れなかったのが一番辛かったな。彼はいま、私のすべての活動の原動力でもあるからね。それから食事の問題というのも大きかったよ。

——日本食はお口に合いませんでしたか？

ミルコ　口に合わないというよりも、食事というのは自分の肉体と精神を作る基礎となるものだから、普段食べなれていないものだと身体のバイオリズムに少なからず影響を与えるんだ。私は自分の口に入る物に関して独特の考えをもっているから、日本のスタッフにはいつも気を遣わせてしまう。でも、仕方がないね。

——アスリートとして、そこまで気を遣ってるわけですね。滞在中、日本での楽しみはなにかあったんですか？

ミルコ　試合がある以上、楽しみは特にない。これはどこに行っても同じだよ。

——練習については、希望していた桜庭和志選手との合同練習は実現しなかったようですけど、日本滞在中は誰とどんな練習をしていたんですか？

ミルコ　クロコップチームのメンバーと普段通り、自分たちのいつものメニューをこなしていたよ。サク（ミルコは桜庭のことを愛称で呼んでいた）は、結膜炎にかかっていたこともあり、みんなが大事をとったんだ。ただ、今回は彼の目の事だけではなく、やはり15日の対戦相手が同じ髙田道場のヤマモトになってしまったからね。お互いどうしても意識してしまうし、やはり向こうだってなんとなくやりにくいだろうから、後半は島田レフェリーのジム（ＢＣＧ）を使わせてもらったよ。サクとのスパーリングを楽しみにしていたから残念だったが、これが最後ではないので、次の機会にゼヒ実現させたい。それから髙田道場のスタッフがいろいろと気を遣ってくれたので感謝しているよ。

MircoCroCop

2・1ウォーターマン戦では、開始早々もの凄い突進力の胴タックルでテイクダウンを奪われたものの、ガードポジションを取って冷静に対処。ほとんど打撃を食らうことなく、再びスタンドに戻ることに成功した。もはやミルコに隙はないのか？

——次回来日で合同練習してみたい相手やチームって他にありますか？

ミルコ　やはり髙田道場のお世話になりたいし、まずはサクともう少し時間を作りたいよ。それから私だけでなく、クロコップチームの若手選手イゴールにも是非スパーリングで胸を貸して欲しい。彼の格闘技に関するセンスというものに対して、我々クロコップチームはみんな敬意を表しているからね。

——では、試合、練習を含めて今回の日本滞在で最大の収穫というと何になりますか？

ミルコ　やはりクロアチアが抱える様々な問題、ＥＵ加盟に突き進む祖国の現状を、日本のメディアを通じて発言する機会がもてたこと。さらにその件について具体的に外務省のスタッフとも非常に有意義な意見交換ができたということ。そしてクロアチアに関するポジティブなメッセージを、私という人間を通して発信する事ができたことだね。これらは私が当初、望んでいた以上の成果があったと思うよ。

——小泉首相との会談まで本当に実現しちゃったんですからね（笑）。

ミルコ　そうだね。多忙を極める首相にわざわざ時間を割いていただけたことは、本当に感謝しているよ。

——その小泉首相との会談はミルコ選手自身のアイデアだと聞いたんですけど、それは本当ですか？

ミルコ　本当だよ。ゼヒお会いする機会が持てたらと心から願っていたからね。実は以前から日本の首相は格闘技がお好きだという話を聞いていたので、会って頂けるチャンスがあるのではと思っていたんだ。それで、もし会って頂けるならきちんとクロアチア共和国の特使としてお会いしたい、そしてわが国の首相からの親書を手渡したいと思ったんだ。

——実際に会って話をしてみた小泉首相の印象はいかがでしたか？

ミルコ　とても暖かく、知的で、フランクな方で、すぐに彼のファンになったよ。

——ボクもニュースでその模様は見ましたけど、凄く和やかな雰囲気でしたよね。

ミルコ　うん。私の方が首相のことを勉強してからお会いするのは当たり前としても、小泉首相の方も格闘技についてご理解いただいて、勉強熱心な方だと思ったし、技術的な質問をされたときはビックリしたよ。小泉首相にはゼヒ『ＰＲＩＤＥ』の会場に観戦に来ていただいて、私の試合をリン

2月13日には「TOKYO FMスペイン坂スタジオ」で、「ウィークエンド・フェスタ」（毎週金曜17：30〜）に生出演。ご覧のように、スタジオ前はファンで黒山の人だかりとなった。

[2・1 PRIDE.27 大阪城ホール]
ミルコ・クロコップ●[1R 4分37秒 KO]○ロン・ウォーターマン

私が小泉首相にお会いできたことは閣僚会議でも話題にのぼるだろう

グサイドで観てもらいたいね。

――いやぁ、それが実現したら素晴らしいことですよ。格闘技界のイメージアップにも繋がりますからね。

ミルコ　そうなることを強く望むよ。クロアチアと格闘技をアピールする、それこそが私の役目だと思っているからね。

――今後、クロアチアをアピールするために、どんな活動をしていきたいですか？

ミルコ　私にできることは何でもしたいよ。4月に外務省主催でバルカン半島諸国の閣僚級が東京に一堂に集って、過去の民族対立からの決別を誓い、これからの地域の経済発展に向けて世界第2位の経済大国である日本との関係強化を話し合う大きな閣僚級会議が開かれるんだけど、私も既に外務省の人たちとこの件に関しては話し合う機会が持てた。そしてクロアチアからも経済分野を担う大臣級が二人参加する。ここでも私が力になれたらと思っているよ。もちろん私自身は『PRIDE・GP』前だから試合に集中するけれど、私がこの時点で小泉首相にお会いできた事は、多分その会議でもポジティブな話題として取り上げられると思う。これからも祖国のために、そういったクロアチアのポジティブイメージを発信していきたいんだ。

――なるほど。では、政治家ミルコ・フィリポビッチとしての話はこれくらいにして、ここからは格闘技のお話を伺いたいんですけど。今回、2週間という短いインターバルで試合を行いましたが、その意義とは一体なんだったんですか？

ミルコ　早く言えば、連戦はいい経験をもたらしてくれるし、自分を強くしてくれると

2月13日には、念願の小泉首相との会談が実現! クロアチアの首相からの親書を手渡し、16時15分から約15分間会談。ミルコは「小泉純一郎vsミルコ・クロコップ」と刺繍の入ったオープンフィンガーグローブをプレゼントし、『PRIDE・GP』のリングサイドに招待することを約束した。

写真提供／共同通信社

思ったからなんだ。ミノタウロは私の2試合に関して「予定通りスパーリングをこなしただけ」みたいなことを言っていたらしいけど、本当の試合とスパーリングはまったくの別物さ。試合に挑むテンションから緊張感、アドレナリンの放出量までまったく違う。幸いなことに、私はその緊張感の中で、11月から自分に課してきたものが正しいかどうか、自己満足になっていなかったかということを確かめることができた。そういった意味でも、この2連戦は価値あるものだったよ。私のわがままを聞いてくれたミスター・サカキバラには感謝したいね。

――では、改めて試合の感想も伺いたいのですが、ロン・ウォーターマン戦はいかがでしたか？

ミルコ　ウォーターマンは本当に怪力だったよ。あれだけの腕っ節の強さはミノタウロにもないし、おそらくヒョードルにもないだろうね。イージーな相手などとは程遠い、さっき話した自分に課した課題とそれに向けた練習が正しいものなのか確かめるのに最適な相手だったよ。

――ウォーターマンは、ミルコ選手のグラウンド技術の高さに驚いていましたけど、ノゲイラ戦以降、やっぱり練習内容も変わったんですか？

ミルコ　特に変えたつもりはないけれど、テーマとしてのグラウンドにおけるディフェンスは最重要課題の一つであることは確かだ。

――続いて『武士道』での山本宜久戦の方はいかがでしたか？

ミルコ　この試合は2週間で2試合やるという目的でやったものだから、予定通り1

MircoCroCop

[2·15 PRIDE 武士道·其の弐　横浜アリーナ]

ミルコ·クロコップ● [1R 2分12秒 KO] ○山本宜久

2・1わずか2週間のインターバルで連続出場のミルコの相手は、ケアーへの失言で“追試”となったヤマヨシ。ミルコはサウスポーのヤマヨシに対してローキックで攻め込み、タックルをひっくり返すとパウンド。さらにサッカーボールキック、とどめはパンチの連打と容赦なく殴りつけ、文字通りの圧勝劇を演じた。

ノゲイラの私に対するビッグマウスは、GPでキッチリと閉じてやる必要があるな

Rで仕留めることもできたし、満足しているよ。

―この試合では左ハイキックが出ませんでしたけど、それは出すまでもなかったのでしょうか。それともサウスポー相手には出しにくかったりするんですか?

ミルコ　出しにくいということはないけど、目の前に彼の右足が出ていたから、久しぶりに私のローキックという武器をキッチリと使いたくなったんだ。

―それに対して山本選手は笑みを浮かべながら「効いてないよ」とアピールしてましたけど、ああいったパフォーマンスはどう感じましたか?

ミルコ　別に。彼がもっと痛い目に遭うだけだよ。私だったらやらないけどね。

―ノゲイラはあの試合を観て、「昨年に比べると、ミルコの成長は止まっている」と言ってるんですが、その発言についてどう思いますか?

ミルコ　別にどうも思わないよ。どっちが成長しているかは、グランプリでハッキリするわけだからね。

―そのノゲイラ選手とは会場で言葉を交わしたそうですけど、どんなことを話したんですか?

ミルコ　久しぶり、元気?　みたいなことだけだよ。ただ彼はバス・ルッテンたちにはインタビューで「もう一度やっても勝てる」と言っていたらしいから、そういうビッグマウスは閉じてあげる必要があるな。

―おー、その再戦は楽しみですね。やはりGPでの最大のライバルというと、ノゲイラとヒョードルになりそうですか?

ミルコ　間違いなくその二人だろうね。どちらにしても、とにかくベルトはもらうつもりだ。もう逃さないよ。

―ヒョードル、ノゲイラ以外に警戒すべきライバルは現れそうですか?

ミルコ　まだわからないな。もう少ししたら全メンバーがわかるだろうから、それから考えるよ。

―山本戦のあとに口にしていた高山戦は、高山選手の事務所側から「まだオファーがない段階なので、ありえない」という声明が出されたのはご存じですか?

ミルコ　らしいね。対戦に関してはミスター・サカキバラにお任せするよ。そもそも私は彼が「逃げた」と言っているようなので、それならば「私は逃げも隠れもしません」といっただけだからね。

―なるほど。もうグランプリに向けた練習のプランは練ってあるんですか?

ミルコ　まだはっきりとはいえないけど、もちろん万全を期すつもりだよ。

―GPに向けて元UFC王者パット・ミレティッチとの練習を希望しているというのは本当ですか?

ミルコ　ノー。誰かそんなこと言ってたの?

―インターネット上のニュースで、ミルコ選手がEメールで連絡をとったとか書いてあったんですけど。

ミルコ　どこのミルコが連絡したのかは知らないけど、少なくとも私は取ってないよ。

―あ、そうでしたか(笑)。ところで、今回のウォーターマン戦、山本戦では、ファンのあなたへの歓声が明らかに変わってきていますよね。『PRIDE』が〝自分のホームリング〟になったという気持ちはありますか?

ミルコ　もちろんあるよ。ヴァンダレイ・シウバと闘ったころは、〝敵地〟という意識が強かったけど、今は少なくとも『PRIDE』のリングは私にとってアウェーでないことだけは確かだ。4月からのGPも〝PRIDEのエース〟という気持ちで闘うつもりだよ。

―いま『PRIDE』はミルコ選手がかって主戦場にしたK―1とライバル関係にありますけど、〝PRIDEのエース〟として、K―1へのライバル心はありますか?

ミルコ　難しい質問だな。それはGP後に答えよう。

―では、K―1がボブ・サップをエースにして、総合格闘技のイベントをスタートしますけど、それについてどう思いますか?

ミルコ　グッドラックとしか言えないな。

―逆にミルコさんは、ウォーターマン戦後にコメントしたように、立ち技ルールでの闘いも視野にいれているようですけど、今後は総合と立ち技を平行していく予定ですか?

ミルコ　まぁ、立ち技の間合いを久しぶりに肌で感じておこうと思ったことは事実だけど、ヤマモト戦が決まった瞬間に立ち技ルールのことは頭から消えたね。

―ボクシングルールの試合にも関心があると聞きましたが、いま闘ってみたいボクサーはいますか?

ミルコ　全てはGPのベルトを取ってからだよ。僕は口に出したらそれをやり遂げないと気が済まないから、全てはGPの後だ。

―わかりました。では、最後に次回来日した際にやってみたいことがあれば、お伺いして終わりたいと思うのですが。

ミルコ　トヨタや日産、パナソニックの社長を表敬訪問して、クロアチアに進出して欲しいとお伝えしたいね。それからサクとのスパーリング。もちろん、GPの1回戦もKOで突破するつもりだから、ゼヒ期待していてくれ。

【04年2月22日/国際電話にて収録】

MircoCroCop

鬼教官が語るミルコ・クロコップ
マイク・“バットマン”・ベンチッチ

「グランプリ制覇のために、あとミルコに必要なのは運だけだ」

“鬼教官”として、ミルコをK−1戦士から総合のトップファイターに進化させたベンチッチ。この2年半、ミルコの進化を最も近くで見てきた彼に、ミルコの強さの秘密について聞いてみた。

聞き手&撮影／堀江ガンツ

――ミルコ選手と出会ったそもそものきっかけは何だったんですか？

ベンチッチ　もともとミルコのことは、同じクロアチアに住んでいるといっても、K―1ファイターとして「名前は聞いたことがある」くらいの認識だったんだ。それがVTデビューの藤田戦の後、私とミルコの共通の知人である欧州ライト級のキックボクシング王者が、ロスまで柔術を習いに行っていたミルコに「ロスまで行かなくても、クロアチアにいい先生がいるよ」と誘って、私と引き合わせたのがそもそもの出会いだよ。

――最初にミルコと会った印象はどうでしたか？

ベンチッチ　会ったときはどんな選手なのか分からなかったけど、彼はトレーニングを重ねるごとに飛躍的に強くなっていった。そして試合ごとに知名度も増していって、どんどん強くなっていく彼を見て「こいつはいけるな」って確信したよ。

――元K―1の選手で、ミルコ選手のように総合に転向していく選手が増えてきてますが、大きな成功をしている選手はいないのが現状です。コーチの目から見て、それらの選手とミルコ選手は何が違うんでしょうか？

ベンチッチ　他のK―1ファイターにコーチしたことがないからよくは分からないが、恐らく肉体的な体力やパワー、爆発力、遺伝子が他の選手にないものを持っているんじゃないかな。それから、ミルコはK―1でトップクラスまで行った選手ながら、グラウンドの技術をイチから真剣に学ぼうとするんだ。そういった真剣さが他の選手には欠けているのかもしれないな。

――現在クロアチアの選手で有名なのはベンチッチ選手とミルコ選手ですけれども、競技人口がそんなに多くない中でここまでのぼりつめる要因とはなんですか？　強さの秘訣があったら教えて下さい。

ベンチッチ　確かに最初はトレーニングの相手を見付けるのも苦労したよ。だから総合格闘技に興味がある選手を見付けて、技術を仕込んで、その上で一緒に練習したりファイトしたりしていたんだ。でも、一番良かったと思うのは、クロアチアの優秀なレスラーやボクサーを連れてきたから、彼らから一流の技術を吸収することでここまで上り詰めることができたんだと思う。

――そういった多くのスパーリングパートナーや選手を集めて、トレーニングメニューをつくるのはベンチッチ選手なんですか？

ベンチッチ　そうだね。教えながら、そして自分もトレーニングしながらお互いに色んなことを学び合っているよ。

――現在、クロアチアでは総合格闘技は盛り上がってきてるんでしょうか？

ベンチッチ　大変な盛り上がりだよ。特にミルコが大活躍してるからね。おかげで現在は総合格闘技をやりたいという選手がどんどん増えてきていて、スパーリングパートナーには事欠かない。これからミルコに次ぐような選手もその中から出てくるだろう。

――ミルコ選手は母国で大きな格闘技イベントを開きたいという夢を持ってるようですが、ベンチッチさんは何かそういった夢はありますか？

ベンチッチ　ミルコみたいな大きな夢は持ってないね。自分は今38歳だから、もう少し自分で納得するまで闘って、引退した後はトレーナーに従事したい。人生のゴールというか、最終的にはいいトレーナーとしてみんなに認知されればと思っているんだ。例えばミルコの先生、ミルコのトレーナーというふうにね。

――トレーナーとしてミルコ選手が次の『PRIDE無差別級GP』で優勝するには、何が必要だと思いますか？

ベンチッチ　いまのミルコにとって必要なのは運だけさ。ミルコには勝ち上がる能力が確実にあるし、コンディションを整えることも得意だから、今の彼にとってどうにもならないことは運だけだよ。

――なるほど。ノゲイラに負けたのも運が悪かったという部分もありますか？

ベンチッチ　あれは不運だったというわけではない。そういう発言をする人もいるかもしれないが、ミルコ自身が犯したほんの小さなミスのせいで負けたんだ。2ラウンドまでミルコはノゲイラに対して圧倒的に優勢で、ノゲイラもKO寸前だった。あそこでミスを犯したミルコ本人が悪かった試合だよ。

――あの試合によってミルコ選手の意識は大分変わったように見えます。練習の取り組み方とかは変わってきましたか？

ベンチッチ　確実に変わってきてるね。練習の鬼がさらに練習に集中するようになった。国会議員になったことで、とやかく言う人はいるかもしれないが、ミルコぐらいの集中力を持って練習に取り組んでいる選手が果たしているのかと言いたいね。私が見る限り、グランプリ優勝はミルコ以外には考えられないよ。

【04年2月14日／都内ホテルにて収録】

マイク“バットマン”ベンチッチ■18歳でボクシングとキックボクシングを始め、その後グレイシー柔術に心酔。現在はミルコの寝技のコーチを努める。ちなみに愛称「バットマン」は「単に好きなだけで意味はない」とのこと。

格闘大戦争
前夜!!
ブラジルで大流行(?)
みんなでやろう!
3、2、1
ハッスル!
ハッスル!!
BTT
『PRIDE 無差別級GP』で
ハッスルするぞ!!

ミルコを破った
ヘビー級暫定王者が
早くも『PRIDE GP』
優勝宣言!!

Antonio Rodrigo Nogueira

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

「ミルコは昨年のサップみたいに
勢いが落ちてるんじゃないか?」

グランプリを2ヶ月後に控え、PRIDEファイターにとって今は、プロ野球で言えば“キャンプ中”といったところだろう。
そんな中で、早くも抜群の仕上がりを見せているのがヘビー級暫定王者ノゲイラ。
弱点と言われていた打撃も、ブラジルのボクシング五輪代表チームの合宿に参加するなどして、格段の進歩を見せているという。
そんなノゲイラにグランプリへの意気込みと、ライバル、ミルコ&ヒョードルについての話を聞いてみた。

聞き手／堀江ガンツ　撮影／森“モーリー”鷹博
designed by hisa (Two Three)

恒例!
ノゲイラが語る
イズ最新情報
収録!!

――さて、今日はまず、「ミノタウロ」という牛頭人身の異名を持つノゲイラ選手に、最近のBSE問題についての見解をうかがいたいんですけど（笑）。

ノゲイラ　BSE？

――ご存じないですか？　欧州やアメリカで発生した狂牛病（牛海綿状脳症）なんですけど、おかげで日本はアメリカ牛が輸入禁止になって、牛丼も食べられなくなって大騒ぎになってるんですよ。

ノゲイラ　へ～、そうなんだ。じゃあ、ブラジルの牛を輸入すればいいんだよ。病気もないしアメリカ牛より絶対おいしいから。

――あ、それで解決（笑）。牛肉料理は好きですか？

ノゲイラ　チキンや魚の方がよく食べるけど、アメリカに住んでいた若いときに何度かビーフボールを食べたことがあるよ。

――そうなんですか。日本では何をよく食べますか？

ノゲイラ　ボクはスシが大好きなんだ。それから……ロッポンギ・ガールも大好きぃッ！（笑）。

――ガハハハ！　お寿司と六本木ガールが大好物（笑）。

ノゲイラ　もうちょっと詳しく言うと、大トロとロシアン・ガールだね（笑）。

――その二つが大好きな"ネタ"ですか（笑）。今回の来日ではもうすでに召し上がられたんですか？

ノゲイラ　デヘヘヘヘ（笑）。

関係者　昨夜も六本木で"ハッスル"してきたらしいです（笑）。

――ガハハハ！　ハッスル、ハッスル!!と（笑）。まぁ、元気が一番ということで前置きはこれぐらいにして、本題に入りましょう。昨年11月以来の来日となりましたが、年末はどう過ごしていたんですか？

ノゲイラ　普通に休養をとっていたよ。サクラバ戦に向けてホジェリオの練習につきあっていたら、ヒジを痛めてしまって、いまもまだうまくヒジを伸ばせない状態なんだ。だいたい2週間ぐらい休んだかな。

――聞くところによると、ホジェリオ選手に結膜炎をうつしたらしいですね（笑）。

ノゲイラ　ワハハハハ、うん。寝技の練習で弟に伝染して、大晦日の試合でサクラバに伝染して、さらに彼の息子にも伝染しちゃったらしいんだよ（笑）。

――ブラジルの菌がサクJr.まで到達していましたか！

ノゲイラ　昨日、会場でサクラバに会ったら、「"細菌兵器"を使うなんて汚い！」って怒られたよ（笑）。サクラバサン、ゴメンナサ～イ。

――「兄弟ぐるみで許せない」って言ってましたからね（笑）。年末は日本では引き抜き問題なんかで大騒ぎだったんですけど、ブラジルを騒がせていたイズマイウによる引き抜き問題はどうなったんですか？

Antonio Rod rigo Nogueira

イズマイウはブラジルのショッピングセンターで働いているらしいよ

ノゲイラ　もう沈静化したよ。

――引き抜きの張本人であるイズマイウはどうしてるんですか？

ノゲイラ　選手がみんな彼のもとを離れてしまったんで、今はブラジルに戻ってきて、ショッピングセンターで働いてるって聞いたけどね。

――イズがショッピングセンター！（笑）。

ノゲイラ　彼の奥さんのお父さんがショッピングセンターを経営していて、結構たくさん店舗があるらしいんだよ。

――へ～、それにしてもショッピングセンターですか……。

ノゲイラ　でも、彼のことだから、また何か企んでるんじゃないかな。おとなしくしてるのも今だけだよ（笑）。

――なるほど。また何か動きがあったらご報告お願いします（笑）。ところでノゲイラ選手はいつから練習を再開したんですか？

ノゲイラ　1月10日ぐらいから再開したよ。その前は友達と3人で旅行に行っていたんだけど、旅行中も常に軽い練習はしていたからね。毎日ボートを漕いだり、別荘の庭にリングがあるから、そこで練習してたりしてたんだ。

――別荘にリングがあるんですか！　凄いですねぇ。遊びとトレーニングが一体化してるわけですね。

ノゲイラ　1日中ずっと遊んでいても、必ず2時間ほど集中して練習していたからね。ボクは現役の王者である以上、完全に止まることはないよ。

――いまはボクシングのトレーニングに力を入れているらしいですね？

ノゲイラ　うん。ボクシングがもっと強くなりたいからね。今は練習するたびに自分の成長を感じているよ。

――なんでもオリンピックの代表チームと一緒に練習してるとか。

ノゲイラ　そうなんだ。いまボクのコーチは、アマチュアの世界チャンピオンのコーチでもあるんだけど、ブラジルのオリンピック代表チームがキューバの代表チームと合同練習をすることになって、そこにボクも誘われたんだよ。それで今回、日本に来る前に15日くらいキューバで一緒に練習していて、またこれから15日間キューバに行って再合流する予定なんだ。

――じゃあ、かなりいい練習ができてるんじゃないですか？

ノゲイラ　もう軍隊に入ったみたいだよ（笑）。一部屋6人で合宿生活をして、毎朝5時に教官に起こされて、5時10分からもう練習だからね。たまらないよ。

――待ち合わせには半日遅れてくると言われるノゲイラ選手が、そんな生活を強いられてるとはちょっと信じられませんね（笑）。

ノゲイラ　そういう環境だからしょうがないよね。練習するには最高の環境だけど、居心地いいことはひとつもないね（笑）。これも『PRIDE・GP』を控えた修行だから仕方がないよ。

――やっぱり、ボクシングに力を入れようと思ったのは、昨年のミルコ戦でかなり打撃をもらって苦戦したからですか？

ノゲイラ　それももちろんあるけど、今回

格闘大戦争前夜!!

のトーナメントはすべての面で強くないと勝ち抜けないと思うから、ボクは打撃を強化して、よりパーフェクトに近い状態を目指しているんだ。

――逆にミルコはノゲイラ選手に負けてから、寝技の練習ばかりしているらしいんですけど。

ノゲイラ　それは彼にとっていいことなんじゃないかな。みんなパーフェクトを目指して、自分なりのやり方を探しているんだろう。でも、この2連戦というのは、相手がそんなに高いレベルの選手じゃなかったから、彼がどれぐらい強くなったかは測れないな。

――今回のミルコは「進化した」という意見がある一方で、以前のミルコだったら、格下相手にはもっと圧勝してもいいんじゃないかっていう声もあるんですけど、そういったことは感じませんでしたか？

ノゲイラ　ヤマモト戦では、無理せず、自分ができることをやったんじゃないかな。ファイターっていうのは自分が成長の真っ只中で、勢いがあるときは試合にも勢いが出るんだけど、経験を積むにつれてアグレッシブさがなくなるときがあるんだよ。ボブ・サップがいい例じゃないか。彼は昔に比べるとすっかりアグレッシブさがなくなっているし、むしろ恐怖心の方が先に出て前に出ていけないような状況になっているだろう？

――ああ、なるほど。確かにそうですね。ノゲイラ選手から見ると、ミルコの勢いや成長は衰えたよう見えますか？

ノゲイラ　もちろん強くはなっているんだろうけど、誰にでも限界はあるからね。去年の急成長ぶりと比べると、最近はそうでもなくなってきた感じはするよ。

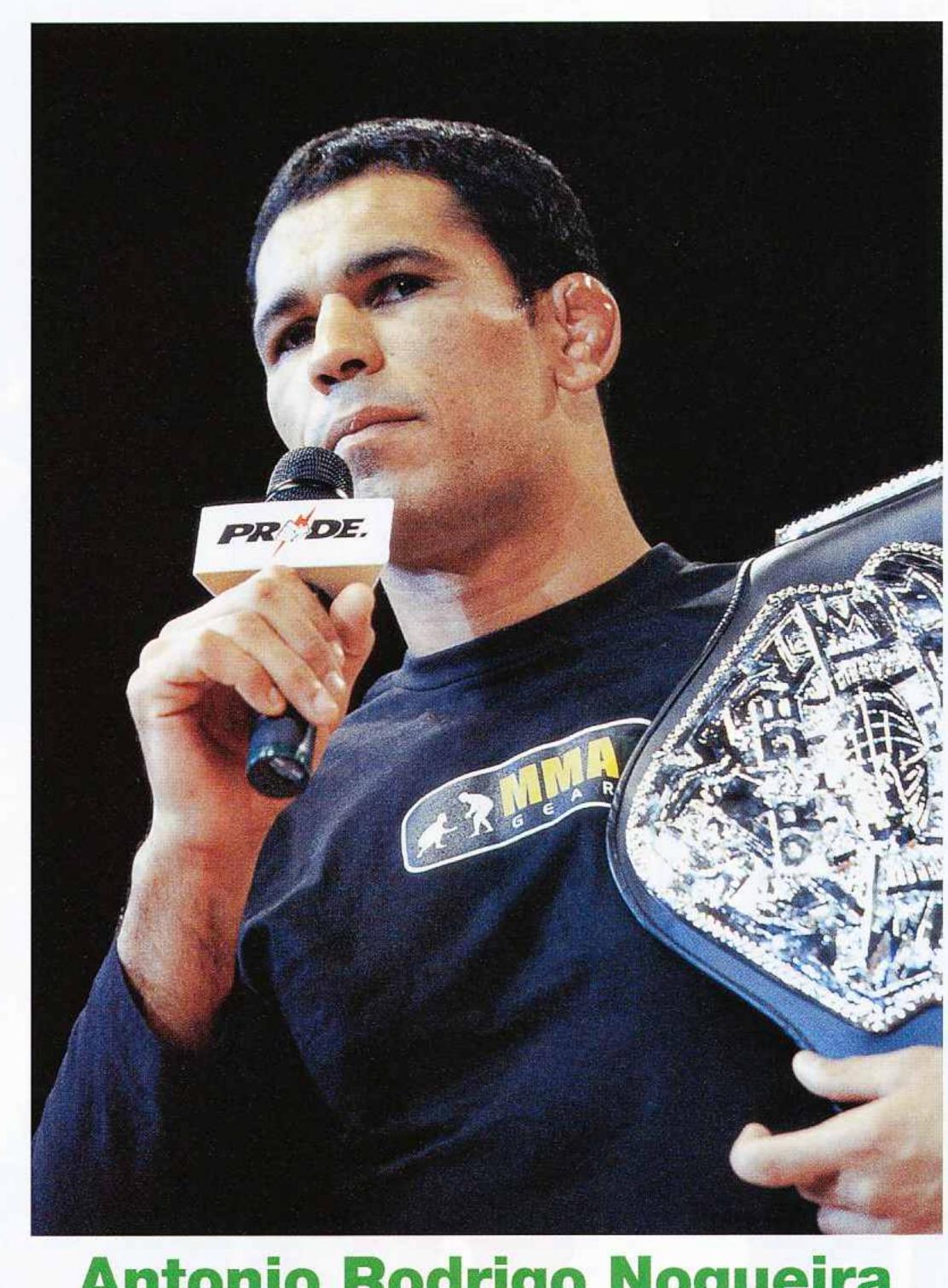
――その原因は、さっき言っていたキャリアを積んでいくに従っての弊害ですか？

ノゲイラ　それに含まれることだけど、やっぱり試合を重ねるに従って相手も彼のパターンを研究してくるし、彼のハイキックはみんな警戒しているから、試合中にそんなにビックリすることなく闘えるようになってるんじゃないかな。だから昨日のヤマモトも最初は良かったよ。パンチも当てたし、いい出だしだった。ちょっと実力が違いすぎたからKO負けしてしまったけど、何もできなかったわけじゃないからね。

――じゃあ、11月の試合でノゲイラ選手が身をもってミルコの技を引き出してくれたので、ずいぶんとミルコの研究材料を提供した形になってるんじゃないですか（笑）。

ノゲイラ　そうだろうね。1Rの10分間で彼は自分の技を出し尽くしたようなところがあったからね。でも彼は今でも十分危険な存在だよ。

――もうひとりのライバル、ヒョードル選手は大晦日の『イノキ・ボンバイエ』に出場しましたけど、ヒョードルvs永田戦はご覧になりました？　まぁ、見逃してしまうくらい短い試合だったわけですけど（笑）。

ノゲイラ　あの試合はビデオで見たけど、ちょっと考えられないくらい実力差がハッキリしすぎていたね。あれじゃヒョードルの状態なんて全然わからないし、ファンのことを考えても、もうちょっと高いレベルの選手とやるべきだよ。

マリオ・スペーヒー○ [1R 0分11秒 KO] ●マイク“バットマン”ベンチッチ

ノゲイラとミルコの師匠同士が闘う代理戦争。マリオは言わずと知れた柔術界の重鎮で一方、ベンチッチもミルコに柔術を教えた鬼教官とあって、寝技の攻防が期待されたが、なんと開始早々のパンチの打ち合いでマリオの右フックが当たり、11秒でKO!

このところ、あまりいい結果を残せていなかったマリオ。大晦日に近藤に負けたばかりだったので、体調が心配されたが見事な勝利だった。

ジョシュが「自分がナンバー1」と言うならGPに出てゼビ証明してもらいたいね

――試合になってませんでしたもんね。

ノゲイラ　できれば自分と同じくらいのレベルの選手と彼の試合が観たかったけど、少なくとも、彼の今のレベルがわかるくらいの選手とやってほしかったたね。

――ミルコやヒョードルは昨年からちょっとミスマッチが多いですよね。それに対して、ノゲイラ選手だけはなぜか強い選手とばかりやってますけど（笑）。

ノゲイラ　ホントだよ！　『PRIDE』に参戦してから3年ぐらいになるけど、ほとんど全試合トップクラスを相手にしたタフな試合ばかりだったからね。比較的イージーだったのは●●●●●ぐらいだよ。

――あ、あの試合だけはイージー（笑）。

ノゲイラ　『PRIDE』も、たまにはボクに対してもイージーな相手を用意してくれと言いたいよ（笑）。あとは年を取って引退したら、若いときに一生懸命働いたボクに対して年金を送ってほしい（笑）。

Antonio Rodrigo Nogueira

1976年6月2日、ブラジル・バイア州出身。99年リングスに初来日。01年第2回KOKで優勝。01年11月にはPRIDEヘビー級王者となる。昨年3月ヒョードルに敗れまさかの王座転落となるが、11月には無敵のミルコを破りヘビー級暫定王者に。もちろん『無差別級GP』優勝候補の筆頭だ。191cm、104kg。

――それぐらい貢献しているだろう、と（笑）。決してイージーな相手ではありませんが、ノゲイラ選手の対戦相手として横井宏考選手が候補に挙がっていたようなんですけど、彼のことはご存じですか？

ノゲイラ　ヨコイ？　ちょっとわからないな。

――TKのジムで一緒に練習している若い選手で、『LEGEND』の第一試合でブルドーザー・ジョージと闘っています。

ノゲイラ　ああ、あのカナダ人と闘ったファット・ガイか。覚えているよ。彼はTKのところのファイターなんだね。若い有望なファイターにチャンスを与えることはいいことだと思うよ。

――今回の大会での一番のライバルはやはりミルコとヒョードルになりそうですか？

ノゲイラ　もちろんそうなるだろうね。でも、闘いというのは常に何が起こるかわからないから、誰が来ても気は抜かないよ。

――ジョシュ・バーネットがインタビューで『「PRIDE・GP」に出れば自分がベストファイターであることを証明できる』と言っていますが、その発言についてはどう思いますか？

ノゲイラ　彼はいいファイターだから、トーナメントに参加する資格は与えてもいいんじゃないかな。「自分がナンバーワンだ」と言うならゼヒ証明してもらいたいね。彼はインタビューでボクたちを上回るのではなく、試合でそれを見せるべきだ。『PRIDE』のトップ選手に勝ってからそういうことは言ってもらいたいね。

――グランプリ出場候補には吉田秀彦選手の名前も挙がっています。

ノゲイラ　それはイベントにとってもいいことだね。ヨシダはホイスとの試合では、あまりいい闘いができなかったけど、おそらく『ミドル級GP』が終わって間もなかったから、体調がよくなかったんだろう。でも、グランプリに出てくるなら、ベストコンディションで出てくるだろうから、危険な相手になることは間違いないよ。

――グランプリは4月、6月、8月と2ヶ月おきの3連戦、しかも8月の決勝は2試合しなきゃならないから、コンディション調整はかなり重要でしょうね。

ノゲイラ　そうだね。しっかりした準備が不可欠だよ。でも、条件はみんな同じだから、最後に勝ち残るのは本当のトップ選手。技術的にも体力的にも精神的にも優れてる選手しか残れないと思う。そしてみんな勝ちたい気持ちが強いから、いい試合ばかりになると思うよ。この大会はボクのファイターとしてのキャリアの中でも最も大きな大会になりそうだから、とにかくベストを尽くして、絶対に優勝するよ。

――ゼヒご活躍を期待してます！

ノゲイラ　とか言って、ミルコやヒョードルにも同じことを言ってるんじゃないのかい？（笑）。

――いやいや（笑）。ウチはノゲイラ選手大プッシュですから。では、『PRIDE・GP』でもハッスルしてください！

【04年2月16日／都内ホテルにて収録】

撮影／吉澤晃

かつてのライバルにリベンジ成功!

滑川『PRIDE』初参戦の相手は奇しくもリングス時代にKO負けを喫した"リングス・リトアニア"のヴァラビーチェス。強打を誇るエギルに対して滑川は素早く距離を詰め組み付くと、立ち上がりざまにネックロック締め上げ、見事一本勝ち。昨年4月にヒョードルが仕留めるのに2Rまでかかった相手を秒殺したことは高く評価していいだろう。次回参戦も期待だ!

●滑川康仁
▶[1R1分5秒 フロントネックロック]
●エギリウス・ヴァラビーチェス

●ホドリゴ・グレイシー
▶[2R 判定 3-0]
●桜井"マッハ"速人

ホドリゴがマッハの爆発力を完封

『武士道　其の壱』は負傷欠場、仕切直して出場した『男祭り』での高瀬戦もスッキリと勝てず、テレビでは全面カットされるなど、なかなか本領発揮といかないマッハ。この日も"アグレッシブなグレイシー"ホドリゴと激しい試合が期待されたが、意外にも不用意に攻めて来ない相手に苦戦。爆発力を完封されての判定負けとなってしまった。

2.15 PRIDE BUSHIDO DIGEST

●岡見勇信
▶[2R 判定 3-0]
●桜井隆多

今大会の隠れたベストバウト

慧舟會のホープ・岡見とDEEPで活躍する桜井隆多のマニア注目の一戦は、岡見がインサイドガードからの強烈なパウンドで主導権を握るが、1R後半、桜井が下からアームロックでキャッチ。しかし極めきれず、2Rも岡見のパウンドは衰えず、文句なしの判定勝ち。好勝負の末、勝った岡見は次回『武士道』本戦に出場か?

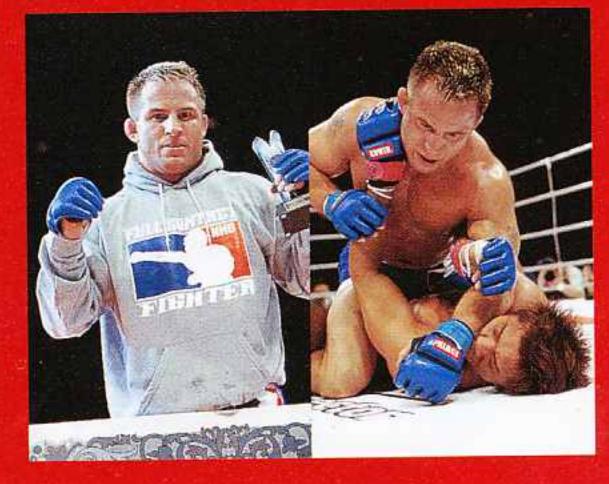
●高瀬大樹
▶[2R 判定 3-0]
●クリス・ブレナン

高瀬、寝業師対決を手堅く制す

前回の『武士道』で"一本勝ち至上主義"ぶりを見せつけたブレナンと高瀬の対戦とあって、目まぐるしい寝技の攻防が期待されたが、押さえ込み系の地味な展開となり、大会場の観客にはまったく届かず。「(相手は) 面白くないファイターでした」というブレナンのコメントは、残念ながら観客が感じた感想でもあったのではないか。

●チェ・ム・ベ
▶[1R 4分8秒 スリーパー]
●今村雄介

韓国人ファイターチェが今村に快勝

デビュー戦のインパクトから、「風船おじさん」のイメージが消えない今村が、『武士道挑戦試合』で韓国から初参戦のチェ・ム・ベと対戦。今村は開始直後にいきなりジャーマンで投げられ、その後も劣性を強いられて最後はスリーパーでタップ。DEEP1月大会での滑川戦に続き、2ヶ月連続の完敗を喫してしまった。

●ショーン・シャーク
▶[2R 判定 3-0]
●上山龍紀

強すぎるシャーク上山を終始圧倒

師匠・田村潔司がHPの日記で「率直に今回は(上山が) 負けると思います!」と書いていた一戦。試合はその日記の通り、シャークが終始圧倒。テイクダウン、ポジショニングで完全に上回りながらも極めはないというたちの悪い強さを見せつけて完勝した。強いは強いけど、この人UFCの方が絶対に向いていると思う。

2·15『PRID武士道』
シュートボクセ、2勝1敗で日本に快勝!
さぁ、次は“あの男”とタイトルマッチか!?

「近藤に俺と闘う勇気が本当にあるのならやってやる!」

強すぎる!　日本人スターの発掘がテーマの『PRIDE武士道』だが、
最後をシメたのはやはりこの男、ヴァンダレイ・シウバだった。
2・15横浜大会、シウバは海外武者修行帰りの美濃輪育久を1Rわずか1分9秒でKO。
しかも、不完全な体勢からとも思えるパウンドで完全失神に追い込んでしまったのだ。
ヘビー級GPが“主軸”となる今年のPRIDE戦線で、
ミドル級無敵の男は果たして何を狙うのか。大会翌日に直撃した。

聞き手&本文／橋本宗洋　撮影／松本崇　試合写真／吉澤晃
designed by hisa (Two Three)

lei Silva

格闘大戦争
前夜!!
いつ何時、誰の挑戦でも受ける!
この言葉が今最も似合う男
CHUTE BOXE
MUAY THAI
VALE TUDO
ヴァンダレイ・シウバ
Wander

格闘大戦争前夜!!

ミノワは将来性のあるグッドファイターだが階級を落とした方がいい

—いま、お昼ですけど、シウバさん、ランチは食べましたか？

シウバ　いや、まだだけど。

—お腹減ってないですか？

シウバ　今日は朝食が遅めだったんで大丈夫だよ。

—そうですか。それは安心しました（笑）。

シウバ　ん、どういうこと？

—いや、ブッカーKさんから、「お腹が減ってるときのヴァンダレイは手がつけられないほど不機嫌になる」って聞いてたもんですから（笑）。

シウバ　ワッハッハ、その通り。腹が減ってるときのオレは試合より危険だからね（笑）。このインタビューも短めにした方がいいんじゃないか（笑）。

—分かりました（笑）。え〜、まずは昨日の勝利、おめでとうございます！

シウバ　ありがとう。

—あの段階でのKO勝ちは、シウバさん自身も驚いたと言ってましたね。

シウバ　そう、あんなに強いパンチを出したことに、自分でも驚いたんだ。

—まだKOするというよりダメージを与えるつもりだったんですよね。

シウバ　まだ試合が始まったばかりだったから、あそこで決めるつもりではなかったね。

—それがKOになったのは、自分でも驚くくらいにパンチが強かったからだと。

シウバ　やっぱり、しっかりと筋力トレーニングをしているおかげだと思うね。これからも、どんどんパンチが強くなっていくんじゃないかと思うよ。

—これ以上まだ強くなるんですか⁉

シウバ　もちろんだ（笑）。

—試合前、いつもシウバ選手は相手のことを睨むんですけど、今回は相手の美濃輪選手も睨み返してきましたよね。あの瞬間はどう思いました？

シウバ　ミノワのガッツを感じたよ。自分自身も燃えてくるし、これはいい試合になるな、と思ったね。

刀を持った自分が表紙の『PRIDE武士道』パンフを持ってご満悦のシウバ。このパンフをシウバの直筆サイン入りで3名様にプレゼント。宛先はP159参照。

—試合時間は短かったですが、美濃輪選手に対して何か感じるものはありましたか？

シウバ　凄く将来性があるファイターだと思う。何よりアグレッシブなのがいい。ただ、彼は階級を落とした方がより能力を出せるんじゃないかな。

—減量なしで80キロ台前半ですからね。やっぱり小さいと感じました？

シウバ　それは感じたね。しかも、いまのミドル級はリミット（93kg以下）ぎりぎりの大きい選手ばかりだから。

—試合後のシウバ選手の言葉で印象的だったのは、「今日はシュートボクセの代表として戦った」というものなんですが。対抗戦ということで、いつもとは気持ちの面で違いましたか？

シウバ　ああいう形の試合だと、とてつもなく責任感を感じるんだよ。しかも1勝1敗で迎えた試合で、自分は大将だったからね。シュートボクセが勝つか負けるか、自分の試合で決まるんだから気合が入ったよ。まして自分はチャンピオンだしね。負けられないってプレッシャーはただでさえ大きいんだ。

—他の2人の選手の試合ぶりはいかがでしたか？

シウバ　自分の試合が控えてたんで、見ることができなかったんだ。だから周りに聞いた話からの判断なんだが、まずコスタは若さが出てしまったということだろうね。いい選手なんだけど、『PRIDE』のような大きな舞台に上がるのは初めてだからナーバスにもなるし。そういう意味で、残念ながら自分の実力を出し切ることができなかったんだろう。

—逆にショーグン選手は快勝でした。いかにもシュートボクセらしいアグレッシブな試合で。

シウバ　ショーグンはコスタより経験もあるし、『PRIDE』にも出場したことがあるからね。不安はなかったと思うよ。

—シュートボクセの選手は、勝った後の写真撮影でセコンド全員と一緒に写ることが多いですよね。他のチームに比べても団結力があるんですかね？

シウバ　そうだね。オレたちは一人じゃなくて、常にチームで闘ってるという気持ちが強いんだよ。

—それでいて、練習もガチンコでバンバン殴り合うんだから凄いですよ（笑）。

シウバ　それも、お互いが信頼しあってるからできるのさ。

—今回は『ミドル級GP』を制した後の初戦でしたが、ミドル級王者、そしてトーナメント優勝と栄冠が増えるにつれて、精神的な部分の変化はありますか？

シウバ　もちろん。『PRIDE』に出始めた頃とは気持ち的にまったく違うね。最初はとにかく夢中でやってたけど、チャンピオンになったことで、自分の試合を見るために会場に来るファンも出てきた。その人たちのためにも、常にいい試合をしなきゃいけないという気持ちが強くなったよ。

—チャンピオンとして負けられないし、なおかついい試合をしなきゃいけない。その両立は大変でしょうね。

シウバ　たしかに難しいね。だがトレーニングさえしっかりしておけば、決して不可能なことじゃない。いい試合をすることが、結果的に勝利にもつながるしね。

—最近のシウバさんの試合を見ていると、ファイトスタイルが変化してるように見えるんですよ。ただガムシャラにいくんじゃなくて、相手の攻撃を待ってから仕留める感じになってますよね。

シウバ　その通りだよ。いまの『PRIDE』はどんどんレベルが上がっていて、どの選手も高い技術を持っている。一瞬で

試合前のにらみ合いは両者一歩も引かず、お互いに一時たりとも目線をそらさなかった。これだけで、会場の熱気はぐんぐん高まっていく。それにしてもシウバの顔は怖い!

この日も気迫とオーラを全身から漂わせながら、全力疾走で入場してきた美濃輪。この男には、入場してきただけで、観客の期待感を集める"何か"がある。

遠い間合いでステップを踏みタックルに入る機会を伺う美濃輪に対して、昨年の桜庭戦同様、シウバは"待ち"の体勢に。ピリピリとした緊張感が客席にも伝わってくる。

[シュートボクセvs日本 3対3対抗戦]

ヴァンダレイ・シウバ○ [1R 1分9秒 KO] ●美濃輪育久

一瞬の隙を見てドンピシャのタイミングで片足タックルを仕掛けた美濃輪だが、シウバはこれをガッチリ受け止め上を取ることに成功。

グラウンドになるとすぐさまシウバのパンチが美濃輪のアゴを貫き、全身の力が抜けたところに、トドメのパンチを叩き込むシウバ! 勝負はわずか1分9秒でついたが、実に濃密な69秒間だった。

日本との対抗戦を2勝1敗で勝ち越し、勝ち鬨を挙げるシュート・ボクセ。この光景、何度見せられたことか……。誰かとめてくれ!

格闘大戦争 前夜!!

もスキを見せたら負けてしまうんだよ。だからじっくりと相手を見ていく必要がある。しかも自分はチャンピオンで、不注意で負けるなんて許されないことだからね。

——なるほど。ところで話は変わりますけど、去年の大晦日は何をしてました？

シウバ　暮れにヒジの手術をしたんで休暇を取ってたんだ。４日間くらいビーチで遊んだりね。大晦日は、奥さんと息子と３人でリオに花火を見に行ったよ。

——日本での大晦日の試合は何か見たんですか？

シウバ　インターネットで結果はチェックしたけど、まだビデオは見てないんだ。

——でも大晦日は家族でゆっくり過ごすのが一番ですよね。ボクら、もう何年もそういう大晦日を味わってないんですよ（笑）。まったく異常ですよ、日本って国は（笑）。

シウバ　でも、オレも今年の大晦日は仕事になるかもしれないな。それはそれでいい年の越し方だよ。

——おお〜！　その大晦日に向けてというわけじゃないですが、次の試合はどうなる予定ですか？　４月からは『ＰＲＩＤＥ無差別級ＧＰ』も始まりますけど。

シウバ　マッチメイクに関しては、決められたものをやっていくだけだよ。まだどうなるか分からないな。

——ということは、ＧＰに出る可能性もあるんですか？

シウバ　まだ分からないけど、ＧＰにはシュートボクセからニンジャが出る可能性が高いと思う。体重も１００キロくらいがベストだし、いい結果が出せると思うよ。

——ノゲイラ、ヒョードル、ミルコたちとも充分に渡り合えると。

シウバ　間違いなく、どの選手と戦ってもいい試合ができると思う。ここにきて凄く成長してるし、オレもスパーリングするのがハードなくらいだからね。打撃はもちろんだけど、グラウンドもよくなってる。

［シュートボクセvs日本 3対3対抗戦］

マウリシオ・ショーグン○ ［1R 9分4秒 KO］ ●郷野聡寛

「俺の試合を見て格闘技を勉強しろ！」など、過激な毒舌と共に『PRIDE』初出場を果たした郷野。打撃でガンガン前に出てくるショーグンのパンチをボクシングテクニックで交わしてスタミナ切れを狙うが、徐々に打撃が当たり始め最後はヒザ蹴りに轟沈。試合後に威勢のいいコメントを聞くことはできなかった。

［シュートボクセvs日本 3対3対抗戦］

ジャドソン・コスタ● ［1R 4分55秒 KO］ ○五味隆典

UFC出場を熱望していた元修斗ウェルター級王者・五味が『PRIDE』初出場。小さなヴァンダレイことコスタの打撃にタックルを合わせ、テイクダウン。サイドからマウントに移行し、パンチの雨を降らせてKO勝ち！　パーフェクトな形でメジャーデビューを飾った。

——昨日のコメントだと、次は近藤選手と、ということですが。彼の存在が視界に入ってきたということですか？

シウバ　ああ。コンドーが年末、オレに挑戦したいってリング上でアピールしたと聞いたよ。いま、誰と話しても「次は近藤？」って聞かれるから、コンドーの挑戦を受けるつもりでいるよ。ただし、彼にその勇気があればの話だけど。リップサービスじゃなしに、本気でオレと闘いたいならやってやるよ。

——近藤選手の試合ビデオを見たことはありますか？

シウバ　いいや。

——これからも？

シウバ　たぶんそうだろうね。

——ということは、研究しなくても自信がある、と。

シウバ　まったく問題ないね（キッパリ）。

——昨日も美濃輪選手と戦って、次が近藤選手、その他にも桜庭選手、吉田選手と日本人と戦う機会が多いですけど、日本人のファンの声援を受けながら、同時に日本人選手を叩きのめす気分っていうのはどんな感じなんですか？

シウバ　お客さんは複雑な気持ちになるだろうね。日本人選手がリングに上がったら、当然、応援したくなるだろうし。でも自分の試合を見てくれれば、こっちを応援するようにさせる自信はあるよ。

——対戦相手ということでは、最近ビクトー・ベウフォートがＵＦＣのチャンピオンになってシウバ選手との王座統一戦という話も出ているんですよ。以前闘って負け

GPにはニンジャが出る可能性が高い
俺の相手は近藤でもビクトーでもいいよ

Wanderlei Silva

ている相手ですが、どう思いますか？

シウバ　彼もいい試合をしてきてるんだろうけど、オレも昔の自分じゃないからね。自分が間違いなく勝つよ。

――リングで闘いたいですか、それともオクタゴンで？

シウバ　闘うとしたら、『PRIDE』のリングでしかありえないな。

――あくまで『PRIDE』のチャンピオンという誇りがあるわけですね？

シウバ　そう、オレは『PRIDE』の選手で、『PRIDE』のチャンピオンなんだ。誰と戦うんであれ、それは『PRIDE』のリングだってことさ。

――ビクトー選手の最近の試合は見ました？

シウバ　いや、見てないな。

――もしかして、他の団体とか選手にあんまり興味がないんですか？

シウバ　ああ、他の選手にはあまり興味がないんだ。結局、リングに上がったら大事なのは相手がどうかじゃなくて、自分が何をするかだからね。だから自分のビデオはよく見てるよ。

――それは研究とか、反省のために。

シウバ　そうだね。

――「オレってカッコいい！」とか、そういうんではないんですね（笑）。

シウバ　それもあるけどね（笑）。

――ガハハハ、あるんだ（笑）。いままで自分が一番カッコよかった試合って何ですか？

シウバ　去年の8月、ミドル級GPの1回戦でサクラバとやった試合だね。その前にケガをして試合を休んでいたから、余計に印象深いんだよ。

――多くの日本人選手と闘ってますけど、やっぱり桜庭選手は特別な相手ですか？

シウバ　オレにとっては本当に特別な相手だし、彼自身が『PRIDE』の中でも特別な存在だよ。技術も高いし、経験が豊富で頭がいいからね。

――昨日の試合からいよいよ今年の闘いがスタートしたわけですが、今年は何試合くらいする予定ですか？

シウバ　できる限りたくさん試合したいね。このリングで闘えることを誇りに思ってるし、それが自分の一番の喜びでもあるから。組まれた相手なら誰とでも闘って、全力で倒すだけだよ。

【04年2月16日／都内ホテルにて収録】

というわけで相変わらず受け答えはシンプルだが、チャンピオンとしてのプライドと責任感は増す一方のシウバ。そのファイトスタイルも含め、いま最も〝プロらしさ〟を体現する選手と言ってもいいだろう。しかも、そのパンチの威力もいまだアップ中というから恐ろしいばかりだ。果たしてこの先、シウバを止める存在は現れるのか……。いまや日本人最後の砦となった近藤有己とのストライカー対決、新人時代に秒殺された過去のあるビクトーとのリマッチ&統一王座戦と〝vsシウバ〟のカードにはまだまだ興味が尽きない。ヘビー級GPが開催されても、シウバはPRIDEの〝主軸〟であり続け、その輝きが失せることはなさそうだ。

2・1サバイバル戦でLAジャイアントに完勝！
〝ロシア軍最強の男〟が堂々グランプリ出場宣言!!

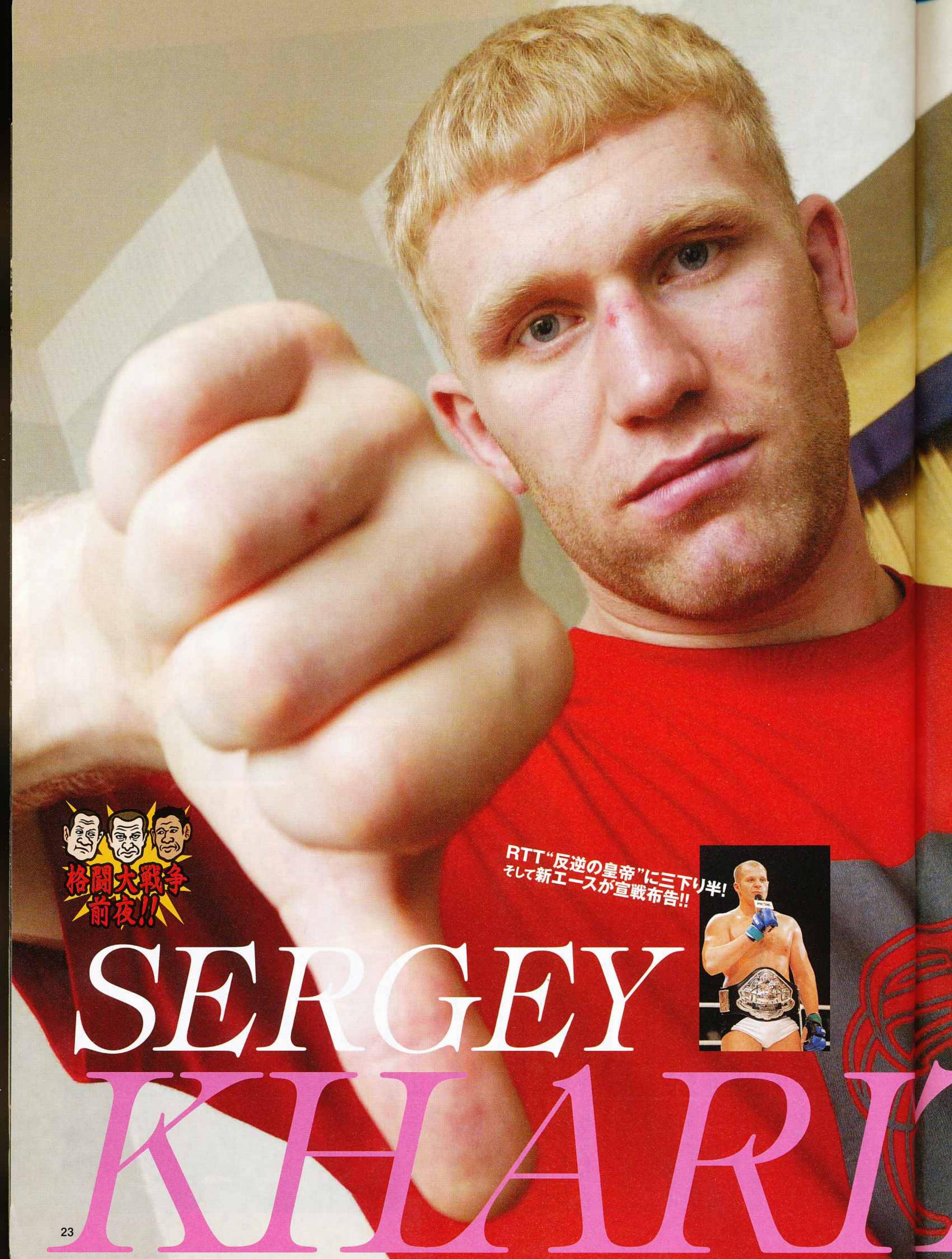
「ヒョードルとGP1回戦で当たっても、何の問題もないよ」

セルゲイ・ハリトーノフ
with パコージン総監督

昨年末からの「ヒョードル移籍問題」に揺れるロシアン・トップチームに救世主が現れた！その名は、セルゲイ・ハリトーノフ。2・1『PRIDE.27』では、LAジャイアントの巨体を見事コントロールし完勝。関係者の評価も高く、一躍グランプリのダークホースに名乗り上げた格好だ。"ロシア軍最強"の異名を持つこの男、はたしてどれだけ強いのか？

聞き手／堀江ガンツ　撮影／乾晋也　designed by matsu（Two Three）

TONOV

格闘大戦争
前夜!!
RTT"反逆の皇帝"に三下り半!
そして新エースが宣戦布告!!
SERGEY
KHARI

――昨日のLAジャイアント戦は「完璧」と言ってもいい見事な勝利でしたけど、まずはその試合の感想を聞かせて下さい。

ハリトーノフ　凄くいい試合ができたと思うので満足している。きっちりと関節技で極められたのが嬉しいね。

パコージン　セルゲイは準備期間が短く、相手に関する情報も背が高いということぐらいしかなかったのに、よくやってくれたよ。これはセルゲイがこの試合の〝正しい鍵〟を選んだということだろうな。

――昨日の試合では片膝をついて相手を動けなくしてから殴り、そこから腕十字を極めるという、理にかなった見事な闘いぶりでしたが、ああいった技術はどこで身につけたものなんですか？

パコージン　もちろんロシアだよ！（笑）。

――それはわかってますよ！（笑）。掣圏道という格闘技にも同じような技術があるんですけど、ご存じですか？

ハリトーノフ　セイケンドウ？　よく知らないな。ああいった動きは軍隊で身につけたコマンド・サンボや逮捕術でよく使われるもので、それを総合格闘技に応用したんだ。

――軍でもああいったバーリ・トゥードに近いような練習はするんですか？

ハリトーノフ　軍では白兵戦用の手だけで闘う訓練が中心だけど、組み伏せたり、動きを制したりといった技術は相通ずるものがあると思う。それから、そういった直接的な格闘技の練習だけでなく、軍ではあらゆる鍛錬を積んでいるし、ボクは空挺部隊で90回もパラシュートで飛んでいるから、恐怖心や困難を克服するという意味で、軍での訓練は試合にもいい影響を与えていると思っているよ。

――ロシア空軍のパラシュート部隊というと、以前ヴォルク・ハン選手も所属していたところですよね？

ハリトーノフ　そう。彼の名声は軍でもよく耳にするんだ。ボクはハンを格闘家としても軍人としても尊敬しているよ。

パコージン　パラシュート部隊はロシア軍の中でも、心身共に強靭な者だけが集まるエリート部隊なんだよ。そして、現在その中でも特に優秀なのが、このセルゲイ・ハリトーノフだ（胸を張って）。

――ほぉ、〝ロシア軍最強の男〟の異名に偽りなし、というわけですね（笑）。いま総合格闘技の練習はどこで行っているんですか？

ハリトーノフ　いろんなところでやっているよ。出身地のアルハンゲリスクやトゥーラ（ヴォルク・ハン格闘術の本拠地）、エカテリンブルグ（ニコライ・ズーエフの格闘施設『リングス・エカテリンブルグ』がある土地）の3カ所が中心かな。

パコージン　セルゲイの住むアルハンゲリスクは、モスクワから2000キロも離れたロシアでも特に寒い土地で、気温がマイナス35～40度にもなるところなんだ。

――マイナス40度の世界ですか！　バナナで釘が打てそうですね（笑）。

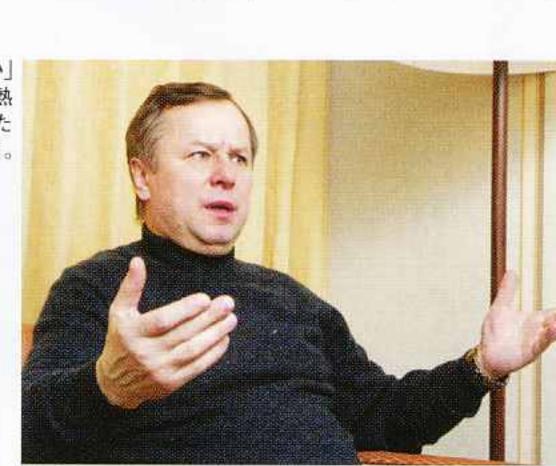
パコージン　だからセルゲイは時折、北極熊とスパーリングをしたりするんだよ（笑）。ワッハッハッハ！

――そうですか（笑）。でも、その厳しい自然環境がハリトーノフ選手を強くした部分も実際にあるんじゃないですか？

ハリトーノフ　そうだね。やっぱり、温暖な気候でぬくぬくと育った奴らには負けないっていう気持ちはあるよ。

――南国のブラジル人には負けないと（笑）。

ハリトーノフ　別にブラジル人とは特定してないよ（笑）。

ヒョードルの悪口は言いたくないが仁義を欠いたやり方は間違っている！

眉間にシワを寄せ、「悪口は言いたくない」と言いながら、ヒョードル問題について熱弁を振るうパコージン総監督。心労のため、ここ一ヶ月で白髪が倍増したという。

――それにしても、ホント昨日の闘いぶりを見て、またロシアから新たなるトップ選手が出てきたなという印象を受けましたよ。

パコージン　でもこの選手が最後だと思われたら困るよ（笑）。近い将来また日本のファンに喜んでもらえるような強い選手が新たに出てくることを予告しよう。

――『PRIDE』参戦予備軍が既に何名かいるんですか？

パコージン　まだ名前は言えないが、ミーシャ、ズーエフらが、新しい力を育て始めているんだ。その中でいま一番輝かしいスターがハリトーノフということになる。

――『PRIDE・27』の大会終了後、DSEの榊原代表が、「ハリトーノフとヒョードル、どっちが強いのか興味がある」と言ってましたが、この意見についてはどう思いますか？

パコージン　はて、ヒョードルって誰だい？

――ガハハハハ！　あまりご存じありませんか（笑）。

パコージン　昔、育てたような気がするが……いまどうしているのかよく知らないな。申し訳ないが。

――今は家出しちゃったんでしょうか？

パコージン　（フゥーっと深いため息をついてから）まぁ、出ていった人間の悪口は言いたくないんだよ。ただ、今回の一件は私にとって日本のプロ格闘技界で12年間働いてきた中で、最大の〝痛み〟であったことは確かだよ。

――日本でもこの件については大きな話題になっていたんですよ。そもそもこうなってしまった原因はなんだったんですか？

パコージン　多くは語りたくないが、やはりお金が絡んでいることは否定しようがない事実だ。もちろん、それぞれの人間が最高の条件を求めるのは悪いことではない。ただ、ものには順序とやり方というものがあるんだよ。ヒョードルはそのやり方が非常にまずかったと思うんだ。彼は私にも黙っていたし、彼を育ててくれたハンやズーエフを初めとするコーチたち、さらには『PRIDE』にまで内緒にしてサンクトペテルブルグ（レッドデビルの本拠地があるロシアの都市）へ行ってしまった。しかし、こういうやり方は、ソ連育ちの我々にはまったく理解できないことだ。

――でも、ヒョードル選手の方は「『PRIDE』やパコージンさんに嘘をつかれた」というような発言をしているらしいんですよ。

パコージン　（「何を言ってるんだ」という表情で）……昨年11月にあなたにインタビューを受けたとき、ヒョードル自身が「他のチームに移ることはありえない」と言っていたのを覚えているだろう？

――はい。確かに「これからもロシアン・トップチームの一員だ」と言ってましたよね。

パコージン　それが答えだよ。もうこの話は終わりにしよう。ついこの間まで仲間だ

2004.2.1『PRIDE.27』

○セルゲイ・ハリトーノフvsLAジャイアント●

［1R1分23秒　腕ひしぎ逆十字固め］

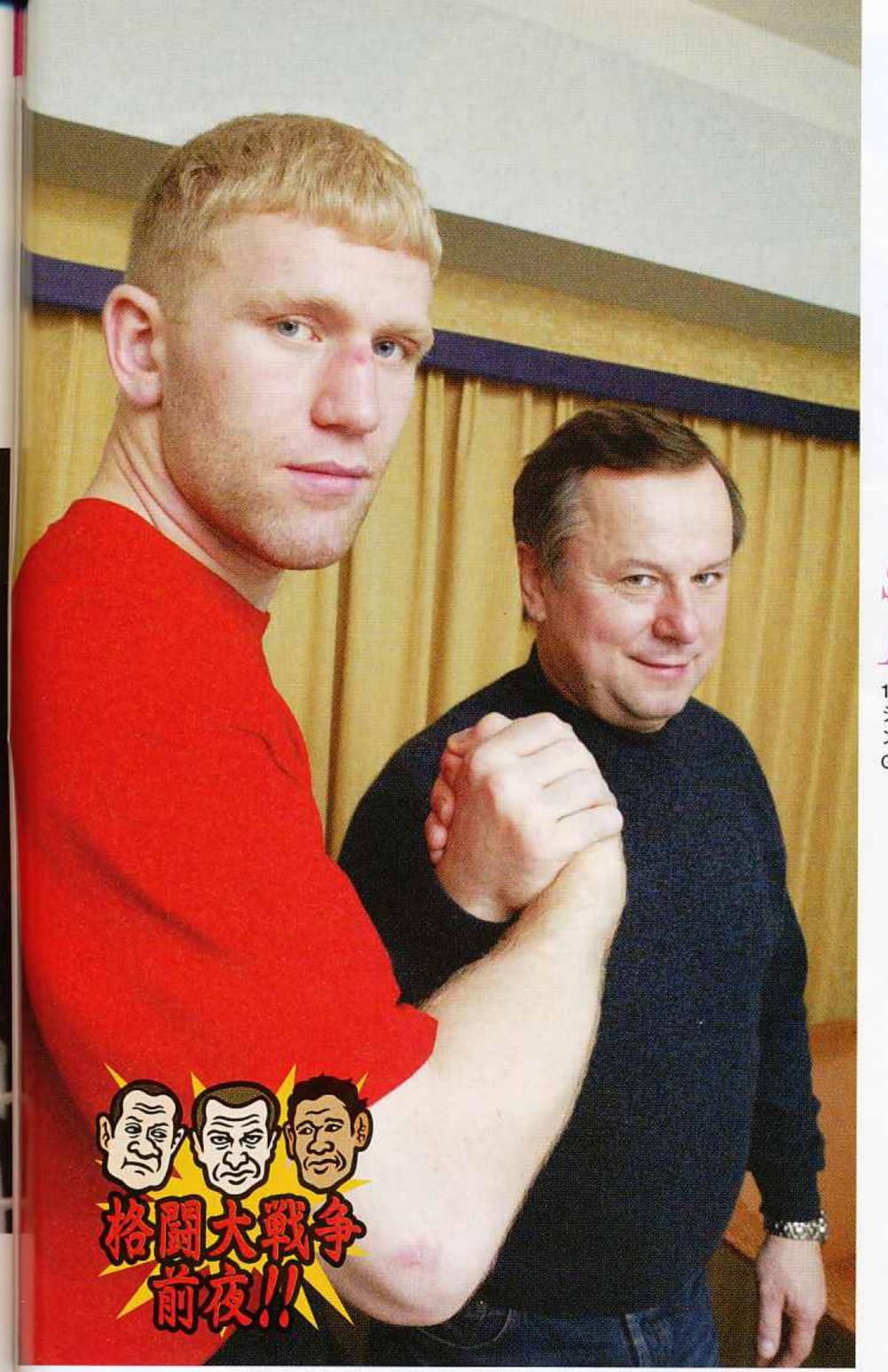
ハリトーノフは開始早々、ジャイアントに組み付くと、内掛けで難なく巨体をテイクダウンに成功。そこからパウンドの雨を降らせ、パスガード→ニーオンザベリー→腕十字と流れるような動きで鮮やかに一本勝ち。"サバイバルマッチ"完勝で、その存在を大きくアピールした。

SERGEY KHARITONOV

格闘大戦争前夜!!

った人間だ、悪くは言いたくないんだ。

——では、今回の件に付随する噂で、『レッド・デビル』がニコライ・ズーエフさんを始めとするリングス・エカテリンブルグ（コピィロフやアレクサンドル・ヒョードロフコーチら）全体と契約を結んだと聞いたんですが、それは事実なんでしょうか？

パコージン　ハッハッハ、それは全く馬鹿げた話だよ。ズーエフは私の大切な友人だし、リングス時代から共にチームを支えてきた同志だ。ご心配なく、ズーエフ、コピィロフ、ハンはむしろヒョードルのやったことに非常に批判的で、サンクトペテルブルグの連中とは話しすらしたこともないよ。中でも特に怒っているのがハンだ。ハンは気落ちしていた私に対して「あまり肩を落とさないでください。私がまた新しい強い選手を育てますから」と言ってくれた。おそらく3～4ヶ月後、ハンはトレーナーとして新しい選手を連れて日本に来ることになると思う。

ハンは「肩を落とさないで下さい。私がまた新しい強い選手を育てます」と言ってくれた。3〜4ケ月後に彼が弟子を連れて日本に来る予定だ。
（パコージン）

SERGEY
KHARITONOV

1980年8月18日、ロシア・アルハンゲリスク出身。"ロシア軍最強の男"の異名を持つ、RTTの新エース。サンボ公式戦14戦無敗、『PRIDE』でも現在2戦2勝。GPでどこまでやれるか期待がかかる。192cm、101kg。

――おぉ！　それは楽しみですね！

パコージン　ただ、新しい力を育てるのは大変なんだ。だから、これまでヒョードルやサーシャの育成に力を注いだ分、これからは他の若い選手にも力を入れて育てていきたいと思う。ヒョードルの件は、起きてしまったことはどうしようもない。私も12年間に渡って45人もの選手を日本に送り続けてきたが、こんなことは初めてだったので、確かにちょっと油断していた部分はある。だから我々としたら自分たちなりに働き続けるだけ。働いて働いて働く。時間は少ないけど努力するしかよ。

――僕らも現在「世界最強」と言われているヒョードル選手を越えるような選手が、またロシアン・トップチームから現れるのを期待してますよ。

パコージン　まぁ、「最強」と言ってもミルコとやってないし、セルゲイとも闘ってないしねぇ。

――ガハハハハ！

パコージン　おっと、また彼のことを言ってしまいそうだったよ（笑）。ただ、「最強」というのは、現実にはもっと厳しいものだよ。

――ハリトーノフ選手はヒョードル選手と闘うことに問題はないですか？

ハリトーノフ　う〜ん、これはチームの問題などは抜きにして、『PRIDE』のリングで闘うこと自体は何も問題ないよ。

――もしヒョードル選手と闘ったら、勝つ自信はありますか？

ハリトーノフ　ボクは戦士としてリングに上がっているわけだから、自信というものは常に持っている。それは相手がヒョードルだろうが、誰であろうがね。

――ヒョードル選手の実力についてはどういう評価をしてますか？

ハリトーノフ　今はそういった質問に答えることはできないな。ボクはまだ『PRIDE』で2戦しかしていないルーキーで、彼は実績を積んだチャンピオン。尊敬もしているし、先輩のことをボクが批評するのは失礼に当たるからね。

――では、ハリトーノフ選手が最も尊敬している格闘家というと誰になりますか？

ハリトーノフ　誰か一人というよりも、いろいろな選手のいいところを見て吸収しようとしてるんだ。ボクは総合格闘技だけでなく格闘技全般に興味があるので、様々なジャンルの優秀な選手から吸収したいと思っている。

――となると、あらゆる格闘家の中で一番強くなりたいという夢も持っていたりするんですか？

ハリトーノフ　もちろん、プロもアマチュアも含めて一番強くなることは大きな目標だよ。だから、まず当面の目標は『PRIDE無差別級GP』にゼヒ出場して、いい結果を収めることだね。

――グランプリに出場した場合、もっとも警戒しなければいけない相手は誰になりそうですか？

ハリトーノフ　グランプリに出場するような選手はみんな強敵だろうから、特に誰というのはない。どんな相手と対戦することになっても、徹底的に細部まで相手を分析して試合に挑むつもりだよ。

――ミルコ、ノゲイラ、ヒョードルらが優勝候補に挙げられていますが、彼らにも付け入る隙はあると思いますか？

ハリトーノフ　もちろん。この3人は出場が確定だろうから、すでに彼らについての対策は考えているよ。

――もう考えていますか！　その内容をちょっとだけ教えていただけませんか？

ハリトーノフ　それは無理だな（笑）。

――ですよね（笑）。では、そうとう先の話になりますが、格闘家としてのゴールはどの辺りと考えてますか？

ハリトーノフ　格闘家の修行に終わりはないよ。レーニンの言葉で「学べ学べ学べ」というのがあるんだが、ボクも死ぬまで学び続けていくつもりだからね。

パコージン　うんうん（満足げに）、これこそがロシア人の心意気だよ！　セルゲイは身体能力や体力、テクニックはあるが、残念ながらまだ『PRIDE』での経験が不足している。だから、百戦錬磨の強豪揃いのグランプリで、どれだけの結果を残せるか私にもわからないが、経験を積むごとに間違いなく強くなっていくので、ゼヒ期待していてくれ！

――もちろんです。パコージンさんも、気を落とさずに頑張ってください（笑）。

パコージン　ガンバリマース！（元気よく）

【04年2月2日／大阪市内のホテルにて収録】

ヤマヨシの秘技ついに炸裂!
これが"魔性のDDT"だ!!

UFCの巨人を破り、ヒースがGP出場決定!

○ヒース・ヒーリング vsガン・マッギー×

［3R 判定　2-1］

かつてはノゲイラとベルトを争う位置まで上りながら、ここ数試合は、ヒョードル、ミルコに連敗。ヤマヨシ、G・シルバに予想外の苦戦を強いられるなど、苦しい闘いが続くヒース。ここでマッギーに敗れるようなことがあると、完全にトップ戦線から脱落するところだったが、際どい判定勝ちで意地のGP出場権を獲得した。

ケアー不発……そしてヤマヨシ節大爆発!

○山本宜久vs マーク・ケアー×

［1R 0分40秒　TKO］

「最初のパンチで目が死んでましたね」「彼もこれからは生身の人間として生きていってほしい」「ボクもプロレスラーなんでね。DDTを使ってしまった」「現役のチャンピオンとやりたい」「田村さんが負けてるんで、同志として吉田選手に挑戦したい」以上、声に出して読みたいヤマヨシ語録でした。いろいろ批判もあったようですが、イッキシンテン、次がんばれ!

2.1 PRIDE.27 OSAKA DIGEST

強すぎるニンジャ
アレクのらしさまで完封

×アレクサンダー大塚 vsムリーロ・ニンジャ○

［1R 5分25秒　肩固め］

いまや日本人では誰も勝てる人間はいないのでは、と思わせるほどの強さと体力を見せつけるニンジャが、久々に『PRIDE』登場となったアレクに完勝。アレクは真っ向から打ち合うつもりだったようだが、ニンジャは手堅くテイクダウンを奪い、アレクのそういった"気持ち"を見せる見せ場すら完封。GPではダークホースとなるか!?

惜しい! ボビッシュあと一歩の所で失速……

○イゴール・ボブチャンチン vsダン・ボビッシュ×

［2R 1分45秒　KO］

第1回『PRIDE・GP』(2000年) 準優勝者ながら、崖っぷちに立たされていたボブチャンチンが、ボビッシュをKOし、なんとか首の皮一枚残すことに成功した。それでも序盤は体格で上回るボビッシュが圧倒、後半スタミナが切れたところでの逆転勝ちだったので、まだまだ真の復活への道は険しそうだ。GPでの復活に期待!

中村、終始リードするもタップ奪えず
ドスJr.の頑張りも目立った!

○中村和裕vs ドス・カラス Jr.×

［3R 判定　3-0］

柔道vsルチャの超異次元対決となったこの一戦。どうせなら中村にこの日だけでも柔道着を着て闘ってもらいたかったが、中村にそういった遊びはナシ。終始、打撃と寝技の両面でリードするが、ドスJr.も驚異の粘り腰で一本勝ちを許さず。判定はフルマークで中村だったが、極められなかったことに反省しきりだった。

この日は試合がなかった"自称・統括副本部長"のサクが、1万3366人超満員に埋まった大阪大会のオープニングに登場。「今年はグランプリもありますんで、よろしくお願いいたします」と『PRIDE』を代表して挨拶したあと、本家・本部長ばりに「男の中の男たち、出て来いや——ッ!」と、大きくのけぞりながら、選手たちを呼び込んだ。はたして、サクのGP出場はあるのか? それとも、次は噂される『武士道』出場か!?

——この間の『武士道』で『PRIDE』参戦をアピールしたわけですが、まだ戦闘竜さんのことをよく知らない人も多いと思うので、いろいろ話を聞かせてください！

戦闘竜　何でも聞いてください。

——お願いします。話には聞いてましたけど、日本語はペラペラなんですね。

戦闘竜　ちょっとペラペラ（笑）。

——そうですね（笑）。四股名というかリングネームは「せんとりゅう」ではなくて「せんとうりゅう」が正しいんですよね。

戦闘竜　そうですね。現役の時は地元がセントルイスなんで「せんとうりゅう」から「せんとりゅう」に変えてもらいました。

——地元がセントルイスということですが、産まれたのは日本って聞きましたけど。

戦闘竜　ホントは日本です（笑）。産まれたのは基地の中で、いまはもうないけど立川基地。そこには6歳までいたんですよ。

——だから、ちょっとペラペラ？（笑）。

戦闘竜　いや、基地の中は全部英語でした。お父さんはアメリカ人だったけど、お母さんが日本人だったんで、ちょっとだけ。

——戦闘竜さんが最初にスポーツというか格闘技を始めたのは柔道なんですよね。

戦闘竜　そう。4歳ぐらいからかな。

——お父さんがやらせた感じなんですか？

戦闘竜　覚えてないんですよね。4歳から6歳ぐらいまで日本でやってたのは覚えてるんですけど、アメリカに引っ越してからは頭の中はフットボールでいっぱい（笑）。

——アメリカではフットボール人気が凄いですからね。その頃の将来の夢は、やっぱりプロのフットボール選手ですか？

戦闘竜　そうですね。でも、高校3年の時にヒザをケガして手術することになって。その前、高校2年の時、いろんな大学が自分を欲しがってたんですよ。「うちの大学に来ないか」ってパンフレットもらったり、大きい大学3つぐらいから誘われたんですけど、ヒザをやっちゃったから結局スカウトされなかった。それで1回フットボールやめて、それからはバイトね。

——どんなバイトをしてたんですか？

戦闘竜　ドミノピザの配達（笑）。

——ピザを配達してましたか（笑）。

戦闘竜　はい。あとは普通のスーパー。

——レジ打ちとかですか？

戦闘竜　いや、アメリカのスーパーはチップを貰って客の荷物をショッピングモールから車まで運ぶんです。そういうバイトもやってました。でも、それをずっとしたくないから、ヒザを治しながら休みの時とか、バイト終わってからジムに通ってたんですよ。自分はトレーニングが趣味だから（笑）。

——そうなんですか（笑）。で、その頃に大相撲からスカウトされるわけですよね。

戦闘竜　そうそう。偶然、お父さんお母さんの友達で、83歳の肉屋さんのジイちゃんがいて、そのジイちゃんが友綱部屋のファンクラブのスポンサーだったんですよ。

——83歳の肉屋のジイちゃんにスカウトされたんですか？（笑）。

戦闘竜　そうね（笑）。自分が6歳の時、日本で会ったことがあるジイちゃんだったんだけど、その時18歳だったんで12年ぶりに会ったら、自分はこんなに立派で大きな身体になってたんで、ジイちゃんは相撲の話をしてきたんです。

——話を聞いて、すぐ相撲をやる気になったんですか？

戦闘竜　親が「相撲は絶対無理だ」って言ってたけど、その時もう18歳だったから「自分で決めなさい」って。自分はスポーツが大好きで野球もやってたし、レスリングもやったし、何かのプロになりたかった。

格闘大戦争前夜!!

戦闘竜（セントリュウ）

今までの力士と自分は違う！
『PRIDE』で相撲は強いってことを絶対に証明します!!

相撲最強伝説が今度こそ証明されるか!?　かねてから噂となっていた元幕内力士の戦闘竜が遂に『PRIDE』へ登場！　2·15『武士道』でリングに上がった戦闘竜はマイクを掴むと「ノゲイラ、ヒョードル、ミルコ、全員と闘う準備がある。『PRIDE GP』でリボーンした戦闘竜をお見せしたい！」と決意表明。喧嘩力士の異名を持つこの男が、この春『PRIDE』マットに殴り込み！

聞き手／松澤チョロ　撮影／平工幸雄　designed by matsu（Two Three）

『PRIDE』出陣

待ったなし!!

"喧嘩力士"が『PRIDE』へ殴り込み!

フットボールの夢も捨てちゃったから。

——ヒザのケガはフットボールをするには支障があるぐらいの状態だったんですか？

戦闘竜　かなりリハビリしなくちゃいけなかった。スカウトされると大学の学費はナシになるから行きたかったけどね。自分は、お金で親に苦労かけたくなかったんで。

——親孝行なんですね。

戦闘竜　だから、夢はスカウトされて、そのままプロになること。それができなかったからフットボールはやめちゃった。そんな時に相撲の話がきて。でもヒザをやってから、まだ1年経ってなかったから無理かなって思ってたけど、その人が「とにかくやってみてください。絶対強くなる」って言ったんで信じた。「ダメだったらいつでも帰ってこれる」って言うし、6歳から日本の親戚や友達にも会ってなかったし。

——久々に日本に行ってみたいなぁっていうのもあったんですね？（笑）。

戦闘竜　そうそう（笑）。「やった！　日本に行ける」って。とりあえずやってみて、ダメだったら戻ればいいかって。親戚にも会えるし、プロになれるっていうからね。

——お金も掛からないし（笑）。

戦闘竜　住むところもお金が掛からない、服もいらないって言うし。でもあそこまで厳しいと思わなかった。半分騙された（笑）。

——半分騙されましたか（笑）。

戦闘竜　その時、言われたのが「アメリカ出身の力士は自分が史上初だから凄い有名になる。お金もいっぱい貰える」ってこと。「だったら行きますよ」って感じ（笑）。

——そりゃ行きますよね（笑）。でも、6歳まで日本にいて、相撲ってどういうものかわかってたんですか？

戦闘竜　わかってはない。ただ変なまわし着けたデブっていうイメージだけ（笑）。

——アハハハハ！　まあ、わかってなかったらそうなるでしょうね（笑）。

戦闘竜　それで相撲やるか決める前に日本からビデオを送ってくれたんですよ。それを観たらアマチュアの国際相撲のヤツで外人もいっぱい出てた。ホントの大相撲のビデオは送ってもらってないんですよ。国際相撲は、ちょんまげ結って、まわしとか、さがりとか、そういうのと違って、普通にスパッツ履いて、その上にまわしをして。

——またもや半分騙されたと（笑）。でも、それを観て、これだったらやってもいいかなって思ったんですか？

戦闘竜　レスリングもやってたし自信あったから。うちの州の167ポンドのチャンピオンになるはずだったんだけどヒザのケガで出れなくて。結局、自分が勝ったことのあるヤツがチャンピオンになって、それが凄く悔しかったんで。

断髪式から一夜明けた2月12日、榊原代表、髙田統轄本部長と共に会見に挑み、『PRIDE』参戦を正式表明した戦闘竜。「ヒョードル、ミルコ、吉田……誰とやっても面白い。ゆくゆくは曙と闘っても面白いと思う」と榊原代表

——柔道、フットボール、野球、さらにレスリングまでやってたんですか。

戦闘竜　レスリングは小学5年生ぐらいから。小学校の時からフットボールやってていい身体してたから、「レスリングやった方がいいよ。一回見に来て」って先生に言われて。フットボールはオフシーズンがあるから、何かやらないと身体が小さくなると思って始めたんだけど、やったら楽しかったんですね（ニッコリ）。そのままハマってしまって。『PRIDE』も同じ。テレビしか観たことなくて、この間、会場に初めて観に行ったらハマっちゃった。

——自分もやってみたいと？

戦闘竜　そうね。それで、一回やってしまったら段々楽しくなってくると思う。

——それで、戦闘竜さんっていうと噂では相当ケンカが強いというか、かなり暴れてた時期があったと聞いてるんですけど。

戦闘竜　ありますね（笑）。

——あ、やっぱり（笑）。

戦闘竜　日本でもアメリカでもケンカはあったんですけど、自分はホントはケンカはしたくない人。

——巻き込まれちゃうんですか？

戦闘竜　1つ覚えてるのは、中学校の頃、学校に行く途中に橋があって、その下を電車が走ってたんですよ。電車の他にも新車とかがいっぱい止まってるところに友達が石を投げて窓とか割ったりしてて。

——悪い友達ですね（笑）。

戦闘竜　それを警察に見つかって自分まで捕まった（笑）。でも友達だから言っちゃいけないことってあるでしょ？　それなのに緊張して「アイツがやった」って言っちゃったよ（笑）。

——かばうつもりだったのが素直に言ってしまったわけですね（笑）。

戦闘竜　そう（笑）。友達は怒ってオレとケンカするって言ってるって情報が入ってきたんだけど、でも自分は友達と絶対ケンカしたくなかったから、チャイムが鳴ったらすぐ裏口から出て走って逃げた（笑）。

——うまく逃げ切れたんですか？

戦闘竜　みんな校門で待ってたけど「アイツ出て来ねえぞ」って（笑）。で、結局ケンカしなかった。やっぱり友達だから。

——では、どういう時にケンカになったりしたんですか？

戦闘竜　いまは大人しくなったけど、昔は酒飲んで暴れたこともあったから。

——飲むどうなっちゃうんですか？

戦闘竜　気分によってだけど、疲れた時とかは酔っ払うの早いし、寝る時もあるし。

——暴れる時もあると？（笑）。

戦闘竜　ん〜、ちょこちょこ（笑）。

——ちょこちょこ（笑）。プロレスラーと

か酔ってお店を破壊したりする人も多いんですけど、そういうこともありました？
戦闘竜　自動販売機とかエレベーターを壊したことはあるんですけど（笑）。やっぱり、プロの選手だから人を殴っちゃいけないんで、悔しい時はモノを殴っちゃう。人よりモノを壊した方がいいでしょ？（笑）。
――まあ、人よりはモノの方がいいでしょうね（笑）。お酒は相当飲むんですか？
戦闘竜　雰囲気によって。家でも晩酌しないし、外で飲んで雰囲気が良かったらイッキもするけど、何もなかったら1人でチビチビ飲んだり。それに結婚してから飲みに行けなくなっちゃったんですね（笑）。
――奥さんがうるさいとか？（笑）。
戦闘竜　それもあるかもしれない（笑）。でも東京ではほとんど飲まないですね。飲むのは地方が多い。
――地方だと羽が伸ばせると（笑）。
戦闘竜　そうね（笑）。相撲やってる時は地方場所が大阪、九州、名古屋って、1年に1回しかないから、行くと「1年ぶりだね。一杯行こう」ってなるわけですよね。
――そんな時代を経て、今回『PRIDE』のリングを選んだわけですが、大相撲を引退しようと決めた時に、すでに『PRIDE』のことが頭にあったんですか？
戦闘竜　いや、全然考えてなかったですね。引退してから2~3週間後ぐらいかな。大晦日の『男祭り』の前に電話があって。
――DSEの榊原代表自らが直接電話で交渉したみたいですね。
戦闘竜　「1回話を聞いてみませんか」って電話があって、それで自分の嫁さんと一緒に会話したんですね。
――それまでは『PRIDE』はテレビで観るぐらいだったんですか？
戦闘竜　『PRIDE』とかK―1とか観るのは好きだった。カッコいいし面白いなって。それに自信もあるんですよね。こういう試合だったら自分もできるなって。
――俺だったら勝てるんじゃないかと？
戦闘竜　そう思う時もあった。……でも痛そうな時もあるんですよ（笑）。やっぱりミルコ選手の蹴りとか半端じゃないから。
――半端じゃないですからね。
戦闘竜　「この人とは嫌だな」とか思っていろいろ観てたんですけど、まさか自分が『PRIDE』に出るとは思ってなかった。
――初めて『PRIDE』をナマで見たのは大晦日の『男祭り』ですか？
戦闘竜　そうね。それまで、テレビでしか観たことなかったから、入場から実際ナマで観て凄いカッコよかった。
――大相撲とは雰囲気も違いますからね。
戦闘竜　全然違うねぇ。ファンの盛り上がりとかも観て、やりたいなって思ったんですけど、自分の身体がこのままでいけるかどうかわからなかった。それで『PRIDE』でやるかどうかを決める前に練習を見たいなと思って、高田道場に一回見に行って、サンドバッグにパンチの練習を3ラウンドやってみて、「身体鍛えれば大丈夫かな」って段々やりたくなってきたんですね。自分は相撲を15年やってきたし、レスリングもやったし、フットボールもやったし、それまでやってきたものは『PRIDE』のためにやってきたって感じがして。
――相撲だけじゃないですからね。
戦闘竜　そうね。それに自分はやっぱりチャレンジするタイプ。あと負けず嫌いだから、それを活かしてやった方がいいなって。
――『PRIDE』参戦を表明してからは高田道場を中心に練習してるんですよね。
戦闘竜　そうですね。今日は今村（雄介）さんとやって、その前は松井（大二郎）さんと練習しました。
――基本的に、いまは打撃が中心ですか？
戦闘竜　最初ちょっとだけ寝技を教わって、その後は自分は力があるって言われたんで、それを活かした打撃の形とかやり方を教えてもらいましたね。
――関節技で何か得意技はあります？
戦闘竜　ないッス！（笑）。
――そんに力強く言わなくても（笑）。
戦闘竜　でも、自分としては4月にデビュー出来ればと考えてるから、いまはまだ勉強中。とりあえず階段の一段目。
――『PRIDE』のリングで誰か目標にしている選手はいるんですか？
戦闘竜　自分はミルコ選手……は無理だな？　蹴りはできない（笑）。
――タイプ的には違いますよね。
戦闘竜　自分はヒョードルみたいな感じ。打撃が強くて寝技になっても大丈夫。そういう選手になりたいな。
――『武士道』では「ノゲイラ！　ミルコ！　ヒョードル！　いつでもやる準備はできてる」と力強く言ってましたよね。
戦闘竜　気持ちね。その気持ちはある。
――技術はどうですか？
戦闘竜　まだない。でも2ヶ月後は違う。それに自分は相撲にプライドある。相撲だったらいつでも掛かって来い！（笑）。
――それこそ、ノゲイラでもミルコでもヒョードルでも問題ないですよね？
戦闘竜　全然問題ない。でも今度は逆だもん。向こうのリングだから。でも負けないって気持ちは強い。それぐらいの気持ちを持ってないと逆に勝てないから。
――それは言えますよね。
戦闘竜　自分は相撲で育ってる。相撲は身長体重関係ないから曙とか大きい人とも闘わなきゃならない。でも自分は闘争心

ヒョードルみたいに打撃が強くて寝技になっても大丈夫。そういう選手になりたい

2月11日に行われた戦闘竜の断髪式には曙、KONISHIKIをはじめ約400人が出席。髷を落とした戦闘竜はスキンヘッドに変身すると「気持ちがスッキリした。ホッとしてるし満足してる」と笑顔で語った

格闘大戦争前夜!!

が強いから、曙にも負けないっていう気持ちがあるし逃げたりはしない。

――大相撲出身の選手は、やっぱり相撲の癖からか寝技になるとハートが折れるところがあって、総合よりK―1とか立ち技の方が向いてるんじゃないかっていう声もありますけど、どう思いますか？

戦闘竜　それは、その人の小さい頃からやってきてるものによりますよ。相撲しかやってない人はK―1が向いてるかもしれない。でも自分はレスリングもやってたから。曙みたいな人は身長体重もあるし、倒れたら相当大変だと思うんですよ。でも自分の場合それはないんで大丈夫。

――その辺が『PRIDE』のリングを選んだ理由でもあるんでしょうね。

戦闘竜　自分はK―1より『PRIDE』の方がいけるなって思ったんですね。自分はキックできないから（笑）。曙もパンチしかできないでしょ。でも凄くデカイからK―1でやれると思うんですよね。自分は小さいから難しいと思うし、それよりはタックルとか使える『PRIDE』かなって。

――レスリングの経験を活かすとなると『PRIDE』の方がいいですよね。

戦闘竜　『PRIDE』は関節技しかないと思ってる人も多いけど、それは違う。ミルコ選手みたいな打撃もあるし、ノゲイラ選手は打撃より寝技。相手によって違う。ノゲイラ選手とやるんだったら、もう自分の闘い方は自然と決まってくる。

戦闘竜 扁利【せんとりゅう・へんり】本名＝ヘンリー・アームストロング・ミラー。昭和44年7月16日、アメリカ出身。大相撲では友綱部屋に所属、突っ張り・押しを武器に15年間活躍。史上初の北米出身の幕内力士として注目を集める。曙と同様、引退後、相撲時代禁止されていたタトゥーを入れた戦闘竜。「曙は、ちょっとミーハーだから見せてるけど、ボクは試合まで見せたくない」とニッコリ。ちなみに夫人は恵比寿でドッグショップを経営中。175cm、144kg

『PRIDE・GP』？　頭は優勝しか考えてない。もし出れるんなら優勝したいです！

――ノゲイラが相手だったら、寝技じゃなくて当然、打撃勝負になりますよね。

戦闘竜　そう。自分はすぐ関節を決められないように勉強しなきゃいけない。

――まだ正式に出場は決まってはいないですけど、もしヘビー級GPに出られるなら、当然、優勝を目指すわけですよね。

戦闘竜　もちろん！　頭は優勝のことしか考えてない。せっかく出れるんなら優勝したいですよね。

――いまは早くリングに上がりたい、相手をブン殴りたいっていう感じですか？

戦闘竜　そうね。早く雰囲気に慣れたい。相撲の時は緊張しなかったけど、でも『PRIDE』は雰囲気とか全然違うから一日でも早く出たい。もし負けてもプラスになるし勉強になる。曙もそうだと思う。負けも勉強。悔しいから次は絶対勝ってやるっていう気持ちになるし。

――榊原代表は将来的には曙さんと戦闘竜さんを闘わせたいって言ってましたけど。

戦闘竜　『PRIDE』ルールだったら自分は構わない。でもK―1ルールだったら自分にはちょっと無理（笑）。

――『PRIDE』ルールだったら自信はあるんですね

戦闘竜　まあね。相撲では稽古場でしか対戦できなかった。もし曙と対戦できたら、横綱と対戦したっていう思い出にもなるし。いまはお互い違う道を選んだばっかりだけど、いつか闘えるように頑張ります。

――期待してます。ちなみに戦闘竜さんはプロレスは、興味はないんですか？

戦闘竜　ちょこっとだけ。昔から、あまり興味ないですね。でも一回観に行った。先輩の大刀光さんと横綱の北尾さんの試合。

――そういえば、大刀光さんが部屋の先輩になるんですよね。

戦闘竜　そうね。2人とも突っ張りを出し合ったりして笑っちゃいました（笑）。

――そうですか（笑）。曙さんはプロレス進出の可能性もあるんじゃないかと言われてますが、戦闘竜さんはいかがですか？

戦闘竜　自分は『PRIDE』だけ。プロレスのこと、いろいろ聞いたけど相撲と変わらない。付き人やったり大変ね（笑）。

――システムは似てますからね。

戦闘竜　そういうのは、もう嫌（笑）。だからプロレスはたぶんやらない。

――先ほど話題に出た先輩の大刀光さんや北尾さんもそうですが、大相撲出身で総合に挑戦した選手は何人かいますけど、正直あまり、いい結果を残せてませんよね。その辺はどう考えてますか？

戦闘竜　自分は相撲にプライド持ってるし、相撲やってる人間が恥ずかしくないように頑張るだけ。それに、さっきも言ったけど自分は相撲だけじゃないから。

――ウチの雑誌では大刀光さんをプッシュしてたんですけど期待に応えてもらえなかったんで（笑）、相撲最強幻想は戦闘竜さんに任せますので頑張ってください！

戦闘竜　先輩の分まで頑張ります！（笑）。大変だと思うけど、自分はファイティングスピリットが強いし、ケガしても幕内上がったから。『PRIDE』のリングで相撲は強いってことを絶対に証明します！

【2月18日／高田道場にて収録】

PRIDE Grand Prix HeavyWeight Championship

史上最大 宇宙規模
ヘビー級トーナメント
に出るのは誰だ？

噂の真相

構成／ジャン斉藤 designed by Tani-Yan（Two three）

小　昨年のミドル級グランプリに続いて、今年は重量級の猛者たちがズラリと勢揃いする『PRIDEヘビー級GP』の開幕戦がいよいよ再来月に控えてるわけですけど……もう待ちきれないです!! なんでもいいから極秘情報を教えてくださいよぉ!

中　ちょっと落ち着けよ（笑）。待ちきれない気持ちは痛いほどわかるけど、まずは今回のグランプリ（以下GP）システムについて簡単に振り返ろう。

大　ヘビー級GPは16名制のトーナメントで、3大会にまたがって開催される。4月25日に開幕戦、2回戦は6月20日、8月に予定されている最終戦で準決勝および決勝戦の2試合が行われ優勝者を決める。

小　優勝するには4試合を勝ち抜かないとダメなんですね。1DAYトーナメントでないとはいえ、これは過酷な闘いになるなあ。

中　1回戦と2回戦の会場はさいたまスーパーアリーナ。しかも4万人を収容できるスタジアムバージョン。決勝ラウンドは東京ドームや味の素スタジアムなど大会場を予定していて、『男祭り』としての実施も検討されたと聞く。DSEが全力投球するイベントになりそうだよ。

大　4カ月に渡って地球規模の〝リアル天下一武道会〟が繰り広げられることで話題性は持続する。出場メンバーもそれに相応しい豪華絢爛な顔ぶれになる。史上空前の総合格闘技トーナメントになるのは確実だろう。

小　肝心の〝オマエら男だぁ!〟な出場メンバーはどうなってるんですか? 高田本部長は『PRIDE・27』の高田劇場で、ミルコ、ヒョードル、ノゲイラ兄ら、『PRIDE』トップ3は出場確定と言ってましたよね。

中　ミルコ、ノゲイラ兄は決定。ヒョードル本人は出場の意思を明らかにしているが、DSEは現在、『猪木祭り』のドタバタの末、ヒョードルが移籍したレッドデビルとあらためて今後の参戦などについて交渉しているところだ。義理人情を重んじるロシアン・トップチーム（RTT）と違ってレッドデビルは非常にビジネスライク。どうなるかわからないところはあるが、出場は濃厚だよ。

大　『PRIDE・27』の「ヘビー級GPサバイバルマッチ」を制したハリトーノフ、ボブチャンチンやヒーリングは、ケガなど突発的なアクシデントがなければこのまま出場する。

中　現時点で実力派ファイター5名の参戦が決定。ただし今回のGPは、ミドル級GPの8名制とは違って大幅に出場選手枠が増えたから、すべての枠が埋まったわけではない。

小　桜庭の出場も取り沙汰されたりと、ヘビー級GPというよりは無差別GP。つまりは4年前の『PRIDE・GP2000』に近いニュアンスで捉えている媒体も多いですよ。

大　DSEサイドとしては、純度100%混じりっけなし、実力はもちろん体重もヘビー級ファイターたちの争いにしたい考えが強い。

中　桜庭のGPは見たいけど、本来ヘビー級に近い体重のファイターならまだしも、実質的にはミドルの下、ウエルター級だからなあ。闘いに人一倍……いや、人の十倍はテーマを求める田村潔司やホイス・グレイシーも、よっぽど興味を惹かれる対戦相手がいなければ参戦は難しい。

小　大晦日『男祭り』でマリオ・スペーヒーを流血葬に追い込んだ、パンクラスの近藤有己がGP参戦に名乗りを挙げてます。

中　参戦の可能性は限りなく低いだろうな。近藤は3月29日のパンクラス後楽園大会に出場が決定したことだし、DSEサイドとしては、ファンのニーズが高まっているヴァンダレイ・シウバ戦を優先させたい。

大　ところが、じつはパンクラスは『K-1MMA』にも選手を派遣するという話もある。かなり複雑な状況になっているんだよ。

小　複雑な状況といえば、ミルコ・クロコップが高山善廣との〝大晦日・幻の一戦〟をリクエストしてますけど、高山サイドは「いまごろ何を言ってるんだ」と拒否しましたね。

中　高山は定期参戦している新日本とのスケジュール的な兼ね合いもあるし、ビッグプロジェクトを推進中らしいからね。ミルコとしては『猪木祭り』欠場を「逃げた」と言われたのがよっぽど心外なんだろう。お互いの言い分はよくわかるよ。

中　俺が聞いた情報によると、吉田秀彦はアテネ五輪の関係で、GPにエントリーできない可能性もあるらしいよ。

小　え? まさか柔道に電撃復帰するんですか!?

中　たしかに吉田は〝VIVA! JUDO〟な柔道マンだけど、そんなことはありえない（笑）。吉田は先日の国際柔道でゲスト解説に起用されただろ? 今回のアテネ五輪でもレポーターとして、現地に飛ぶかもしれないんだ。

大　吉田はミドル級GPの活躍で一般層に届く遠心力に加えて、マニアックな格闘技ファンの求心力をも手に入れつつある。DSEからすると、ぜひとも出場してほしい選手。いまこそ〝ファンの後押し〟が必要なのかもしれないね。

小　吉田の〝オマエは男だ!〟な決断を期待したいですね!

〝日本人・最後の砦〟が参戦か

大　DSEと協力関係にあるZE

RO-ONE勢の動向も興味深い。『PRIDE・27』にはLAジャイアントも出場したが、じつは同大会でプレデターも出陣、ヒーリング戦がプランニングされていた。プレデターは『Dynamite!!』で勝利を飾ったことで総合進出にかなり乗り気らしい。

中 なんと、あのキング・アダモも「ホデマカセ、ホデマカ！ アダモちゃんもGPに出たい！ ペイッ!!」って息巻いてるそうだね（笑）。

小 み、見たいような見たくないような。アダモちゃんは『ハッスル』でフィーバーハッスルしてもらいましょうよ。

大 ZERO-ONEに関しては、あくまで各選手のモチベーション次第。ファンのニーズが高い小川直也は、プロレス復興を掲げて『ハッスル』に力を尽くしている以上、GP出場は100%ない。

中 ZERO-ONEからは、〝日本人・最後の砦〟横井宏考が有力候補になっているよ。『PRIDE・27』にノゲイラ兄が参戦すれば、横井が対戦相手だった。

小 横井のノゲイラ戦の噂は『週プロ』でも報道されてましたね。「スパーリングした選手の誰もが強いと声を揃える日本人」って扱いで名前は伏せられてましたけど。

大 横井は『武士道』でエイネモとの対戦もプランニングされていた。結局、エイネモのケガで流れたけど、横井はリングス時代から総合はいまだ無敗で〝怪物君〟の異名はダテじゃない。ただ、いまはプロレスに力を注いでいるから、本人がどういう判断をくだすのかがポイントになる。

小 へえ〜〜……って、さらって言ったから聞き逃しそうになったけど、〝北欧の巨人〟ことアブダビ王者のユノラフ・エイネモが、『武士道』に参戦するはずだったんですか？

中 エイネモは『PRIDE・27』のへ参戦も検討されていたって聞いてるよ。ただ、練習中のケガで出場は見送られた。実力的には資格は十分あるし、このままGPにスライドすることも考えられるが、ケガの状態によっては、年内中の試合は無理という話もあるね。

大 他の初登場組としては、すでに『PRIDE』参戦が決定している元幕内力士の戦闘竜や、UFCから刺客が送り込まれてくる可能性もある。

小 先日、ビクトー・ベウフォートに敗れてUFCライトヘビー級王座からは惜しくも転落しちゃいましたけど、ランディ・クウートアーは見たいなあ！

中 クウートアーも出場したい気持ちはあるみたいだよ。ただ、そのビクトー戦で負った目のケガが思いのほか重傷らしいから、どう転ぶかはわからない。ティト・オーティスも『PRIDE』参戦にはやぶさかでもないらしいが、UFCサイドはワンマッチを希望をしている。ティトはUFCの看板スターだから、横一線に並ばされるトーナメントは不本意なんだろう。

大 UFCからは、前ヘビー級王者のティム・シルビア、古豪ストライカーのペドロ・ヒーゾ、ヒースとの壮絶な殴り合いでファンのド肝を抜いたガン・マッギーなどが候補に挙がっているらしい。

小 ヒーゾは『猪木祭り』と契約したって話もありますけど……。

中 オマエはありえもしない話をホイホイ鵜呑みにするなあ。年に数回の開催予定をしていた日本テレビ版『猪木祭り』は、猪木サイドと日テレの間に入っていた川又誠矢氏の消息が掴めない。日テレ『猪木祭り』は消滅したといってもいい。

小 ボ、ボクだって、今回が散々な大会になったから、継続するのは難しいと思ってましたよ！

中 しかし、K-1なりがバックアップして、大晦日に『猪木祭り』を開催する線は残されている。3月14日に発進する『K-1MMA』のコミッショナーに猪木さんが就任するって話もあるからね。大局的な見方をすると、マット界はK-1と『PRIDE』との二極化が進んでいる。乱暴な言い方をすれば、『K-1MMA』に出ない選手は全員、GP出場選手候補といっても構わないんだ。

小 『K-1MMA』も始まるとなると、大晦日決戦同様、選手の引き抜き合戦が危惧されますねえ。なにしろコミッショナーは猪木さんだし（笑）。

大 いや、谷川大将軍様は〝『PRIDE』から引き抜きはしない〟と言っている。『K-1MMA』の方向性も『PRIDE』とは被らないと推測される。

中 ライブ空間の〝熱〟、ステージそのもの〝場力〟を重視する『PRIDE』とは違って、最近のK-1は、曙やサップを使ったテレビコンテンツとしての比重に傾いているからね。

大 『PRIDE』とK-1では、総合格闘技で培ってきたものが歴然としてる。『PRIDE』は総合格闘技というジャンルを深く掘り下げる作業、たとえば〝いま一番強いのは誰か？〟を追求したり、『PRIDE・27』ではまさかの惨敗を喫してしまったけど、マーク・ケアーの栄光と凋落の陰影をリングにあぶり出すことで、『PRIDE』の歴史を再確認したりもできる。一方では、最近ではハリトーノフに代表される新時代の予感を抱かせるファイターもドンドンと登場する。『PRIDE』のリングには、世界でも類を見ない壮絶な総合格闘技の歴史が刻まされているからこそ、現在、過去、未来へと、あらゆる打ち出しが可能なんだよ。

中 でも、『K-1MMA』とひとつだけ被るところはあるよ。大晦

噂の真相

日『男祭り』でテレビ局サイドから一番、好評だったのは、なんと〝大巨人〟ジャイアント・シルバだった（笑）。

小　ああ、ヒーリングvsシルバを放映した時間帯の視聴率は、なんと20％を突破したみたいですね！

中　そのため一部の関係者からは〝シルバをGPに!!〟というリクエストも寄せられている。K—1モンスター路線がある意味で正しかったことが、『PRIDE』のリングでも証明されたんだ（笑）。

新日本勢の参戦はあるのか？

中　K-1といえば、『猪木祭り』に転出したステファン・レコがK-1からのオファーを断り、『PRIDE』と複数回契約をした。GPにこのまま参戦する公算は高いよ。

小　レコが出るとはいっても、所属チームのゴールデン・グローリーからはヒーリングがすでに参戦予定。シュルトにも出てもらいたいし、チーム内の調整も難しそうですよねえ。

中　ブラジリアン・トップチーム（以下BTT）からはノゲイラ兄の他に、『PRIDE』無敗の〝柔術王子〟ヒカルド・アローナの出撃準備もできている。アスエリオ・シウバ、〝BTTの次期エース〟アンジェロ・アロウージョらブラジルの実力者たちをアッサリ破ったヒョードルの弟、アレキサンダーも候補に上っている。準決勝、決勝に進むに連れ、まさかの同門対決、兄弟対決が強いられても不思議じゃないよな。

大　いや、レッドデビル内の調整は意外なかたちでついている。じつは、アレキサンダーは地元の酒場で大喧嘩をやらかしてして大ケガを負った。GP出場はまず無理だろう。いまは入院中らしいから。

小　ヒョードル弟が病院送り!?　ロシアには腕っぷし強い奴がゴロゴロしてるんですねえ（笑）。

大　〝ノゲイラに寝技で負けなかった男〟コピィロフおじさんもなぜかGPに闘志を燃やしている噂もある（笑）。ロシア勢からは当分、目が離せそうもないよ。

小　シュートボクセからは誰がエントリーするんですか？　ヴァンダレイには二階級制覇を目指してもらいたいですけど。

中　ヴァンダレイはミドル級の主役として、GPとは違った流れで闘っていくようだよ。シュートボクセからは、ムリーロ・ニンジャの派遣が検討されていると聞いている。ニンジャはヘビー級というステージでは未知数なところはあるが、その実力＆実績は文句なし。スタミナは『PRIDE』ファイター中でも1、2を誇っている。あのアローナが〝二度と闘いたくない〟ってボヤいたぐらいだからね。

小　シウバはムリだからムリーロ・ニンジャ。な〜んつってなダハハハハ！

大・中　………。

小　む、無理といえば、『PRIDE』と新日本の政治的な向き合いのため、現実的には出場は厳しいとされている藤田和之、ジョシュ・バーネットにも参戦してほしいなあ。

中　藤田はたしかにGP出場を示唆しているけど、猪木さんは『PRIDE』から離れて、新日本に軸足を据えているし、K-1と協力体制を敷いている。猪木さんが藤田に出撃司令を下すのは、永久電機が発動する可能性より低い気がするよ（笑）。

大　新日本と『PRIDE』の関係は、もはや選手個人が〝出たい〟と言ったところで片づけられなくなっている。ただ、状況が許すのであれば、DSEはジョシュ・バーネットにはオファーを出す準備はできているらしいよ。

中　本人も出たいようなことをアチコチで言ってるみたいだけど、最終的には新日本の判断に委ねられるわけだ。

小　でも、こうして情報を聞いてみると、出場候補選手がいっぱいいますねえ。トップ3とサバイバル勝ち残り組以外に、吉田、横井、シルビア、エイネモ、プレデター、アローナ、レコ、それとコピィロフおじさん！　猪木さんじゃないけど、世界中の選手から申し込みが殺到しているンムフフフってかんじですよ。

ヒョードルは〝制裁マッチ〟か

小　それで、気になる組み合わせはどうなりそうなんですかね？　とりあえず、ボクの願望込みでトーナメントをつくってきたんですけど！（図1参照）。

中　気が早いなあ（笑）。

小　ワンブロックでいきなりトップ3が潰し合う。開幕戦、2回戦は3人が中心になります。で、実力が抜きん出ている3人と絡まないことで、必然的に他のブロックからは〝新しいスター〟が誕生しやすくなるってわけですよ。

中　いや、あくまでトップ3は、決勝ラウンドまでは良い意味で引き延ばすと思うよ。たしかにあの3人は超人的に強いけどさ、勝負はいつ何時どう転ぶかわからない。はたして3人は勝ち上がって相まみえることができるのか？　ドキドキワクワクヒリヒリしながらファンは見ることになるから、3人が揃って決勝ラウンドに進出することになれば、いかなる優勝者が誕生しようと最高のカタルシスが待っているはずだよ。

小　まあ、ボク的には一回戦だろうが決勝だろうが、トップ3の絡みが見れればいいんです。〝黄金の三角関係〟に決着が付けば、もう21世紀は終わってもいいんですよっ!!

大　一回戦に関しては、『PRIDE・27』終了後に榊原代表も言っていたけどヒョードルとハリトーノフの対戦が濃厚だろう。〝ロシア最強決定戦〟、レッドデビル移籍に端を発する〝遺恨凄惨マッチ〟の意味合いもある。

中　いや、ヒョードルは、より過酷な制裁マッチが組まれると思うけどな。あまりの巨体が故に誰もが試合を避け、ここ最近はマッチメイクすらも困難で、試合からは遠ざかっているがいまだ実力は一流……そんなとてつもない強豪が用意されると聞いてるよ。

小　だ、誰ですか？　巨体で試合を避けられてるというと……ま、まさかガファリ？

中　たしかにガファリは嫌われ者で誰からも試合を避けられているけど、まったく違います（笑）。ズバリ、〝白鯨〟トム・エリクソンのことだよ！

小　あ、それは厄介な相手ですね！　誰もが対戦を避ける〝白鯨〟を仕留めたら、ヒョードルはいよいよ世界最強を名乗っても文句ではないですよ。

大　俺の情報筋では、コールマンとボブチャンチンの『PRIDE・GP2000』ファイナリスト対決が候補に挙がっていると聞いた。他には、異種格闘技戦の匂いが漂うステファン・レコvs吉田秀彦。3月上旬に予定されているカード発表会見までは二転三転するだろうけど。

今年の『PRIDE』の動き

中　GPに話題を奪われがちだけど、俺はどちらかというと、GP以外の『PRIDE』の動きに興味があるんだ。今年の『PRIDE』は、GP以外にもいろいろ隠し玉が用意されているらしいから。たとえば、つい先日、ボクシングから引退を決意したレノックス・ルイス。

小　ルイスはK―1もさっそく獲得に動こうとしてます。

大　いや、『PRIDE』はかなり前から動いていた。『紙プロ』NO・68で報道されていた『男祭り』の〝巨大な隠し玉〟〝マイク・タイソン以上の実績を誇る掛け値なしの超大物〟とは、レノックス・ルイスのことだったんだろ？

中　正解。ただし、『男祭り』に出場するとしても、ボクシングマッチを希望していたんだよ。

大　ルイスは総合格闘技にも興味を抱いているらしいよ。超一流ボクサーとはいえ総合の経験はないから、いきなりのGP出場はないと思うが、夏から年末にかけてサプライズ的な登場は大いにありえる。将来的にはボクシング進出も目論むミルコが、ルイスとボクシングルールで対決……なんてことも決して夢ではない。

中　GP以外の流れとして、昨年、大爆発したミドル級戦線もかなりの期待感がある。ランペイジのケガで消滅したが、『PRIDE・27』ではランペイジvsダン・ヘンダーソンの〝次期ミドル級王座挑戦者決定戦〟が予定されていた。

小　ちゃんとミドル級の流れもつくろうとはしてたんですね。

大　そのカードならGPでスーパーファイト的な位置づけも文句なくできるし、『武士道』のメインでも何ら問題はない。すでに報道されているが、『武士道其の二』ではヴァンダレイ戦を近藤にオファーしていた。近藤が断ったことで美濃輪にチャンスがまわってきたんだ。今年はGPシリーズが中心になっていくことで、従来のナンバーシリーズは、現時点では10月予定の『PRIDE・28』のみ。ナンバーシリーズが頻繁に開催されない以上、そういった垂涎カードは『武士道』で多く組まれていくだろうね。

小　『武士道其の二』にヴァンダレイやミルコが出たように、桜庭、田村が参戦するってこともあるわけですね。

中　ミドル級とは別に、軽中量級も厚みを増してきそうだ。軽中量級とはいっても、さらに細かく階級が分かれているから、説明はかなりしづらいんだけど。名前だけザッと挙げていくと、『紙プロ』読者には馴染みが薄いが、エイネモと同じジムの元・修斗王者ヨアキム・ハンセンなんかは、いつ登場してもおかしくない。

小　佐藤ルミナや、『武士道其の二』で快勝した五味隆典を破ったこともある選手ですね。

中　先日のUFCでカロース・ニュートンに完封勝利を収めたヘナート・シャルート・ベリーシモにも、DSEはさっそく興味を示している。『武士道其の二』にはクラウスレイ・グレイシー、ヒカルド・アルメイダもリストアップされていて、アルメイダはマッハ戦、上山戦が実現寸前だった。

大　超大物でいうと、フランク・シャムロックの『PRIDE』出陣もついに本決まりになった。9月に予定されている『PRIDE ラスベガス』での桜庭戦が現実味を帯びてきている。そこにホイスが加わり三つ巴になって、フランクとのUFCスター対決、はたまた〝20世紀最大の名勝負〟桜庭vsホイスの再戦が行われても不思議じゃない。

大　田村もホイス戦を希望してるし、フランクとはリングス時代に引き分けに終わった因縁がある。田村が加わった四つ巴の争いもありえるだろうね。

小　最終的には、今年の大晦日『男祭り』で田村vs桜庭！　この試合が実現するなら、もう21世紀は終わってもいいですよっ!!

中　トップ3の決着戦で21世紀は終わりじゃなかったのかよ（笑）。

〈小〉が予想した“黄金の三角関係・決着戦”

- 吉田秀彦
- ヒース・ヒーリング
- 桜庭和志
- ジャイアント・シルバ
- イゴール・ボブチャンチン
- 横井宏孝
- ドン・フライ
- ステファン・レコ
- マーク・コールマン
- セルゲイ・ハリトーノフ
- ガン・マッギー
- 中村和裕
- アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ
- ユラネフ・エイネモ
- エメリヤーエンコ・ヒョードル
- ミルコ・クロコップ

現実的にありえるトーナメント

- ムリーロ・ニンジャ
- ヒース・ヒーリング
- ドン・フライ
- ユラネフ・エイネモ
- UFC選出
- ミルコ・クロコップ
- セルゲイ・ハリトーノフ
- エメリヤーエンコ・ヒョードル
- セーム・シュルト
- ザ・プレデター
- 横井宏孝
- アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ
- 戦闘竜
- イゴール・ボブチャンチン
- ステファン・レコ
- 吉田秀彦

絶対にありえない DSEvsK-1&新日本対抗トーナメント

- 曙
- ジャイアント・シルバ
- レイ・セフォー
- 田村潔司
- 吉田秀彦
- 中邑真輔
- セルゲイ・ハリトーノフ
- ピーター・アーツ
- ミルコ・クロコップ
- 高山善廣
- ボブ・サップ
- エメリヤーエンコ・ヒョードル
- 藤田和之
- イゴール・ボブチャンチン
- アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ
- ジョシュ・バーネット

■『PRIDE・GP』シリーズ日程

4月25日	さいたまスーパーアリーナ／『PRIDE・GP』開幕戦
6月20日	さいたまスーパーアリーナ／『PRIDE・GP』準決勝7月
8月	都内大会場／『PRIDE・GP』決勝ラウンド

■座談会出席者

【大】選手＆団体関係者に強力なパイプを持つ。この人に聞けば、選手の性癖すらもすぐわかる。

【中】業界に強力な情報網を張り巡らせる事情通。守備範囲は海外までにも及ぶ地獄耳。

【小】フットワークの軽さには定評があるが、いまだファン気質を捨てられないお調子者。

『双頭の竜の遮断と確執』

井上義啓

I編集長が『PRIDE』vsK-1大戦争を斬る!!

「いやね、あの卍（まんじ）固めなんて、立ったまま決まりはしないんだよ。実際にやってみれば、すぐ分かる話ですよ。必ず、掛けられた方がへばってしまうんだ。支えてなんていられませんよ、あんた…」

もう何十年も前の追憶。それは「閑かさや 岩にしみ入る 蝉の声」で知られる山寺（山形県 宝珠山立石寺）で見た芭蕉の句碑に似て、立ちこめる山霧の中に茫洋として沈む。

この声の主は豊登道春。乃木坂（東京都港区）での赤い自転車。若かりし頃、豊登のロードワークを取材した時、豊さんは力道山ゆかりの自動車を愛しみながら、こう言って、フッと笑った。

どうして、こんな文章を書き始めたのか。賢明な読者諸兄はおろか、頭の切れる山口のダンナ（山口日昇編集長）ですら、ポカンとした目で空を仰ぐ。

「もしもし。K・1とDSEの一連の対立について、原稿をお願いしたいのですが…」

紙プロ編集部から電話があった時、うんうんと聞きながら、瞬間的に思ったのが豊さんであり、赤い自転車であり、それに繋がっていった冒頭の談話だった。

K・1とDSEの対立の構図。そうと聞いて、なぜ、BI時代の新日プロと全日プロを思い浮かべなかったのか。

猪木と馬場の対立は、一見、過酷な潰し合いに見えて、その実、共存共栄を図るプロレス業界のチエ以外の何物でもなかった。

それは春風にそよぐ蝉塚のタンポポ。それに引き替え、K・1とDSEの生き

K-1vsDSEこの対立の図式が格闘技界に血生臭いイラクの風景を呼び込む

残りゲームは比叡山の山頂で出くわした鬼ヤンマが赤トンボをむしゃぶり食う棄市の姿である。大昔、中国では罪人の首を切り、その屍骸を市中にさらした。「そこまではいかんでしょう」とおっしゃる。いえいえ、これに近い感覚がいつか現実のものとして、あなたの目の前に出て参りますよ、きっと……。

昨年まで、K・1とDSEは〝BI時代もどき〟であった。それを険悪な空気に変えたのはミルコ・クロコップである。ミルコがK・1からDSEに移ったのは掟破りでも何でもない。単なる契約の一過程に過ぎなかったのだが、やはり〝世間〟はこれを引き抜きという乾いた言葉ではやし立てた。そして〝アントニオ猪木による大晦日の、あのミルコ、エメリヤーエンコ・ヒョードル騒動〟へと繋がる。猪木はDSEから去り、石井和義・前正道会館館長と手を結んだ。この対立の図式が今後の格闘技界に血なまぐさいイラクの風景を呼び込む。

K・1とDSEによる2月15日の、2度目の同日興行。この日、あるプロ格闘者にこう聞かれた。

「K・1・MMAルールって、本当のところは何ですねん」

〝本当のところは〟とのこだわりが〝平成のデルフィンたち〟とは根本的に違う。簡単なようで難しい問い掛けに〝大阪の馬鹿〟はこう答えた。

「K・1が独自に創り出す総合のルールじゃない。単なるMMAルールだろうが、相手のDSEと区別しなければならないとあって、アタマにK・1と冠せた」

そうは言ったものの、少しはプロ格の匂いのするルールが入り込んできそうな気がする。冒頭の卍固めにまつわる豊さんの話は、こうしたK・1・MMAルールが頭のどこかにこびりついていたから、ポーンと生じた。

それは私の新しい引き出し。それが自然に引っぱり出されて〝黄色い脳細胞〟に閃いたのだ。だから〝瞬間的に〟乃木坂の赤い自転車が思い浮かんだのであろう。空想児の駆け出す石ころ道は、このように懐かしく遠い。私は「プロレスは感覚である」と言ってきたが、この論法はちゃっかりと格闘技のページにも横滑りして、テナーという顔で鎮座ましましている。

「プロレスと格闘技とは似ているが、全く別物である」。猪木は自分の道を辿って「どこが違うんだ!」。そう、根本は同じ。しかし、青いナイルと白いナイルは、やはり別物です。

K・1とDSEがもたらす幕末の騒乱とは何か。この拙文を読んでいるあなたには自明の理であろう。ポイントは、このルールはどんな「不思議の国のアリス」をもたらすかである。本当は打ち上げ花火のように、パーッと消えていくが、ここでは、夢創り人でありたい。猪木は言っている。「これから起こる話は、どうなるか分からないじゃないか。それをマスコミは、うまくいくはずがないと決めつける。どうして、そんなに夢を持てない発想をするんだろう?」と……。だから、早春に似た思いを大切にしたい。明日は北野天満宮の梅園に行こう。今年も、お茶と素朴な和菓子で五百円だろうか。

3月14日。新潟でのK・1・MMAプレ旗揚げ戦。スティーブ・ウィリアムスの登場はともかく、朝青龍の実兄・スミヤバザルを新しい組織のボス、ボブ・サップが指名したことは、近い将来、必ず格闘界に転身する朝青龍に太いパイプを通したことを意味する。2・15沖縄では、曙のすぐ横に花田勝氏がいた。これだけでも、榊原信行DSE社長はうんざりものなのに、サップの「オレはスモウキラーだ」に花田氏がマジ切れしたと聞いては天を仰ぐしかない。曙がK・1に投じた時、「ヨコヅナクラブ」なる名称を立ち上げた人がいたが、『I予言』などハダシで逃げ出す深謀遠慮ではないか。ジョージ・フォアマン、カート・アングル、ブロック・レスナー…。私に言わせるならレノックス・ルイスにイベンダー・ホリフィールドとなる。冗談めいて口にしたウラディミール・クリチコにしても、「ミルコが国会議員になり、クロアチアの首相から託された親書を小泉首相に手渡すのをテレビで見て、編集長（私の呼び名）の予言が半分、当たったと思いました」となる。

K・1・MMAの立ち上げで、「PRIDE武士道」を軌道に乗せたDSEとの潰し合いは熾烈の度を増す。DSEはPRIDE本戦と「武士道」の二本立てで、1、3、12月を除くと、交互に毎月開催という挙に出た。2月は本戦と「武士道」がダブっており、11月に東京ドームでビッグマッチを開催するとなると、11回というラッシュとなる。しかも、9月にはラスベガスへ初進出すると言うのだから、K・1とは毎月、正面切ってぶつかり合うことになる。この争いにWWEが一枚かむとなると、どうなるか。

私が「K・1、DSEとも新人のスカウトに本腰を入れないとマッチメークが組めなくなる」と、当たり前の話を活字にしたのはこのためだ。アレクセイ・イグナショフ、レミー・ボンヤスキーと新勢力は台頭してきているが、これだけ試合数が増えたのでは、仰天もののメーンカードは組めない。戦闘竜の引き入れは楽しみだが、自力で魔裟斗クラスの大物を育てることこそ、共倒れを防ぐ唯一の手段だと愚考する。

5月に旗揚げされる「K・1・MMA」に、新日プロ・上井執行役員は、藤田、LYOTO、中邑、高阪、成瀬、永田、バーネット、X（未定）の8人を送り込むと早々とノロシを上げた。第一回大会だし、花をそえるとの意味で、このメンバーで十分だが、私に言わせるなら、猪木軍は藤田、安田、LYOTO、スミヤバザル、バーネット、高山、天田ヒロミ、グッドリッジ（いずれ名を連ねる）などで賄い、中邑、柴田、棚橋、真壁、成瀬らに若い矢野通、井上亘、田口隆祐、後藤洋央紀などをバード戦士に仕立て上げて新日バード軍団とした方が得策のように思える。無論、時間を要するが、新日プロの命運は、上記の若者が握っているのだから。「Dynamite!!」「イノキ・ボンバイエ」、K・1・MMAと谷川貞治氏が立ち上げたFEGがぶっ放すプロレス&プロ格イベントをにらんでのバード軍団結成こそ急務。これに対して、DSEサイドも強力な三本柱で対抗の姿勢を崩しておらず、長州が非公式に口にした全日プロ、ノア、ZERO・ONE、WJプロレス大同団結案にしても、DSE、フジテレビサイドの意向を受けたものとして興味深い。（T）

自力で魔裟斗クラスの大物を育てることこそ共倒れを防ぐ唯一の手段だと愚考する

CONTENTS

紙のプロレス RADICAL

2004 NO.71

Main-Event

世界最強は『PRIDE・GP』が決める!!

※吉田豪『書評の星座PART2』は都合によりお休みですよ。

本誌失踪編集長・今月の直言

洋モノ万歳♥

『PRIDE』×K-1×新日本×WWE!!
2月決戦から見えたものとは?

'04マット界展望座談会

構成/ジャン斉藤 designed by Tani-Yan(Two three)

山口　さあ、豪ちゃん！　今月のY2談も〝俺も男だよ！〟とばかりに張り切って行ってみようか！

ガンツ　会長（山口のアダ名）、誠に遺憾ながら今回、吉田さんはいません。

山口　（大袈裟に辺りを見渡して）あれれ？　豪ちゃんがいない！　どうして？♪何でだろう〜何でだろう〜なななな何でだろうぉ♪

ノブ　（呆れて）わざとらしいのにも程があるのに、ネタも古すぎますよ！

山口　（無視して）きっとどこかに隠れてるんだろ？　男だったら、出てこいやーーっ！（高田張りに身体を仰け反って）。

ガンツ　ま、ホントに〝ファン待っとるぞ！〟って感じですけどねぇ（笑）。

山口　ガハハハ！　事情を知らない読者のために、わざとらしいついでに聞くけどさ、豪ちゃんは今回どうしていないの？

ジャン　Y2談担当のボクから言わせてもらうと、吉田さんはスケジュールの都合により今月はお休みです。よって編集部座談会に変更となりました！

山口　スケジュールの都合ぉ？　そんなのウソだ！　何かあったんだろ（笑）。

ジャン　とにかく！　吉田さんは映画出演もあったりしていろいろと忙しいんですよ。

山口　映画出演？　何それ？

チョロ　西村修が主演で、プロレスラーを題材した『いかレスラー』に吉田さんも出るんです。桜庭にも出演のオファーがあったらしいんですけど、桜庭は断ったみたいですね。

山口　サクはDSEの映像部門ドリームステージピクチャーズ制作『殴り者』の出演も拒んだぐらいだからね。

チョロ　「製作総指揮・榊原伸行」の映画ですね。

山口　その『殴り者』には、たなぼたで金ちゃん（金原弘光）も出てるんだ。本当はヤマヨシが出るはずだったけど、ミルコ戦の調整に向けて出れなくなったから。誰かヒマな奴はいないかってことでアッサリ決まったんだよ（笑）。

ガンツ　久しぶりに表舞台に出てきた金ちゃんですが、役どころは〝素人に腕を折られる〟役らしいです（笑）。

山口　ガハハハ！　金ちゃんはケガも癒えたらしいしさ、そろそろリングにも早く出てこいやっ！……ってことで、豪ちゃんは何で出てこないの？

ノブ　ホントしつこいですね。詳しくは会長のコラム不更新が来月でちょうど1年を迎える『紙プロHand』を参照してください！

山口　冷たいなあ、ノブは。やっぱり愛すべきは長年の相棒だね。俺はいまターザンばりに豪ちゃんに会いたくなったよぉぉぉぉお！

チョロ　ターザンといえば、山本さんは杉山（『週プロ』初代編集長）さんとのタッグでベースボールマガジン社（『週プロ』版元）に復帰して、『Number』を意識した本を出すプロジェクトを進めてるみたいですよ。

山口　ターザンがベースボールにカムバック？　まだターザンに手綱を委ねる出版社があったんだ（笑）。

ガンツ　でも、ベースボールが正式辞令を出す前の内定段階で、山本さんが『ファイト』等でそのことを書きまくったことがベースボールマガジンの社長の逆鱗に触れて、早くも謹慎処分を下されたそうです（笑）。

山口　ガハハハハ！　相変わらずだなあ、ターザンは。また得意の責任転嫁でベースボールのことボロクソ言ってるんじゃないの？

ガンツ　ところが、57歳にして恋人ができたおかげで、思いの外、炎上してないんですよ。もう愛こそすべてって感じで（笑）。

K-1にはプロレスをやってもらいたい！ お手軽に楽しく見れるものになる［ノブ］

山口　ターザンに恋人？　ホントかよ！

ガンツ　ターザンカフェの日記でも、バラ色の人生が伺いしれてます（笑）。

山口　ん？　そのターザンカフェって何？

ガンツ　あれ、会長は知らないんですか？　ネットのイビジェカフェというフォーラムで〝プロレス〟〝格闘技〟〝サッカー〟〝競馬〟〝ノンジャンル〟に並んで、なんとターザンカフェも開設したんです。山本さんもついにジャンルとして確立されたんですよ（笑）。

山口　……しかし、豪ちゃんはいなくてもターザンのネタはボロボロ出てくるなあ。あんまり語っているとターザンに呪われるから、さっさと座談会を進めよう！

ジャン　はい！　今月の大きい話題で言えば、新日本、K－1、『PRIDE』の2・15興行戦争がありましたけど、この辺りから行きましょうか。

山口　まあ、興行戦争とはいってもK－1は沖縄だから場所も離れているし、新日本と『武士道』だとジャンルも違うから、興行戦争というニュアンスではなかったよね。気が付いたら三大会あったってかんじでさ。

ジャン　ちょっと前のK－1会見で、谷川さんは「んあ〜、新日本もあるんですかぁ」って驚いてました。とても新日本と協調路線を敷いている団体の主とは思えない発言ですよ（笑）。

ガンツ　榊原代表風に言うと、〝ま、プロレスということで〟問題ないんだろうね（笑）。

山口　そんなK－1沖縄には、『紙プロ』から中村カタブツ君というライターさんが取材に行ってるけど、電話で大会の感想を聞いたら「どの試合もKO決着で会場も盛り上がった！」って言うんだよ。でも、テレビで見たけどそういう次元の問題じゃないよ、あの内容は（笑）。

ガンツ　〝どっちが勝つか〟という格闘技的な楽しみをあそこまで排除した作りは画期的ですよ。曙軍vsサップ軍のどちらが勝つかなんて、紅白歌合戦の赤勝て白勝て以上にどっちが勝とうが関係ないですからね（笑）。

座談会出席者

Profile

テーマ
今月失ったもの

本誌鬼畜編集長 山口日昇	本誌健介大好き 松澤チョロ	本誌現場監督 堀江ガンツ	本誌雀士 ジャン斉藤	本誌 パンフ職人
本人自体が今月、二度に渡り失踪！	精算してもらうはずだった中川画伯の領収書！	闘龍門福岡大会に出張。福岡行きの航空チケットを編集部に忘れ自腹を切る！	嫁からの愛情！	全日本最後の武道館大会。プレスルームにてノートパソコンを盗まれる！

ノブ　ただ、いまのK－1は登場人物はバラエティにとんでいるし、あのレベルにハードルを置くのは、地方興行としてはいいとは思うよ。
チョロ　「曙vsサップ第二章」という番組構成で煽ったことで視聴率もいいんですよね。NHKの大河ドラマ『新撰組！』を超えて、大晦日に続いて"日本の伝統番組"に勝利したみたいだし。
ジャン　これには『ゴン格』で「あのね、香取慎吾が幕末の志士なんかをね……」って、『新撰組！』に噛みついてた前田日明も喜んでるはずですね。
ガンツ　喜ぶかよ！　いま日明兄さんは、毎日オンラインゲームで忙しいんだから、K－1なんか興味ないよ！　……と、某パチスロ雑誌でなぜか日明兄さんを取材したカタブツ君はそう言ってました（笑）。
ノブ　K－1ジャパン沖縄の場合は、とにかく負けても良い試合をしたらボーナスを出す"K－1版￥マネーの虎"方式を角田さんが提案したんですよ。こうして"全試合KO決着"になってる。マネー成立してるわけですよね。
山口　これは前から言ってるけどさ、K－1はテレビコンテンツとして比重を置いてるし、いまのK－1はテレビとしてはいいつくりだと思うよ。
ガンツ　まあ、あれだけ乱闘騒ぎを叩かれているのに、今回もサップが"うこんまみれ"になったりしてるわけですからね。あの開き直りは本当に素晴らしいですよね（笑）。
チョロ　3月14日に新しく発進するK－1MMA（仮）には、IWAからスティーブ・ウイリアムが参戦するので、K－1とIWA二丁目劇場との融合も楽しみですよ（笑）。
山口　K－1MMAの名称はK+1（ケイプラスワン）になるって話もある。これは（石井）館長十猪木さんという意味もあるかもしれないんだけど（笑）。
ガンツ　「K－1は"和義一番"だね」っていう有名な言葉もありますからね（笑）。構造的には『PRIDE』を省いたかたちの、猪木軍vsK－1が開始した4年前に戻ったわけですよね。
山口　エ？　プライドのないK－1と猪木さん？　ガンツは本当にヒドイこと言うなあ（笑）。
ガンツ　会長、ボケの時間はとっくに終わってます（笑）。とにかくK－1MMAのポイントは、どれだけ『PRIDE』と違う価値観の総合格闘技メジャー舞台を作れるかでしょうね。総合格闘家としてのクオリティの高さだったら、『PRIDE』に軍配があがるに決まってますから。
ノブ　そうすると、自前のスターがいるK－1は強いですよ。TOAとかモンターニャ・シウバとか！
山口　おい、「自前のスター」で最初に出てくる名前がTOAじゃヤバイだろ！
ノブ　いや、ボクは規格外のデカイ奴同士がぶつかりあう試合を純粋に見たいんですよ。昔の全日本を観る感覚ですよね。
山口　明るく楽しく激しいバーリ・トゥード（笑）。
チョロ　どちらかというと、世界ビックリ人間大集合的ファイトですね！　オッパイ星人とか出て欲しいなぁ。
ノブ　（無視して）それを2ヶ月に一度、開催するのは新しいと思うんですよ。
ガンツ　それは目新しいだけで新しくないでしょ。勝敗に興味がないモノを見続けるのはキツいと思うよ。
ノブ　いや、テレビで見る分にはちょうどいいんだよ。
ガンツ　だったら、ビックリ人間大集合が長寿番組になってるはずじゃない？　K－1本戦がしっかりしている状況で、イレギュラーを起こす意味では面白いけど、すべてバケモノだらけになったらさすがにマズイでしょ？
ノブ　いやいや……。
山口　（遮って）今年のK－1がバケモノ路線になると決まったかのような話をするんじゃない（笑）。サダハルンバも「GPは今年は勝負論に走ります」って言ってるんだから、バケモノ路線だけではマズイと思ってるのはたしかだよ。たとえば、曙やサップの賞味期限が切れたらどうすんの？　ってことだしさ。
ノブ　主役を交代してもいいように、ストーリーラインをつくればいいんですよ。
山口　だったらプロレスやりゃいいじゃん（笑）。
ノブ　（即座に）K－1にはプロレスをやってほしいんです！　役者も揃ってるし、谷川さんがビンスになるという最適なチョイスもあるし。
山口　それは見たい！　そうなったら、俺も喜んでサダハルンバのケツにキスするよ（笑）。
ガンツ　"打倒・谷川"を掲げているターザンなんかはノーアングルで乱入してきそうですよね（笑）。
ノブ　舌戦だけで3ヶ月ぐらい引っ張れば、お手軽で楽しめるものになると思うんですけどね。
山口　お手軽って、オマエは興行を何だと思ってるんだよ（笑）。そのバケモノ路線にしてもガチンコの緊張感が加味されていたから、まだ見れるところもあったじゃない。
ノブ　たしかに、『W－1』では格闘家

K－1のKは怪物のK！　とばかりに、サップ、ガムリン、キモ、モンターニャなどなど、沖縄大会にはモンスターたちがズラリと登場。TV中継のゲスト解説を務めていた曙、若花田の元・横綱コンビは、サップの"スモウキラー"発言にマジギレ!!　若花田もこのまま参戦？　そこにTOA、クリフ・コウザも加わるオール怪獣大行進バトルはぜひ見たい！

にプロレスやらせて大失敗してますもんね。
山口　そんなにプロレスは甘くないよ。いまのK-1には、昔のプロレスのイメージを現代風に実現させてる趣はあるけどさ。『PRIDE』も一時期は〝現代のストロング・スタイル〟という呼ばれ方をされていたけど、『PRIDE』はそこから飛び抜けちゃったでしょ。あまりにも強い奴らがドンドン出て来たり、あまりにも残酷な結末を迎えたりさ。
ガンツ　『PRIDE』は残酷なまでに〝どっちが強いか〟というのを突き詰めることが宿命になってますからね。K-1MMAは逆にプロレスのロジックだけを残して、どっちが強いのかをトコトンわからなくして延命をはかる気がしますね。
チョロ　いい意味でいえば、試合に勝負論以外のテーマやキャラクターを求める。悪い意味で言えば、キャラが立てばどっちが勝とうがどうでもいいっていうか（笑）。
ガンツ　サップがK-1MMAのエースになったのも、K-1ワールドGPシリーズだと、K-1内でのサップの本当の強さや序列がハッキリとわかっちゃうからでしょう。逆にサップは今度、スミヤバザル（・ドルゴスレン）と闘いますけど、勝とうが負けようがそのスミヤバザルがどのぐらいのレベルかわからないから実力は問われない。ようは傷が付きにくいわけですよね。こうなると、プロレスラーがVTに出る場合も、『PRIDE』よりもK-1MMAのほうが出やすくなるわけですよ。
山口　そういう視点から見ると、藤田や高山がもしK-1MMAを出場することになれば、プロレスラーがVTに出ることとの分岐点になるよ。

“ストーンコールド”としては日本初上陸となるスティーブ・オースチン。連日の乾杯劇で観客たちを大興奮に誘った。さいたま大会でも、スタナーでビショフやオートン、ハーディーらを蹴散らし、ビールを次々とガブ飲み！　これぞ極上の宴会芸だ！

プロレスのエッセンスをすべて真剣にブチ込んでるのがWWE［ガンツ］

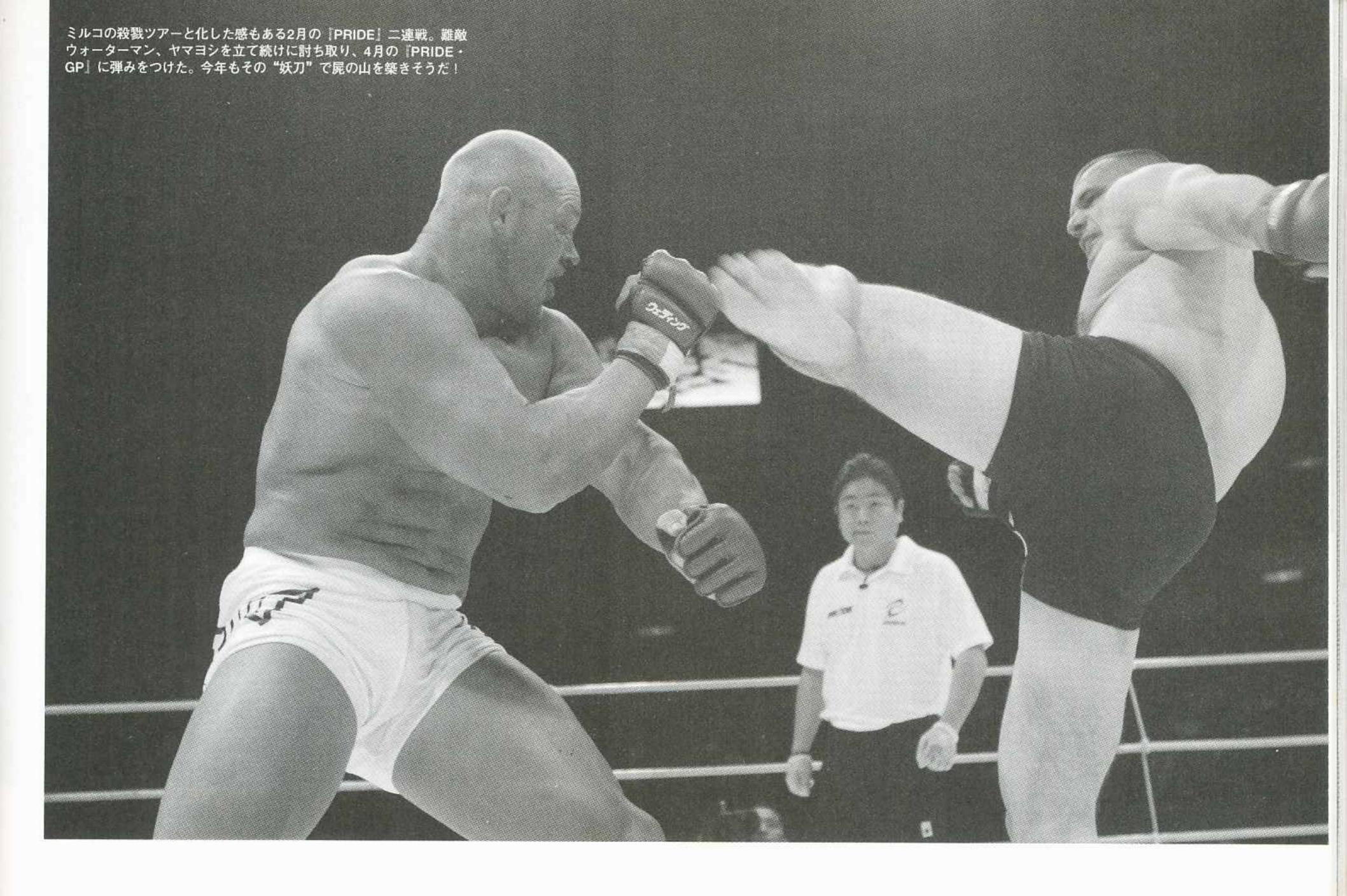
ジャン　プロレスの世界と似た価値観の中で闘うわけだから、新しいかたちではありますね。
山口　K-1と『PRIDE』が協力していた『猪木祭り』や、『Dynamite!!』などのビッグイベントでは、そういった世界観が多少はあったけど、K-1MMAはシリーズ化されるわけでしょ。『PRIDE』のナンバーシリーズに上がり続けるということは、結果を出し続けることがどうしても要求される。いまの総合のレベルを考えると二足のワラジは不可能に近い。『PRIDE』という舞台はあらゆる覚悟が問われちゃうわけ。それはK-1MMAで闘うことに覚悟がないと言ってるわけじゃないよ。昔の新日本はVTではないけども、ガチンコの緊張感を持たせつつエンターテイメントを仕立て上げるのを無意識のうちにやっていたじゃない。それを意識的にやろうとするのがいまのK-1になる。それ相応のプロ意識が必要になるんだよ。
ジャン　新日本に求めてきた部分は、『PRIDE』なりK-1に完全に移行することにもなるわけですね。
山口　プロレスでもVTでも、ガチンコの緊張感を持たせつつエンターテイメントを仕立て上げる選手は、いまの新日本にはいないからね。
ノブ　でも、新日本の両国は、天山がトーナメントを制してかなり盛り上がりましたよ。この大会に限っては、新日本の純プロの方向性は評価したいですね。
山口　ノブは『武士道』じゃなくて両国に行ったんだ？
ノブ　チケット買って観てきましたよ。途中で寝てましたけどね！（胸を張って）。
山口　ガハハハハ！　お前、仕事ナメてんだろ！
ノブ　いや、ちゃんと『紙プロHand』の速報もしたし、仕事はしてますよ!!（逆ギレ）。
山口　当たり前の話だよ（笑）。で、何かサプライズはあったのかよ。
ノブ　サプライズというと、永田が天山のムーンサルトを喰らったときに、天山のヒザがモロ顔面に入って失神しました。

広島、大阪大会は動員に苦戦した今回のWWE日本ツアーだが、内容は抜群に面白いからそんなことはどうでもいい。ここぞとばかりに苦戦を指摘するプロレス村は、まずは新●本プロレスの“主催者発表”に忠実な、その悪しき姿勢をあらためてから言及してもらいたい。

山口　危ないなぁ。それは単なるアクシデントだよ！
ノブ　じゃあ、星野総裁が「ジョシュ・バーネット超える大物外人」として連れてきたのがスーパーストロングマシンだったこと！
山口　それは平田だろ！……って、それはどうだが知らないけどさ（笑）。そんなサプライズもどきでホントに盛り上がったのかよ。
ノブ　やっぱり天山が会社から抑圧されてるのはファンもわかっているから、去年のG1の焼き直しですけど、勝てば否応なしに盛り上がるんですよ。それが天山というレスラーの器量なんです。また近いうちにベルトを落として、また獲り返すのをネタするのが理想型ですね。
山口　どんな理想型だよ（笑）。でもさ、新日本内新日本プロレスでいうと、両国は合格点なんだろうけど。そうなるとノアとの差別化ができてないじゃん。新日本のテーマは明確に見えてこないよね。
ジャン　アルティメット・クラッシュをやったかと思えば、ビッグサカ親子のエンタメ劇場をやったり、そのときどきによってプロレスの解釈を変えて打ち出すのは、プロレスは幅が広いものだからいいんですけど。新日本は大いなる実験というよりは、そこにテーマが見えないから単なる迷走でしかないんですよね。
ガンツ　いや、僕らはこれまでずっと新日本にゼイタクなものを求めてきたじゃない？　でも、もう外野がそういうことを求めちゃダメというか、文句を言う必要もなくて、新日ファンの間だけで盛り上がってればそれでいいと思うけどね。
山口　それが一番、キツイ意見だと思うぞ（笑）。いまガンツが〝新日本はそれでいい〟とは言ったけど、『ハッスル』なんかはプロレスにもっと可能性があることを打ち出す実験なんだよ。『PRIDE』やK-1というのはプロレスというジャンルから派生したものじゃない。プロレスという土壌があったからこそ生まれた。お笑いにたとえると、ドリフが土曜8時にずっとやり続けたことで、ひょうきん族という番組がその土壌に出てきた。いまはもう一度、ひょうきん族を生み出したドリフを見直す時期だと思うんだよね。
ガンツ　それには稽古が必要ですよね。ハッキリ言えば、『ハッスル』はドリフをやるには稽古が足りないと思いますよ。闘龍門とくらべたら、稽古量が歴然としてるのを感じますね。
ノブ　こないだフジテレビ『ezTV』という番組のWWE特集で、〝プロレスの仕組み〟を含めた裏側を紹介してたんですよ。『ハッスル』の方向性からすると、そこまでさらけ出すべきですよね。
ガンツ　でも、シンプルに試合内容で驚かせてくれれば、イチイチ裏側を出す必要はないと思うなあ。裏の面白さってあくまでボーナストラック的なものでしょ？　DVDについてくるメイキングみたいに。プロレスの面白いエッセンスをつぎ込んで面白いものができれば、裏なんか見せなくても全然いいと思うよ。
山口　そのエッセンスに可能性があるからこそ、『ハッスル』は踏み出したんだよ。それに演劇論は落とし込む必要はあるけど、プロレスの概念はレスラーそれぞれ違ってくるからさ。破壊王なんかは、役者にたとえたらアドリブ役者じゃない。本人もそれが持ち味だと思ってるし、そこは作り手側も許容しないとダメなところでもある。演劇論でいうと役者の質が違うだけでね。それに対してオーちゃんっていうのは、実は稽古を重ねてやりたいタイプ。だけど、オーちゃんの本来の魅力は、〝1・4事変〟の橋本戦を見ればわかるように、そこを飛び出すことじゃない。そこが『ハッスル』ではどう転がるかは興味深いよね
ガンツ　とりあえず『ハッスル』は世間を相手にするのもいいですけど、まずはプロレスファンが観て面白いイベントしないとダメだと思うんですよ。
山口　ガンツの言った〝プロレスファンの向けるべき〟というのはよくわかるんだよ。でも、『ハッスル』の運営側が狙っているマーケットはさらに広いからさ。プロレスは終わりだなんて言う人もいるけど、格闘技よりよっぽど可能性はある。それは『PRIDE』をここまで来た道のりで見えてきたことでもあるか

IWGP王座決定トーナメントは苦労人・天山が優勝!!　新日本マニア（notドラゴンマニア）を大いに喜ばせた。IWGPのベルトを返上した中邑真輔は、事実上の敗北を喫したイグナショフとの再戦に備えるため、新日本LA道場に飛んだとも言われる。

まさかのアクシデント発生!!　天山のムーンサルトプレスを浴びた永田は、顔面にヒザを落とされ失神!!　恥辱のヒョードル戦、年棒・超大幅ダウンに続いて、ここまで不運な永田は呪われているとしか思えない。ゆうタン頑張れ！

ミルコの殺戮ツアーと化した感もある2月の『PRIDE』二連戦。難敵ウォーターマン、ヤマヨシを立て続けに討ち取り、4月の『PRIDE・GP』に弾みをつけた。今年もその“妖刀”で屍の山を築きそうだ！

『PRIDE』では内容がともなわないと演劇論が背中には貼り付かない［山口］

らさ。それで……。

ガンツ （遮って）会長が『ハッスル』の話をし出すと長くなるから強引に話題を変えますけど、見直さなきゃいけないのは『PRIDE』も同じだと思いますよ。

山口 なんだよ、人がせっかくいい話をしてるのに！

ガンツ （無視して）この間の『武士道』はまたしてもキツい試合が多かったじゃないですか。「ジャパンは賞味期限切れ！ パート2」って感じで。

山口 ちなみにどの試合がキツかったの？

ガンツ どの試合ってわけじゃないんですけど、なんかお笑いに例えると、小さな小屋でバカ受けだったネタを全国放送のお笑い番組でもやっちゃって、「なんで受けないんだ？」って言ってるような試合が多い気がしたんですよ。つまらないってわけじゃないけど、ここでやっても受けないよっていうね。

山口 郷野なんかは〝高山vsドン・フライをいい試合だと思ってるヤツは俺の試合観て勉強しろ〟とか言って、俺は染まらないぜってやってたよね。

ガンツ でも、あれって〝俺は『PRIDE』に媚びない〟って言いながら、実は格闘技マニアとか、格闘技ライターの方々に媚びてるのと変わらないんですよね。だったら『PRIDE』じゃなくて、後楽園でやってた方がいいよって。マーケットのニーズからするとそっちなんだから。

山口 郷野や高瀬が高い技術を思う存分見せつけたのはたしかだよ。でも、プロフェッショナルというか、良い意味での演劇論はまったく身に付いてはなかったよね。

ジャン 高瀬の演劇論は微妙ですよね。あややとか平井堅で繋いだ高瀬の入場曲にしても、じつは観客を笑わせようとしてたらしいですよ！

ガンツ なぁ～にがやりたんだコラ！（笑）。2人とも高い技術をもっていて、せっかく『PRIDE』に出るんだから、そういう発想やスタンスでいるのはもったいないですよ。二人とももっとビッグになれる素材なんだから。

山口 郷野はプロレスでいうと、ヒールを演じようとしてたと思うんだよ。ヒールであることを肯定して、観客に見せつけようとしたけど結果がともわなかった。『PRIDE』という舞台では、演劇論を見せつけようとしても、結果もしくは内容がともなわないと、演劇論は背中に貼り付けないわけよ。

ガンツ 選手本人はそれを理解してない節もあるから、そこは運営側の手腕が問われますよ。それは『PRIDE』で一度でも負けたら、一気に需要がなくなることも同じなんですけど。『武士道』や『PRIDE・27』でも、期待感がある選手とない選手じゃ雲泥の差だったし。

山口 それは背負ってるものの違いもあるだろうね。何かの本でオリンピックの選手というのは演劇論をおのずと身に付いていると書いてあったけど、ミルコにしても演劇論はあるんだよ。自分をどう見せたいかという理論はミルコにもある。その延長線上が国会議員だったわけじゃない。ハードルがメチャクチャ高いんだよ。

ガンツ クロアチア国民全体を相手にしてるわけですからね。だからガイジンのほうがそういうプロ意識はとっくに理解してますよ。『PRIDE』という世界最高峰の舞台で闘うことで、おのずと観客論が身についていているんですよ。

ジャン ガイジン選手の場合は、つまらない試合をしたらお払い箱になるという危機感がありますから。日本人選手にも格闘技で喰っていくというハングリー精

神はあるんでしょうけど、日本人選手は格闘技で喰っていけるということをまだ体験してないところがありますからね。

山口 『武士道』を観る限りでは、ミルコとシウバ以外は『PRIDE』の選手とは思えなかったなあ。ヤマヨシや美濃輪にはプロ意識を感じたけどね。

ガンツ ヤマヨシはプロとしてはOKですけど、『PRIDE』の選手としては違和感がありますね。

山口 いや、あのミルコを前にして、ローで蹴られた足を〝もっと蹴ってこい〟とばかりにパンパン叩いたりさ、ニヤッと笑うことはできないよ（笑）。それは人間性の面白さだろうし、プロとしての価値は下がってない。『武士道』を見た人でまず語るのはヤマヨシだと思うしね。

ガンツ たしかに印象には残りましたよ。そしたら中西も永田もOKってことになりかねないし（笑）。決してヤマヨシを否定するんじゃないですけど、運営する側や選手が考えている以上に、ファンが望んでいるハードルは上がってることなんですよ。

山口 俺もヤマヨシのすべてを肯定するつもりはないよ（笑）。ただ、リングスで10年やってきたことは出たと思うよ。美濃輪にしてもシウバに秒殺されたけど、美濃輪は負けることに意識が向いてない。負けないようとする緊張感があるのは当然なんだけど、美濃輪は負けることを恐れてないんだよ。プロの舞台に上がるなら、そういう高いハードル設置を望みたいよ。

ジャン でも、それって意識したどころでどうにも身に付かないとは思うんですよ。その舞台のレベルに合わせて体現するのも難しいはずですし。

ガンツ 『武士道』で見たいのは志の高さなんですよ。昔の武士は御上に対して命を投げ出すことが宿命だったとすれば、いまだったら大衆に命を差し出すべきなんです!! 田村なんかは〝出稽古にいったらアマチュアに極められます〟って言ってるけど、表舞台に出たらアマチュアが逆立ちしても叶わない〝プロ〟の仕事をする。だからプロとしてのバリューが高いんですよ。

山口 田村潔司なんて私生活だけでいったらただの変人だからね（笑）。リングに上がったらピカピカに輝くのは、プロ意識が身体中に張り付いているからだろうね。それを考えたらリングスという団体は本当に偉大だったよ。

ガンツ UWF系の団体って若手にプロ意識を叩き込んでいたことが、じつは一番の功績だったんですよね。格闘家育成じゃなくてプロ育成の場。

山口 桜庭もUインターを通過してなかったら、いまの姿はないだろうね。そういう育成機関がないからといって、いま状況に甘んじていたら、いつまでたっても『武士道』は変わらないと思うよ。

ガンツ K-1ジャパンはいまのモンスター路線がセールスポイントになっていて、運営側もそれを承知でやってるからいいんですよ。ただ、『PRIDE』の場合は、〝世界最高の舞台〟と打ち出しているんだから、『武士道』を言えども高度が下げられないわけですよ。

山口 DSEが『武士道』をやるのは、日本人中量級の魅力を世間一般の人に伝えようとしてるわけだから。『PRIDE』はランキングがあるわけじゃないし、ボクシングのようにコミッショナーが確立してるわけじゃない。競技化なんてまだまだ先の話だし、裾野の拡げている最中。そんな舞台に出てくる意味を知るべきだね。これは『武士道』に限ったことじゃなくて、そもそも日本人の人間性が問題なのかもしれないなあ。

ガンツ なんだか話が大きくなってきましたねえ（笑）。

'04マット界 展望座談会

山口 だって日本人で格闘技でもプロレスでも銭を取れる人は少ないじゃん。

ノブ 柔道でいうと、篠原（信一）だって井上（康生）だって、YAWARAちゃんも銭が取れますよ。

山口 ミルコと同じで国家単位のプレッシャーがあるからね。モチベーションがハンパじゃない。

ジャン 魔裟斗も銭が取れますよね。キックボクシングという世界から、見事にスイッチングしてますよ。結局は質の違いになるんじゃないですか?

山口 魔裟斗もいいね。でも、俺はガイジンが好きだなあ。日本人は貧乏くさい! 洋モノ万歳!!

ガンツ ガハハハ! 身も蓋もないこといいますねえ（笑）。

山口 俺さ……日本人嫌いなんだよね（ボソリと）。

ジャン な、何があったんですか、会長（笑）。

山口 だって雑誌の写真だって、外人の方が映えるじゃん。日本人だとエンターテインメントの臭いがしないもん。どうしても必死さとか一生懸命さが売りになっちゃうしさ。

ジャン でも、それって日本人の売りでもあるわけじゃないですか?

山口 昔の日本人はそれに加えてもっと圧倒的なパワーがあったはずだよ。

ノブ たしかに昔は「ハッスル!」なんて言葉が使われていたんですもんね。

ジャン ホント、モーレツだったんですよね（笑）。

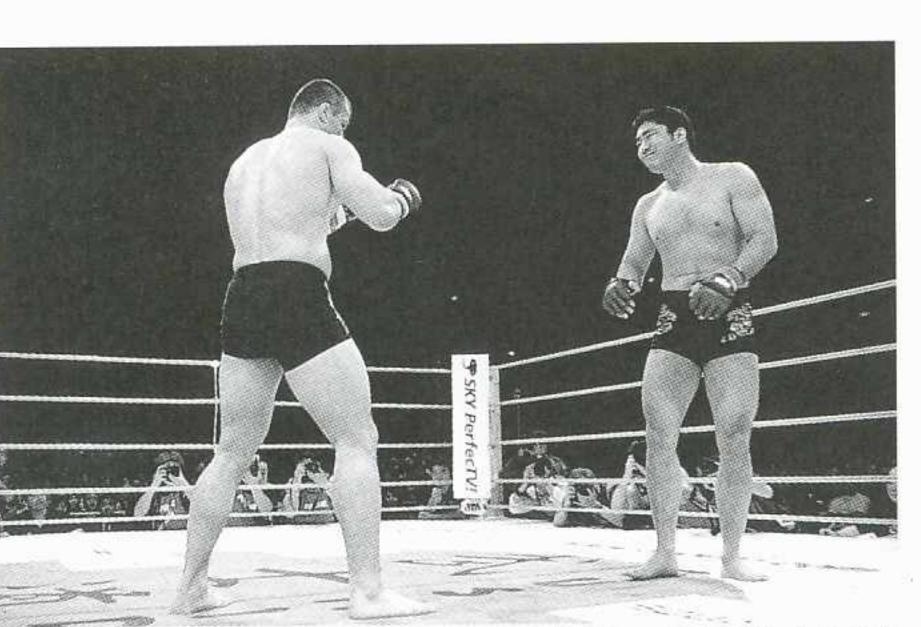
山口 日本人が〝新たな日本人〟が誕生する産みの苦しみの時期かもしれないね。格闘技にしても、日本人はまったく歯が立たない。俺は洋モノにしか目がいかないなあ。

チョロ そんな洋モノ好きの会長に、関取（ノブのアダ名）の方からWWEの来日話でもしてあげてくださいよ（笑）。

会長 あ! 俺、せっかくチケットを取ったのにWWE行ってないよ!

ノブ 会長が失踪中に終わってましたよ。しかも会長のチケットを苦労して手配したのはボクですよ!

山口 （無視して）ステイシーに会いたかったなあ……。

ノブ 昨年の11月のツアーのときはスターが全然いなくてショボくれた空間だったんですけど、今回は豪華でしたよ。フレアーはいるわ、オースチンはいるわでスーパースターが大集合。そのスターたちが自分の仕事をちゃんとこなして、エリック・ビショフなんかは3日間、同じ

泣く子も黙るあのミルコを前にして、ケアーを下した（？）"魔性のDDT"は不発だったが、不適な笑みを浮かべながら挑発を繰り返したヤマヨシ。そのヤマヨシの人間性を許容できるかが、この試合を楽しむポイントでもあった。

タイミングで出てきてオースチンのスタナー喰らって。これぞプロの仕事ですよ！

山口　それを真剣にやってるのが見えるんだよね。写真だけ見てるだけで楽しそうだもんなあ（本当に嬉しそうに）。

ガンツ　プロレスのエッセンスをすべてぶち込んだという意味では、WWEは真剣ですよね。

山口　一昨年のWWEがきたときにGKが「純プロレスファンはすべて来てます」って言っていたけど、WWEには純プロレスのエッセンスが全部詰まっている。

ノブ　そしてすべてにおいて計算されているんですよ。各自に与えられている時間がホントにハッキリしてて、一番見たい選手は十分に長く見せるし。

チョロ　オースチンのビールのガブ飲みなんて30分以上もやってましたからね（笑）。見てるだけで酔っ払ってきちゃいましたよ！

ノブ　新日本を見てるとレイアウトが悪いんですよ。なぜ〝なぜここで？〟いうシーンが多いし、大会を盛り上げないといけないところで外しちゃう。

ジャン　イベントとしての起伏もないんですよね。一試合一試合全力でブチ込んでるだけで、イベントとしてまとまりがないというか。

ガンツ　マッチメイカー同士の横の繋がりがなんか感じられないんだよね。ライガー、ケロちゃん、上井さんあたりがそれぞれ舵を握っているらしいけど、みんなバラバラにやってる感じがして。

山口　それをまとめあげるWWEは組織論が偉大なんだろね。

ジャン　WWEの組織論が新日本にあったら、面白くなると思いますか？　まあ、新日本の場合は猪木さんが頂点にいる時点で、組織論が成り立つわけがないですけど（笑）。

'04マット界
展望座談会

ガンツ　でも、猪木さんも最近はWWEに興味を示して、「いまWWEは大変らしいから助けてやってもいい」らしいですよ。まったく逆だろって（笑）。

山口　WWEの組織論があったとしても、新日本は面白くなるとは思えないな。それはどこの団体も同じだけど、いまは組織論よりもやらないといけないのは、プロレス界自体の底上げ。だって、プロレスにはスポンサーは付かないし、テレビ局の協力体制は整っていない。助けが得られないからこそ、独自がリスクを背負ってやらないといけないんだよ。

ジャン　『ハッスル』もプロレス復興を掲げてますよね。素朴な疑問なんですけど、何で専門誌にあそこまで叩かれながら、DSEがあそこまでリスクを背負ってやるんですか？（笑）。

山口　ホントね、DSEがやる必要はまったくないんだよ（笑）。こないだ『週プロ』の佐藤大編集長がさ、『ハッスル』の増刊号が売れれば扱いやすくなるんですけどねえ」ってトボけたこと言ってたけどさ。ホントにバカだよね。プロレス界の一員を名乗るんなら、オマエもリスクを背負って弾けろって話だよ！

ジャン　いや、『週プロ』はリッパです！　「SUPER　J-CUP」の増刊号を出すらしいから、十分にリスキーな橋を渡ってますよ。

山口　ガハハハ！　それは正直スマン！

ガンツ　ウチは「SUPER　J-CUP」を一文字足りとも扱ってないですからね。『週プロ』と一緒にリスクを背負いますか？

山口　いや、どうせ出すんだったらJ-CUPじゃなくて、Eカップのディーバ＆ラウンドガールを集めて写真集でも出すよ！　ハッスルハッスル!!（笑）。

【04年2月某日／編集部にて収録】

K－1ジャパンにはオリオンビールがよく似合う

これぞイッツ・ア
谷川ワールド

2・15 K-1沖縄大会リポート

文／中村カタブツ君

designed by Tani-Yan (Two three)

3·14
K-1BEAST2004
&
3·27
K-1WORLD·GP
見どころ付き!

K-1 BURNING 2004～沖縄初上陸

2・15 沖縄コンベンションセンター

昨年11月に新日本で柴田勝頼を倒して以来、『猪木祭り』にも出場するなど確実に注目度が上がっている天田。この日は、ラスベガスでサップをKO寸前まで追い込んだキモが相手だが、ボクシング技術の違いを見せつけ、左フックで見事KO勝ち。

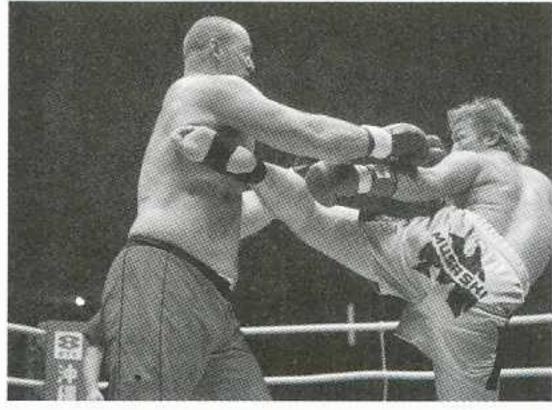
新日本、『猪木祭り』出場で注目度急上昇の天田がサップを追い込んだキモを豪快にKO！

●天田ヒロミ（2R2分6秒、KO）
○キモ

チーム・アンディ所属のグレート草津がアンディ・フグゆかりの地である沖縄のリングに登場。FABIANOに体格差でやや苦しめられるが、1R終了間際に後ろ回し蹴りがボディにズバリ。アンディのトランクスを掲げて勝利をアピールした。

チーム・アンディのグレート草津アンディゆかりの地でKO勝ち

●グレート草津（1R2分53秒、KO）
○FABIANO

サップ軍vs曙軍は4勝3敗で曙軍勝利！
対抗戦の勝敗に何の意味もないのが素晴らしい！

昨年のK－1ワールドGP準優勝者、武蔵の04年最初の相手はなんと"ほぼサップ"ことガムリン。両者は実に40キロ近い体格差があるが、それ以上にGP準優勝者とK－1ルール初体験では技術差があるところを武蔵が見せつけ、2Rマッチメイカーの要求通りに左ヒザでKO。何か武蔵には精神面で一皮剥けた感があった。

○武蔵（2R0分53秒、KO）
●ステファン・ガムリン

全試合KO決着で沸き上がったK－1ジャパン沖縄大会。谷川貞治K－1プロデューサーは早速、「今年のK－1ジャパンは生まれ変わりました」とコメントする辺りが非常に調子のいい男である。

こんなサダハルンバがイベントを統括する以上、K－1ジャパンが、現在の格闘技のくくりの中から明らかに逸脱するのは当たり前。いや、そこにこそ、存在価値があるわけだ。

そういう意味で、今大会で最も良かったのは藤本祐介vsモンターニャ・シウバ戦。身長差47センチという小さい奴vsデカい奴の対決は、両者がリング中央で相対しただけでドッと盛り上がるバツグンの分かりやすさだ。

ゴングが鳴ると、スローな蹴りを放っていくシウバだが、身体がデカいだけに藤本がガードしてもバキンバキン音がして危険な感じ（実際、試合後、藤本はガードしていた左ヒジを骨折！）。それでも藤本は、果敢に中に入って左右のフックを振り回して、一瞬グラッとさせるも、シウバの軽く振り下ろすパンチでダウン。だが、その後も、真っ向から打ち合ってシウバを結構攻め立て、最後は再び振り下ろすパンチを食らってレフェリーストップとなったのである。

まったく単純で面白い。

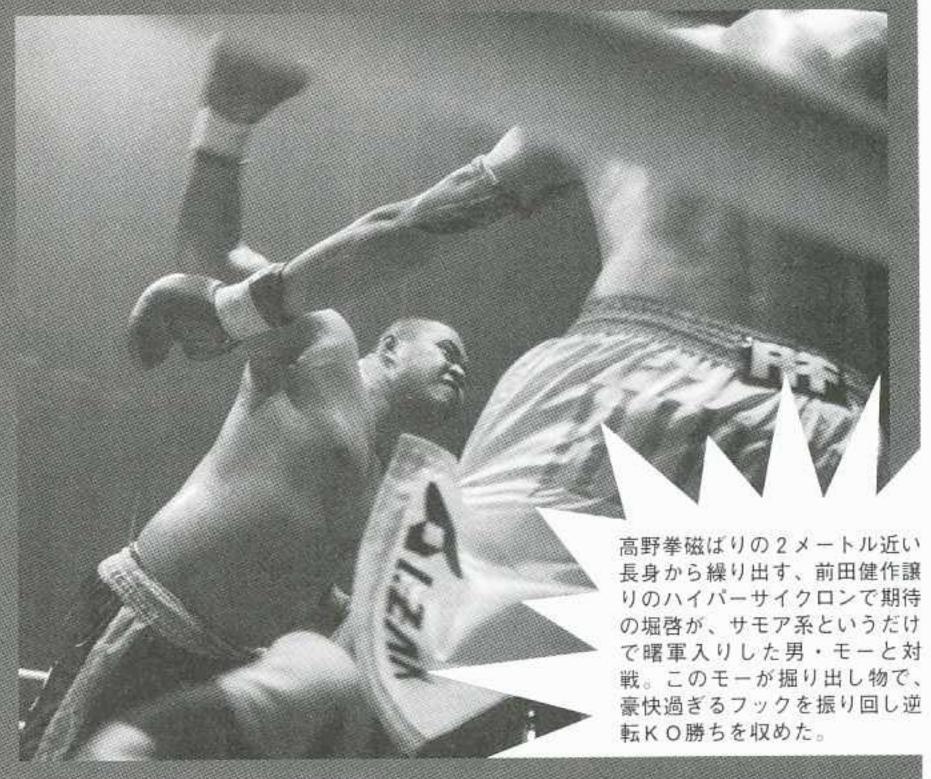
ノブ・ハヤシvsピーター・ボンドラチェック戦にしても、去年まで喧嘩で留置場に入っていたボンドラチェックが凶悪な顔でハヤシをブチのめす様子は迫力満点。

こういった戦いは、選手の人間性や体格差が試合内容にストレートに出て、見る者の感情を揺さぶる。だって、デカい相手を一瞬でもグラッとさせればと、当然「お！」と思うもん。やり口が汚いと思うぐらい、ニクい演出だろう。

オランダから日本の拠点を移したノブ・ハヤシと、ケンカ事件での謹慎処分がなければワールドGPに出ていたかもしれない男・ボンドラチェックの一戦は、序盤から両者パンチで打ち合う展開となり、ボンドラチェックがKO勝ち。

荒くれ喧嘩モデルが
ノブ・ハヤシから3度ダウンを奪い快勝

●ピーター・ボンドラチェック（1R2分35秒、KO）
○ノブ・ハヤシ

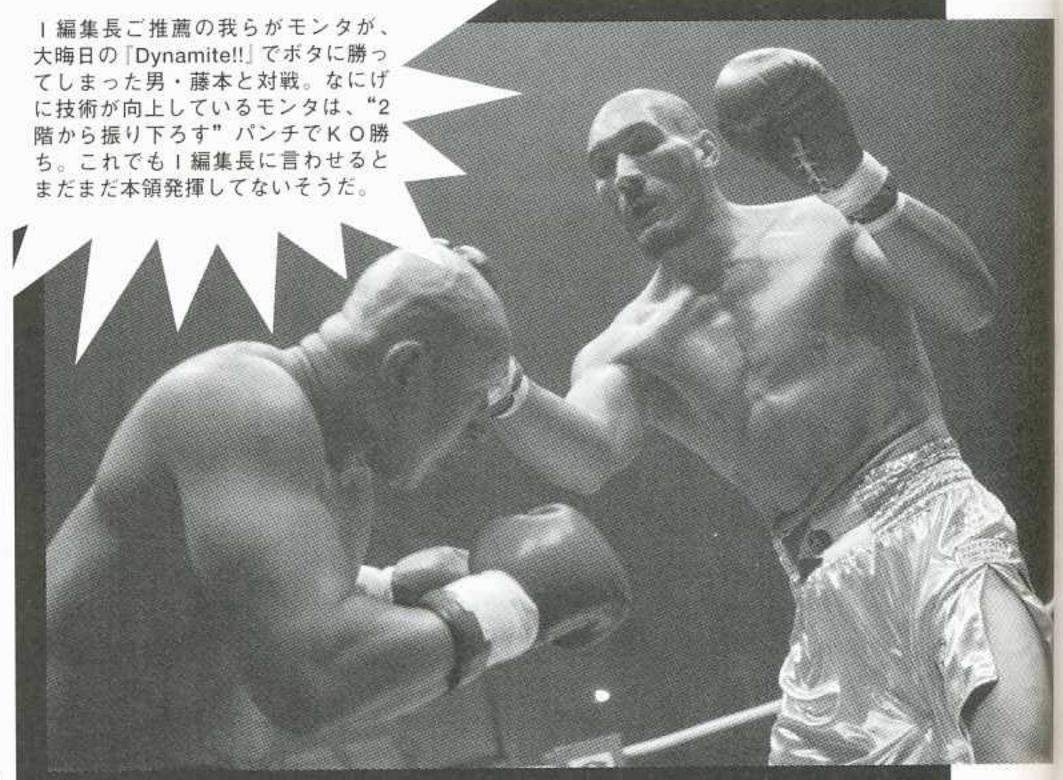
高野拳磁ばりの2メートル近い長身から繰り出す、前田健作譲りのハイパーサイクロンで期待の堀啓が、サモア系というだけで曙軍入りした男・モーと対戦。このモーが掘り出し物で、豪快過ぎるフックを振り回し逆転KO勝ちを収めた。

こいつは掘り出し物だ!
モーが後右腕フックで逆転勝利

●マイティ・モー（4R1分22秒、KO）
○堀啓

昨年のK－1ワールドGP王者ボンヤスキーの2004年初戦の相手は、これまでK－1王者の対戦相手を数多く努めてきた中迫。その中迫がダウンを奪ったマーク・ハント戦以来の奮闘を見せ、3RにKOされたものの、見応えある試合となった。

K−1ワールドGP王者に中迫大善戦
勝ったレミーはいよいよホーストと激突

●レミー・ボンヤスキー（3R2分54秒、KO）
○中迫剛

I編集長ご推薦の我らがモンタが、大晦日の『Dynamite!!』でボタに勝ってしまった男・藤本と対戦。なにげに技術が向上しているモンタは、"2階から振り下ろす"パンチでKO勝ち。これでもI編集長に言わせるとまだまだ本領発揮してないそうだ。

アマゾンの大巨人いよいよ本領発揮!?
ついにK−1ルールに則って初勝利!!

●モンターニャ・シウバ（3R1分3秒、KO）
○藤本祐介

試合前日記者会見の〝サップうこんまみれ〟にしてもそうだけど、サダハルンバ・プロデュースになってからのK－1は、やることなすことホント恥知らずなのだ。だいたい、なんでサップがジャパン軍の監督なわけ？　そして日本語が喋れる元・横綱の曙が世界連合軍の監督になるのか、意味がわからない。サップ＆曙揃い踏みで視聴率を伸ばそうとしているのが誰の目にも明らかなのに、平気でそれができてしまうから怖ろしいわけだ。

また、サップの「相撲キラー」発言にしてもそう。演出だと分かっていながら、曙が本気でカチンとなるのを計算してやってる上に、明らかにゲストの花田勝まで意識しての悪行三昧。さらに、ダメ押しで、試合翌日の記者会見ではサダハルンバが、「サップの相撲キラー発言には、曙さんだけじゃなくて、花田さんもムカついてましたねぇ。うふふふ」と笑っているから、悪魔のキューピーだろう（この後、曙はテレビ番組で共演した舞の海までK－1に誘っていたから、いい加減、相撲協会に怒られると思うのだが）。

しかし、これで正解なのだ。

K－1ジャパンとは人々の心を刺激してナンボという、昭和のプロレスの匂いが勝負どころ。また、格闘技的に言ったって、全盛期のキックボクシング的手法であり、牛や熊との戦いで人目を引いてた極真カラテ手法の正統な後継者と言えるはず。間違ってるところはどこにもないのである。

だから、グレート草津vsFABIANO戦が後ろ蹴り一発で片が付いたのだって、「もともと実力差があったんだから」とか言うのは、ヤボにもほどがある。逆に、ボクサーのマイティー・モーが堀啓を、アクシデントとは言え、金的蹴りで調子を狂わせながら、最後は豪快なパンチでKOしたのは、

K-1 BEAST 2004～新潟初上陸

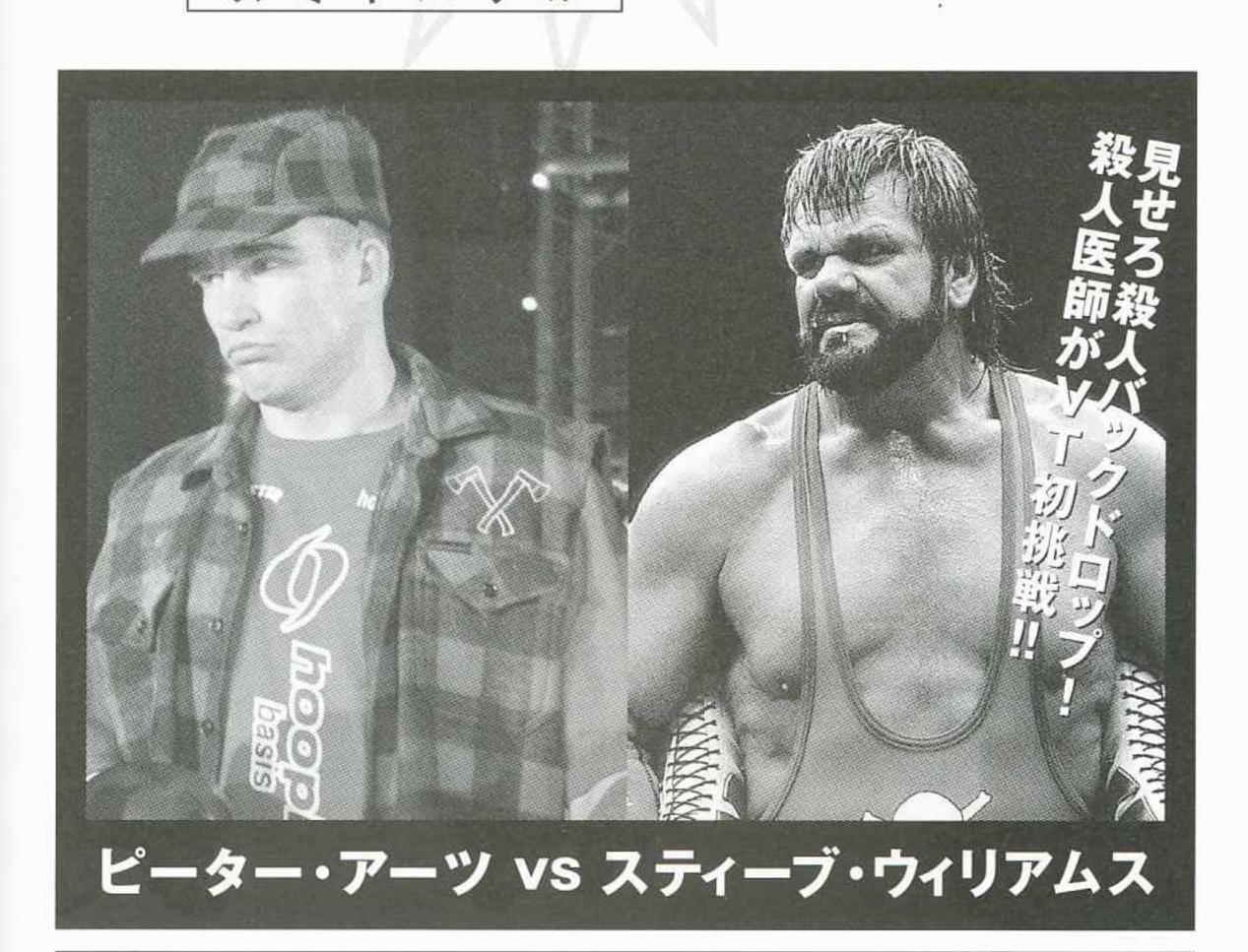
3・14朱鷺メッセ

噂のK-1 MMA
遂にスタート!!

“スモーキラー”サップが

朝青龍・兄と激突!!

スミヤバザル

ピーター・アーツ vs スティーブ・ウィリアムス

ボブ・サップ vs
ドルゴルスレン・スミヤバザル

Tickets

K-1 JAPANスペシャル『K-1 BEAST 2004～新潟初上陸～』
3月14日(日) 新潟・朱鷺メッセ 開場14:00／開始15:00

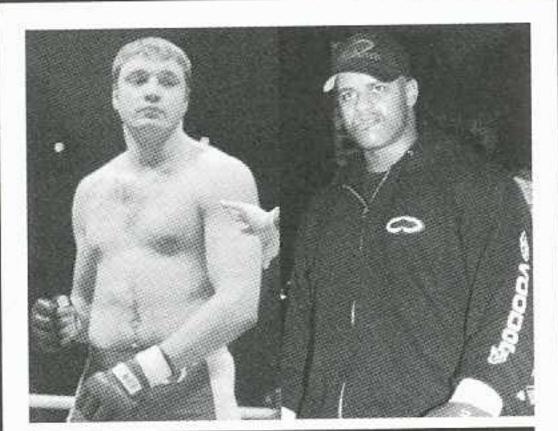
■参加予定選手 ピーター・アーツ／中尾芳広／マイケル・マクドナルド／バタービーン／ピーター・ボンドラチェック／デューウィー・クーパー／中迫剛／富平辰文／グレート草津／大石亨／宮本正明／天田ヒロミ ※K-1MMAルール5試合、K-1ルール5試合の計10試合を予定
■入場料金 SRS席 20000円／S席 12000円／A席 6000円
■問い合わせ FEG TEL:03-3796-5060

経験の差をはね返した証だろう。実際、堀のローによって、モーは足が止まっており、気力を振り絞って3度のダウンを奪った逆転劇だったからだ。

メインで行われた武蔵vsステファン・ガムリン戦でも、実力差は歴然。だが、それまでの試合が全てKO決着していたことがプレッシャーとなった武蔵は何が何でもKOを狙って結果を出した。今大会唯一、K-1ファイター同士の試合となった(というのも凄い話なのだが)中迫剛vsレミー・ボンヤスキー戦は中迫が粘り、レミーの得意技の飛びヒザ蹴りを逆に繰り出して、レミーのGPチャンピオンのプライドをいたく傷つけて白熱。3Rには2度のダウンを奪われ、あとがない状況でありながら前に出続け、レミーの攻撃を食らってはヒザをガクガクさせながらも意地で立ち続ける中迫の姿は、視聴者の目に最高のファイターに映るのである。

小さい奴vs大きい奴とか、実力差がある同士の戦いだから興味ない、というのはあまりにもモノの見方が狭いと思う。こんなデタラメなマッチメイクだからこそ、リングに立つ選手の表情・感情が浮き彫りになるのだ。そして、興行の基本は、選手と見る者を感情的にすることだろう。K-1ジャパンはその部分においては、実に素晴らしい大会を行ってると言えるのである。

もっとも、先日行われたK-1ワールドGPの記者会見では、曙と戦う武蔵のセコンドにボブ・サップが付く可能性があると発表。その際、サダハルンバは、「GPシリーズだけはちゃんとやりたかったのに～」と嘆いていたので、K-1ジャパンがちゃんとしてないのは本人が一番良くわかっているのであった。

ちなみに、昨年末の興行戦争で、紅

アレクセイ・イグナショフ VS カーター・ウィリアムス

Tickets

◎レイ・セフォー vs アジス・カトゥー
◎マイク・ベルナルド vs ヤン“ザ・ジャイアント”ノルキヤ
◎ジェレル・ベネチアン vs セルゲイ・グール
◎シリル・アビディ vs（対戦相手未定）
◎シャノン・ブリッグス vs（対戦相手未定）
※アビディかブリッグスのどちらかが、マーク・ハントと対戦。

■チケット料金
SRS 32000円／RS 20000円／S 10000円／A 6000円

■お問い合わせ
FEG TEL:03-3796-5060

Schedule

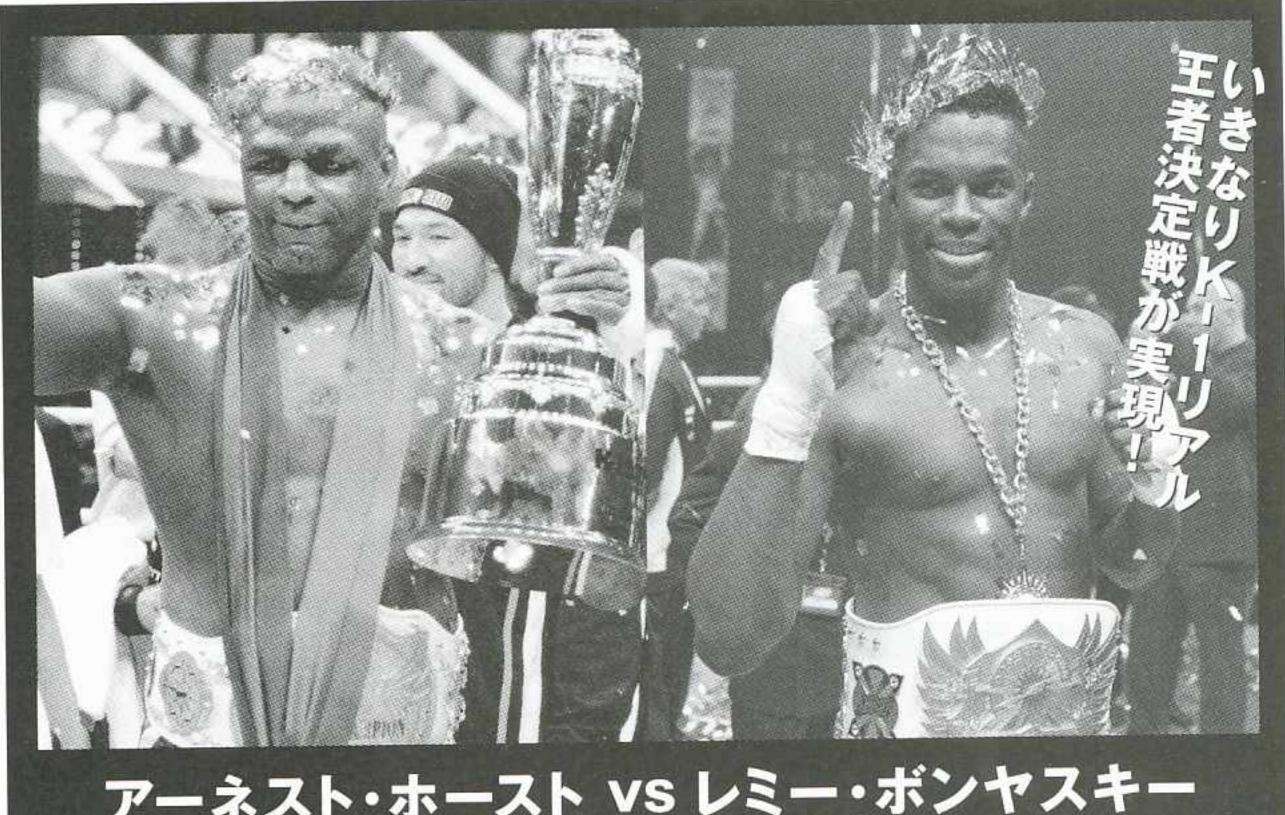
「K-1 WORLD GP 2004」年間スケジュール
※トーナメント戦は、いずれも8人制のワンデイトーナメント

日程	内容
3•14	日本・さいたまスーパーアリーナ ワンマッチ大会
4•30	米国・ラスベガス（ベラージオホテル）トーナメント戦
6•6	日本・名古屋レインボーホール ワンマッチ大会
6•19	フランス・パリ トーナメント戦
6•27	日本・静岡 トーナメント戦
7•19	韓国（または福岡）トーナメント戦
8•14	米国・ラスベガス（ベラージオホテル）敗者復活トーナメント戦
9•25	開催地未定 GP開幕戦
12•4	日本・東京ドーム GP決勝大会

K-1 WORLD GP2004 in SAITAMA 3・27さいたまスーパーアリーナ 2大カード決定!!

ワールドGPシリーズに曙が初登場!!

武蔵 vs 曙

いきなりK-1リアル王者決定戦が実現!

アーネスト・ホースト vs レミー・ボンヤスキー

白歌合戦に勝利したK-1は、今年も視聴率競争では絶対な強さを持つことを今大会でも証明した。日曜ゴールデンの同時間帯には『どうぶつ奇想天外!』『ジャンクSPORTS』などがある中で、民放ナンバー1を奪取。その上、NHKの大河ドラマ『新撰組!』が初めて20%を切ってしまったのだ。

「また、NHKに怒られちゃうかなぁ」と、記者会見でこの報告する時のサダハルンバの嬉しそうな顔! サップが相撲キラーなら、サダハルンバ谷川はNHKキラーなのである。

さて、最後に、噂のK-1MMA（仮）についてだが、3・14K-1ジャパン新潟大会にはボブ・サップvsドルゴルスレン・スミヤバル、ピーター・アーツvsスティーブ・ウィリアムスのMMAルール戦が決定しており、また、5月に予定されるK-1MMAの旗揚げ戦では、「猪木軍対K-1軍もできると思うし、トーナメントでもいいと思うんですよ」と谷川氏。「だってね、いまの状況なら16人ぐらい簡単に集まると思うんだよねぇ。うふふふ」と、明らかに『PRIDE』に向けての悪意のあるメッセージを笑顔に包んで言うのであった。

その後、新日本の上井執行役員は、新日対K-1 8vs8でもいいと語り、「永田も出ますよ」と断言した模様。当の永田は「時期やタイミングが合えば、視野に入れてやります」と、微妙答えながらもやる気を匂わせる。

さて、今年一発目のK-1ジャパン沖縄大会を大成功させ、MMAへの進出も本格化するK-1。PRIDEとの熾烈な競争は激化の道しかないので、ファンにとっては去年の暮れ同様、たっぷり楽しめる一年となるわけだ。

2·8 Love Impact
ディファ有明

AKINO（プロレスラー）が総合デビュー戦で スマック・ミドル級王者を秒殺KO！

セコンドの大久保ちゃんも「寝技が強いのは知ってましたけど、まさか打撃でいくとは」と驚いたAKINOのパンチ。昨年のスマックミドル級王者・菊川夏子の打撃に一歩も引かずに打ち合い、最後は右ストレートでKOしてみせた

プロレスラーらしい堂々とした入場を見せたAKINO。現在はU-FILEで練習（&プロレスコースの指導も）しており、セコンドには大久保一樹と、サンバイザー姿の田村潔司が付いた

しなし、メインで完勝！ キーラ&大向戦をアピール!!

メインを締めたのは、しなしさとこ。永易加代を相手に1R3分17秒、腕十字でキッチリ一本勝ち。十字を脱出される場面もあったのだが、「前に柔術で闘った時に一本取れなかったので、今日はどうしても極めて勝ちたかった」と、しなし。次の試合は3・20『club DEEP』に決定！

総合に加え立ち技ルールもあるこの大会。さらに空手の試合も行われた。女子高生空手家として人気上昇中の小林由佳が、判定3－0で禅道会の松川敬子に勝利。真正面からのド突き合いは観客を圧倒！

ラブ・インパクト旗揚げ戦のラウンドガールと勝利者賞プレゼンターを務めたのは大向美智子。"和製Diva"ってことで衣装の露出度もバッチリ！　しなしは試合後、次の対戦相手として「大向さんが可愛かったんでやってみたい。無差別でもいいかな（笑）」と対戦をブチ上げた！

昨年行われた『サイボーグ魂』の大会に参戦。そのルックスで一部マニア（筆者とか）に本格デビューが期待されていた筒井千尋だったが、瀧本美咲にマウントからの腕十字で完敗

ラブ・インパクトの母体は芸能事務所『エキサイティング・トリガー』。リングアナは同事務所所属のクワマンこと桑野信義が担当した。が、慣れない仕事でちょっとたどたどしかったか。会場でバッグはすられなかった模様

ト!　ラブ・インパクト、前途多難な旗揚げ!

きてる女子格闘技

ここ数ヶ月というもの、女子格闘技というジャンルはすっかり影が薄いものになっていた。辻結花の『猪木祭り』参戦、しなしさとこのDEEP出場など単発のトピックはあったものの、肝心の『スマックガール』はしばらく音沙汰なしで、しかも篠代表が『猪木祭り』に関わったりで、キナ臭い雰囲気も漂ってみたり（パンフのギャラ待ってます）。

しかし、どっこいジョシカクは生きている。まずは2月1日、久々に『スマック』開催。アマチュア大会との合同開催で、会場も大森ゴールドジムと規模縮小、篠代表は会場に現れず出場メンバーも若手中心だったが、試合そのものはまったく問題なし！

川畑千秋が羽柴まゆみに鮮やかな十字を極め、『サイボーグ魂』で水野裕子と激闘を演じた高橋ちひろ改め高橋まりは石山絵理と真っ向から打ち合う。そしてメインでは705（ナオコ）が坂本奈緒子の打撃をかいくぐってテイクダウンしまくり、判定勝利を収めた。

注目すべきは、石山、坂本という新世代の旗手2人が一回戦で揃って敗れたことだろう。早くも、"次の次"の世代が猛スピードで台頭しているのだ。女子格闘技の選手層は厚くなる一方なのである。

続いて2月8日に開催された『ラブ・インパクト』も、試合内容は合格点。セミでは格闘技初挑戦のAKINOが、田村潔司（と大久保ちゃん）がセコンドにつく中、大アップセットを演じてみせた。対戦相手は昨年のスマック・ミドル級トーナメント王者である菊川夏子。下馬評はもちろん、AKINO不利であった。だが、開始早々の打ち合いで互角に渡り合うと、右ストレートが見事にアゴを捉えて劇的なKO勝利！　その打撃のシャープさは"プロレスラーのパワー、頑丈さ"を超えた魅力を感じさせた。

そしてメインでは、しなしが永易加代にキッチリ一本勝ち。試合後は「女子格闘技の

2·1 SMACK GIRL-F
ゴールドジム・アネックス大森

辻ちゃん、しなしに続くのは誰だ!? スマックガールで、ネクスト・シンデレラトーナメント開幕!!

全試合終了後、リング上でトーナメント1回戦勝者が抽選を行い、準決勝の組み合わせが決定（"A"同士と"B"同士が対戦）。705VS川畑、高橋VS舞（左から）の組み合わせに。なんと4人中3人が、ここにきて大量参戦を果たしたパレストラ所属の選手となった

この日がデビュー2戦目となる川畑千秋が羽柴まゆみに下からの十字を極めて見事な一本勝ち。羽柴も相当腕を上げていたが……。閉会式に腕を吊って現れた羽柴。セコンドには"ますだおかだ"の増田英彦が付いていた

大晦日の『猪木祭り』でSMACKスタッフと知り合った三島☆ド根性ノ助。アマチュア戦にコブラ会の選手が出場し、本人は薮下めぐみとエキシビジョンを披露。三島が見事なグラウンド技術や蹴りを見せれば、薮下はジャーマンやドロップキックを繰り出すなど大スイング！

メインでは坂本奈緒子vs705（ナオコ）の"なおこ"対決が実現。対照的な打撃VS組み技対決は、打撃の間合いを完璧に殺してタックルを決めまくった705が判定勝利。だが坂本はめげることなく2・22女子ボクシングにも出場！

舞VS吉田正子の一戦もかなりのハイレベルな攻防が繰り広げられた。このクラスの選手たちは、とにかく常にアグレッシブ。この試合でも両者とも思いっきり殴りあう光景が何度も見られた。試合は判定で舞の勝利に

『ネクスト・シンデレラトーナメント』1回戦には坂本奈緒子、石山絵理と注目の新鋭が出場したが、揃って敗れる結果に。石山と壮絶な打撃戦を展開、寝技も優位に進めて勝ったのは『サイボーグ魂』で水野裕子と闘った高橋まり

女子格のド真ん中を奪取! 3·7 Girls SHOCKがヤバイ!!

3・7『Girls SHOCK IV』（ニューピアホール）の全対戦カードが決定、3月13日に開催発表記者会見が行われた。今大会より全日本キック広報でもある小川愉可氏がプロデューサーに就任し、お揃いのネーム入りジャージを作製し、グローブのデザインもオリジナル、と力が入っているこの大会。渡邊久江がメインでサブリナ・レイと美形対決に臨めば、韓国からは女子高生キックボクサーが来日。さらに年末の女子ムエタイ大会で渡邊と接戦を演じた現役アイドルファイター・ナムワンノーイまでも登場、打撃初挑戦の藤井恵とエキシビジョンを行う。とにかく期待感バツグンの『Girls SHOCK』。「K-1にもPRIDEにもない、新しい魅力の大会を作りたい」という小川プロデューサーの、女性ならではの大会作りに注目だ！

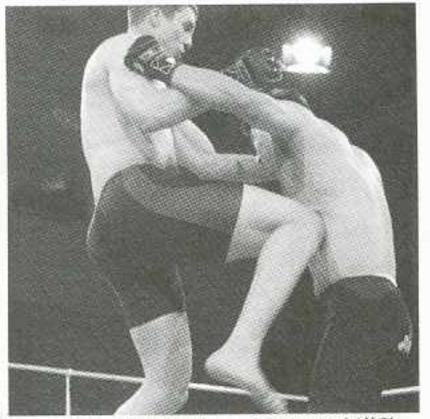
スマック規模縮小で再スター
どっこい生

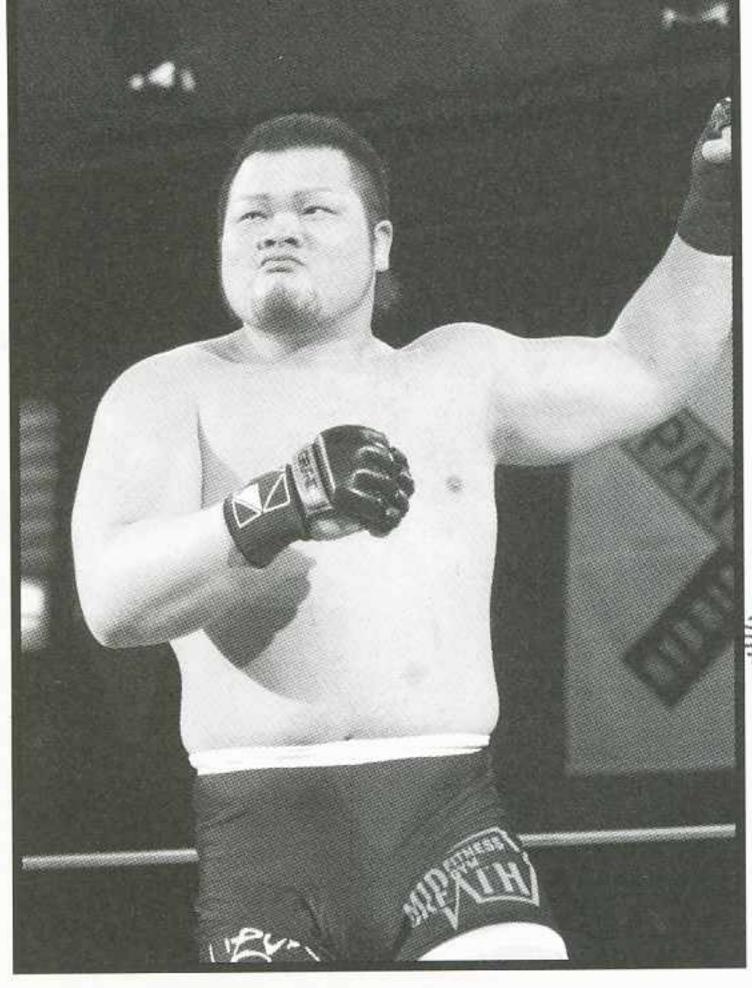
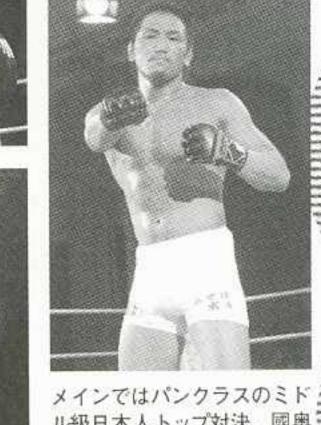
文／橋本宗洋　撮影／丸山剛史

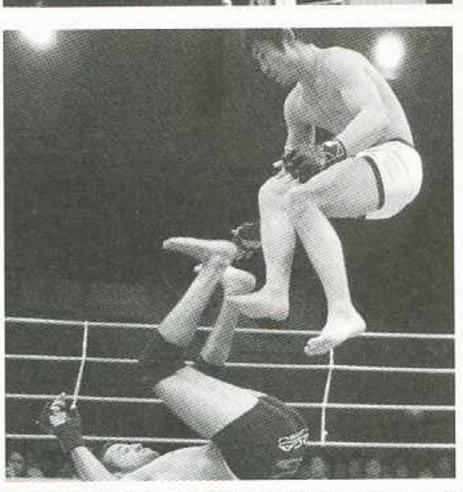
エースを目指す」と力強く宣言し、勢いあまって大向との対戦までブチ上げた、しなしだったが、どうやら7月のDEEPでキーラ・グレイシー戦が実現濃厚との噂。「セコンド3人にお母さんまで呼ばなきゃいけないんで、金かかってしゃあないよ」と佐伯代表はボヤいていたが、待望の"女グレイシー"登場は女子格闘技に大きな追い風となるはずだ。

『ラブ・インパクト』の問題は運営面だ。柴田賢一郎代表も「試合は別として、運営面では会場が寒かった」と、あまりにも素直すぎるコメント。今回は"マトモに進行するだけでも手いっぱい"な感じが正直否めなかった。それから、次回大会日程が決まってないのもちょっと不安……。

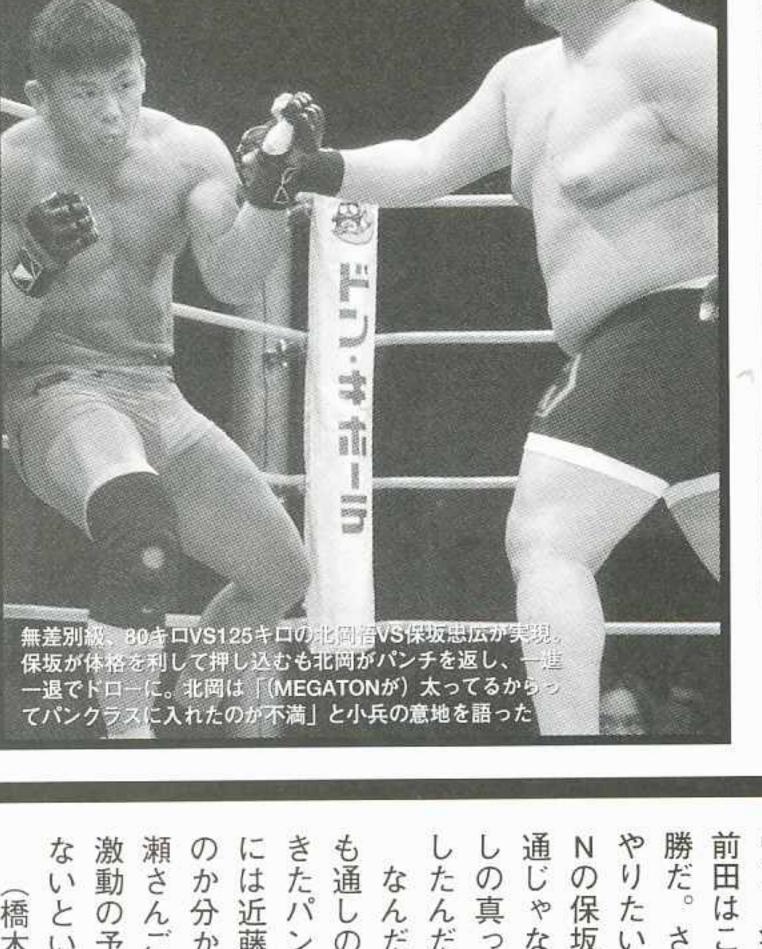
『スマック』にしろ『ラブ・インパクト』にしろ、選手の頑張りには疑問の余地はない。あとはそれに応えられる"器"を主催者側が用意することが重要。その意味では、立ち技の『ガールズ・ショック』が力の入ったところを見せている（別記事参照）。まだまだ課題は多い女子格闘技。だがそれは、そのまま"可能性"なのだと言ってしまいたい。

体重100kg以上集団"メガトン"誕生！
体重差45kgマッチが実現！
いまパンクラスは無差別が熱い!!

重量級の迫力といえば韓国のハー・スン・ジンも見逃せない。この日は大道塾・北斗旗3位の巨漢アレックス・ロバーツと闘い、グラウンドで反則の頭突きまで繰り出した末、スタンドでヒザ、グラウンドでパンチを決めて流血ＫＯ！

セミ＆セミ前はチーム・クエスト対ismの対抗戦。大石幸史がヒース・シムズと引き分け、渋谷修身がアート・サントーレに判定勝ちでismの１勝１分に。クエスト勢のセコンドはミドルながら『PRIDE GP』出場を狙うダンヘンが付いた

会場を最も沸かせたのはこのデブ・高森啓吾。柔道の強豪ながら、なぜか試合は打撃一辺倒。この日もセハクとノーガードのムチャクチャな打ち合いを演じ、１Ｒ１分25秒で勝利。ここまで３戦して２勝１敗すべてＫＯ決着だ

メインではパンクラスのミドル級日本人トップ対決、國奥麒樹真VS三崎和雄が実現。１Ｒは國奥がテイクダウンしたが、２Ｒに入ると三崎が打撃で優勢、パンチで大量出血に追い込んで元ミドル級王者からＴＫＯ勝利を収めた。

大阪大会のメインは前田吉朗VSアレッシャンドリ・ソッカ。実績ではソッカが数段上だったが、前田の天性の反射神経が爆発！　タックルを切って飛びヒザ、さらにグラウンドパンチ連射でＫＯ、バレット・ヨシダに続いて大物食いを果たした

無差別級、80キロVS125キロの北岡悟VS保坂忠広が実現。保坂が体格を利して押し込むも北岡がパンチを返し、一進一退でドローに。北岡は「（MEGATONが）太ってるからってパンクラスに入れたのか不満」と小兵の意地を語った

近藤有己が大晦日の『男祭り』で激勝してシウバ戦をブチ上げ、グラバカ郷野聡寛も『武士道』参戦と、にわかに"対外路線"が活気づいてきたパンクラスだが、内部は内部で大変なことになっていた！　2・6後楽園、2・15大阪のキーワードは"逆ハイブリッド"。旗揚げ当初のイメージからは考えられないようなメンツが、会場を沸かせているのだ。

それはズバリ、デブとチビ。まず2・6後楽園では、メインに國奥麒樹真vs三崎和雄という正統派カードも組まれていたのだが、観客の反応が最も良かったのはパンクラスMEGATON（体重3ケタが入団資格）の高森啓吾vsセハクだった。わずか1R1分25秒で高森がKO勝ちしたこの試合、デッカイ連中がノーガードでバッチンバッチン殴りあってる様は大味ながら豪快そのもの。高森はIKUSAでのデビュー戦が17秒KO勝ち、パンクラス初戦も18秒で終わっており（KO負け）、なんと、これまで3戦して合計試合タイムがジャスト2分！　この分かりやすさは貴重だ。

そして2・6大阪では、パンクラス最軽量級の前田吉朗がメインに抜擢、なんと柔術の強豪アレッシャンドリ・ソッカをヒザ蹴りからのパウンド連打でKOするという大金星を挙げた。前田はこれで近藤の記録と並ぶデビュー後8連勝だ。さらに、ウェルター級なのに「無差別でやりたい」と言い出した北岡悟はMEGATONの保坂と体重差45キロ対決。どう考えても普通じゃないチビvsデブの対決は北岡が小細工なしの真っ向勝負を挑み、ドローという結果を残したんだから、またア然。

なんだかタガが外れてきたというか、なんでも通しの素人麻雀状態（いい意味で）になってきたパンクラス。それでいて3月の後楽園大会には近藤の出場が決定と、ますます何が目的なのか分からないというか。2・6後楽園には百瀬さんご一行も来場するなど、今後もなにやら激動の予感。とにかくパンクラスから目が離せないということは事実なのだ。

（橋本宗洋／MEGATON入り有資格者）

猪木VS食人大統領、空手家VS虎を仕掛けた男

世紀の興行師

康芳夫

〈虚実家〉

聞き手／吉田豪　構成／ジャン斉藤　designed by nogu（Two three）

猪木vsアミン大統領、虎vs空手家を仕掛けた世紀の興行師、康芳夫。むろん手掛けた偉業はそれだけではなく、人類猿オリバー招聘、ノアの方舟探索など、別枠の経歴を自ら参照していただきたいが、虚構の見せ物から人間の真実をあぶり出す"虚実家"を自ら名乗るにもっともな稀代の怪人である。今回は現在のマット界に通じるエピソードを軸に、夢と現実の狭間を生き抜く男を、吉田豪が直撃した!

——いま格闘技界では激しい興行戦争が繰り返されたり、マイク・タイソンのK—1参戦が噂されたりしてるわけですけど、そんな状況だからこそ康さんの話が聞きたくて取材に来ました!

康　ああ、そう。だけど、僕はあんまりプロレスのことはわかんないよ。

——いや、当時の裏話なんかをざっくばらんに話してもらえたら、それで問題ないです!

康　そういう話でいいの? じゃあ、何でも聞いてください。

——よろしくお願いします! まず康さんと格闘技の接点は、カシアス・クレイ(=モハメド・アリ)を招聘したことから始まってるわけですよね。

康　日本に呼んだ時点ではモハメド・アリになってたね。最初に交渉したときはカシアス・クレイだったけど。

——康さんはそれ以前にもいろんな興行は手掛けてましたけど、格闘技も同じビジネスとして関わられたわけですか?

康　格闘技というよりボクシング興行だよね。ただ、僕はボクシングの興行ライセンス持ってなかったんだ。

——それなのに、本邦初の外人同士の試合としてヘビー級のタイトルマッチを実現させたわけですか(笑)。安部譲二さんが「康芳夫のような門外漢の興行師が、ヘヴィー級の大試合を鳴り物入りでやろうとするのだから、面白いわけがない」って振り返ってましたけど、外部の人間が興行を手掛けることに対する反発もかなりあったんじゃないですか?

康　日本では僕の名前なんて誰も知らないから、ライセンスもない奴には絶対やらせないって感じでね。そんなこと僕は先刻承知で断固としてぶつかっていったわけ。当時のボクシングの世界は怖い人ばっかりだったけど、僕はそんなことも全然気にしなかった。それで、プロモーターライセンス持ってた金平正紀君(故人、当時協栄ジム会長)に委託したんだけど。

——アリ軍団もホントに怖かったみたいですけど。

康　アリ軍団っていうか、テキサスとかシカゴのプロモーターがいるでしょ。彼らの裏は……ねえ。

——いまのドン・キングにしても黒社会と思いっ切り繋がってますからね。

康　彼はもともとロックのプロモーターをやっていてね。僕がボクシングに手を出した頃は、ボクシング界ではまったく名前が出てこなかった。あのときは殺人容疑でブタ箱にいたんだよ。ジョージ・フォアマンとアリが闘ったキンサシャの試合があったでしょ?

世紀の興行師 康芳夫

——アリが下馬評を覆して勝利して"キンサシャの奇跡"と呼ばれた試合ですね。

康　ドン・キングがボクシング興行を本格的に始めたのはあそこからですから。厳密に言うと、彼に暗黒街の人間がバックに付いてることはないですよ。繋がってるようで繋がってない。

——あ、そうなんですか?

康　百瀬(博教)氏にしろ石井(和義)氏にしてもそう。彼らを企業舎弟という言い方だってできないですよ。そもそも企業舎弟という定義にしたって難しいんですから。ハッキリしてるのは、暗黒街の人間がダイレクトに影響力が与えることはないってことですね。

——間接的に接点を持たざるを得ないものだけど、それが主ではないと。

康　繋がってる部分はあるけど、興行で一番強いのは選手を抱えてる人間です。ボクがアリを呼んだとき金平君に委託したのは、金平君が当時チャンピオンをたくさん抱えていたから。それだけ影響力、ボクシング業界に力があったから頼んだんです。

——そもそも康さんがアリを呼ぼうと思い立ったのは、どういう理由なんですか?

康　サミー・デービスJr.(アメリカの人気歌手)のボディーガードもやってたソニー・リストンという最強のチャンピオンがいたんだけど。それをアリが倒して王者になった試合を見たのがきっかけだよね。アリはローマ・オリンピックの金メダリストだったけども、あの試合は100%アリが負けるって言われてたんですよ。でも、倒しちゃった。

——ただのホラ吹きじゃないことを証明したわけですよね。

康　そこから彼に注目し始めて、「絶対に日本に呼んでやろう」って思ったんだよ。アリはボクサーとしても素晴らしいんだけど、何よりもあのキャラクターが魅力的。一発で関心持っちゃったんだ。たしか僕が29歳のときかな。

——20代でアリを招聘しようとは考えないですよね、普通(笑)。

康　その頃、ちょうどアリがブラック・モスレム(黒人イスラム信仰者の組織)に入信したんです。

——それでカシアス・クレイから改名したんですよね。

康　僕はモスレムのルートでマネージャーとコンタクトしたんですよ。でも、さっきも話が出たとおり、シ

年	事項
1937年	東京・西神田に生まれる
1958年	市立海城高校を卒業後、東京大学に入学、教育哲学専攻
	東大五月祭で、岡本太郎、石原慎太郎、武満徹、谷川俊太郎らの講演会開催
1962年	「アラビア大魔法団」招聘
1966年	インディアナポリス500マイルレース・日本大会開催
1969年	松下幸之助、宮本顕治、池田大作、児玉誉志夫らの巨人の実像に踏み込んだ
	「偶像 破壊シリーズ」出版プロデュース
1970年	作者正体不明であり戦後最大の奇書「家畜人ヤプー」出版プロデュース
1972年	モハメド・アリ招聘、本邦初のボクシング世界ヘビー級タイトルマッチ開催
1973年	石原慎太郎を団長にネッシー探検隊を結成、ネス湖に派遣
1976年	モハメド・アリvsアントニオ猪木実現に協力
	人類猿オリバー招聘
1977年	ハイチで「ベンガル虎vs空手家」実現寸前
1979年	アミン大統領vsアントニオ猪木実現に奔走
1983年	「ノアの方舟」探索隊発足、その後、種々の虚業に関わり現在

見てみぃ、勝新太郎とモハメド・アリの驚愕ショット!! 勝プロが製作したアリのドキュメント映画『黒い魂』は、康さん（右から2番目）が両雄を引き合わせたことがきっかけになっている。それにしても濃い空間だ！

アリには、強さにスター性がプラスされていたから惹かれたんです

カゴとかテキサスのヤバイ連中がいるわけですよ。そこに割って入っていくのは大変だったし、それにアリのスケジュールも詰まっちゃってた。だから来日させるまでが本当に大変だったね。僕が呼ぼうと決意してから7～8年ぐらい経っていたんじゃない？　アリの徴兵拒否も問題になって彼は国外に出られなくなっちゃったこともあったしね。

――徴兵拒否でタイトルを剥奪されて、試合をするのも禁止されたんですよね。アリとは来日する前から会われてたんですか？

康　もちろんですよ。やっぱり僕が思い描いた通りの面白い男。すっかり意気投合しちゃってね。ただのボクサーじゃないから宗教の話とかもするわけですよ。そういう意味でいろいろ話が弾んだけど、交渉するにもお金がなかった。頭金すらない。無一文から始めたからね（笑）。

――ホントに思いつきから始まってたわけですか（笑）。

康　アリのマネージャーに渡す金もなかったから、ロッキー青木君（レストラン「ベニハ ナ」創業者、冒険家）に2万ドルぐらい出してもらってね。「パブリシティ・マネージャーにしてやるから」っていう条件で。

――青木さんは本に猪木vsアリ戦にも関わってたって証言してましたね。

康　いや、関わってない。ロッキーは厳密に言うと、全体からみるとほんのはした金を出しただけ。あいつは宣伝が上手いからね。

――そういうことでしたか（笑）。

康　その金でニューヨークで会見をやったんだよ。スポンサーを探したのはそれからで、お金を出してくれた青年は非常に若い方でね。

――25歳ぐらいの方だったらしいですね。

康　そうですね。伊東の大金持ちだったんですよ。

――しかし、とりあえず動き出せば何とかなるもんなんですねえ（笑）。

康　「為せば成る」っていう言葉もあるけど、そういう形でやるしかないじゃないですか。ダメなモノはダメだし。

――それだけ苦労して、興行自体は儲かったんですか？

康　いまの額で1億ぐらいは浮いたかな。まあ儲かんなくてもトントンならよかったんだよ。無一文から始めたわけだし、その間はいろいろ楽しかったから。

――その繋がりが猪木vsアリ戦に関わってくることになるんですよね。

康　基本的なプロモーターは猪木君で、僕はコーディネーションをいろいろやってあげたということ。アリの弁護士もマネージャーもまったく同じ相手だったからね。ただ、僕は猪木君に「勝負としては非常に難しいよ」ということを言ってたよ。それはどういうことかというと、アリのマネージャーに「アントニオ猪木とはどういう男だ？」って聞かれたので「プロレスラーだ」って答えたら、「……アリはボクシングのチャンピオンだぞ！」と。つまり、プロレスのことをサーカス扱いで見下してたんですよ。

――まあ、世間から見たらそうなりますよね。

康　そこに猪木君がアリ戦を実現させようとした動機がある。猪木君はアリを八百長じゃない試合で倒して、プロレスの地位を獲得することが悲願だったわけですよ。

――それだけ地位が低かったんですよね。

康　昔、猪木君や新間（寿）君と一緒にアメリカを廻ったときに、僕は

ホントにプロレスはミジメだなって思ったんです。いまはアメリカでブームになってるみたいだけど、30年前のリングサイドは貧民層の人間ばっかりでね。差別的な意味で言ってるわけじゃなくて、現実にそうだったから。あのときは倍賞美津子君も一緒についてきたんだけど、僕がビックリしたのは猪木君が試合をしてるときに彼女は本を読んでるわけよ。それは結果なんかわかってるから観たくないというわけでもない、無惨だからというわけでもない。

――つまり、そんなに興味がなかったわけですか（笑）。猪木さんはそんなプロレスの地位を向上させるため、アリ戦実現に動いていたわけですね。

康　でも、アリ側は「コレは八百長としてやるのか」と。いわゆるフィックス・ファイトとして捉えていた。僕は「猪木君はそういう風に考えてない」って言ったら「じゃあ試合のしようがないじゃないか」って返答してくるわけですよ。そりゃそうでしょ（笑）。プロスポーツの頂点にあるボクシングの世界王者なんですからね。アリ側にしてみれば「何なんだ、ヤツらの狙いは。これはジョークなのか？」と（笑）。

――さっぱり理解できなかったとしても当然ですよね（笑）。

康　しばらくして、アリ側は猪木君が取っ組み合いだとんでもなく強いヤツだってことを知ったわけですよ。

――どうやら普通のプロレスラーとはちょっと違う、と。

康　マネージャーも「やめた。こんなヤツと闘って何になる。ケガするだけだ」と。だけど猪木君は新間君と粘り強く交渉を続けて、そしたら向こうが「ルールを厳しくしよう」というところに落ち着いたんです。

アリ側からすれば、リアルファイトをやる気もない。でも、猪木君はアリとフィックス・ファイトはやりたくない。だったらアリを傷つけないルールを作るしかないってことになる。ルール作成には僕も協力したんだけど、ルールだけで20ページにも膨れあがるぐらい、いろんな項目ができたわけですよ。

――タックルや投げが禁止という、猪木さんに不利なルールになっていったわけですね。そもそもアリが来日した時点では「あくまでエキシビジョンだ」と言ってたという話もありますけど。

左写真は後楽園ホールでのアリと康さん。右はドキュメントCDのチラシだ。CDにはアリを題材にした山下洋輔の楽曲や、アリの来日記者会見の模様、インタビューなどが収録されており、非常に興味深い。チラシには康さんの姿も後方に確認できる。ちなみに康さんの隣は、山口組三代目組長、故・田岡一雄氏である。

康　いや、エキシビジョンとは言わないけど、要するに彼はフィックスでやろうということは最初から言ってた。ところが本気でやりたいと猪木君が断った。猪木君はいろんな評判が出てるけど、基本的には彼はなかなか真面目な男よ。アリ戦に関しては俺がハッキリ証明する。逆にアリ側の方が不真面目というか、プロレスというものをサーカスとして見てたから。猪木君は真面目な動機からやる気だったんですよ。

――康さんとしては、もともとシュートでやりたいと思ってたわけですか？

康　いや、僕はやっぱりフィックス・ファイトの方がよかったと思ってんだけどね（笑）。

――その方が確実に盛り上がったでしょうからね（笑）。猪木さんが寝っ転がったまま闘った、いわゆる“猪木アリ状態”は当時は凄く批判されましたけど、いまの総合格闘技だと当たり前の戦法になってるんですよ。

康　『PRIDE』によくあるパターンでしょ。猪木君からすると、アリのパンチはヤバイから、寝ずに闘ったら1分もたないですからね。

――康さんはああいう試合になることは想像してました？

康　予想はしてましたよ。ただ、僕はあの時リングサイドで観てたんだけど、猪木君が完全にアリを押さえ込んだ瞬間があったんですよ。そのとき猪木君はルール上、何をやっても構わない。アリの右腕をいとも簡単に骨折させることも可能だったんだよ。ところが猪木君はそれができなかったんだ。

――猪木さんも「躊躇した」って言ってましたね。

康　それはどうしてかっていうとね、ここでアリの腕を折ったら世界の宝である右腕が使い物にならなくなる。

猪木君は折っても構わなかったんだけど、その代わり世界中から非難される（笑）。

――アリは黒人文化を背負ってるし、ボクシング界からもいろいろ言われるはずですね。

康　ルール上は構わないわけだけど……あれは猪木君のアリに対する敬意、尊敬の表れでしょう。それがなかったら絶対に折ってますよ。もしタイソンのような人間が相手なら、間違いないです。

――タイソンは尊敬に値しない、と（笑）。もし腕を折ったらアリ軍団に殺されてたなんて噂もありますけど。

康　いやいや、さすがにそんなことはないだろうけども（笑）。

――ただ、アリ軍団が交渉でピストルをチラつかせてたのは事実なんですよね。

康　そりゃあ彼らもピストル隠し持ってるだろうけど、殺すってことはないじゃない。猪木君が世界の宝とも言える右腕を折ってたら、世界的な問題になっていたのはたしかだけどね。ただ、あれは本当に凄い試合だったんですよ。新間君からも聞いたと思うけど、アリの足に猪木君の蹴りが70発ぐらい入ってるわけですよ。それでアリは試合後、すぐにカリフォルニアのロングビーチ陸軍病院に入院しちゃったんだから。

――血栓症になったみたいですね。

康　僕はアリの見舞いに行って一緒に食事しましてね。そのときにアリが「猪木は凄いヤツだ」って誉めてましたよ。でも、たしかに凄いことは凄いんだけど、アリは足を鍛える必要はまったくないんだから、ケガして当たり前なんだよね（笑）。

――ボクサーがローキックの防御を憶える必要はないですからね（笑）。

そういえば、猪木vsアリは再戦の噂もありましたよね。

康　そんな報道もあったけど、あくまで報道だから。

――現実的な話はなかったと。

康　うん。あの試合はある意味で世界中の笑い者になっちゃった部分があったから。アリもだいぶヒンシュクを買ったし、スポーツ専門誌では厳しくやられましたよ。何でこんなオチャラケやるんだって。

――だけど猪木vsアリ戦は、アリが来日して空港に降り立ったときからひたすらカメラに向けて叫び続けたりしてて、相当面白いんですよね。生中継された前夜祭のときも、ちょっとでもダレると猪木さんや新日本の選手に飛びかかろうとしたりして、猪木さんを完全に喰ってましたからね。

康　それは全然役者が違うから。猪木君でも敵いませんよ。今日はアリのいろんな写真持ってきたんだけど……これ、勝新太郎とアリ（P59）。

――これは凄い！　これって勝プロが製作したアリのドキュメント作品『黒い魂』のときですか？

康　いや、これは京都の撮影所で『兵隊やくざ』を撮ってるとき。勝ちゃんと僕は仲が良くてね、勝ちゃんは熱烈なアリファンだから会わせてあげたんだよ。それで勝ちゃんがアリのドキュメント撮ったんだけど大赤字（笑）。

――勝プロの借金が増える結果になったと（笑）。

康　そうそう。ロッキーもまたパブリッシティマネージャーで絡んだんだけど（笑）。あとこれは山下洋輔がアリのレコード出したときのポスター（P60右）。

――アリって音楽的センスもありましたよね。

康　もちろんありますよ。ジャズとかロックも好きでね。

――ピアノが上手かったじゃないですか。猪木vsアリの前夜祭でもピアノを弾きながら『猪木を倒す歌』みたいな曲をアドリブで歌ったりしてましたし（笑）。

康　つまり、そのときもアリ本人は猪木との試合を冗談として考えていた節があったわけだよ。

――あの時点でもですか（笑）。

康　いや、さすがに来日してからはそうでもなくなってきたけどね。で、この猪木vsアリ戦というのは、アミン大統領の話にも繋がってるんですよ。

――ウガンダの食人大統領アミンと、猪木さんが闘うっていう、歴史に残るとんでもないプランですね（笑）。

康　アミンはボクシング東アフリカヘビー級チャンピオンだったから、アリのことは尊敬してたんだ。それにアミンもモスレムの信者なんだよ。

――あ、またモスレムつながりですか。

康　当時、アリは世界回教徒青年会議の議長を務めてたので、大変な信頼感ですよ。僕はアリの紹介でアミンと会ったんだけど……アミンの冷蔵庫を見せられたら、雪ダルマみたいなものがいっぱい入ってるんだ。よく見ると、政敵とか謀反した連中の首ですよ！

――人首冷蔵庫ですか！

康　しかもその首に名札が付いてんだよ（笑）。

――ボトルキープみたいですね（笑）。

康　ネックキープだね（笑）。だから大変なタマだったよ、アミンは。

――しかし、そんな相手とよく交渉がまとまりましたね。

康　猪木君は興奮してすぐOKしてくれたよ。

――さすがだなぁ（笑）。

康　アミンはアリの存在も大きかったけど、ミャンマー、当時ビルマで英国軍として日本と闘ってきたから、日本軍の強さに敬愛しててね。戦後、山口県の岩国に英国軍の駐留兵士として来てたこともあったから。ウガンダには日本の工場がいっぱいあったし、日本とはいろんな接点があったからOKしたんですよ。

――そもそも猪木vsアミンという発想はどこから出てくるんですか？

康　これこそジョークだよ！　だってアリがレフェリーなんだから（笑）。

――アリが「反則したら俺が倒す」って言ってたぐらいですもんね（笑）。試合としては、シュートでやるつもりだったんですか？

康　いや、もちろんフィックス・ファイトですよ。アミンも盛りの時期を過ぎてたし、猪木君が本気でやったらアミンは1分ももたないでしょ。

――まあ、そうでしょうけどね（笑）。

康　アミンは「フィックスでないとやらない」って言ってたんですよ。猪木君の試合フィルムを全部見せたけど、「これはとてもじゃないけど敵わない」ってことで（笑）。

――もし実現してたら、康さんはどういう結末を考えてたんですか？

康　勝敗は成り行きだけど。適当だね。

――そんなもんですか（笑）。

康　猪木君も、それはそれでいいですよと。試合をするのは極めて具体的な話になってたんだけどね。僕は猪木君と京王プラザで記者会見やったけど、同時にニューヨークでもアリが記者会見をやった。当時のNBCと組んで、500万ドルという金

アミンの冷蔵庫には、政敵や謀反した連中の首がいっぱい入ってたんです！

アミン大統領サイン
全世界に衛星中継
猪木と世紀の血戦本決まり

アミン大統領vs猪木 レフェリーはアリ
仕掛人は"例の"康芳夫氏
ウガンダでリング

半信半疑ながらも猪木vs食人大統領戦決定を報道する当時のスポーツ紙。ルールは猪木、アミンともにボクシンググローブを着用すると伝えている。康さんは「これこそジョークだよ！」と振り返っているが、なぜかレフェリーのアリもヘッドギアとグローブを装着する予定だったからも、それは伺いしれるだろう。

も用意されていて、日本では日本テレビで放映する予定だったんだよ。

―あ、そこまで話は通っていたんですか！

康　そうでなかったら猪木君も会見には出て来ないですよ。

―会場はどこでやる予定だったんですか？

康　ウガンダですよ。ウガンダはほとんど雨が降らないし、4、5万人は入るサッカー場があったから。菅原文太君とかも「現地に行く」って言ってたりさ。

―あ、文太さんも！

康　僕は赤塚不二夫君とも仲が良かったんだけど、彼も当然ウガンダまで来るって言ってたよ。リングサイドのチケットを僕に予約してたしね。タモリ君も一緒に来るって言ってた。タモリ君が赤塚君のところに居候してるときだったから。

―赤塚さんの事務所に住んでたんですよね。山下洋輔さんも同じグループでしたけど。

康　村松友視君っていう作家知ってる？

―いや、もちろんです（笑）。

康　僕が猪木君に村松君を紹介したんだよね。それで、村松君は猪木君のことを書いたんだよ。

―『私、プロレスの味方です』ですね。初耳ですよ、その話！

康　まだ中央公論の編集者で作家になる前だね。すっかり猪木さんと仲良くなっちゃってね。いまでも親しいんじゃない？

―康さんが昭和の新日本ブームを作るきっかけになってたんですねえ……。アミン戦みたいに馬鹿馬鹿しいことを大々的にやろうとしながらも。

康　だって赤塚君がこう言うんだよ。「俺、漫画描くのやめた。こんなことが実現したら俺たちの出る幕はない」って（笑）。それが象徴的な話ですよ。

―漫画の世界を完全に超えてますからね（笑）。

康　極端なこと言えば、アミンだったら相手は誰でもいいんだよ。別に猪木君じゃなくたって（笑）。

―アミンとアリが揃えば、それで十分ですよね。ただ、その試合を喜んで受けるのはあのときの猪木さんだけだったんでしょうけど（笑）。

康　そうだね。だから、あの会見には世界中が騒然としたし、朝日新聞にも大きく載ったんだよ。アリなんか「ブラック・ヒットラーの試合を盛り上げてどうすんだ」って非難されてショック受けちゃって、「ミスター康、俺やめてもいいか」って言ってきて（笑）。

―まあ、世論はそうなりますよね（笑）。

康　ウガンダ大使館から外務省に厳重に抗議もあった。「我が国の大統領がプロレスの試合をやるなんてありえない」と。それは僕がアミンと直接交渉してたからであって、駐日大使が経緯を知る由もない。僕が大使館に説明に行ったら憮然としてたよ（笑）。彼らからすると、「何でこんな馬鹿なことをやるんだ」って大統領を非難したい。でも、そんなこと言ったら独裁者だからすぐ首を斬られちゃうんだよ（笑）。

―冷蔵庫に直行ですよね（笑）。

康　とにかくアフリカっていうところは善とか悪とかは超越しちゃってるから（笑）。人殺しって非難して通じる相手じゃないんだよ。まあ、ウガンダの内戦でアミンはサウジアラビアに逃げちゃって、それで話は消えちゃったんだけど。

―いまでも悔やまれますよね（笑）。

康　これを実現できなかったことが、僕の人生の中で一番残念ですよ。アミンは去年、死んじゃったね。僕は弔電打ったけど、猪木君も弔電打ったかもしれない（笑）。

―猪木さんがアミン宛に（笑）。もうひとつ断念した格闘技興行と言えば、空手家vs虎っていうのもありましたね。

康　そうそう。大山倍達氏の右腕だった男が闘うはずだったんだよ。国士舘大学空手部の師範でもの凄く強い男。

―大山総裁から"虎殺し"のアドバイスを聞いてたという話ですけど。

康　大山さんも「アイツなら大丈夫だ」って言ってましたよ。

―でも、大山総裁は『大山カラテもし戦わば』って本の中で「猫でも強敵だ」って書いてましたから、虎に勝てるはずがないんですよ（笑）。

康　でも、彼は一発で虎の脳天を砕くって言うんだよ。実際に彼は日本で、数人に押さえ込まれた虎の脳天に拳を打って気絶させてるんだよね。

虎の爪はすべて出刃包丁みたいなもん。ドーベルマンをけしかけたときなんか……。

〔11〕　昭和52年1月6日　（木曜日）

虎と空手武道家の死闘ショー

"呼び屋"の康芳夫氏が企画した"虎（とら）と人間の死闘ショー"に対し四日、スイスの世界野性動物保護協会などから"待った"がかかったが、康氏は、五日東京・半蔵門のダイヤモンドホテルで、「ショーは予定通りやる」と、大見えを切ってみせた。

あくまでやるぜ　康氏が宣言

"虎と人間のデスマッチ"を発表した康芳夫氏（右）と、鉄拳を振りあげる山元守（会場＝東京半蔵門のダイヤモンドホテルで）

康氏によると、ショーは二月五日、南米ハイチのサッカースタジアムで行う予定で、使われる虎は、インド・ベンガルで捕えた体重百七十キロの人食い虎。一頭千ドル（三十万円）するものを二頭用意してあるという。

ファイト料百万ドル

虎とデスマッチをするのは、北九州八幡西区に住む空手武道家の山元守さんで、十三歳の時から拳法の道へ入り、いまでは"インターナショナル・カラテ・鎌秀会"の会長を務めている。

山元さんのファイトマネーは、約百万ドル（三億円）といい、これまで加入していた生命保険はすべて解約、無保険で闘う。

万一に備えそ撃兵

康氏は、ショーのプロモーター役で、「万一に備えハイチ軍隊からスナイパー（そ撃兵）を付けることを条件に、同国政府から首都ポルトープランスにあるサッカー場を借りることに成功した」といっている。

当日は、三ドルから百ドルの入場料で二万八千人の観客を動員する一方、通信衛星を使ってのテレビ実況中継を計画、米CBSから引き合いがあるという。

また、試合のもようを撮影、劇場用映画として世界へ売り込む。

未確定部分が多い

康氏は、昨年"サルか人間か"で話題を呼んだオリバー君を連れて来るなど"一発屋"のプロモーターとして知られるが、こんどの計画は具体的に未確定な部分も多く、この"世紀の対決"、はたして実現するかどうか――。

"歌でも暴

スイスの世界野生動物愛護協会からの抗議に対して、あくまで"虎vs空手家"を強行する姿勢を崩さない康さんと、その空手家・山元守氏の記者会見。用意された虎は170キロの体重を超える凶暴なベンガル虎。現代には失われた夢と浪漫の闘いである。

——正拳がちゃんと入れば気絶させることができるわけですね。

康　ただ、今回は動いてるからね。実際に動いている虎を見たら、みんなブルっちゃって（笑）。

——当たり前ですよ（笑）。

康　でも、彼が一秒でも虎と闘えば、当時で約1億円のギャラが支払われる契約だったんだよ。そのうち1千万ぐらいは前金で渡してたから。ハイチで現地のプロモートを引き受けたのが、極真のハイチ支部でね。

——試合場としてハイチが選ばれたのはどういう理由だったんですか？

康　それはハイチ以外に許可が下りないから（笑）。

——まあ、そんな興行は普通の常識だと許されないですからね（笑）。

康　ハイチの大統領はブードゥー教の信者でね、これもまたヤバイ大統領だったんだ（笑）。

——だからこそ許可も降りた、と。

康　ところが女優のブリジッド・バルドーっているじゃない。世界動物愛護協会の会長とかやってる。そのブリジッド・バルドーが大反対しちゃってね。彼女が言うには虎が可哀想だと。虎と闘おうとする馬鹿な日本人は殺されても構わないと（笑）。

——まあ、いざ試合やっても確実に空手家が殺されるだけなんですけどね（笑）。

康　当時のアメリカはカーターが大統領だったんだけど、彼女は大統領にもアピールしたわけ。ホワイトハウスが介入する直接の権限はないんだけど、ハイチはもの凄く貧しい国だからアメリカからかなり援助されてて、もし闘わせたら援助を止めるっていう話になったんだよ。それでなくなっちゃった（笑）。

——空手家vs虎でもらえるギャラより、資金援助の額の方が大きいでしょうからね（笑）。

康　大統領に「ミスター康。お前がその額を保証するんだったらいいよ。保証できないだろう」って言われてね（笑）。

——実際に闘ったらどうなったと思います？　聞いたところによると、かなり凶暴な虎を用意しちゃったらしいですけど。

康　そうそう。インドから東京に来た虎を買ってね。法律上アメリカ国内を通れないからパリ経由でハイチに持っていった。ハイチまでの24時間、水も飲んでない何も食べてない状態で着いたわけよ。現地人が空港に1000人以上来てたけど、虎が「ウワーッ！」って吠えたらみんながダーって逃げてね（笑）。

——それぐらい迫力があって（笑）。

康　身体の向きが変えられないぐらい小さい箱に入っていたんだけど、猫と一緒で身体はすごく柔軟だから、クルリと体勢を入れ替えることができるんだよ。あれは魔法を見てるのかと思ったね。

——だんだん虎の恐ろしさがわかってきたんですね（笑）。

康　一番ヤバイと思ったのは、虎にドーベルマンをけしかけたとき。虎っていうのはお腹が空かないとダメだから、ゴロンと寝転がったままだったんだけど、ドーベルマンが飛び掛かったら、ちょっと手で振り払っただけでドーベルマンの顔がベロっと剥がれちゃった（笑）。

——振り払っただけで！

康　これにはみんなブルッちゃった（笑）。爪なんかすべて出刃包丁みたいなもんだしね。まさかのために狙撃手を10人ぐらい用意したんだけど、組んずほぐれつになったらどっちを撃っちゃうかわからない（笑）。

——要は、もともと無理な対戦だったんですねえ（笑）。

康　猪木vsアミンよりも滅茶苦茶な話だからね。猪木vsアミンは言ってみればエンターテインメントですよ。

——こっちは殺人ショーですもんね（笑）。空手家が死んだらヤバイという思いはあったんですか？

康　ないねえ（キッパリ）。

——ダハハハハ！　ありませんでしたか（笑）。

康　弁護士たちも間にちゃんと入っていて、本人も一筆書いてたから、僕には法的な責任がないことになってたもん。これは興行のひとつとして、本人がOKしてんだからいいじゃねえかとね（笑）。

——ダハハハハ！　しかし、アミンにしろ虎にしろ、夢の対決というのはなかなか実現しないものなんですね。

康　両方とも国際情勢が絡んでるんだけども。まあ、ブリジッド・バルドーの言うことは正しいよね。虎っていうのは希少動物で保護運動されてるわけだから。無謀な僕にも問題があるわけで（笑）。

——話題は凄く提供したけど、お金にはならなかったわけですよね。

康　損しましたねえ……。でも共鳴してくれた人が準備費とか出してくれたから。実現できなかったらしょうがないってことを納得の上でね。

——じゃあ康さん自身はそんなに出してないんですか？

康　もちろん蓄えの中から出しましたよ。準備費って結構掛かりますから。会見にするにしてもお金は掛かるし、ハイチに20人ぐらいで行くんですからね。

——空手家vs虎が中止になってから、格闘技系の興行に興味が湧くことはなかったんですか？

康　もともと僕はプロレスとかの方面に興味はなかったからねえ。いまはK—1や『PRIDE』は盛んになってきてるけど、あんまり興味は沸かないよ。

——つまり、相手がアリやアミンだからであり、虎だったからこそ動く

昭和57年（1982年）8月4日（水曜日）

放送権独占?!

ロス五輪に割り込んだ"騒動師"康氏

東京の民放局の依頼に

47億5千万円で合意

康氏

康さんはオリンピックの放送権問題にも暗躍しており、その名を馳せた。82年のロス五輪はNHK、日本テレビが共同で交渉を進めていたが、テレビ朝日が独占すべく康さんが割って入り大騒動へ。最終的には「落とし前をつけさせて降りた」と康さん。

気になったってことですか？

康　そういうこと（キッパリ）。

――できることなら康さんに、タイソン招聘を実現したもらいたいですよ。

康　タイソンもＫ―１にはあんまり乗り気じゃないでしょ。彼はまだボクサーとしてやっていくつもりだから。

――あくまでもボクシングがメインという感じみたいですよね。

康　そっちをリタイヤしたらやるかもしれない。タイソンについては現段階で一肌脱いでもいいなっていう気持ちはあるんだけど、石井氏たちが自分でやろうとしてるからね。

――Ｋ―１といえば石井館長が脱税で捕まっちゃいましたけど。ああいうことって興行をやる上では致し方ない部分もあるんですか？

康　そりゃそうですよ。だから今回の判決は可哀想ですね。石井氏とはパーティーで会った程度でそんなに知りませんけど。百瀬氏とは何回も会ってるけどね。物書きとかそういう連中と一緒に会ったり、そういった付き合いがあるという程度ですけど。猪木君とも仕事の繋がりはないけど、よく会うんですよ。

――当時といまとでは猪木さんって変わりました？

康　基本的に彼のヤマッ気っていうのは変わらないじゃない。

――変わらないですよねぇ（笑）。

康　参議院議員になったり、いろんな事業に手を出したりね。失敗したことのほうが多いんだろうけど。

――いまは永久電機に力を注いでいるんですよ（笑）。

康　そういうことしょっちゅうやってる（笑）。一種のドリーマーだよね。猪木君はただのプロレスラーじゃないからさ。

――プロレスに対して凄いコンプレックスがあって、それ以外で認められたいっていう表れだとは思うんですよ。

康　だからアリ戦も同じなんだよね。コンプレックスというより、自分の守備範囲に留まりたくなくて、もっと乗り越えたい想いがあるというか。これからもずっとそうなんじゃない？　なかなか面白いドリーマー。デイ・ドリーマーっていう言葉でもいい（笑）。

――白昼夢に近いですか（笑）。

康　それが彼の良さだから。他のプロレスラーはそんなこと考えないでしょ？

――普通のプロレスラーが永久電機を作ろうなんて思わないですよね（笑）。

康　僕が猪木vsアミン戦を発表したときも、新日本プロレスの連中は新間君以外は誰も乗らなかった（笑）。

――そりゃそうでしょうね（笑）。

康　新間君もなかなか面白いよ。あの人もデイ・ドリーマーだ。

――無謀な話にもちゃんと乗ってくるわけですからね。

康　だから非常に面白い男。何かあれば一緒にやりたいと思ってんだけど、なかなかこういう時勢だから機会がないんですよ。

【こう・よしお】康さんのその他の偉業は、竹熊健太郎氏の『箆棒な人々』や、3月に単行本化予定の『変人偏屈伝』（荒木飛呂彦×鬼窪浩久）、自伝的著『虚実家宣言』を一読することをお勧めする。ちなみに『虚実家宣言』は、康さんが語り尽くしたものを、若かりし頃の花田紀凱氏が構成していたことが発覚。その幅広い交友関係にもすっかり脱帽である。

アリ、アミンのようなハイパーオカルトな人物がいれば、すぐ動きますよ！

――もし何かやるにしても、アリやアミン級の相手もいないですからね。

康　みんな平均化しちゃったじゃないですか。だから話がどうしても小ぢんまりしてきちゃう。横綱の朝青龍が来るっていっても、それはそれで面白いからいいんだけど……。

――やっぱりスポーツの枠に収まっちゃいますよね。

康　アリにしても、強さにスター性がプラスされていたから惹かれたわけですから。仮にアリじゃなくてタイソンだったら、僕は動かなかったですよ。

――エンターテイナーとしても、アリの方がズバ抜けてますよね。

康　エンターテイナーっていう呼び方は誤解を招く場合があるんだけど、言うならばハイパーオカルトなキャラクターかな。そんな人物がいればすぐ動きますよ。

――そして、猪木さんみたいに無茶な相手とでも試合をやりたがる人がいればいいんでしょうけど、やっぱりあの時代だからこそできたってことですかね。

康　波乱の時代でしたからね。血風録みたいなもんですよ（笑）。アリやアミンみたいな人物がいて、猪木君みたいなのがやる気になればすぐやりますよ！　それは僕じゃなきゃできないからね。最近はサダム・フセインがああいうことになったけど、もしフセインが試合やるって言えば、僕にはフセインにルートがあるから。

――あ、フセインにもルートがあるんですか（笑）。

康　いつでも動けますよ（キッパリ）。ただ、いまは抑留されているからね。

――猪木vs金正日とかそういう発想ですね（笑）。

康　もちろん金正日でもいいですよ。金正日も格闘技大好きだから、猪木君が北朝鮮で大会やったときは、金日成と親子で観てたしね。あのときは僕も行くつもりだったんだけど、ビザの関係で入れなくて。そのために一肌脱いでもいい。僕なら彼もＯＫするだろう。

――ＯＫしますか（笑）。あと動物の試合もやってほしいですけどね。

康　虎と？

――いや、虎はさすがに怖いので、牛や熊でも何でもいいんですけど（笑）。

康　でも、大山氏みたいに闘ってくれる人間がいないじゃない。いますか？

――難しいでしょうねぇ（笑）。

康　いないでしょ。大山氏がひねった牛は弱ってたのはたしかだけど、ああいう人はいないもんね。いればいますぐ闘わせますよ！

――いますぐ（笑）。とにかく、またいつか格闘技関係で無茶なことをしてくれることを期待してます！

【04年2月某日／アントン行きつけのバーにて収録】

2/5〜7 WWE『RAW』Presents

"ROAD TO WRESTLE MANIA"

これぞ純度120%混じりっけのないプロレスだ!!

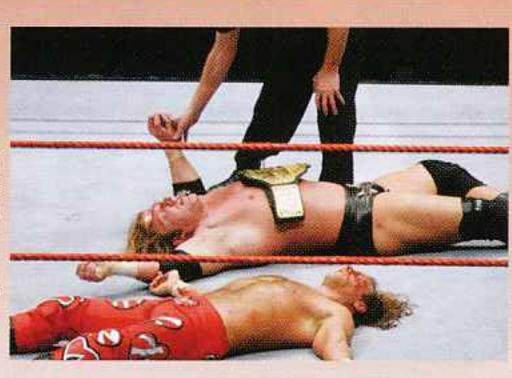
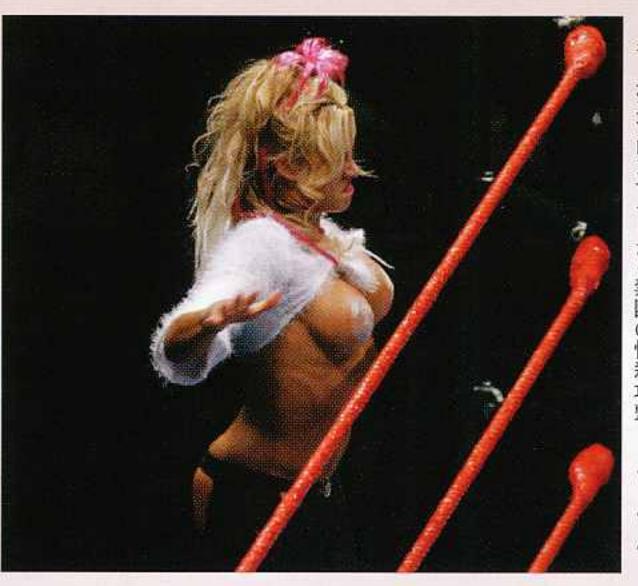
構成／坂井ノブ
試合写真／平工幸雄
designed by matsu（Two Three）

2/5〜7 WWE『RAW』Presents
"ROAD TO WRESTLE MANIA" DIGEST & REPORT

まさにKONISHIKI 3:16!

リングサイドに陣取ったKONISHIKI&武蔵丸親方は、オースチン劇場の際にビールを渡されて乾杯!!　見てみぃ、KONISHIKIの飲みっぷり!!　WWE入りも即可能な見事な一気を披露した。

アメリカンプロレスの最高峰

王者トリプルHと挑戦者HBKの世界ヘビー級選手権は20分を越す死闘に！　双方が必殺技を出し合うシーソーゲームの末、再びトリプルHの腰にベルトが巻かれた。これぞアメプロ！

おっぱいもポロリ!!

さいたま大会のセミ・ファイナルは意外にも地味なカードだった（リコvsテスト）のだが、試合終盤マネージャーのジャッキーがエプロンサイドから禁断の悩殺攻撃！　VIVA！

お前、男の中の男だよ!!（と中指を立てる）

尻出しmeetsデッドリー・ドライブ！　最近のプロレスファンの目には、ただのバカに映るかもしれないが、フレアーなりの故ディック・マードック（あるいはドラゴン？）へのオマージュだったりもするのだろうか？　これぞ正統派アメリカンプロレスの真骨頂だ。最大級のリスペクトを！

過去に16回も世界王座を獲得したリビング・レジェンドが尻丸出しで宙を舞う！　このシーンこそ、今回のWWE『RAW』日本ツアーのハイライトシーンと断言できる、至高の尻出しデッドリー・ドライブだ。

前号でも書いたように、今回の『RAW』ツアーは〝ストーンコールド〟スティーブ・オースチンの初来日が決まった時点で半ば成功は確約されていた。案の定、どこの会場でも「ガシャーン!!」という大音響とともにストーンコールドが登場すると客席は総立ち、中指も総立ちのお祭り騒ぎとなった。3日間とも同じようなセリフでエリック・ビショフにイチャモンをつけ、同じようなタイミング（乾杯↓ビール・一気の直後）で必殺技スタナーが炸裂！　もちろん、どの会場でも同じように、その日最高の盛り上がりとなったが、それでも3日間のうちに、少しずつ小ネタやアドリブ（ストーンコールドが「お前、黒帯持ってんだろ？」と脅しをかけて「カラテ、ジュウジュツ、ジュウドウで勝負してやってもいいんだぜ？」と迫るシーンなど）が加えられて、プロモの質が明らかに上がっていることに驚かされた。

アメリカンプロレスは一日にして成らず！

リック・フレアーが、なぜ毎試合コーナーポストに登り続けるのか？　エリック・ビショフは、なぜ毎回スタナーでやられると分かっていながら出てくるのか？　ストーンコールドにビールを投げる人は、なぜあんなに上手くトスを上げられるのか？　同じことを何度も繰り返すことで少しずつ練り上げられていけば質も精度も向上する。鳥肌モンの極上シーンの数々は、マンネリと闘いながらWWEが積み重ねてきた経験値の総決算だ。

今回のツアーでは3戦ともリングサイドで撮影を行ない、本国アメリカでもWWEをリングサイドから撮影をしているジミー鈴木氏に話を聞いてみると「日本大会のようなハウスショー（＝ノーTVマッチ）は、通常の『RAW』などと選手が時間に制約されることなく伸び伸びと試合が出来るから、選手は『あれもやろう、これもやろう』と自分の持ち味を全部出そうとする」とTVマッチとハウスショーの違いを指摘する。確かに、長すぎてダレる試合も随所に見受けられた。いつの間にか来日メンバーが減っていて、シングルマッチがやたら多かったことも影響しているのだろう。

そんな中で、一瞬たりともダレることなく試合を繰り広げたのがリック・フレアーだった。HBKとはアメプロ最高峰の試合をした（広島）かと思えば、世界最高峰のタッグチームであるダッドリー・ボーイズを相手にした試合（大阪&埼玉）でも、たった1人で相手2人の存在感を見事に消してしまった。どんなにボコボコにやられても、フレアーが受身を取るたびに試合が沸く。さすがと言うしかない。チョップを受ければ3歩歩いてからバタンと倒れ、金的攻撃には絶叫しながら悶絶し、「NO、NO」と許しを乞うフリをしながら相手の目を突く。タッグマッチでコーナーに控える時もフレアー・ウォークから「Woooo!」と雄叫び一発で注目を集め、試合のペースを逆転してしまう。4の字固めを極めたかと思えばひっくり返されて悶絶

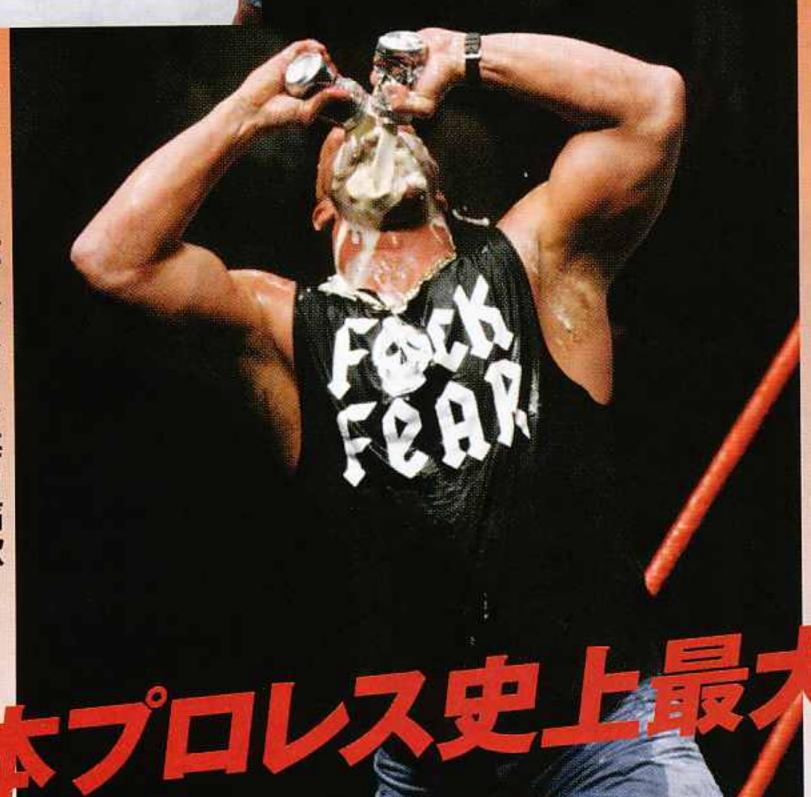
ただスタナーを喰らうためだけに

WCWの副社長として新日本のドーム大会などに来日しているビショフも、現在は『RAW』のGM……とは名ばかりで、仕事はストーンコールドにやられること！　広島、大阪、さいたまの各所でリングアナのハワード・フィンケルにイチャモンを付けると、「ガシャーン!!」。ストーンコールドにビールを勧められても「私はワインがいい」と場の空気を読まない発言でヒンシュクを買い、渋々ビールを飲んだ（投げて渡される時は必ず2回ビールを落とす）その瞬間にスタナーが炸裂する。最高にスカッとする瞬間を見事に演出してくれたビショフにも乾杯！

アサヒスーパードライを毎日痛飲!!

アメリカではライトなビールのオースチンだが、アサヒ・スーパードライはキツかった模様。さいたま大会では100本近くのビールをぶちまけて、浴びるように飲んでいた。

日本プロレス史上最大の祝祭空間、出現!!

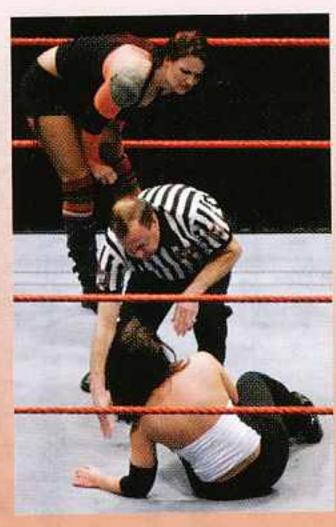
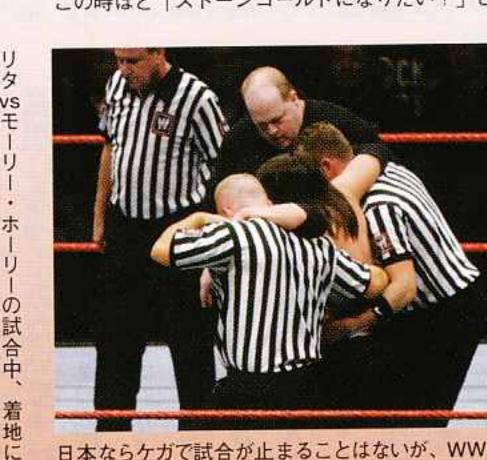
今回のステイシーのミニスカは前回以上に短かった！　奇跡的な美脚&美尻を披露してくれました。この時ほど「ストーンコールドになりたい！」と思った瞬間はない。ベストポジションだ！

ビールの海で泳ぎたい!!

最終日のさいたま大会では、残りのビールをすべてぶちまけ、クーラーボックスまで引っくり返して、リング上でクロール！　ホント気持ち良さそうだ!!

Hell Yeah!!

「Gimme a HELL YEAH!?」「Hell Yeah!!」と観客とのコール&レスポンスも絶好調！　そしてダッドリーズ、ハリケーン、リタ、ステイシーとともにリング上で乾杯！　じつにハッピー！

観客も全員だまされた!! 表も裏もオープンなWWEだからこそ可能な超高級チープショット

リタvsモーリー・ホーリーの試合中、着地に失敗したモーリーが足を痛める。ジミー鈴木氏によれば、この瞬間にリタは「Are you OK？」と聞いたそうだ。誰もがマジでケガだと思う。

日本ならケガで試合が止まることはないが、WWEは花道からスタッフが救援に駆けつける。モーリーは肩を抱かれ、リタが開けたロープの間をくぐろうとした、まさにその瞬間！

モーリーがリタを蹴っ飛ばす！　裏と表をキッチリ区別しているWWEにしか出来ません！　裏を見せているように見せかけて、また表に引っくり返すという斬新かつ古典的な裏技だ。

している。ババ・レイ・ダッドリーにタイツを掴まれ、ペロンと尻を出すとそのままの体勢でリングを2周。何を血迷ったか、尻丸出しのままコーナーポストに登ると、大きく弧を描いてデッドリー・ドライブで宙を舞った。

もはや一人相撲ならぬ一人プロレスで、リングは完全にフレアーの独壇場と化す。ダッドリーズにテーブル・クラッシュもさせないまま、フィニッシュは若手のバティスタに譲り、それでも試合を独占したのはフレアーだった。トリプルHを始めとするWWEスーパースターズ、関係者、ファンが絶大なるリスペクトを送るのも非常に納得できる圧倒的な内容だった。

バカにしか見えないフレアーの数々のムーブこそ、プロレスでしか見ることができない光景だ。あれこそ、純度120％まじりっけのないプロレスである！　対戦相手を引き立たせる受身が賞賛されるプロレスのビジネスにおいて、フレアーはさらにその先に行ってしまっている。対戦相手を光らせるより、自分が光る受身！　これが出来るということは、すなわち「ホウキ相手にもプロレスが出来る」と言われる達人の領域であることを意味する。

まさに、フレアーは一日にして成らず！

何十年も同じことを繰り返しやり続けるフレアーこそ、プロの中のプロだ。

ちょうど1週間前に髙田延彦『PRIDE』統括本部長が「男の中の男だよ！」と親指を突き上げた大阪城ホールで、僕は「フレアーこそ男の中の男だよ！」と中指を突き上げた。

（坂井ノブ）

何時男、叙似位&派乱暴のF.B.I.Presents
ネタバレ通信
Vol.12

次回『スマック』は初夏に来襲!?

何時男　今回のWWEツアーはかなり評判が良かったですねぇ。

叙似位　僕の周りじゃ（2001年の）3・1に並んだんじゃないかって声もありましたよ。

派乱暴　あんな小さい会場でストーンコールドを体験できたんだから、広島のお客さんが多分いちばん贅沢でしょう。

何時男　広島の観客動員は公式発表で2800人ってなってましたけど、あの入りだったらきっと新日本あたりは4～5000人ぐらいで発表してると思うんですよ（笑）。

叙似位　実際、ファンの熱は相当ありましたからね。

何時男　試合はどうでしたか?

叙似位　良かったんですけどね…………ぶっちゃけて言うと長い！（笑）。でも、これでまだ見ぬ大物ってビンスだけになっちゃいましたね。だから、ここらへんでWWEも1年に1回ぐらいにして間隔を空けて熱を作ってから大会を行った方がムーブメントは持続できるんじゃないかと思うんですよ。そうすれば『週刊ファイト』の一面に、「興行人気イマイチ」なんて書かれなくて済むと思うんだけどなぁ。

派乱暴　根本的に日本のマーケティングが出来てないんですよ！　次は初夏に『SMACKDOWN!』が来るとかいう話ですけど、間隔がなさ過ぎますよ。

叙似位　「また?」って感じですからね、余韻に浸る暇もない。

派乱暴　あまりにもプロモーションが下手というか、手を打たな過ぎでしたね。最初、ストーンコールドの来日は発表されてなかったですけど……、あまりチケットが売れなかったから投入されたんでしょうね。あと、本国で発売されたばかりの自伝本のプロモーションで来た部分もあると思いますよ。今回は、たまたまタイミングが良かったから来たのかもしれないし。

何時男　オフィシャルWWEショップのサイン会では1000冊以上売れてましたからね、英語版だし、￥3500なのに。どこの会場でもサイン会をやる時は30分は押してましたけど、あれはどうにかならないんですか?

派乱暴　あちらのスタッフは「来るだけでもありがたく思え！」とは言わないまでも、それぐらいの勢いみたいですから（笑）。

何時男　殿様商売だなぁ。

派乱暴　ホント、WWEの場合はアテンドするのが大変なんですよ。今回、先乗りしてたWWEのスタッフが、スーパースターズをどこに連れて行くかロケハンしたんですって。その人、必ずスーパースターズが食べる前に毒味をするんですけど（笑）、自分がいいと思ったところに選手を誘導してくるのが仕事なんですけど、その人がお好み焼きをとにかく気に入ったみたいです（笑）。

1月25日『ROYAL RUMBLE』で優勝、翌日『RAW』移籍を果たしたベノワだが、2月5～7日には、まだ日本でそのエピソードは未放送だった。存在自体がネタバレだったのだ。

衝撃！　ビショフの内緒話とは何か？

何時男　密かに期待してたんですけど、今回はプレス・リリースに勝敗は書き込んでなかったですね（笑）。

叙似位　あの昨年7月の勝敗表リリース事件は、どうやらツアープロモーターのミスだったらしいですよ。

何時男　逆に、今回は試合開始30分前に全カードが発表されるという異常事態でしたよ。

派乱暴　じつはHBKが広島大会でケガをして、それ以降のカードが変更になったみたいですけどね。

叙似位　それで大阪のHBK vsケインがなくなってたのか！

派乱暴　そのHBKは、1月末の『ROYAL RUMBLE』でトリプルHと闘って2人とも大流血してるんですよね。

何時男　あ、それでトリプルHは額に絆創膏を貼ってたんですね。

派乱暴　でも、追っかけの人がホ

今月の最新作DVD各1名様に読プレ！　今月も必見ですよ！

今月の新作DVDもやばい！　まずは歴代の金網マッチを総ざらいした『ブラッド・レスリング』。2枚組で本編116分、DVD特典219分収録の超ボリューム！　1980年のボブ・バックランドvsジミー・スヌーカに始まり、94年のブレットvsオーエン、97年のトリプルHvsマンカインド、99年のストーンコールドvsビンスなど11戦にも及ぶ壮絶な金網戦を収録するだけでなく、地獄の金網に身を投じてきた男たちの貴重な証言も多数収録している。間違いなく必見だ！

そして、もう一本は『サバイバーシリーズ2003』。昨年最後の『RAW』&『SMACKDOWN!』共催PPV大会だ。ジャケで大々的にフューチャーされているのは、ケインと闘ったシェイン・マクマホン！　さらに、ビンスvsアンダーテイカーの生き埋めマッチも背筋が凍るとんでもない展開に！　どちらも各1名様にプレゼント！

【提供】ユークス

『ブラッド・レスリング』（2枚組　DVD：￥5700／本編116分・DVD特典219分）血塗られた歴史を今こそ紐解け！

『サバイバーシリーズ2003』（DVD：￥3800／本編171分・DVD特典20分）特典でタジリvsノーブルを収録！

※このページのプレゼント応募方法はP159を参照!!

テルでトリプルHと撮った記念写真では、絆創膏してないんですけどね（笑）。試合やサイン会ではちゃんと貼ってましたけど。

叙似位　大仁田厚と一緒じゃないですか！（笑）。

何時男　それだけ演出には細かく気を遣ってるってことなんでしょうけど……。なぜクリス・ベノワの登場には気を遣わないんだろうなぁ!?

叙似位　大阪でやったFCサイン会では「『WRESTLE　MANIA』ではトリプルHを倒してベルトを巻いてやる！」なんて、ネタバレお構いなしにマイクで言ってましたけど（笑）。彼らは日本での放送にどれだけ時間差があるかなんて知らないんでしょうね。

何時男　エボリューションが揃い踏みした埼玉のFCサイン会は良かったなぁ。

派乱暴　あの4人がベルトを肩からかけて勢揃いするとホントに豪華ですよねぇ。

叙似位　イベント中、フレアーは司会の阿部タケシに向けて、しきりにウィンクしてたらしいんですけど……。

何時男　ケツ出してアピールしてたのは、そういう意味だったんだ？（笑）。

叙似位　でも、じつは横にいたサムライTVの三田佐代子アナにアピールしてたって説もありますね（笑）。

何時男　そっちが正解でしょ（笑）。

叙似位　フレアーは出待ちしてるファンに対しても、ひたすら女を相手にしていたという（笑）。カメラを持った男子が近づいていっても、見向きもしなかったらしいですね。

何時男　さすがだ！（笑）。トリプルH、リック・フレアー、HBKはリムジンで一緒に移動して遊んでたって噂もありますよ。六本木の某所で今回もペイントマンとして大暴れした某国民的写真週刊誌・副編集長の目撃談によると、バティスタとオートンは他のスーパースターズと一緒だったみたいですけどね。

叙似位　エボリューション内も若手2人とベテラン2人の間には歴然とした序列があるみたいですよ。

派乱暴　そういうバックステージでの序列が垣間見えるのって嬉しいですよね。今回、僕は少しだけバックステージの様子も見てきたんですけど、エリック・ビショフはかなりないがしろにされてるなぁって感じでしたよ（笑）。

叙似位　僕も少しだけ中に入ったんですけど、ビショフはひとりでウロウロしながら、さっきクシでとかしたばっかりの髪の毛を鏡の前で何度も何度もとかしてるんですよ（笑）。それで僕はビショフと話をしたんですが……。

何時男　おお、ホントですか!?

叙似位　「この3日間、スタナーでやられるために日本に来たんですよね？」って聞いたんですよ。

何時男　アハハハ！　失礼な！

叙似位　そしたら、「シーッ！」って口を塞がれて、小声で僕に「じつはこの3日間で必ず1回はストーンコールドのケツを蹴っ飛ばしてやろうと思ってるんだ」って（笑）。

何時男　いい話だなぁ！（笑）。でも、見事に3回ともやられてたじゃないですか？

派乱暴　正確には4回ですね。お台場でストーンコールドがやってたサイン会に乱入して、そこでも殴り倒されてますから（笑）。

【2004年2月某日、都内某所にて収録】

嵐のようにやってきて広島～大阪～さいたま～六本木？と日本を駆け抜けていったWWE『RAW』軍団御一行様。今回もいろいろネタを提供してくれましたが、WWEってしっかりしてそうで、意外に抜けてるよなあって部分が多々見え隠れするツアーだったように思います。というわけで、こぼれ落ちてきた裏ネタの数々を今月も密売します！

F.B.I.とは？■「踏み込んだところまで・バラしちゃって・いいかな？（いいとも！）」の略。『SMACKDOWN!』のマフィア系3人組「F.B.I.」（フル・ブラッド・イタリアンズ）にあやかって命名。プロレス業界に潜伏する何時男（なんじお）、桁違いのパワーで情報をかき集める叙似位（じょにー）、裏方さんの派乱暴（ぱらんぼ）の3人組だ。

噂FILE

紙プロ海外特派員ナンシーが掴んだ「アメプロ噂の噂」

●ビンス、トリプルHの誕生会開催！
「ニューヨーク・ポスト」メール版によると、ビンス・マクマホンが義理の息子トリプルHの誕生日パーティーを、「アカペラ」というレストランで開いたという。身内だけでひっそりと、メンバーは派手に行なわれたとのこと。

●ビンス、レッスルマニアXXでブレットの出場を熱望！
ビンス・マクマホンが、ヒットマンにレッスルマニアXX出場のオファーを出し続けている。アメリカのファンは3つの可能性があると予測している。
1. WWE殿堂へ復帰の布石。
2. レッスルマニア当日でスピーチ。MSGで、ファンに別れの挨拶をすることは、ヒットマンとビンスの間では合意に至っているらしい。
3. クリス・ベノワ、トリプルH、ショーン・マイケルズによる世界タイトル戦に、特別レフェリーとして参加。同じカナダ生まれの同士ベノワのタイトル奪取をサポート。しかし、ハートはとにかくプロモに戻ることに反対している。

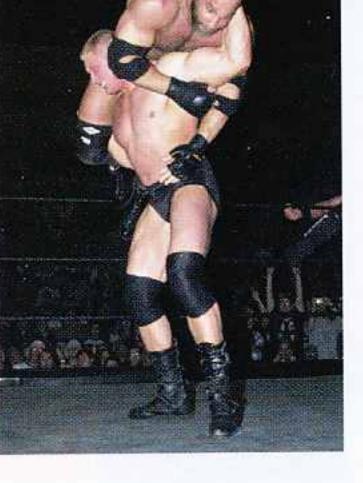
●クリス・ベノワが王座獲得!?
WWEフロントは4月にカナダ・エドモントンで開催される「バックラッシュ」に向け、二つのビデオを制作するようオーディオ・ビデオ部門に命じたという。カナダ・エドモントンでのPPVは初開催。エドモントンといえば、ベノワの故郷。そのビデオ、一本はPPVに向け、すでにローカルでも全国版でもオンエアされているバックラッシュの30秒告知モノ。片や一方はブッカーTがクリス・ベノワと世界ヘビー級王座を賭けて闘うことを熱く語っている内容とのこと。

●RAW所属選手、ヘトヘト
日本興行から帰ったRAW一行。帰国一発目のRAWは、多くの選手がヘトヘト。日本への往復はかなり長い上に、中には時差ボケに悩まされる選手もいた様子。

●マジ！　レズナー退団か？
レッスルマニア20で、ゴールドバーグに敗北！という噂もあるブロック・レズナー。そんな彼氏、「何か別のことで同じくらいの金が稼げたら、WWEをやめるだろうな…。」と漏らしたそうだ。巡業スケジュールが忙しすぎて、ジムでのトレーニング時間が最悪30分しかとれないことにも不平タラタラらしい。

●ザック・ゴーウェンを解雇。インディー団体へ
ザック・ゴーウェンが、英国サウス・ヨークシャー州ドンカスターのザ・ドームで8月28日に開催されるXレスリングのイベントで、チャド・コリアと対決するらしい。さらにインディー団体で闘いながら、NWA-TNAとも交渉しているという。

WWEを体感せよ！FC会員限定のサイン会で大興奮！

今回のツアーではWWEオフィシャルFC会員限定イベントとして、大阪城ホールでRVDとクリス・ベノワのサイン会、さいたまスーパーアリーナでエボリューション（トリプルH、リック・フレアー、ランディ・オートン、バティスタ）のサイン会が行われた。貴重な肉声もたっぷり聞ける！　FC入会はこちらをチェック！

http://www.wwefanclub.ne.jp

オフィシャルWWEショップでは連日、ストーンコールドがサイン会。ビールもガブ飲み！司会は高木三四郎！

エボリューションが4本のベルトを持って集結！　こんな豪華絢爛なサイン会はなかなかお目にかかれません！

サイン会の最中、ビジョンに自分の入場シーンが映ると机に立って「R・V・D！」。

ビンス・マクマホンをあらゆる角度から徹底検証する新連載

ビンス・マクマホンの KISS MY ASS CLUB Vol.1

プロレス界のKING OF KINGS ビンスのケツにキスする会、結成!!

アメリカ、いや世界のプロレス界の頂点に君臨する王の中の王、ビンス。テレビの瞬間視聴率をいつもかっさらうWWEの大河ドラマの主人公だ。これはアメリカに限った話ではない。フジテレビで放送中の『SMACKDOWN!』もビンスが登場している瞬間の視聴率はダントツだという。少しずつビンスは日本にも浸透しているのだ。

ビンスの魅力を語るとしたら、リング上に世紀の大ヒールとしての顔だけでは不十分だと言わざるを得ない。ましてやリング外だけを検証しても不十分。この連載では、ビンスをあらゆる角度から検証してみたい。そこで、本誌はかつてビンスがリング上で提唱した"伝説のグラブ"の名を借りて、ビンス研究を強力に推進していくことにした。その名も「KISS MY ASS CLUB」だ!

ビンスは叫んだ!「KISS MY ASS!」と……

2001年11月、WWEのリング上に一人の悪魔が立っていた。その名はビンス・マクマホン! WWE対アライアンス(WCW&ECW連合軍)の抗争に終止符を打ったビンスは、WWEを裏切ったアライアンスの粛清を宣言! 「ケツにキスする会」(=KISS MY ASS CLUB)の結成を高らかに宣言すると、アライアンスに寝返ったウイリアム・リーガルにケツ(ちなみに生尻)を突きつけキスを強要した。この他にもJRが犠牲者になる。トリッシュもケツ・キスの毒牙に襲われかけたがロック様が救出! 最後はビンスが、リキシのケツにキスをするというオチで幕を閉じた。買収したWCWをWWE内でのヒールに仕立て上げ、アングルが終わると共に「キス・マイ・アス!」と叫ぶ、あの瞬間のビンスは最強のビジネスマンであり最高のヒールだったといえる。

ビンス・マクマホン徹底論評 第1回

スポーツ・エンターテインメントを生んだ ビンスのルーツはどこにある？

文／長谷川博一

大義なき戦争。現在のアメリカ軍によるイラク攻撃を糾弾する人々は口を揃えてこう言う。大義がなくて困っているのはアメリカだけではない。日本のプロレスだって同様である。日本のプロレスには今、大義がない。かつての道場神話も、プロレス最強説も、これだけバーリトゥードの技術が専門的に特化した今となっては一種のお伽話。強さの追求とはまた別種のおまじない。新世紀のプロレスのおまじないが必要である。

てなことをふまえつつWWEを見てると何とも心が落ち着く。心が躍る。WWEには大義がある。もしくは明確な目的意識がある。フェイクやショウといった陳腐な言葉は使いたくないが、彼らが提供するものは「スポーツ」ではなく「スポーツ・エンターテインメント」であると、とっくの昔に宣言している（P73参照）。更なるプロレス・ビジネスの躍進。そこだけに団体は全てを賭けている。虚実入り乱れた別世界。素人が入れない、まさしく闘いのワンダーランド。痛快。コテコテ。2時間1本勝負の映画のようなTVプログラム。あのリングの主役は誰か。毎週・毎週、計4時間に及ぶTVプログラムを見続ける内に、答えは自ずから明らかになってきた。主役はレスラーではない。ビンス・マクマホンに決まっているのだ。

クルエルと狂える。英語と日本語の意味がほぼ等しい珍しい形容句だが、まさにビンスは狂える男。時にはタレントとして、時には裏方で、彼は文字通り命懸けでビジネスを守っている。命を失うこととビジネスを失うのは同義。新企画を考え実行する日まで、彼は全ての責任を背負う。全てに触っている。ビンスが只ならぬエネルギーを持った狂える人であることは周知の事実だろうが、彼は同時にシラフな狂人。責任感のある狂人である。ここまでの逸材は日本にはいない。だからこそ生まれる信頼感と奇妙さ。両方を交差させながらビンス・マクマホンを眺める時間は我々の至福の時間なのである。

TVで貴方も見たことだろう。ストーンコールドにビールの放水車をかけられ、思わずリングの上でクロールをしてしまうビンス。公開秘書面接でステイシーの美脚に見とれ、椅子から転げ落ち、一人バックドロップを見せるビンス。アンダーテイカーとの対戦が怖くて、寝床で失禁（しかも大の方）してしまったと愛人セイブルに告白するビンス。最高である。例えハルク・ホーガンが激しく嫉妬しても、画面に映るビンスの方がずっと魅力的なのだから、もうどうしようもない。

ビンスの半生をあれやこれやの資料で調べてみると、これが滅法面白い。本格的に自叙伝を書いたら永ちゃんの「成り上がり」を凌ぐものになるのでは、とさえ思う。本名ヴィンセント・ケネディ・マクマホン。1945年、米ノース・カロライナ生まれ。幼少時に難読症という奇病に悩まされたという過去からして、ジョージ・ブッシュ並み。掴みはOKである。父親がマクマホン・シニアであったことは良く知られているが、生まれて間もなく両親は離婚。母親と二人でトレイラーハウスに住んでた時代があったり、再婚した義父が暴力癖のあるDV野郎だったり、ビンスの少年時代はすさみっぱなし。海兵隊員との町喧嘩に明け暮れ、窃盗の容疑をかけられ高校はミリタリー・スクールに転校。高額な授業料を立て替えてくれたのが実父のシニアで、物心ついてから面会したシニアに一目惚れした彼は、いつの日かシニアと同じビジネスを始める日を夢想する。単なる演技力を越えている、両の目に時折宿るあからさまな狂気は、実人生の反映なのかもしれない。

愛妻リンダと知り合ったのはビンスが16才、リンダが13才の時。二人は学生結婚するのだが、リンダは大学卒業に3年、ビンスは5年かかったというエピソードもマル。いつしかプロレス業界で実績を上げ、82年に父親のWWWFを買収。87年の「レッスルマニア3」では過去最高の9万3千人を動員。億万長者になるも90年代には3年間に及ぶステロイド法廷闘争で破産状態に。本業のプロレスは順調でもWBFというボディビル団体を立ち上げると1500万ドルをすったり、アメフト新団体XFLにも失敗して3600万ドルをフイにしたり。真に浮き沈みの激しいジェットコースターのような人生なのである。

しかしどんな時も失わないのはプロレス・ビジネスへの情熱。長らく観察していると、この業界は情熱過多で、同時にトンチの効いた人が似合いの職場と思うが、ビンスは間違いなくベストマッチ。基本的に陽気なのが救いである。我々はここにビンス・マクマホンを中心にしてプロレス界を眺める集い「KISS　MY　ASS　CLUB」の結成を高らかに宣言したい。同クラブはビンスの感受性を紐解きながらプロレスを楽しむサークル活動である。もうビンスしか見えない、貴方と私のために。ギルティ・プレジャー、マンセー。

とあるインタビューで、貴方を凌ぐビジネスマンが現れたらどうするか、との問いにビンスはこう答える。「私はジャングルの掟を信じている。強いものが勝つのだろうし、いつか私も食われるのだろう。しかし私が食われるとしたら最強最悪の肉食動物にやられたいし、だとしても私を消化しきれないことを願うね。グハハ」　そしてビンスはアティテュード路線以降のWWEを、こう定義する。曰く「コメディ風味を主体にしたバラエティ・ショウ。或いはソープオペラ。ロックコンサート。アクション・アドベンチャー。しかも演じるのはカリスマ性充分の世界的アスリート達。どうだ！」これだけ要素が揃うなら、大義は充分だろう。マンセー。（了）

ビンス・マクマホン目撃証言集

私は見た!!

WWEの登場人物としてのビンスと、WWEのオーナーとしてのビンスは別物なのか？ バックステージに入れない我々には知る由もない。というわけで、稀代の超大物・ビンスを間近で見てきた方々に、エピソードを聞いてみようという連載がスタート！

文／長谷川博一

今月の目撃者

WWE公式カメラマン
ジミー鈴木

1959年東京生れ。『ゴング』『ファイト』『東スポ』で活躍する海外通信員の第一人者。WWEのリングサイドに入れる数少ないカメラマンの一人だ！

——ジミーさんがビンスに話しかける時は、どんな感じなんですか。

「やっぱり会社の社長さんだし、そんなに気軽に声はかけないよ。向こうが僕を見つけて話しかけてくれたら、ちょこっと会話をするくらい。普段はニコっと話しかけてくるか、無視して通りすぎるかのどちらかだね。ビンスに余裕がある時は〝ハウ・ユー・ドゥーイング、ガイズ？〟なんて顔に満面の笑みを浮かべて握手しにくるよ。〝日本のファンは貴方を待ってますよ〟〝貴方が来日したら確実にフルハウスですよ〟なんて僕が言うと〝オオヤ？〟なんて喜んでたけどね」

——WWEの現役のスーパースターにビンス評を聞くと〝尊敬してます〟なんて無難なのが多くて面白くないけれど。

「反対にホーガンなんかはボロクソに言ってるよね。折角レスラーがいい試合をしても必ずファミリーが登場してきて主役の座を奪おうとする、とかさ。まあホーガンは他のレスラーとは全く別個の存在だから何を言っても許される。でもレスラーはみんな知ってますよ。ビンスがいないとアメリカのプロレスはないということを。つまり今やビンスが即ちプロレスなんです」

——うむ、ビンスがプロレスである。頂きます！ WWEのビジネスの現況はどうです？

「アメリカのプロレスはコンペティションがないから苦戦してる。競争があってこそビジネスは発展するじゃない。WWEもWCWを買収した後にRAW派とSMACKDOWN派に分けて無理矢理競争関係を作ったわけだけど、しばらくはビジネスが落ちることをビンスは事前に予測してたよね。今だってビジネスは好ましい状態ではない。ただ昨年の11月と一昨年の11月を比較すると、ゲート収入もTV視聴率も前年比の4%アップしてるって聞いた。それは例えば10%の視聴率が10・4%になったっていう意味だけど」

——武藤敬司が00年にアメプロの舞台に立って「すっかり言葉のプロレスになっちゃった」と概嘆してましたよね。そのトレンドもWWEが作り始めたものですが、そこでビンス・マクマホンには果たしてプロレス・ラブがあるのか、という疑問も起こるわけですよね。

「レスラーによって感じ方は違うだろうな。今のプロレスを見てレスラーになった選手とオールドスクールのレスラーは、拘りが違うから。ストーンコールドなんて、本当は92年頃のレスリングに戻りたい、なんてこの前話してたし」

——しかしオールドスクールには今更戻れないでしょう。

「多分ね。どの業界だって進化しないと時代についていけないもの。でもビンスにプロレス・ラブはあるよ。何故かというと会社の体制を見てると分かるけど、ビンスは業界に貢献したおジイさん達を凄く大事にしてる。今回のRAWツアーだって、ツアー中のお金勘定を任せてるのはデーブ・ヘブナー。こんな仕事は背広組の人間に任せた方がいいと感じるけど、大事な仕事だからこそベテランの現場上がりの人間に託すんだよ。会社に忠誠を誓った人間だからこそ大事にもてなす、という意味ではWWEはキチンとした会社です。こういう点を見るとビンスは、とってもいいオジサンなんじゃないかと思う。苦労して今の地位を築いた人でしょ。子供の頃は半ば捨て子みたいな環境だしさ。血も涙もない人という印象を持たれてるかもしれないけど、反対に俺は人の痛みがわかる人生の経験者、という感想を持ってるけどね」

——ビンスは人生の経験者。いいですね。TVを中心にしたビジネス戦略。それから一連の版権ビジネスの拡大。ビンスの功績はこの2点が取り上げられる場合が多いようですが、ジミーさんが彼を評価するとしたら？

「そりゃあもう自らリングで受け身を取って流血もする。その凄まじさに尽きるよ。もうレスラーは何も文句を言えないじゃない。プロレスラーと背広組のギャップというのは埋めようがないんだよ。レスラーは実は心の中で〝お前はリングで受け身を取ってないから何も分からないだろ？〟って思ってる。ところがビンスは自らの体を張る事でギャップを埋めてしまった。同じことを息子にもやらせた。要はプロレスラーと完璧なコミュニケーションを取るためには受け身も流血も経験しないと、絶対レスラーの気持ちは分からないから。極端な話、プロレスの記者もそれをやるべきだと俺は思う。俺は実はやってるけどね」

——あれジミーさん、リングに上がってるんですか。

「合計3回経験してるんだよ。テネシーでランディ・サベージに殴られた時なんてTVにも出てるからね。ランディとジェリー・ローラーの抗争が当時あって、ローラーが日本に行って来たばかりだった。僕がコメンテーターで番組に出演して〝日本に行ったことのないランディと違って彼はこんなに活躍してる！〟って言ったのよ。そしたらランディにバーッとやられて流血もしてしまった。プロレスの記者って控え室に入れないじゃない。でも流血したら、どんなことになる？ いくつかあるシャワールームにチンチン出して並んで（笑）シャワー浴びるわけでしょう。控え室の中にそうして入り込んだんだよ。85年くらいだったかな、それから僕は中に入れるようになったね」

今やアメリカでは「ビンス＝プロレス」なんです！

——俺はビンスに負けてないぞ、と（笑）。

「ビンスのリングのデビューも秘話があってさ」

——伺いましょう。

「今みたいにリングで試合をする前、10年くらい前かな、ビンスはテネシーで予行演習を行ってるんだよ。その頃テネシーのリングはWWEのマイナーリーグだった。プロモーターはジェリー・ジャレットで、ビンスはある日悪役として登場してプロモーター同士が闘ったことがある。それを俺は見てるの。でもね、試合前に控え室にビンスに呼ばれたの。〝実は今日はレスラーとして出るんだけど報道はペケでよろしく〟って直々に言われたよ。この日のことが書かれたら、いざビンスが自分とこのリングに上がってもセンセーションが起きないからね」

——なるほど、アドリブのように見えて、しっかり段取りがある。ビンスの面目躍如の話ですね。彼はアイデアマンの権化という印象がありますが、身近に優秀な知恵袋はいるんでしょうか。

「そこら辺は良く知らない。良く聞くのは、ビンスは崇められるとか恐縮されるのが嫌いということ。フレンドリーなのが好き。彼は自分の会社の従業員を全員ファミリーだと思ってるんだよ。今回の日本ツアー、俺は団体のバスに乗せてもらったの。ヘブナーのOKをもらってさ。初めてバスに乗った時、一言目にオフィスの人間にこう言われたよ。〝ウエルカム・トゥ・アワ・ファミリー！〟って。ああ、これはビンス直伝のフレーズなんだろうと思ったね」

（了）

「WWEはエンターテインメントです」とアナタが言ったから、1997年12月15日は“スポーツエンターテインメント”記念日。

ビンスは過去にいくつもの名言を吐いているが、最も衝撃的だったのは「エンターテインメント宣言」すなわち、プロレスのカミングアウトである！
というわけで、このコーナーはビンスの過去の発言の中から、プロレスの未来に繋がる知恵を授かろうという連載です。

文／阿部タケシ

WCWの度重なる引き抜きで、窮地に追い込まれたビンス・マクマホン。決定的な痛手は、1997年11月9日モントリオールで開催された『SURVIVOR SERIES』。この日を最後に当時の王者ブレット・ハートがWCW移籍。しかしビンスは緻密なハメっぷりで、王座を〝防衛〟したが、窮地の状況に変わりは無かった。そこで1997年12月15日の『RAW』で約3分、視聴者に向かって起死回生の「スポーツエンターテンメント宣言」を高らかに行った。その内容は見ていた視聴者にかつてない衝撃を与えたマニフェストであった。ちなみに、この日は力道山の命日でもある。

「ビンス・マクマホンです。この時間は、今まで語られたことの無い真実を皆さんに語りたいと思います。

現在におけるWWF（当時）のすべては、我々の工夫の賜物と言っても過言ではありません。これらは近代的、独創的なエンターテインメントの形態です。皆さんはよくWWFを一言で〝スポーツエンターテインメント〟と称します。

しかし、実際には〝エンターテインメント〟のほうがメインであります。そう、WWFはスポーツの枠を飛び越え、幅広いエンターテンメントを提供しているのです。

言うならば、連続ドラマの筋書きを拝借したり、MTVのようなミュージックビデオのセンス、昼間のワイドショーや人気マンガやアニメ、その他あらゆるエンターテンメント番組から、様々なセンスを拝借しています。

さて、長年アメリカンプロレスを見ている方々は、もうベビーフェイスとヒールのありきたりな対立概念、単純な設定にもう飽き飽きしていると思います。もう、スーパーヒーローありきの時代は終わりました。我々は近代的で創造的な方向へ移行することにしました。以前のWWFより、活発で即興に富んでおります。

そういったこともあり、今後は小さいお子様が我々の『RAW』をご覧になる場合は、深夜番組ということもあるので、ご両親様の同席をお勧めします。『ライブワイヤー』や、『スーパースターズ』なども同様です。我々は責任感ある番組製作者として、WWFの素晴らしい世界をお届けしていきます。

半世紀に渡る世界のエンターテインメントの王者WWFは、時代の変革に次々合わせてきました。最近からは、また新たな方向転換を行ない、多くの視聴者を新たに獲得しております。

この時間を提供してくださった放送会社に感謝すると同時にWWFを愛する視聴者の皆様へ、深く感謝をいたします（ギロリ）」

今後の方向性を宣言したビンスは、現在の『SMACKDOWN!』に登場するあの〝狂男優〟ビンスのルーツと言っても良いほどの顔つき。とても会社の代表とは思えず、時折見せる笑顔と立ち振る舞いは、悪魔が乗り移っているようにも見えた。

とにかくWWFで行なわれている出来事は、スポーツを土台にしつつ、様々な娯楽から成形された、新しいジャンルで他団体とは一線を画していると強調。ここから過激を売りにしていた『RAW』が、より過激に変貌した。まずは画面左隅に常に映る、ホーガン全盛時代から馴染みのあった角ばったWWFロゴから、荒々しいロゴに仕様変更。肝心のプロモもストーンコールドがサンタクロースにスタナー、肌の露出95%のセイブルによる悩殺ポーズといった、WWEにヒーローを求めるお子様の、目ん玉が飛び出るような過激なシーンがバンバンと映し出された。さらにK—1よりも5年早くマイク・タイソンを担ぎ出し、下劣行為を行なわせ、あのドン・キングの担ぎ出しにも成功した（映像で）。

もちろんWCWにも「容赦なき攻撃」を敢行した（WCW試合会場前でD・Xによる抗議デモなど）。視聴者の想像を遥かに凌駕するプロモで、WWEは飛躍的な進化を遂げ、WCWとの視聴率を一気に抜き返し、崩壊に導いた。

決定的な一刺しは2001年3月26日。『RAW』の裏番組であるWCWマンデーナイトロの最終回にビンスは堂々と登場し、WCWをコキおろし息の根を止めた。もちろんこの模様は『RAW』でも放送。ザッピングをすれば、両チャンネルにビンスが登場しているという奇跡的な一日となった。ビンスはこの日、生涯最高の日だったに違いない。どこよりも早く宣言した「スポーツエンターテインメント宣言」。この12月15日のマニフェストで、アメプロの歴史が大きく変わったと言っていいだろう。

ということで勝手ながら、12月15日を〝スポーツエンターテインメント記念日〟に制定させていただきます。

SCSAのシルバーリングとPS2ソフトを各1名様に読者プレゼント!

東京・神保町のアメプロショップ『NON STOP』では、WWEとのオフィシャルライセンシー契約に基づき、シルバーアクセサリー・レザーグッズの企画・生産を行っている。激渋シルバーアクセサリーで、他のプロレスファンと差をつけろ!!
詳しい情報はコチラ↓
http://www.nonstop.co.jp
お店はコチラ→東京都千代田区神田錦町3-6
（営業時間12:00〜21:00）
ストーンコールド本人もはめてるSCSA“SKULLRING”を1名様にプレゼント!!
【提供：NON STOP】

WWEの世界観をそのままに様々な試合モードが楽しめるのも、このシリーズの醍醐味。今回のクリエイトモードでは入場用と試合用の二つのコスチュームを作成できる！　設定できる技は1700種！　さらに作成したキャラクターは、シーズンモードで育成可能。最高でしょ？【提供：ユークス】

WWEの世界観を余すところなく再現するプロレスゲームの最高峰PS2ソフト『エキサイティングプロレス5』（標準小売価格￥6800・税別）。現在、絶賛発売中のこのソフトを1名様にプレゼント！　ここにWWEがある！

※このページのプレゼント応募方法はP159を参照!!

1・23後楽園ホール　1・24IMPホール大会レポート

VIVA! AAA日本侵略

撮影／平工幸雄　designed by matsu（Two Three）

VIVA! メヒコ!!

「熱いだけがラテンじゃない!! ユルユルの衝撃が日本を襲う!!」と来日直前特集（本誌NO．69）で予言した通り、約3年ぶりに日本上陸を果たしたAAAは熱くてユルい、脳ミソが溶けていくようなズブズブのエンターテインメント・ルチャリブレ団体だった。
　5時開場のはずが6時近くまで押すという〝メキシコ時間〟で幕を開けたのを皮切りに、試合開始時刻になると何の説明もないままに古代メキシコのマヤ文明をモチーフにしたコスチュームをまとった美女2人とマッチョな男がリングに上がり、スピリチュアルなダンスを繰り広げる。リングアナも一切日本語はしゃべらず、通訳なしという潔さも手伝って、いつのまにか後楽園ホールで行われているということを忘れさせてくれるような不思議な空間が出来上がっていた。
　日本でもメキシコでもないような、どっちつかずの空間には、男でも女でもないオカマがよく似合う。というわけで、第1試合で繰り広げられた男色ディーノvsピンピネーラの攻防は盛り上がった。男前のカズ・ハヤシを奪い合うという展開で大いに楽しませつつ、股間に顔をうずめたり、尻を触ったり。第2試合では小さい方のサグラーダことマスカリータ・サグラーダが大活躍!! シコシス（大きい方）のトップロープ最上段からのダイビング・セントーンを見事に受ける！ 大きい方のマスカラ・サグラーダよりハードな受身を取っているのだから、間違いなく日本の地上波では放送禁止！ なかなかお目にかかれない光景だ。

エース(グロンダ)が試合しなくてもOKな空間に ルチャが愛される理由は隠されている

　日本独自のプロレスがVTとWWEの両極から影響を受けて引き裂かれてしまっているのに対して、彼らが見せるのはWWEの強烈な影響こそ感じさせるもののメキシコの伝統に深く根差したまぎれもないルチャだ。華麗な空中殺法と強烈なキャラクターで観客をあっという間に異次元へと誘(いざな)っていく。
　とはいえ、本誌前号の『解説者が見たハッスル1』で掟ポルシェ氏が書いた「ルチャの選手は隙だらけで突っ込みやすいから愛されやすい」という原稿を証明するかのように、いたるところに隙もあった。
　たとえば、初来日で大注目であるはずのスペル・エストレージャ（スーパースター選手）グロンダ。メインイベントの試合中にガムテープで両腕を固定されてしまい、ほとんど試合に参加することなく終わってしまったのだ。もし、WWEの日本大会でストーンコールドがビールを飲まずに手を固定されたままだったらどうなるだろう? 間違いなく暴動が起きる。その点、グロンダにはブーイングのひとつも起きないのだから！ こういったメキシコ的な肩透かしも含めて、この日の後楽園ホールに集まった観客はすべてを堪能していたようだ。
　そんな話の分かる観客から、ただ一人だけ大ブーイングを浴びていた男がいる。獣神サンダー・ライガーだ。会場中から気持ちいいぐらいの大ブーイングを浴びていたが、それはつまりストロング・スタイルは誰も望んでいなかったということだ。華麗に入場するテクニコ（善玉）チームにまじって、リングインするなり腰に手を当てて「ベルトは俺のもんだ!!」のポーズ（タイトルマッチじゃないのに）、フベントゥ・ゲレーラにおなじみの掌底を叩き込み（相手を痛めつける地味な攻撃はルードが使う）、試合後にはGHCジュニア王座についてのマイクアピール（AAAでGHC!?）を繰り広げた。
　ルチャリブレとは何か? 「どっちが強いか」を見せるために彼らはマスクやペイントで素顔を隠しているわけではない。
　フベントゥ・ゲレーラ、ミステル・アギラ、ラテン・ラバー、オリエンタル・パルカ、シベルネティコ、アビスモ・ネグロといった錚々たるスペル・エストレージャたちは観客が何を望んでいるかを彼らは肌でしっかりキャッチしていた。今年夏にも再上陸が噂されているAAA、その狂気の世界は確実に日本に爪痕を残した。再来日にはさらなる熱さ、さらなるユルさを期待したい！
（坂井ノブ）

ピンピネーラの強制キス以上に押し付けがましいライガーの新日本流ストロングスタイルに、観客は惜しみない大ブーイングを送った！

ライガーからフォールを奪ったフービーには場内から大声援!! フービーはライガーが持つGHCジュニア王座への挑戦をマイクアピールした。

どうしたグロンダ!? アビスモ・ネグロのテープぐるぐる巻き攻撃によって身動きが取れなくなった（マッチョなのに）中盤以降、ほとんど試合に参加できず。

テクニコの重鎮ラ・パルカも覆面を破られてこの有様。ルード軍団LLLの残虐さも光った！ ペーニャAAA代表は全試合終了後、再来日を日本のファンに誓った。

1月24日、大阪・IMPホールで行われたAAA日本ツアー2日目。メインにはNOAHから秋山準の化身・SHURAがラインナップされていた。メインに登場したSHURAをLLL軍が急襲する！ そこに救出に現れたのは、なんと秋山本人！ このイリュージョンで秋山は観客のハートをガッチリと掴んだのだった。AAAは2大会で2000名以上を動員、大成功を収めた。VIVA メヒコ!!

純度100%混じりっ気なしのオカマ!!

“オカマの中のオカマ”

ピンピネーラ with チャーリー・マンソン

見てみ！　こちらが、純度100%、混じりっ気なしのオカマ、ピンピネーラだ。今回の来日では1·23&24のAAA、1·30&31の01U$Aに出場し、対戦相手だけではあきたらず、レフェリー、観客にまでキス攻撃を仕掛けていったピンピネーラ。そんな彼……いや、彼女と同行してきたチャーリー・マンソンに本誌・見習いの斉野が初インタビューを敢行。付き添いのチョロと共にピンピとチャーリーの知られざる素顔に迫ったり迫られたり……。

聞き手／斉野（見習い）　指導／チョロ　撮影／丸山剛史　取材協力／スペル・テポドン　designed by matsu (Two Three)

——は、はじめまして。斉野と申します。

ピンピネーラ（以下ピンピ） よろしくね（と早くも投げキッス）

——ボ、ボクは初めてのインタビューで、しかも相手がピンピネーラさんということで、かなり緊張しているんですけど……

ピンピ 緊張することないわよ。リラックスして飲みながらゆっくりやりましょう！ サル〜ン！（スペイン語で乾杯）

——サ、サル〜ン！ 早速ですが、今回の来日では全部で4試合行いましたけど、一番タイプだったレスラーは誰ですか？

ピンピ （身をくねらせながら）アタシは12年前、新日本に初来日した時からカネモ〜ト（浩二）が1番のタイプよ。2番目はTAKAみちのくね。その2人と比べるとだいぶ落ちちゃうんだけど、男色ディーノもなかなか良かったわ。

——あ、男色もありでしたか（笑）。ディーノさんはレスラーとしてはどうですか？

ピンピ かなり人気もあるみたいだし、日本のファンにとってはいいんじゃないかしら。でもメヒコのファンには受け入られないと思う。なぜかって言うと、メヒコのファンには、あの動きは不自然に見えるわ。

——確かに動きは不自然ですからね（笑）。

ピンピ それに彼は心から男を愛してないもの。私にはわかるの。

——ピンピネーラさんとは違うと？

ピンピ 基本的に私とは違うわ。だって、私は正真正銘の女だから（ウインク）。

——正真正銘の女なんですか!?（笑）。

ピンピ どっから見たって女じゃない？

——う〜ん、どうなんでしょう？（笑）。

ピンピ オカマはオカマだけど心の中はれっきとした女なのよ（キッパリ）。

——非常に失礼な質問かもしれませんが、まだ下の方は付いてるんですか？

ピンピ いや〜ん！（股間を押さえて恥ずかしがる）。（小声で）付いてるわよ（笑）。

——そうなんですかね（笑）。01U$Aには〝クリストファー・ストリート・コネクション〟というハードゲイコンビも出場していましたが、どう思いました？

ピンピ 彼らも私にしてみればディーノと一緒。ホントにゲイなんだろうけど、どうしても、お仕事でやってる部分を感じちゃうの。それに彼らは化粧もしてないし、基本的に私とは違う。リング上でキスをしてファンを盛り上げることは私もやるけど、でも私はルチャドールとして誇りを持ってやってるわ。ルチャをキチンとやってからこそのキスだから活きてくるのよ。

——へぇ〜、それは勉強になります。

ピンピ キスだけやって盛り上げてるようじゃまだまだダメね。伊達に10年以上やってるわけじゃないんだから。

——「まだまだ若造には負けないわよ」って感じなんですね？（笑）。

ピンピ もちろんよ。今日はホントのこと言っちゃうから何でも聞いて（ニコッ）。

——01U$Aの大阪大会は長州さんも出てましたけど、ピンピネーラさんが新日本に出た時、長州さんが試合を見て激怒したという話を聞いたことがあるんですが。

ピンピ そんなことないわ。チョーシューは、いつも怒った顔をしてたけど、私にとってはいいアミーゴでいてくれたわ。チョーノ、サムラ〜イ、カネモ〜ト、クロネ〜コ、み〜んな、いいアミーゴよ。

オカマはオカマだけど心の中はれっきとした女なのよ（キッパリ）。下は付いてるけど（笑）

——怒られた記憶はない？

ピンピ ないわよ。普通に喋ってたわ。昨日もチョーシューに挨拶したかったんだけど、すぐ帰っちゃってて会えなかったの。

——長州さんは当初メインだったのが、第5試合に変更になって、終わったら、すぐ帰っちゃったみたいですからね（笑）。日本でピンピネーラさんと同じ匂いを感じた選手って誰かいました？

ピンピ まあ日本にもカミングアウトしていないだけで、そういう選手は男子も女子もたくさんいると思うの。でも、その人たちにはその人たちのやり方があるから、あえて言う必要はないんじゃない？

——まあ、そうですよね。

ピンピ ただ、知り合いのカミングアウトしてないホモの選手は私のことを凄くリスペクトしてくれるし、私も彼らのことをリスペクトしてるわ。メヒコでカミングアウトしてない選手を33人ほど知ってるわ（笑）。

——33人！ 随分具体的ですね（笑）。

ピンピ いけない（と言って可愛らしく舌を出す）。余計なこと言っちゃった（笑）。

——お隣のチャーリーさんはノーマルなんですか？（笑）。

チャーリー オレはいたってノーマルさ（笑）。子供も3人いるしね。19歳で結婚したから一番上の子はもう10歳なんだ。

——失礼しました（笑）。ピンピネーラさんは女性には全く興味がないんですか？

ピンピ 全くないわ。さっきも言ったでしょ？ 私はオリジナル・オカマだから（笑）。でもね、一応試してみたことはあるのよ。

ピンピ旋風、日本マット上陸！

ゴージャスなコスチューム姿で艶めかしく躍りながら入場するピンピ。気に入った客には熱〜いキスのプレゼント。ちなみに会場では使用済みコスチュームが1万5千円で売ってました。

1・23AAA後楽園ではイケメンのカズ・ハヤシが標的に。試合そっちのけでカズの唇を狙いまくりのピンピ。カズはエプロンに戻ってもパートナーの男色ディーノから狙われ散々な1日に

1・30 01U$Aディファ有明ではチャーリーと組んでミスター・オオタニ＆サル・ザ・マン組と対戦したピンピ。色男好きのピンピだが、この日はヒラデルヒア出身のサルに熱いキッス！

ミスター・オオタニのファーストキスを強引に奪ったピンピ。「12年前に新日本に出た時は、まだ若手だったけど、すっかり立派になっちゃって、オオタニの唇を奪えて光栄よ」と、ご満悦。

―た、試したって、セックスをですか？

ピンピ　そう。でもなんか気持ち悪くって、もう勘弁って感じ（笑）。

―チャレンジはしてるんですね（笑）。

ピンピ　私は初体験から男なのよ。

―あ、そうでしたか（笑）。ちなみにいくつぐらいの時ですか？

ピンピ　9歳の時よ。私は17歳の男の子にレイプされたの（遠い目）。

―え～っ!?　また生々しい話ですね（笑）。載っけちゃって大丈夫なんですか？

ピンピ　問題ないわよ。2人目は小学校6年生の時で、相手は35歳の教師よ（笑）。

―ゲゲッ！　もしかして、それも強引にやられちゃったんですか？

ピンピ　その時は同意の上でよ（笑）。

―同意とはいえ、とんでもない教師だ。

ピンピ　15歳の時まで付き合ってた同級生の彼氏もいたのよ。でも15歳の時に父親に私がオカマだってことがバレて、もの凄く怒られたから家を出たの。その後、16歳で私はルチャドーラになったの。その時のリングネームは"ピンクパンサー"（笑）。

―また意味深なリングネームですね（笑）。ちなみにピンピネーラさんの本名はマリオ・ゴンザレスって言うんですよね。非常に男らしい名前だと思ったんですが（笑）。

ピンピ　あら、よく知ってるじゃない？　いまは身も心もピンピネーラだと思ってるわ。

―ピンピネーラさんはケンカも相当強そうな気がするんですけど？

ピンピ　それは正解よ。子供の頃から街でケンカは、しょっちゅうやってたわ。

―あ、やっぱり。バーリ・トゥード（以下VT）に興味あったりします？

ピンピ　もちろんよ！　興味もあるけど自信はもっとあるわ。もしバレトド（スペイン語でVT）の試合に出たら相手のタマを喰いちぎってやるんだから！

―そ、それは反則です！（笑）。

ピンピ　あ～ら、残念。でもね、私は暴力って大好きなのよ！（嬉しそうに）。

―暴力好きでしたか（笑）。オカマの人は腕っぷしが強い人が多いですからね。

ピンピ　大人になってからは頭がおかしいヤツが多いから、街でのケンカはやらないようにしてるの（笑）。でも、バレトドはルールがあるから挑戦してみたいわ。私はオカマだからケンカが弱いっていうイメージを覆したいの。チャンスがあればオカマでもやれるってことを証明して見せるわ！

―自信満々ですね（笑）。お兄さんのエレクトロ・ショック選手は『DEEP』でVTにチャレンジしましたけど、弟のチャーリーさんも興味はあるんですか？

チャーリー　もちろん！　オレはルチャとアマレスとグラップリングをずっと練習してきてるからバレトドは是非やりたい。オレにとってのアイドルは誰だと思う？

―やっぱり、マリリン・マンソン？

チャーリー　いや、実はマリリン・マンソンは、それほど好きじゃないんだ（苦笑）。

―えっ、そうなんですか（笑）。

チャーリー　もちろん嫌いじゃないし、や

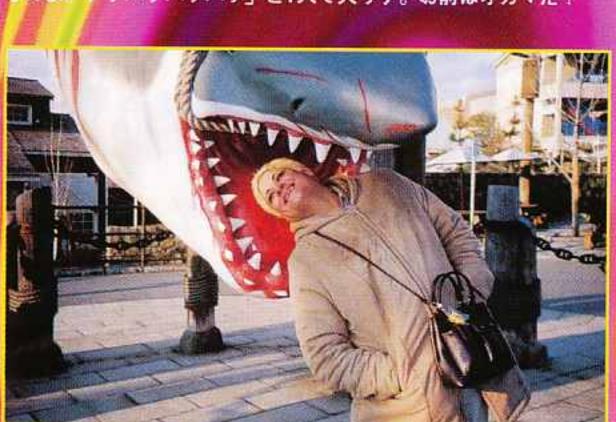
オレにとってのアイドルはサクラバさ。バレトドもやりたいね。

01USAでタッグを結成したピンピとチャーリー。白塗りとオカマという、かなり好対照な2人だが、ピンピ曰く「チャーリーはロックじゃなくて普通にメキシカンポップスが好きなのよ（笑）」とのこと

オカマの休日

1･23&24に行われたAAAでの試合を終えたピンピネーラとチャーリー・マンゾンの2人は1･30&31の01USAまでの約1週間、日本でオフを満喫。果たして、オカマの休日とは一体どんなものか？　追跡してみました。

1月某日、大阪にあるユニバーサル・スタジオ・ジャパンに足を運んだピンピ＆チャーリー。まずはUSJの看板の前で記念撮影。さすがはピンピ姉さん、メイクの乗りもバッチリです。お前はオカマだ！

USJでETを発見したピンピは「あら、こんなところにクイへ（AAAの覆面ミゼットレスラー）がいるわ（笑）。彼の素顔はこんな感じなのよ。アッハッハッハッ」と1人で大ウケ。お前はオカマだ！

サービス精神旺盛のピンピ。ジョーズを見つけると、「キャ～！　誰か、いい男、助けて～！　食べられちゃう」と必要以上に絶叫。残念ながら誰も助けには来てくれませんでした……。お前はオカマだ！

最後はベティちゃんたちと可愛らしく記念撮影。ホテルに戻ったピンピは「PRIDE」のDVDを見ながら「もっと殴れ～」と熱くなっていたらしい。果たして「DEEP」出場はあるのか!?　お前はオカマだ！

帰国直前、東京をブラブラ散策していたピンピ＆チャーリーは、たまたま近くのJWP道場で行われていたファンとの記念撮影会に飛び入り参加。JWPの選手と一緒に仲良く写真撮影。お前はオカマだ！

『紙プロ』流、新人教育!?

今回のインタビューは『紙プロ』に入ってから、すでに半年以上経つも、いまだ見習い状態が続く斉野が挑戦。オカマだかホモには嫌なトラウマがあるらしく尻込みしていた斉野は、無事取材を終えられたのだろうか？

斉野の不安をよそに、とにかく飲みまくりで上機嫌のピンピ。一瞬、沈黙が出来ると、すかさず「サル〜ン！」と乾杯。取材中からチラチラと色目を送っていたピンピは、逃げ腰の斉野に無理矢理キス！

「どうですか!?　俺、やりましたよ！」と、付き添いで同行したチョロに得意げにアピールする斉野。さらにピンピの肩に手を回し“お前は男だ”ポーズをキメる。しかし、やっぱり腰は引けている

「それじゃあ甘い！　それにピンピさんに失礼だよ！」と、付き添いとは名ばかりで、ひたすら「サル〜ン」し続け泥酔状態のチョロは斉野にダメだし！「こうやるの！」と、ピンピとディープキス！

その後、ピンピと氷の口移しを披露するチョロ。さらに「よく見とけよ！」と斉野に言い放ったチョロはピンピの胸を揉み始めた。どっから見ても明らかにやりすぎなのだが、なぜかピンピは満足げ!?

金本、TAKAに続き、3位の座をゲットしたチョロ。しまいには乳首まで舐めだす暴走ぶり。斉野は肩を落とし「そこまでやらなきゃいけないんですか……」とポツリ。もちろん、そんなことはない！

らされてるわけでもないよ。ウケるかなって思ってこのキャラに決めただけさ（笑）。

——そうでしたか（笑）。ってことはアイドルは誰になるんですか？

チャーリー　オレにとってのアイドルはサクラバさ（ニコニコ）。

——さ、桜庭和志選手ですか？

チャーリー　大好きなんだよ。サクラバのTシャツが欲しかったんだけど、どこで売ってるか分からなかったんだ（ガックリ）。

——それは残念でしたね。話は変わりますけど、約3年ぶりに上陸したAAAのセールスポイントを聞かせてください。

ピンピ　そうね、いままでの試合だけを観せるだけのルチャリブレとは違って、ストーリーもあるし、会場の演出もあるし、異種格闘技戦だってあるんだから。それにメヒコだけじゃなくて世界中もサーキットしてるのよ。とにかく素晴らしい団体よ。

——また近いうちに日本に来てください！

ピンピ　私もそう願ってるわ。今日はなんか気分がいいわ。もっともっと飲みましよ！　サル〜ン！（生ビールをイッキ）。

バレトド？ 興味もあるし自信もあるわ。私は暴力って大好きなのよ！（笑）

一同　サル〜ン！

ピンピ（突然、切ない表情になり）ハァァァ〜、カネモ〜ト。

——どうしたんですか、突然？（笑）。

ピンピ　カネモ〜トは呼べないの？

——ちょっと難しいと思います（笑）。

ピンピ（突然大声で）カネモ〜〜〜ト!!

——ホントに好きなんですね（笑）。

ピンピ　会いたいわ〜。（見習いの斉野に色目を使って）コイビ〜ト!?

——えっ!?　ボ、ボクですか!?（笑）。

ピンピ　そうよ（ウインク）。

——ボ、ボクは金本さんじゃないですよ!?

ピンピ　いいのよ。ちょっと横に来て♥

——えっ!?（意を決して）……わかりました。隣、失礼します！

ピンピ　あなた、コイビトはいるの？

——い、一応いるんですけど……。

1・23＆24AAA 2連戦では両日とも男色ディーノと対戦したピンピ。日本マットでは滅多にお目にかかれないホモvsオカマという図式に場内は大歓声。試合後、仲良く抱擁していた2人の再会はいつ!?

ピンピ　あ〜ら、そうなの？（残念そうな表情に）。しょうがないわね。

【ここで周りから一斉にキスコール】

ピンピ　覚悟しなさい！（ニヤリ）。

【無理矢理キスされ、嫌がる斉野】

チョロ（サル〜ンのし過ぎで泥酔中）斉野！　お前、失礼だろ！　せっかくのシャッターチャンスなのに。オレがやるからいいよ。隣に行ってもいいですか？

ピンピ　いいわよ。来なさい。

チョロ　ボクは男性とも経験がありますから、ノー問題です！（なぜか得意げ）。

ピンピ　じゃあ、慣れてるわね（笑）。

チョロ　はい！（と、熱烈なディープキス）

ピンピ（斉野に向かって）もう、あなたは帰っていいわ！

——そ、そんなぁ……。

ピンピ　2人でゆっくり飲みましょう！カネモト、イッチバ〜ン！　TAKA、ニバ〜ン！　次はアナタよ！（ニコッ）

チョロ　ありがとうございます！

——べ、勉強になりました！

【1月30日／東京・港区『串特急・浜松町店』にて収録】

マグナムTOKYOこと黒木克昌との7年越しの決着戦に勝利!!新UDG王者に恍惚と不安あり。

SUWA

スワ

CRAZY MAX

「今日まで、そして明日から」

闘龍門2・8博多大会。SUWAが王者マグナムTOKYOを破り、第3代UDG王者に輝いた一戦は、闘龍門一期生として7年前メキシコに渡り苦楽を共にしながらも、これまで反目し続けた2人が、試合後初めてお互いを認めあう大団円となった。これによって新章に突入することになる闘龍門。新王者SUWAはどんな新風景を頭に描いているのか？　大会翌日、熊本で直撃した。

聞き手&撮影／堀江ガンツ

designed by matsu（Two Three）

――まずはUDG王座奪取、おめでとうございます！

SUWA　ありがとうございます。いまだに体中痛いんですけど、昨日はとにかく柄にもなく緊張しましたね。

――ああ、確かに大会が始まる前から僕らにもわかるくらい緊張しているようでしたけど、それはやっぱり闘龍門の頂点であるUDGのタイトルマッチだったからですか？

SUWA　それももちろんありますけど、やっぱりSUWA vsマグナムの〝SーMライン〟に関しては、お客さんも「何かあるんじゃないか」って絶対期待するわけだから、そういったお客さんに対するプレッシャーもあるし。あとは自分らの中でもプロレスラーのSUWAとマグナムの部分とリングを降りてからの個人的な因縁というのもあったんでね。

――つまりマグナムとSUWAという関係とは別の黒木和昌と諏訪高広（2人の本名）の因縁。

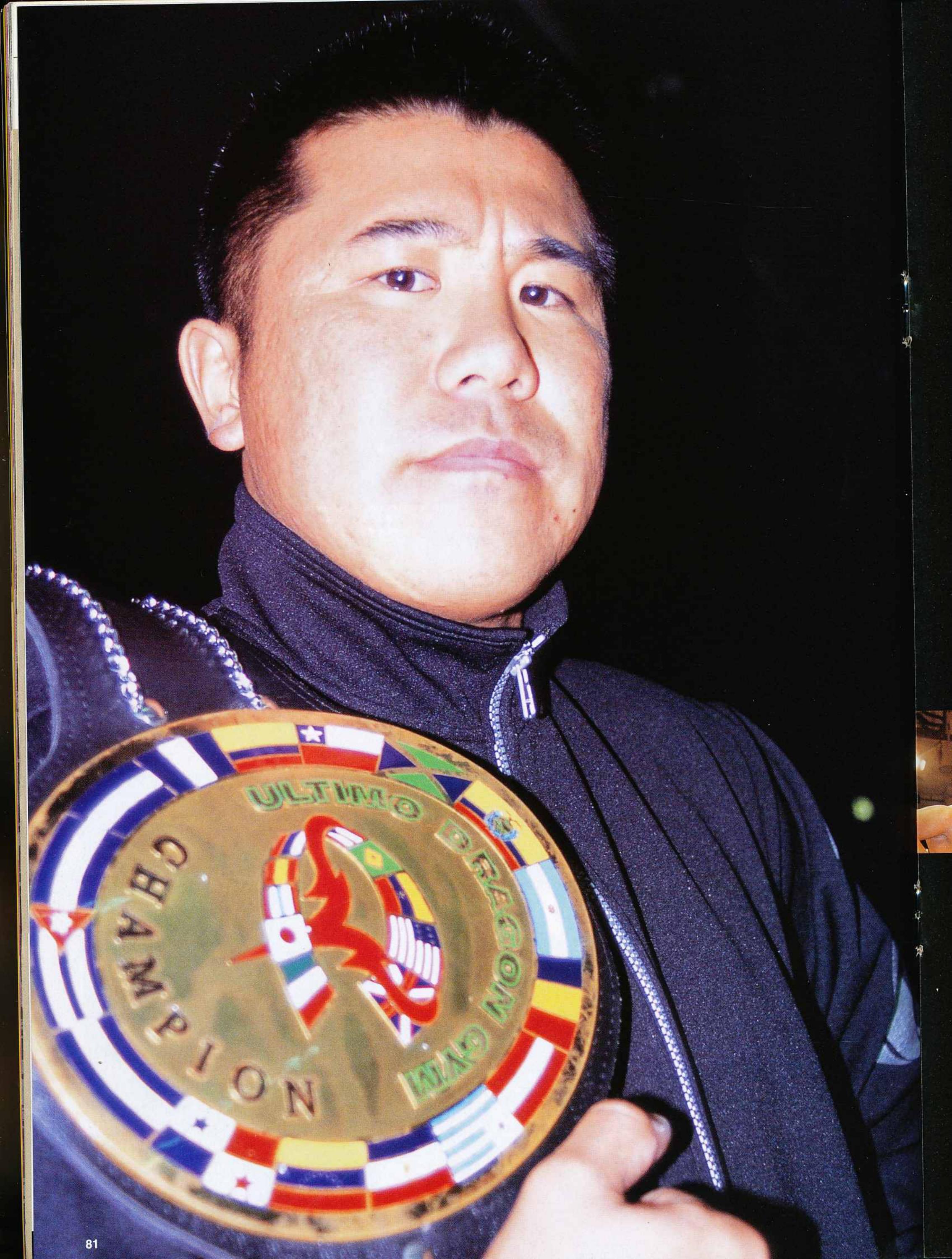
SUWA　そう。ホーガンとビンスの20年抗争まではいかないけど、自分らが一期生として闘龍門に入ってからの7年間っていう部分でね、やっぱり自分ではここで区切りをつけたいというのがあったんですよ。でも、お客さんの期待がある中で、それをプロとしてどういう風に持っていったらいいのか、凄い悩みましたよね。

――人生観のぶつかり合いや、今まで生きてきたものの比べ合いを、どう見せたらいいかと。

SUWA　だから色んな考えが入り交じって挑む気持ちでしたよね。

――でも、選手が自分の人生を投影してぶつかり合う試合っていうは、ファンとしては一番贅沢ですよ。

SUWA　ただ、そういうのってなかなか一朝一夕でできるもんじゃないでしょう。自分らにしても、何もない状態で日

ULTIMO DRAGON GYM
CHAMPION

本からメキシコに4人で行って（※闘龍門一期生として、マグナム、CIMA、ドン・フジイ、そしてSUWAが最初にメキシコに旅立った）、個人的なぶつかり合いやら何やらって4人でいろいろあったんで。それが今は博多スターレーンにしても後楽園ホールにしても入りきれないくらいお客さんが来てくれて、会社もこういう形になって、まさか自分らがっていうね。そういう歴史が試合後に何か走馬燈のようにプレーバックしてきて、それが自然と最後の言葉になったんじゃないかなって。

——マグナム選手に対して「ありがとうございました」と言った言葉ですね。

上で「デビューして7年、とにかく俺は一度もお前のことを好きになったことはねぇんだよ。だけど一言いわせてくれ。今日のお前を見て男だと思ったよ。ありがとうございました！」とマグナムに礼を述べた）

SUWA　まさか自分でもあんな気持ちになると思ってなかったし、ましてや涙をみせるなんてね……。プロレスラーSUWAのイメージを考えたら、ああいう部分は見せたくないっていうのが本音ですよ。でも、自分がどうしてもレスラーになりたいと思ってメキシコに旅立った時期とか、今思えば笑い話なんだけど、でもその当時は苦しい時期があったのは事実なんで。それを思い出すと、こみあげてくるものがありましたよね。

——何か新しいものを立ち上げたり生み出したりするのって、もの凄いエネルギーが必要ですもんね。それこそNHKの『プロジェクトX』ができちゃうぐらいの（笑）。

SUWA　ホントできるんじゃないですかね。4人でメキシコに行って、「ここで生活できんのかな」っていうくらいボッロボロの、日本じゃ想像もできないようなアパートで極貧の共同生活をして、あの頃はとにかく不安でしたからね。4人のなかで一番自分が何もできなかったし。

——あ、そうだったんですか。それは意外ですね。

SUWA　俺が4人の中で一番この業界を見てなかったんですよ。マグナムはもともと浅井さん（ウルティモ・ドラゴン）の付き人だったし、ドン・フジイはWARで営業やってたし、CIMAは高校時代にすでにメキシコ経験してドス・カラス道場に行ってたくらいなんで。それが俺なんか、もともとU系志望でリングス落ちて闘龍門に入った人間ですから、練習やってもプロレス式の受け身も知らないし、ヘッドロックからフライング・メイヤーとか、そういうプロレスのセオリーが全く理解できないんですよ。それで他の3人に置いていかれるし、凄く苦痛でしたね。

——プロレスのメカニズムがわからなかったわけですね。

SUWA　しかも、あの頃のマグナムとドン・フジイはヒドい人間でしたからね。今はああいうキャラクターのおっさんに変わりましたけど、当時は先輩面かましてね（笑）。

——マグナムさんはよく言われますけど、フジイさんもかましてましたか（笑）。

SUWA　相当かましてましたよ。年長者で業界知ってるからって調子に乗りやがってね（笑）。でも、そういう人間がいたからこそ「絶対に負けるか」っていう気持ちは凄くありましたから。これって大事なことだと思うんですよ。それなのに今の子たち、旧T2Pの連中や二期生以降にもいますけど、そういう部分が全然見られない。

——闘龍門の若い世代には、そういったところが希薄ですか。

SUWA　例えばミラノ（ミラノコレクションAT）がT2Pのトップとしてやってましたけど、ミラノに対して「コイツだけには負けるか」っていうライバル関係って、あるのあるのかなって。俺ね、ライバル関係っていうのは会社が作るものじゃないと思うんですよ。絶対自分で作るものだと思うんですよ。最初はささいなことかもしれないけど、それが自然と俺とマグナムみたいなもんになると思ってるんで。

——個人的な感情がプロレスとして大きく歯車が回って行くと。

SUWA　昔の長州vs藤波戦みたいな、そういうのって凄い大事だと思いますよ。それがあるからこそみんなが注目するのであってね。だから昨日、UDGのベルトを獲った後、冷静になって思ったのが、ベルトを獲ったはいいけど、じゃあ対戦相手として誰と防衛していったらいいのかって。

——確かにマグナム戦という7年間の集大成的な闘いの後ですから、対戦相手選びっていうのは難しいですよね。UDGの価値を考えると、当然いろんな意味で高いレベルのものが要求されるだろうし。

SUWA　そうなんですよ。もし例えばスペル・シーサーがUDGに挑戦しましたっていっても、シーサーには悪いですけど、その価値はどうかなってなっちゃうでしょ？　やっぱり今のベルトはCIMAとマグナムがここまで上げてくれたのだから、絶対に下げれないなって凄く思ってるから。そのために自分でもかなり気合入れてやっていきたいんですけど、その相手がなかなか見当たらないと。さてどうしようか、それだったら相手が動くのを待ってるのもアレだから自分から行くのも一つの手じゃねぇかなって。

——逆下克上宣言ですか（笑）。

SUWA　そういう風にして面白くしていくしかないのかなって思ったりね。だから、誰とやるにしても、いかにお客さんが「見たい」って思う方向に持っていくかが課題かなって思いますね。

——挑戦者候補はいろいろいると思いますけど、自分から動いて焚き付けてやりたいと思う相手って、現時点で名前を挙げると誰になりますか？

SUWA　例えばまだ決着が付いてない望月成晃でもいいし、大鷲（透）とかドッティー（修司）とかもやれば面白いと思うんですよ。でも、そうなると自然に悪冠一色（アーガンイーソー＝モッチーらが所属するヒールユニット）になっちゃうという。それがダメなんですよね、その見られ方が！

会社に作ってもらうようなのは本当のライバル関係じゃない！

試合後、マイクを持ち両膝をマットについてマグナムに対して「ありがとうございました」と感謝の言葉を述べたSUWA。7年間、リング内外での確執があったからこそ、その言葉には重みが感じられた。

敗れたマグナムは試合後、タバコをくわえたまま放心状態でノーコメント。この敗戦によって“ミスター・エゴイスト”も返上してしまうのか……!?

①因縁の決着戦ながら、試合前は実にクリーンに健闘を誓い合った両者。C-MAXvsDO FIXERの抗争を超えた部分で、両者にとって特別な一戦であることが伺える。　②序盤、試合を支配したのはマグナム。SUWAのお株を奪うかのようにラフファイトで攻め込み、ダメージを蓄積させていった。　③ジュニアヘビーの華麗な闘いという闘龍門のイメージに対して、この日の2人は技ではなく体でぶつかり合う、まるで天龍vs阿修羅原のような試合を披露。一発一発に魂がこもっているからこそできる試合だ。　④お互いに体力を消耗した中で、最後に勝負に出たのはSUWA。ジョン・ウー（正面とびドロップキック）から、“一撃必殺”であるFFFを2連発繰り出して、ついにピンフォールを奪った。　⑤勝ったものの、あまりのダメージと消耗度で立ち上がれないSUWAにクレイジーMAXのメンバーが一斉に駆け寄る。同じ一期生としてメキシコに飛び立ったCIMAとフジイはこの一戦に何を感じたか？　⑥一度はリングを後にしたマグナムだが、SUWAの呼びかけで再びリングに戻り高々とSUWAを手をあげる。SUWAの目から大粒の涙がこぼれ落ちた。

2.6 MAGNUM TOKYO vs SUWA

UDG選手権試合

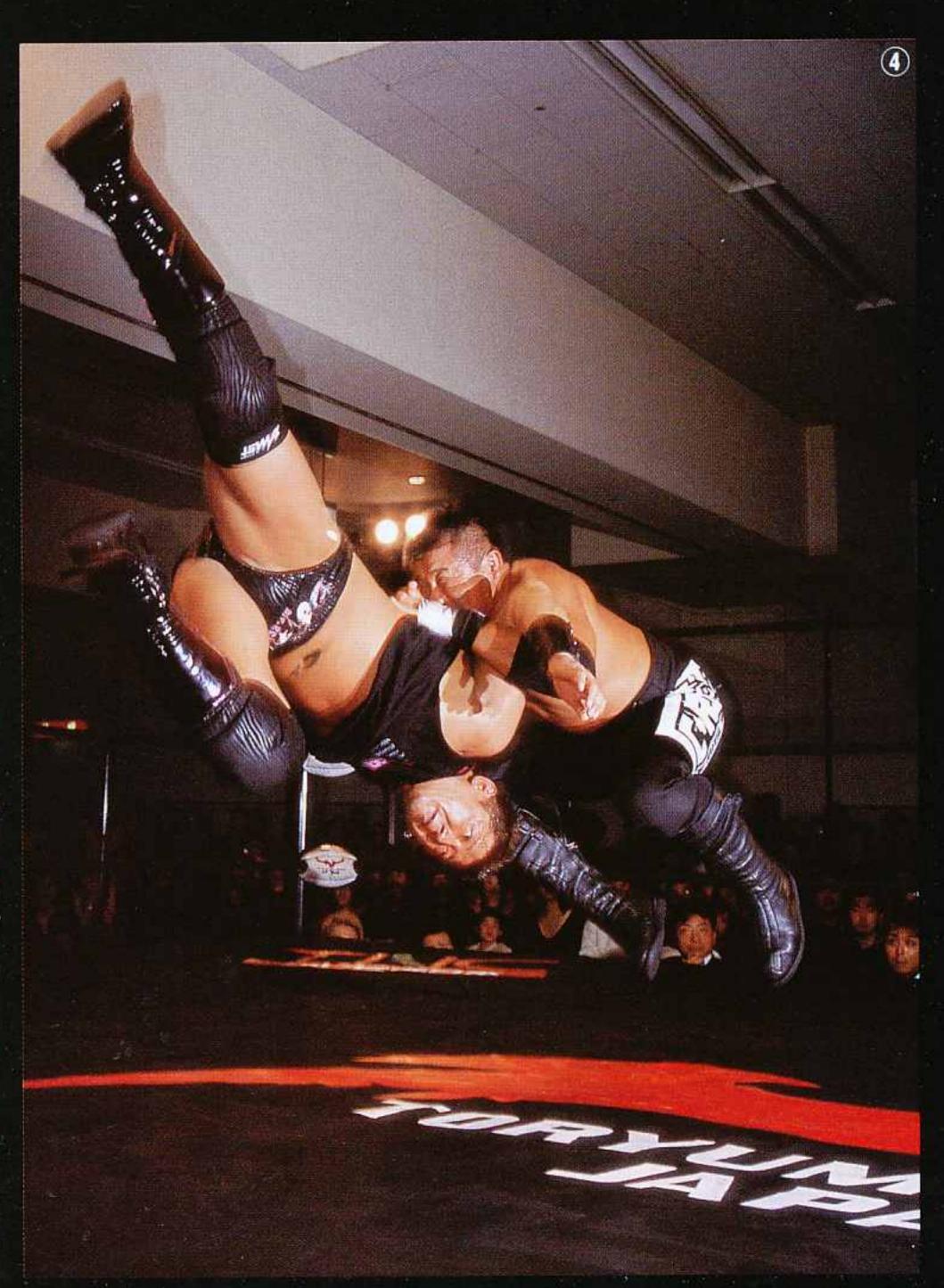
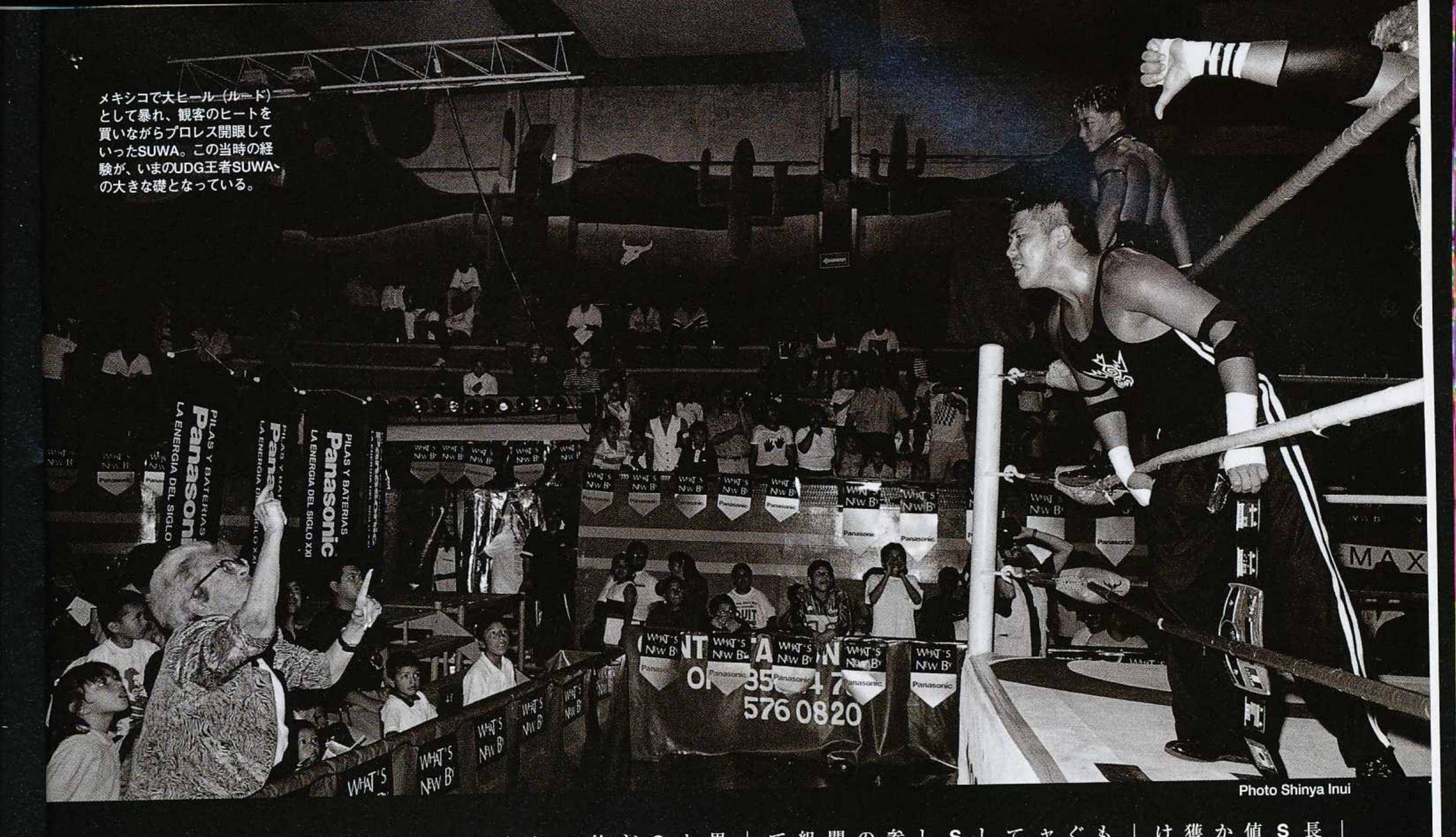
●SUWA（挑戦者）　21分45秒 FFF→片エビ固め　**マグナムTOKYO×**（王者）

メキシコで大ヒール（ルード）として暴れ、観客のヒートを買いながらプロレス開眼していったSUWA。この当時の経験が、いまのUDG王者SUWAの大きな礎となっている。

Photo Shinya Inui

――ヒール集団との対戦アングルの延長線上に見られたらダメだと。

SUWA　それだけタイトルマッチは価値あるものにしていきたいと思ってますから、課題は多いですよ。よくベルトは獲るより獲ってからが大変って言いますけど、ホントその通りだと思ったんで。

――しかも闘龍門はもうプロレス界でもかなり高い位置、もう業界を背負うぐらいのところに来てますよね。そのチャンピオンとなるとマット界全体から見ても重要な位置を占めざるを得ないでしょうから、責任重大ですよ。

SUWA　ただ、よく「他団体に参戦しないのか?」って言われるんですけど、参戦する暇もないし、プロレス界でどうのこうのっていうのは、自分らには全く関係のないことであって、ウチはウチの組織でオンリーワンであればいいかなっていう考えなんで。

――闘龍門が上がることによって、業界を引っ張っていきたいとかはないですか?

SUWA　時間は必要だと思いますけど、そうなっていけばそれはそれで理想的な形でしょう。この業界は景気のいい話はないですけど、その中で一応頑張れていますからね。ただ、闘龍門の盛り上がればこの業界もって思われてもいいけど、その前にお前ら自体も頑張れよって言いたいですよね（笑）。

――それは多くのファンも声を大にして言いたいことだと思います（笑）。

SUWA　他団体を批判するつもりはないですけど、どうやってんだろうかって思いますよ。自分らは何もない状態から始めて、正直手売りの時代というものを体験しながら今があるんで。メキシコ時代から選手みんなで営業しながらここまでやって来たんで、プロレスってみんなで作り上げていくものだって思ってるんですよ。だからまぁ、他団体をとやかく言うつもりはないけど、逆にいいものは盗んでほしいなって思いますよ。『PRIDE』とか、総合格闘技の影響もあるんでしょうけど、いまプロレス界はホントにいい話聞かないですからね。

――いま闘龍門自体は凄くいい状況ですけど、やっぱりいろんなメディアで「格闘技ブーム、でもプロレスは……」みたいに言われるじゃないですか。そういうのってやっぱり、プロレスラーとしては気になりますか?

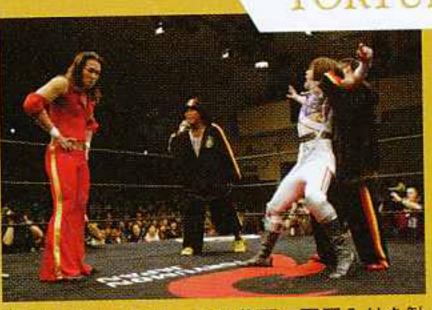
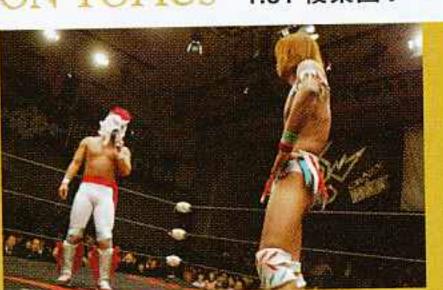
SUWA　やっぱりね、何にしてもそういう話は出るんですよ。メシ喰ってても「プロレスラーです」って言ったらそういう話が自然に出るんで。現に『PRIDE』とかK―1とか結構な数のお客さんを動員してやっていて、それに対してプロレスには逆風が吹いてるって言われますよね。でも、これは俺個人の考えだけど、いろんな情報が溢れてプロレスがとやかく言われる中で、それでも現に闘龍門を支持して、素直に見て応援してくれる人がいるわけじゃないですか。だったらそれでいいんじゃないかって気持ちなんですよ。業界全体の問題っていうより、一種の宝塚みたいなもんで、闘龍門っていうのは一つの認められた組織であっていいんじゃないかなって。

――なるほど。だからプロレスの人気低下を格闘技のせいにする風潮がありますけど、ホントはプロレス側に問題があるんですよね。「総合格闘技の出現によって、プロレスの勝敗やベルトの価値はなくなった」なんて言う人もいますけど、昨日のUDGでSUWA選手がチャンピオンになったときの感動って、『PRIDE』やK―1でチャンピオンが生まれたときの感動に全然劣ってないと思いましたもん。

SUWA　それは自分らも胸張って言えますよ。プロレスっていうのは、アメリカなんかでも言い方として〝エンター

TORYUMON TOPICS　1.31 後楽園ホール

デビュー10周年を迎えたモッチーが、アラケン、D・キッドを裏切り、まさかのヒールターン。「悪冠一色」としてヒールを極めると宣言した。次号でモッチーインタビュー掲載します！

J-CUPでのデルフィン戦を控えたCIMAは、デルクラそっくりのオコゼクラッチで挑発。その表情が実に素晴らしい。100点。そういえばCIMAはかつてSASUKE組の一員だったが…。

悪冠一色がヘンリー三世菅原に軍団入りを勧誘！　アンソニーを裏切るようにし向けるが、ヘンリーはこれを拒否。しかし、粘着質の悪冠一色だけに今後はどうなるか……。

闘龍門マットでエル・サムライ的なポジションを築き上げる地味な男・シーサーが珍しく自己主張！　YOSSINOのNWA世界ウエルター級王座挑戦を表明。2・26チキンはどうなった?

他団体批判するつもりはないけど もっとお前らも頑張れよと言いたい

テインメント〟って捉えてるけど、闘龍門はひとりひとりがエンターテイナーとして、お客さんを感動させることもできるし、笑わせることも、怒らせることも、泣かすこともできる、そういう団体ですよっていうのは胸を張って言いたいですよね。

——しかも闘龍門って生存競争の厳しさっていうと、格闘技を比べて遜色がないどころか、もっと厳しいぐらいじゃないですか。

SUWA　厳しいですよ。ウチはプロレス学校という部分で始まって、卒業してそれに合格した人間はメキシコに行ってプロデビューという流れになってますけど、毎年新しい選手がデビューする中で、会社がそれを全部抱えるっていうのは不可能ですから、どうしても生存競争は激しくなりますよね。

——現に闘龍門で活躍していた選手で、自然とフェイドアウトしていった人って結構な数いますもんね。

SUWA　いますよ。かと言って「そういう人はどこに行ったの?」って聞かれても困るから。こんなこと俺が言うことじゃないけど、やっぱりどこの企業でもそうでしょうけど、役に立たない人間にいてもらっても困るんですよ。ましてやプロの世界なんだから、みんな夢見て入ってきたかもしれないですけど、厳しい世界なのは当たり前なんですよね。

——でも、これまでのプロレス界って、入るのは難しいけれど、入ってしまえば終身雇用みたいなところがあったじゃないですか。そこが闘龍門はまったく逆なんですよね。

SUWA　だから社長の岡村隆志がよく言うんですよ。「ウチは門は広いけど出口は狭い」って。もうその通りでしょう。だから生き残るためには、自己主張が必要だし、必要な人間にならなきゃダメなんですよ。

——そういった生存競争が厳しい中で獲った頂点の座だからこそ、今回のUDG奪取っていうのは意味があると思うんですけど、ウルティモ・ドラゴン校長がWWEに行った今、UDG王者＝闘龍門の顔でもあるわけですよね。そういった意味でのプレッシャーってありますか?

SUWA　そういうプレッシャーは凄くありますよ。UDGっていうのはCIMA、マグナムがこれまで巻いてきて、彼らに直接聞いたわけではないんですけど、彼らの心境というか彼らにしか見えない世界っていうのがあったと思うんですよ。だから俺もUDGを持つことによって体感したことのない世界っていうのを見てみたいなって。

——UDG王座を獲ったと言うことは、闘龍門が昨日から「SUWA政権」になったということですからね。やっぱりこれまでとは立場から責任から違うでしょうね。

SUWA　よく政治家が言ってるでしょう。「政権交代したらこうしたい」とか。俺もベルト獲る前までは「UDG奪取してクレイジーで突っ走ってやる」みたいな主張をしてきたけど、いざ自分がチャンピオンになってみたら、その言葉の意味や負担の重さに、ウワーって押しつぶされそうな感じですよ（笑）。CIMA、マグナムと何かしら比べられるものがあるだろうし、ホントにベルト獲る前とは違う世界に飛び込んでいったなって思いますね。

——では、最後にSUWA政権誕生ということで、SUWA選手の〝マニフェスト〟を聞いてお開きにしようと思うんですけど（笑）。

SUWA　そうですね……やっぱりお客さんにも十人十色あるんで、（ストーカー）市川みたいな分かりやすいのも必要だし、イタリアンコネクションみたいな女性を相手にしたのも必要だと思うんですけど、ちょっと去年は柔らかいというか、何か殺伐とした首を獲るか獲られるかっていう雰囲気が全く無かったような、そこが気に入らなかったんで。だからこそ、俺とマグナムの試合っていうのがあったんですけど、そういった気持ちをぶつけ合うリングにしたいっていうのはありますよ。そのためにはどんどん自己主張してきてほしいし、それが次のタイトルマッチに繋がるんじゃないかって思ってますから。

——わかりました。では、SUWA政権の闘龍門がどうなっていくのか、期待しています!

【04年2月9日／UDG王座奪取の翌日、熊本興南会館にて収録】

EL NUMERO UNO 2004日程

March［3月］

日程	会場	開始
6日（土）	埼玉・越谷桂スタジオ	開始18:30
7日（日）	埼玉・本川越ペペホールアトラス	開始16:00
13日（土）	北海道・札幌テイセンホール	開始18:00
14日（日）	北海道・札幌テイセンホール	開始15:00
20日（土）	新潟・長岡厚生会館	開始18:30
21日（日）	静岡・清水マリンビル	開始17:30
25日（木）	福島・会津若松鶴ヶ城体育館	開始18:30
26日（金）	神奈川・横浜赤レンガ倉庫	開始18:30
27日（土）	長野・長野市運動公演総合体育館	開始18:30
28日（日）	東京・ディファ有明	開始16:00
31日（水）	山形・山形市総合スポーツセンター	開始18:30

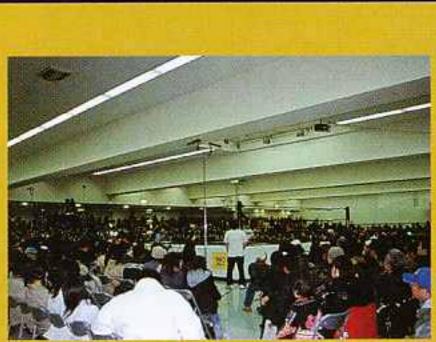
April［4月］

日程	会場	開始
2日（金）	新潟・新潟フェイズ	開始18:30
3日（土）	新潟・新潟フェイズ	開始18:30
4日（日）	宮城・Zepp Sendai	開始16:00
6日（火）	埼玉・熊谷市民体育館	開始18:30
10日（土）	三重・四日市オーストラリア記念館	開始18:30
11日（日）	静岡・アクトシティ浜松	開始17:30
14日（水）	兵庫・姫路みなとドーム	開始18:30
15日（木）	兵庫・神戸チキンジョージ	開始19:00
17日（土）	富山・イベントプラザ富山	開始18:30
18日（日）	岡山・卸センターオレンジホール	開始16:00
23日（金）	石川・金沢流通会館	開始18:30
24日（土）	京都・京都KBSホール	開始18:00
25日（日）	愛知・名古屋国際会議場	開始18:00
28日（水）	東京・国立代々木競技場第二体育館	開始18:30

TORYUMON TOPICS　2.6 博多スターレーン

「CIMA、TARUはマジ勘弁。でもフジイのおっさんならピン取れる」と、YASSIに挑発され、まんまと術中にハマってしまったフジイさんはUWA6人タッグをかけての再戦を要求！

健介トークライブページにも詳しく載っているが、あまりにも素晴らしいのでカラーでも紹介。『テイク・ザ・ドリーム』が流れたときの会場の盛り上がりはホントに凄かった！

モッチーがM2Kスカジャンを持ち出して横須賀享を悪冠一色に勧誘。2・22ディファで享が負けたら悪冠一色入りを要求するが、結局、「お前なんかいらね〜よ！」。ヒドい！

博多スターレーンは壁までビッチリ席を並べ、立ち見も溢れかえる超満員。なんでもスターレーン史上最高の入りという話も。盛り上がりも半端じゃなく、九州の闘龍門人気は本物だ！

こいつらが闘龍門第3勢力

TOURYUMON-Xだ!!

聞き手／ささきぃ　撮影／平工幸雄　design by さおとめの事務所

昨年の1・19『WRESTLE-1』第2回大会、東京ドームで衝撃のデビューを果たした、闘龍門第3のプロジェクト『TOURYUMON-X』のエース・石森太二。163センチという、成人男性の平均を下回る身長から繰り出される驚異の空中技をひっさげ、リング内を駆け回る石森と、元しゃちほこマシーンズの美形双子・佐藤恵&秀が組むユニット〝セーラーボーイズ〟。およそ男子選手とは思えないユニット名を持つ3人が、CDデビューを果たした。

ビューティ・ペア、クラッシュ・ギャルズ、キッスの世界など、リング上で歌を歌うアイドル女子選手は数あれど、男子選手のそれはきわめて珍しい。ウルティモ・ドラゴンに憧れて闘龍門入りした、劇団経験もある恵&秀と、ドラゴン・キッドを見てプロレスラーになることを決意したレスリング全国5位(!)の実力を持つ石森が「アイドルユニット」になったきっかけとは？ デビューシングル『キープ・オン・ジャーニー』公開レコーディング後に収録した、超ミニミニインタビューをお届けします！

――最初にCDを出すって聞いたとき、どう思いました？

石森 エッ!? って。プロレスやりに闘龍門来て、歌を歌うために闘龍門に入ったわけじゃないんで……。すごく抵抗ありましたね。ヘタくそだったんで。出来るのかなぁって。

秀 僕は、出来るのか、おいしいなぁって（笑）。

――余裕ですね。

秀 好きだったんですよ、そういうの。

恵 僕もおいしいなぁって思ったほうですね。レスラーになる前は、役者か歌手になりたかったんですよ。だから抵抗は全然なかったです。

――そもそも、どうしてCDデビューという話になったんでしょうか？

石森 校長と、僕ら3人でカラオケに行ったんですよ。

――あ、そんな発端（笑）。

石森 そしたらそこで校長が「うまいじゃん。やれ」って一言（笑）。

――セーラーボーイズっていう名前を聞いたとき、抵抗はなかったですか？

石森 最初聞いたときは「マジかよ」って感じでしたねぇ。

――セーラーボーイズですもんねぇ。

石森 吹き出しそうになりましたもん（笑）。

恵 聞いてるうちにだんだん慣れてきましたけどね。

――石森さんは『W-1』で破格のデビューでしたけど。

石森 あれも校長の一言で……。

――あれもですか（笑）。

石森 10日前くらいに決まったんですよ。「オマエも出ろ。日本に帰ってこい」っていきなり言われて、メシも食えなかったです。

――メチャメチャ堂々として見えましたけどねぇ。

石森 いやいやいや、心臓バクバクでした。でも、あれが自分のターニングポイントになりましたね。まぁ、『TORYUMON-X』もまだ始まったばかりなんで、お客さんも自分たちも楽しめるように頑張ります。宜しくお願いします！

恵 紅白を目指します。もっとファンの方に喜んでもらえるように頑張ります。何でもしますんで！

秀 歌に踊りに、試合に頑張るんで。宜しくお願いします！

この3人が石森らのライバル、ロス・ハポネセス・サルセロス。右から華井健一、マンゴー福田、そして“フケ顔の18歳”南野たけし（1985年生まれ！）。南野は3・5ディファで石森が持つ、UWA世界ウエルター級のベルトに挑戦する。

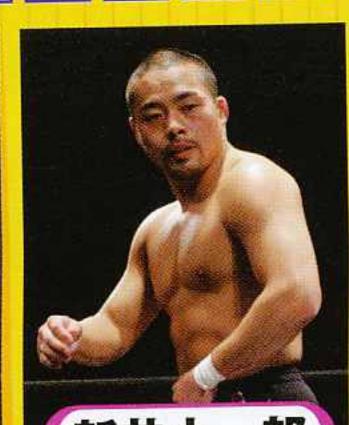
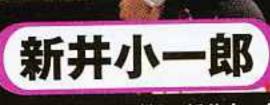
1・25、ディファ有明で行われた逆上陸第2戦では「踊りながら悪いことをする」ロス・ハポネセス・サルセロス3人のパワーに敗れてしまったセーラーボーイズだったが、試合後、ダンスを踊ろうとするハポネセスを襲撃！ 石森は試合でカットされた難易度超A級の必殺技・スーパースターエルボーを南野に決め、王者の風格を見せつけた。

さらに3人は「彼らはひとつ間違いを犯しました。それは、ボクらに歌って踊れる体力を残していってしまったことです！」という力強い言葉とともに、しっかり『キープ・オン・ジャーニー』を熱唱！ 激戦の後の踊りで息が絶え絶えになりつつも、観客に自分たちを印象づけることに成功した。

石森が迎え撃つ南野は、フケ顔の十代ながら闘龍門ヤングドラゴン杯優勝を果たしている実力者だ（石森は02年、南野は03年に優勝）。石森は、旗揚げ第3戦にして最大のライバルを迎え撃つことになる。果たして、勝利の〝キープ・オン・ジャーニー〟は流れるのか？ 闘龍門の放つ壮大な実験『TOURYUMON-X』は、3月5日、ディファ有明に3度目の逆上陸を果たす!!

【TOURYUMON-X ミニミニ名鑑】

ミニ・クレイジーMAX

見たまんまクレイジーMAXの小型版。左からSUWAシート、ミニCIMA、TARUシート（2代目）、スモール・ダンディ・フジ。本家が偉大なだけにどうしても比較されるが、その動きは実に鋭い。

新井小一郎

新井健一郎の小型版・新井小一郎は、アラケンばりの石頭を武器としながらも、空中姿勢が素晴らしいトペコンを披露したりする。

谷嵜なおき

いまやHAGE帝国を築いた堀口に代わり、二代目サーファーキャラとなった谷嵜。3・5ディファでは堀口とタッグを結成する。

村上 学

丸坊主にケツ丸出しの赤フンーT、それなのになぜかオープンフィンガーグローブをつけた村上。得意技は生尻ヒップアタックだ。

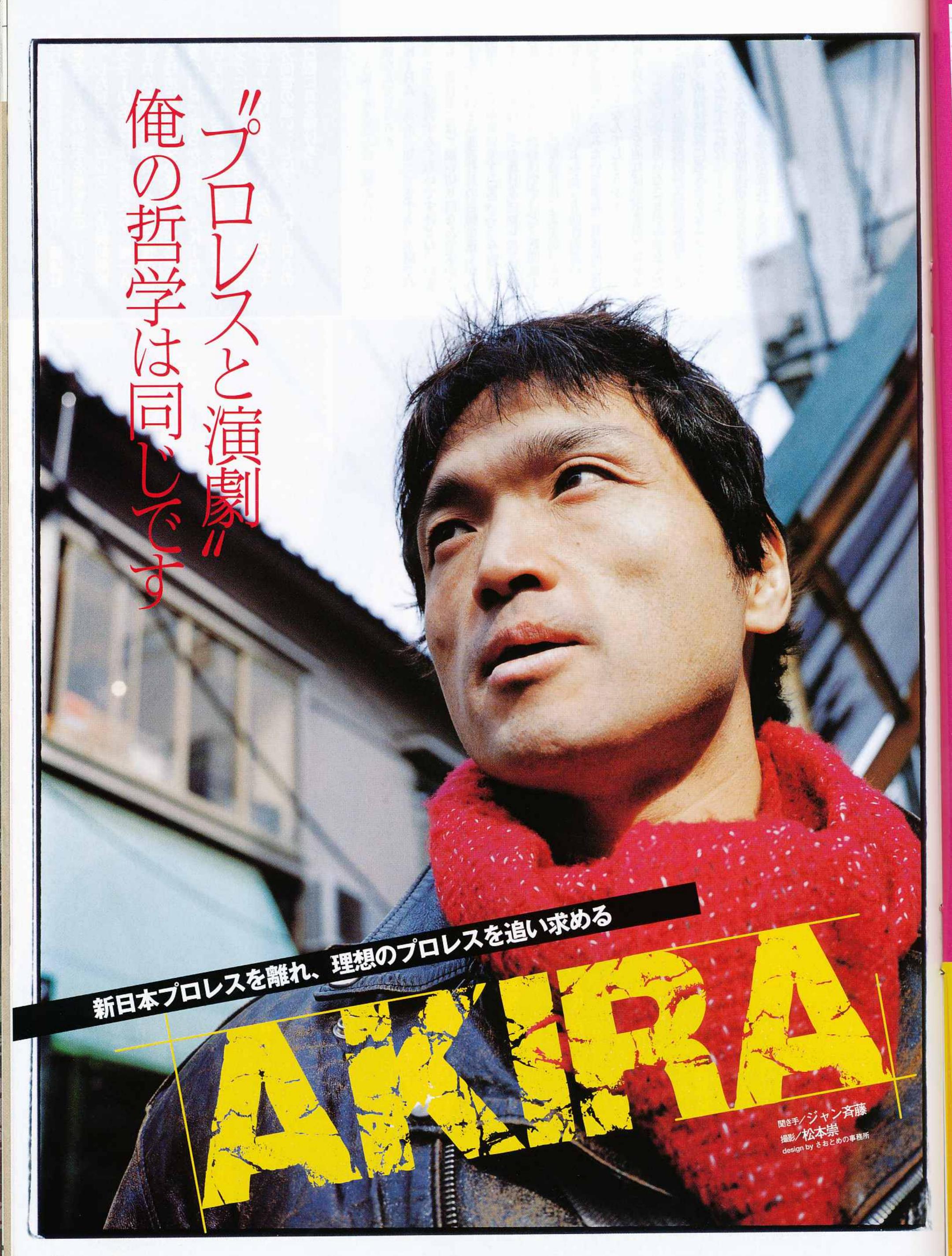
ロス・カーロス・エクソティコス

“車コンビ”ことロス・カーロス・エクソティコス。左がランボ三浦、右がムルシエラゴ。いつもハンドルを持っている。

“プロレスと演劇” 俺の哲学は同じです

新日本プロレスを離れ、理想のプロレスを追い求める

AKIRA

聞き手／ジャン斉藤
撮影／松本崇
design by さおとめの事務所

興行不振業績悪化の理由により、藤波社長を含む6名の選手を事実上の〝リストラ〟した新日本プロレス。その契約解除レスラーの名前は伏せられたが、唯一AKIRAだけは、新日本との方向性の違いを理由に契約を交わさなかったことを自身のHPで明らかにした。AKIRAといえば、舞台や映画で活躍をしながらリングに上がる〝二足のワラジ〟スタイルがすっかり定着していたが、はたして〝方向性の違い〟とは？　AKIRAのプロ観に耳を傾けろ！

――AKIRAさんは『紙のプロレス』を御存知なんでしょうか？

AKIRA　ああ、知ってますよ。本屋でパラッと立ち読みするぐらいですけどね。いまでも（新日本には）鋭い切り口なんですか？

――ん〜、いまは藤波社長の言動を遠くから観察することが多いです（笑）。で、今回、AKIRAさんは、その新日本プロレスと契約更新に至らなかったわけですけど。新聞紙上では〝リストラ〟と報道されてますが、AKIRAさんのHPによると〝方向性の違い〟からの離脱だったみたいですね。具体的にはどういうことなんでしょうか？

AKIRA　もとを辿れば、ボクがプロレスから一年ぐらい身を退いたことがあったんだけど（98年、左眼負傷のため長期欠場）。その当時、格闘技路線に進みそうなニュアンスがあったんですよね。

――猪木さんが世界格闘技連合を発進させたり、UFCからも選手が流れてきて、いまほどではないとはいえ格闘技色が強まってましたね。

AKIRA　目のケガもあったし、ケジメを付けないといけないって思ったんですけど。蝶野さんが「T2000」というユニットをつくったり、いわゆるアメリカっぽいノリの

新日の格闘技路線が良いか悪いかじゃなくて〝俺は違うわ〟の一言です

なかで、俺にもできることがあるかもしれないってことでまた復帰して。

――舞台などでの活動を経て、野上彰からAKIRAとして復活したんですよね。

AKIRA　それで何年かやってきたんだけど、再び会社の方針として格闘技の路線をよりいっそう意識しだして。練習自体もソッチのほうを意識してるんですね。

――総合格闘技を念頭に置いた練習に変わってるわけですか。

AKIRA　あと、こないだの1・4（東京ドーム大会）を見たときも、ドレッシングルームの空気がさ、「あれ？」って思っちゃって。これは違うわってね。

――控室の空気にさえも違和感を覚えたわけですね。

AKIRA　その辺だね。格闘技路線が良い悪いじゃなくて、〝俺は違うわ〟の一言ですよ。この流れの中で続けても違う方向に行くなら、シンドイだろうなって思うし。

――新日本は興行大不振の側面から、AKIRAさん以外に藤波社長を筆頭に数人の選手と契約解除したわけですが、たとえば新日本が契約に前向きだったとしても、やめられてましたか？

AKIRA　微妙ですね。だけど、やっぱり根底にある問題は、スタイルが格闘技になびいてることだから。契約しても精神的に割り喰う。無理して頑張らないといけない状況になるなって感じたから、（新日本をやめるのは）いいきっかけだったなと。

――そこまで格闘技路線に違和感を覚えるのはどうしてですか？

AKIRA　たとえば、『PRIDE』とかも素晴らしいんだけども、その反面、あまりにもバイオレンスなものになったりとか、あまりにも殺伐としたりして、見ていて寂しくなったりすることもあるわけですよ。結局、思想の問題になったりするけど、こんな世の中だし、俺はそういうものをプロレスで打ち出したくないって思ったりするんですよね。

つくったり、いわゆるアメリカっぽい人の

——プロレスでしか打ち出せないものもありますからね。

AKIRA　お客さんが元気になってまた来ようと思わせるのは、興行として大事だと思いますからね。ボクはそこをあえて大事にしたいというか、表現したいなって思うんですよ。ボクが芝居や映画をやってるのは、お客に感動を与えたいという気持ちがあるわけだから、プロレスで何ができるかといったら、まあ、そういうことになるわけですわ。

——新日本は格闘技路線を押し進める一方で、昨年では坂口親子をリングに登場させたりと、エンターテイメント的な流れもありましたよね。

AKIRA　そういうのもたまにやってるんだけどね。いまの流れは猪木さんの指示が大きいんじゃないかな。猪木さんの方向性というのは、必ずしも格闘技ばかりじゃないんだけどさ。なぜか若い選手なんかは、猪木イズムというのはソッチなんじゃないかって捉えるほうが多いんだよね。それは解釈の仕方が間違ってると思う。俺がそう考えられないからかもしれないけど、猪木イズムというのは、ショーアップするのも一面だったりしたんだけど。

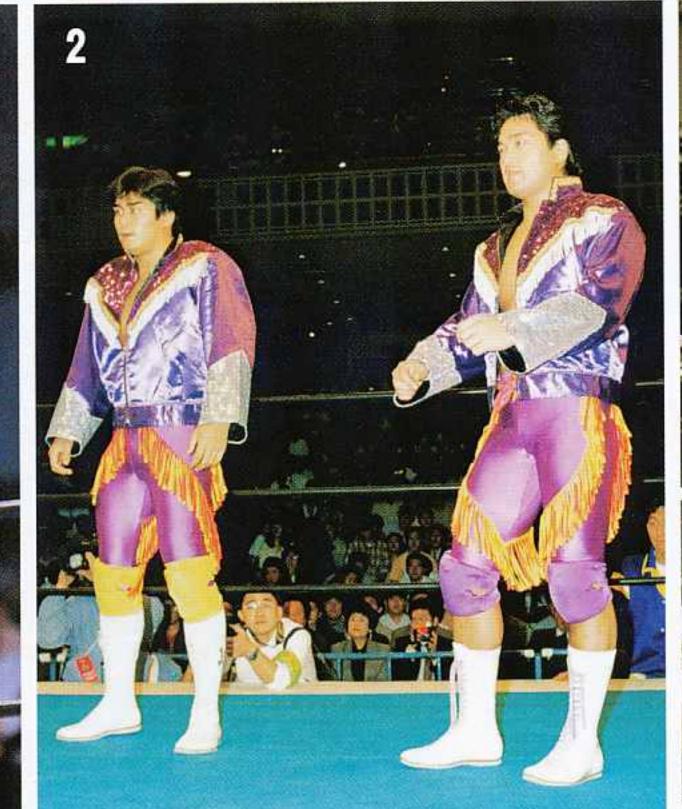
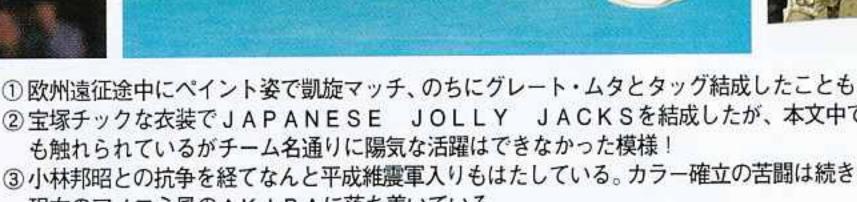
——それはまったく同感ですね！

AKIRA　そういうプロレス、そんなリングなら俺はもういいやと。プロレスに求めてるのが違くなっちゃってるから。ボクと新日本じゃプロレスで訴えるものが違ってきてるんですよ。

——以前の武藤さんや小島さんらの退団も、格闘技路線への反発が理由のひとつとしてありましたよね。

AKIRA　あれはもっともな話だなって。

——もっともな退団ですか（笑）。

AKIRA　武藤さんは会社サイドからは大事にされてきたと思うんですけど。感じたんでしょうね、このままじゃ自分がやりたいプロレスからかけ離れていくことを。猪木さんの影響力を感じたんだろうな。

①欧州遠征途中にペイント姿で凱旋マッチ、のちにグレート・ムタとタッグ結成したことも。
②宝塚チックな衣装でＪＡＰＡＮＥＳＥ　ＪＯＬＬＹ　ＪＡＣＫＳを結成したが、本文中でも触れられているがチーム名通りに陽気な活躍はできなかった模様！
③小林邦昭との抗争を経てなんと平成維震軍入りもはたしている。カラー確立の苦闘は続き、現在のアメコミ風のＡＫＩＲＡに落ち着いている。

——お話を聞いていると、ＡＫＩＲＡさんも猪木さんに対しては、かなり反発気味の姿勢ですね。

AKIRA　ハハハハ！　いや、猪木さんのことを尊敬しているところは多分にあるですよ。ただ、猪木さんの喋ってたことに対して、〝有り難い御言葉です！〟みたいに何でもかんでもＯＫしてるのはどうか思うんですよね。だって、あの人が何か言ってそれが失敗して、責任取るかっていったら取らねえし。

——〝俺は触ってねえです〟の一言で終わりですね。まぁ、そこが猪木さんの魅力だったりするんですけど（笑）。

AKIRA　猪木さんは凄いんだよ。ただプロデューサーとしてじゃなくて、役者として凄いんであって、あくまで個人としてですよ。そこを履き違えるべきじゃないでしょ。猪木さんも〝俺は凄いんだ〟って思っちゃって口出ししたいんでしょうけど、受ける方は考えないといけない頭がないとね。

——で、ＡＫＩＲＡさんは猪木色もなければ、かつての現場監督である長州さんの色があるわけでもないですよね。

AKIRA　そうですね。うん。

——派閥でいうと蝶野さんになるんですか？　派閥という言葉が適当かどうかはわからないですけど。

AKIRA　う～～ん……蝶野さんとは考えは合ったけど、蝶野さんが役員側に就いたときから喋らくなっちゃったね。

——体制側になってからは付き合いがないと（笑）。それでは一匹狼的な存在だったんですか？

AKIRA　そうですね。新日には友達いませんでしたから（笑）。

——あ、そうなんですか（笑）。

AKIRA　マジで友達いないなあ。プロレスってモノをビジネスでやってるぶんには向き合えるけど、プライベートでプロレスの考えや、仕事の部分が見えてきちゃうとイヤな思いをするから。結局は各々の思想の違いだけど。

——思想という意味では、もともとＡＫＩＲＡさんが新日本プロレスに入団されたのは、ストロングスタイルに惹かれたところもあったわけですよね。

AKIRA　結局はそこでしたよ。全日（本プロレス）というのはプロレスにとっかかる意味で、ミル・マスカラスとか華がある選手に凄く惹かれたんだけど、全日より新日のほうが大好きだったね。当時の新日は格闘技として非常にストイックなものだと思ってましたし。だから選んだんですけど。

——武藤さんなんかは新人のころに全日本プロレスのテレビ中継で見て、〝俺、こっちのほうがいいなぁ〟って周りに言ってたらしいですね（笑）。

AKIRA　言ってましたねえ。空港でジャンボ鶴田を見て、「ジャンボ鶴田、かっけえなあ！」とか言ってましたから。藤波さんに「なんなんだオマエは！」とか怒られてましたよ（笑）。

——武藤さんらしいです（笑）。ＡＫＩＲＡさんにはそういう思いは沸かなかったんですか？

AKIRA　そんときはね、目の前にあることに一生懸命で何も見えなかったですね。

——当時はＵＷＦというスタイルが脚光を浴びつつありましたが、それも視野も入らなかったわけですか？

AKIRA　ＵＷＦはそれもまた然りかなって思ってましたよ。その当時は、ボクも強くなろうって気持ちはいっぱいあって、そういうつもりでやってましたから。でも、目をケガしたことと、海外遠征に行ったことが分かれ目だったね。

——海外遠征も考えが変わるきっかけになったと。

AKIRA　海外なんかでは、若いころやっ

てたストロングスタイルを押し通そうとすると嫌われるわけですよ。そうしていろいろ覚えていくわけです。そこで〝こんな素晴らしいプロレスもあったんだ〟って気付く人もいれば、気付かない人もいる。俺は前者だったわけですよね。で、帰国してそういうプロレスをやろうとしても、周りのレスラーや会社と意見が合わなくて。

――ＡＫＩＲＡさんは凱旋帰国してから、自分のカラーをつくるためにかなりモガいてきたイメージが強いんですよ。歌舞伎ペイントのＡＫＩＲＡから本名の野上彰、Ｊ・Ｊジャックスや平成維震軍、そしていまのＡＫＩＲＡへといろいろ移り変わっていたので。

AKIRA というか、勝手にやってきちゃったところがあるから。

――あ、勝手に平成維震軍入り（笑）。

AKIRA 上から何を言われても気にしないし、別に誰にも相談しなかったですね。誰かに相談したとしても、その話は上にいくわけじゃなくて、その人で止まってることもある。そのアイデアに対して会議がなされるわけじゃないんです。決してね。

――選手の方向性を決定するのは上層部なんですね。

AKIRA でも、プロレスラーってのは、命令されてやらされててもダメだと思うんですよ。何かを発していかないと面白くないと思うんですよ、ひとりのアーティトとして。会社の方針に従ってると、余計に裏を感じてつまらなく見えるはずだし。

――Ｊ・Ｊ・ジャックス時代、相棒の飯塚さんは明らかに不本意そうなのは伝わってきましたね（笑）。

AKIRA ハハハハハハ！

――あ、やっぱり飯塚さんはやる気がなかったんですか？

AKIRA いや、その話は俺も悪口言いたくなるから、やめといたほうがいいかもなあ（笑）。

――いろいろあったみたいですね（笑）。

〝暴露本〟をどう捉えて どう考えるか？ そうしないと 新しい発想は生まれてこない

AKIRA 当時は長州さんが仕切っていたのかな？ 言うならば、飯塚君は先輩とか上の意見をくむ選手で、たまたま意見と合致したんでしょうけど、道を外したくなかったという頑な思いもあったんだろうね。俺はそれでもやっていけるかなって思ったけど、やっぱり上手くいかなかった（笑）。

――ＡＫＩＲＡさんだけが陽気な野郎だったんですね（笑）。で、レスラーとしてのプライドはあるのは大事ですし、ＡＫＩＲＡさんのように自己プロデュースしていくのも大切だとは思うんですけども。団体なりがプロレスをつくり込む上で、そういったレスラーの自我というのは、上層部からすれば当然、邪魔になったりしますよね？

AKIRA だからボクが今回、フリーの立場になるのはもっともな話なんだけど（笑）。

――命令に従わないなら……ってことですね。

AKIRA 選手からすれば、そういう気持ちでやるのは怖いことなんですよ。受け皿がなくなっちゃうわけだから。だからどうしても喧嘩できない。当たり障りないところでやんないといけないみたいになる。たとえば、会社がギミックを用意するまで選手は待つってことになっちゃう。

――自分を表現するために、裏側で闘ってきたところもあるんですね。

AKIRA いかにレスラーが面白い切り口で試合を魅せるのかを俺はやってみたいなって思うんですよ。面白い切り口で、面白い感動を与える路線というのか。

――そういった考えに至ったのは、カミングアウトの影響もあったりするんですか？

AKIRA ん？ カミングアウトというと？

――いや、ミスター高橋さんの本に代表されるように〝プロレスの仕組み〟が公にされているケースが最近は多いじゃないですか。

AKIRA ああ、ああいうのか。

――高橋さんの本は読まれましたか？

AKIRA 読んだ。出てすぐね。でも、つまんなかったね。暴露するだけで終わりだか

――いろいろあったみたいですね（笑）

ら。たとえば、『ビヨンド・ザ・マット』という（映画）作品なんかだと暴露はしたけど、プロレスに対するプロレス馬鹿の生き様を伝えたりしてたしさ。

――プロレスラーの壮絶な生き様をあぶり出してましたね。

AKIRA そこまでして、プロレスは愛すべきものなんだよってことをね。不知火（京介）さんの小説（『マッチメイク』）も、カミングアウト本なんだけど面白かった。要は方向性の問題ですよね。WWEもカミングアウトしたけど、逆にグロイところにいったのは悪いところでもあるんだよ。殺伐さを表現しがちで、世相を反映してなのかやたら右寄りになって。

――イラクの慰問興行は政治色がかなり濃かったみたいですね。

AKIRA それで政府が金を出したりさ、裏があるのかわからないけども。そっちに流れがちだから。

――一昨日のWWEさいたま興行には行かれたんですか？

AKIRA いや、行ってないんですよ。ショーン・マイケルズとHHHの試合はメッチャ見たかったんですけど、WWEに荷担したくないって思ったから（笑）。

――AKIRAさんは反戦集会の募金活動もしているぐらいだから、そんなWWEはNGになりますね（笑）。

AKIRA そうなんだよ。クリス・ベノワにも会いたかったけどさ（笑）。

――そんな葛藤があったんですねえ。話は戻りますが、新日本が異常に格闘技路線に針を振るのも、いわゆる〝暴露本〟に対しての、ある種の反論であると思うんですよ。

AKIRA そうだね。どんだけ強い人間がやってるんだって姿を打ち出したのが新日ですよね。肉体的な凄み、受け身で何発もこらえるのがノアかもしれない。ファンの中には、ああいう本は受け入れないでシャッターを降ろしちゃってる人もいるけど、世の中的には浸透してるところもある。『モーニング』でも新しく連載が始まったでしょ？

――高橋さん原作による、プロレスの裏側を描いた連載マンガですね。

AKIRA あれもまたニュアンスが違うところがあるんだけどね。やっぱり受け身を取らなきゃわかんないとこもあるからさ。でも、選手や団体なりがああいう本を捉えて、いろいろ考えないといけないとは思うんですよ。臭いモノにはフタをするんじゃなくてね。そうしないと新しい発想は生まれてこないですから。

――高田さんが出された『泣き虫』は読まれましたか？ その本でも〝プロレスの仕組み〟について触れてるんですよ。

AKIRA 読んでないですね。それは当時のUWFのことを？

――そうですね。なぜ『PRIDE』に踏み出していったのかを説明する意味もあるんですけど。1月4日の『ハッスル1』では、その本を踏み台にしていろいろアプローチされてるんです。

AKIRA 『ハッスル1』は見てないんですよ。

――雑誌とかで見た程度。

AKIRA そうですね。どうなんですかね？

【あ・き・ら】本名・野上彰。1966年生まれ。84年3月、高校卒業と同時に新日本プロレスの門を叩く。現在ではプロレス以外に舞台や映画でも活躍をしている。最近では今井雅之の監督映画作品にも出演。今井雅之といえば、自衛隊出身で銃剣道、空手、柔道の格闘技歴を誇る猛者だが、ひょんなことから"プロレスごっこ"をする羽目になったAKIRAいわく「あんなムチャな人はいない」。"今井・芸能界最強"の噂はいよいよ現実味を帯びてきた！

――大雑把な言い方をすると、日本のプロレスを土台にして、WWE的な方法論を取り入れようとしてますね。『ハッスル』はドリームステージが主催して、ZERO―ONEや全日本、アメリカから選手を呼んでやってるんですよ。

AKIRA まあ、ドリームステージが税金対策のためにやってるかどうかは知らないけど、プロデュースユニットに選手を呼ぶのは非常に大アリだと思うんですよね。むしろそうやったほうが全然いい。

――既存の団体が仕切るのではなくて。

AKIRA たとえば演劇界でも、どっかの大きいところがやる商業演劇は行き詰まってるわけで、力があるる人がプロデュースユニットとしてやってるんですよ。プロレスファンは義理堅いところがあるから、新日ブランドでも客は集められるんだろうけども、いまは客が選べる時代だから。面白ければどこにでも行く時代。ボクが実現してほしいなって思うイベントは、決して大きくない関東近辺の会場を30大会ぐらいでツアーして、その中でいろんなストーリー展開があって、最後に結末を迎えるってやつだね。

――ワンシリーズで完結するストーリーですか。

AKIRA 商業演劇は毎日同じことやってるけど、プロレスは日々のストーリー展開を見せていく。その日までの流れは試合前に何かしらの方法で伝える。そういう手法でやってもいいと思うんですよ。年に何本かできるプロデューサーがいれば面白いと思うし。

――そのストーリーが好評ならば、解釈や配役を変えたりして再演するのも面白そうですね！ そういったお話をレスラー間でされるときもあるんですか？

AKIRA いや、レスラー間ではしないですね。逆に役者間。演出をやってる人は新鮮にプロレスを語りたがりますよね。演劇畑だと、プロレスで起こってることを〝なるほど〟って納得してくれることが凄く多い。闘ってるレスラーの感情にしろ、演出にしろ、お客さんに対するアピールの仕方にしろね。演劇をかじったことがある人なら共通項がいっぱいありますね。

――AKIRAさんはHPで、〝オレのプロレスと演劇の哲学は同じだ〟というニュアンスのことも書かれてましたね。

AKIRA ボクにとって哲学は同じですね。言っちゃえば、ボクにはそういうプロレスしかできない。ボクがプロレスをやるのは自己表現をしたいだけですから。違うアプローチしたい人は、それは個性だからやれば良い話でね。うん。

――いや、AKIRAさんのおっしゃることはプロレスに必要不可欠な要素だと思います！ これからも、理想のプロレスに向かって頑張ってください！

【04年2月9日／都内・某所にて収録】

AKIRA出演情報!!

今井雅之・監督映画作品

『Suppinぶるぅす ザ・ムービー』

【上映会場】兵庫／豊岡劇場　3／13～26
大阪／シネフェスタ　4月下旬
東京／テアトル池袋　5月下旬

『CHILDREN』

【上演会場】下北沢・本多劇場　5／19～23
【出　　演】小野寺昭、石橋保、山田まりや、大島宇三郎、小野寺丈、清水拓蔵、岡本あつこ、葉山レイコ

年末に2本の映画に出演予定

目して見よ！

美しき記憶に勝つ！

文／堀江ガンツ
撮影／乾晋也
designed by matsu (Two Three)

2.4 U-STYLE　後楽園ホール
○田村潔司［15分51秒 腕ひしぎ逆十字固め］髙阪剛●

男子三日会わざれば刮目し

田村vs髙阪、美し

田村潔司vs髙阪剛

　セミファイナルの滑川康仁vs木村直生が終わり場内が暗転すると、自然発生的に拍手と大歓声が巻き起こった。

　2004年2月4日、U-STYLE一周年記念大会。かつて〝Uの聖地〟と呼ばれた後楽園ホールを隅々まで埋め尽くした〝U信者〟たちのお目当てはもちろん、メインイベントとして組まれた田村潔司vs髙阪剛戦。

　リングス時代に過去3度行われ、1勝1敗1引き分けの戦績を残すこの一戦だが、観客が求めているのは、必ずしも「決着戦」ではない。リングススタイル（Uスタイル）の最高峰と呼ばれた闘いをもう一度見たい、再現してほしい。そんな思いが冒頭の大歓声となってあふれ出していた。

　だからこそ、この日の田村と髙阪が闘うべきは、対戦相手だけではない。最高の好敵手とピカピカに美化された過去の記憶、この二つの〝強敵〟と勝負しなければならなかった。

　リングサイドにはジョシュ・バーネットが、その青い瞳をキラキラさせながら、リングを見上げる。その隣には成瀬昌由、放送席には坂田亘、会場の隅を見渡すと垣原賢人、さらには元リングス社員の顔も見える。当時を知る者たちが、何かに引き寄せられるように集結してきた、この日の後楽園ホール。これから彼らが目にするのは、Uスタイル（団体名ではない）の最期なのか、それとも再生する姿なのだろうか。

　先に入場してきたのは髙阪剛。セコンドには〝リングススタイルを知らないリングス戦士〟横井宏考がついた。リングス活動休止以降、ZERO-ONEのリングでプロレスに没頭するこの男が、U-STYLEを、そして田村vs髙阪をどう見たか、これもまた興味深い。

　続いてテーマ曲が『FLAME OF MIND』に変わると、場内のボルテージはさらに急上昇。超満員の観客が手拍子で一体となる中、田村はいつものように四方に深々と礼をしてから、いつものようにコーナーの相手を睨み付ける。しかし、いつもは「一瞥」だけの睨み付けが、この日はやけに長い。ファンもこの小さな変化を見逃さず、リングを大きなどよめきが支配する。こんなちょっとした違いだけで、ファンとリング上の2人双方にとって、この試合が特別な一戦であるという共通認識ができあがった。

恒例の全選手入場式で田村と髙阪が同じリングに立つ、これだけで場内は大歓声。チケット完売となったこの日の後楽園ホールは、オープニングからすでにできあがっていた。

　そんな最高の雰囲気の中、ゴング。

　まず先に動いたのは田村だ。約5年ぶりにリングで相対するかつての好敵手に挨拶代わりの左ミドルを放っていく。これが田村の軸足が浮くほどの強烈な一撃。

　そういえば、田村はリングスで初めて前田日明と闘ったときも、以前とは違う「現在の自分」を前田の体に刻み込むかのように、試合開始直後から強烈な左ミドルを叩き込んでいた。この日、髙阪に対して放った一撃も同じような意味が込められているように感じられてならない。

　この一発の左ミドルを合図に、その後、田村と髙阪はお互いの5年間を確かめ合うかのように、めまぐるしい寝技の攻防を展開。それも単に技を掛け合うのではない。田村が上を取ろうとすれば、すぐさま髙阪がTKシザースを仕掛け、それを察知した田村が体を反転させてポジションを変えていくといった、先の読み合い、化かし合い。相手が仕掛けてきた技が型にハマる前に次のアクションを起こすため、地味なはずの寝技の攻防にスピード感と躍動感が生まれる。これこそが前田、髙田の世代にはない、田村、髙阪世代が作り上げた〝ネオUスタイル〟だ。

リングサイドには“UWFオタク”ジョシュ・バーネットと元リングスの成瀬の姿が。ジョシュは試合後、TKに「サスガ！」と声をかけ、田村vs髙阪戦を絶賛していた。田村vsジョシュ・バーネット戦は見たい！

　そんな激しい寝技ラリーの中、先に相手を捕獲したのは髙阪。フロント・ネックロックでファースト・エスケープを奪うと、「どうだ！」という表情で大見得を切った。

　これに対して田村はスタンドにシフトチェンジ。ヒザ蹴りをボディに突き刺し、髙阪のこうべが垂れたところにノーモーションのハイキック一閃。崩れ落ちるように髙阪はダウン。田村がすぐさまポイントを奪い返す。

　お互いにロストポイントをひとつずつ奪ってから試合はさらに加速。髙阪がカウンターのヒザでダウンを奪えば、田村はくるりとバックに回ってからの腕十字でエスケープを奪う。ポイントが加算されるたびに、館内のボルテージは上昇。そして、髙阪がアンクルホールドで4度目のロストポイントを田村から奪ったとき、その興奮はピークに達した。

「田村選手は、あと1回のロストポイントで負けとなります！」

　館内が悲鳴のような大歓声と「田村コール」に包まれる。そこへ髙阪がトドメを刺すべく、〝TKスペシャル〟捨て身小内を仕掛けていく。しかし田村はこれを切り返し腕十字の体勢に。そしてガッチリとリストを固め、一気にクラッチを切ると髙阪はたまらずタップ！

　15分51秒、腕ひしぎ逆十字固め！

　田村は、髙阪の〝リングス時代の〟フェイバリット・ホールドを切り返すことで、この日の闘いが〝あの頃〟よりさらに進化した闘いだったことをみせつけ、それと同時にこの日の闘いが〝記憶の中の田村vs髙阪〟を内容で上回ったことも場内の大歓声、スタンディングオベーションが証明していた。

　男子三日会わざれば、刮目して見よ。

　これはUWF時代に前田日明が発し、

このテンションの高さは一体何なんだ!

二人の攻防は寝技だけではない。スタンドになっても、常に緊張感のある攻防を展開。特に田村の蹴り技は冴えに冴え渡った。ダウンを奪った左ハイキックもズバリのタイミング。

TKのアンクルホールドを田村は命からがら逃げ切って、ロープエスケープ。本当にピンチになるまでロープには逃げないからこそ、一回のエスケープに意味が出てくるのだ。

とにかくグランドで動きが止まることがなかったこの日の田村と髙阪。質の違う寝技がガッチリとかみ合い、流れるように続く攻防は、まさに格闘芸術と言っていいだろう。

さらに進化していた髙阪のTKシザース。マウントを取られてからのベーシックなもの意外にも、様々なバリエーションを披露。

説明不要! 闘う2人の表情を見よ!

試合後、ジョシュが田村戦を熱望！
垣原、成瀬も会場に出現
田村vs髙坂戦をきっかけに
Uの新たな潮流が生まれるのか!?

もともとは三国志の英雄・呂蒙の言葉だが、この日の田村と髙阪には、まさにこの言葉がピタリと当てはまる。

『日々精進し研究と前進を繰り返す人は、三日も経てばもう目を擦ってみないと判らないほど進化しているもの。また男子たるものそうあるべきだ』

Uスタイルの、そして田村と髙阪の進化はまだまだ終わっていなかったのである。

試合後、ノーコメントを貫いた田村。これは何も試合内容に納得がいっていなかったわけではないだろう。おそらく田村は「俺の言いたいことは、リング上ですべて表現した。あとは各人が自由に感じ取ってほしい」そんな気持ちだったに違いない。事実、試合自体がどんな長いコメントよりも田村の心情を雄弁に語っていた。

この一戦に触発されて、ジョシュ・バーネットが早速、田村と闘いたい旨をアピールした。かつての同志、成瀬や垣原も何かを感じていないわけがないだろう。

U-STYLE旗揚げから1周年。そしてUWFが誕生して今年で20年。田村vs髙阪戦がきっかけとなり、この日からまた新たなるUの歴史がスタートする。そんな気がしてならない。

STARTING OVER UWF！

かつてハンス・ナイマンを極めて、髙阪がリングスのトップ戦線に食い込むきっかけとなった柔道技・捨て身小内からのレッグロック。しかし、田村はこれを鮮やかに切り返しタップを奪った！

2・15『武士道』を控えた滑川は、坂田道場の木村直生を容赦なく攻めまくり、4分5秒、強烈なハイキック一発でKO。木村はなかなか起きあがれないほどのダメージを受けた。

上山vs大久保のU-FILE同門対決は、田村vs髙阪に次ぐ完成度の高い闘いを披露。U-STYLEの次代はこの二人に掛かっている。
●上山（8分47秒　足極め横三角絞め）大久保×

いまやU-STYLEの興行には欠かせない存在となった三島は、この日もオリジナルの複雑怪奇な関節技を次々披露。最後は7分2秒、コブラ固めで原学を破った。

実況はもちろん、かつてWOWOWのリングス中継で二人の闘いを実況し続けた高柳アナウンサー。解説は坂田亘と本誌編集長・山口日昇がつとめた。

健介VSターザンの“かわいい対決”は健介の圧勝!!

健介の魅力、大爆発！

衝撃発言連発にターザンも完敗宣言!!

「ターザン山本&吉田 豪の格闘二人祭」ゲスト・佐々木健介

2月の健介の動きが一目でわかる月刊・佐々木健介付き!!

新日本&WJを抜けてから超パワーUP！　『紙プロ』読者の間でも好感度急上昇中の佐々木健介。2月4日に新宿ロフトプラスワンで行われたターザン山本&吉田豪の『格闘二人祭り』の一部には、その健介がゲストで登場（二部の内容は各自調査）。今回は、衝撃発言連発で健介の新たな魅力が大噴火したトークイベントの模様を載せられる範囲でヴァーッとクァーッとお届け！

構成／松澤チョロ　designed by nogu（Two three）

吉田　それでは、佐々木健介さん、お願いします！

【健介は大好きな『仮面ライダー555』のエンディングテーマで入場！　場内は大歓声＆大拍手】

吉田　どうですか、健介さん目当てで今日はフルハウスですよ！

健介　ありがとうございまッス！

吉田　最近の健介さんはホント、もの凄く評判いいですからね。

健介　嫁に尻叩かれながら、必死に頑張ってますよ！（笑）。

吉田　ダハハハハ！　今日は奥さんの北斗さんにも一緒に出て欲しかったんですけど、北斗さんいわく「アタシは来月出る！」って言ってるみたいなんで（笑）。

チョロ　「アタシが出ると健さんは喋れなくなるから」って言ってましたね（笑）。

健介　その通りです！　たぶん1時間あったらボクが喋る時間って3分ぐらいでしょうね（笑）。

吉田　ダハハハハ！　まあ、今日はビールでも飲みながら、その調子でお願いします！

健介　ウィ～ス！（と、生ビールをごくり）

吉田　今日の話はネットに流さないようお客さんには言ってますから、何を言っても大丈夫ですよ。

健介　（疑った目で）ホント？

吉田　ホントです。そここのお客さんは口が固いですから（笑）。

健介　（観客に向かって）口固いですか、みんな？【うなずく観客】

健介　じゃあ、安心して言っちゃおうかな（笑）。【場内は大拍手】

吉田　今日はゲストが健介さんということで、お客さんもWJの裏話を期待してると思いますから、話せる範囲でかまいませんので、よろしくお願いします！

健介　そうなんスか!?　……がっ、頑張ります！（笑）。

吉田　早速ですが、一言で言うとWJという団体はどうでした？

健介　いい経験が出来ました！

吉田　いまになってみると（笑）。

健介　はい。WJのおかげで一皮も二皮も剥けましたね（笑）。人間として大きくなると思います。

吉田　あんな経験をしたら、嫌でも成長するでしょうね（笑）。

健介　そう。嫌でも成長する！（笑）。【場内は大爆笑。ここで寝坊して会場入りが遅れていたターザンが15分遅れで登場】

前回は新間寿氏、上井執行役員、安田忠夫が登場し超満員となったターザンと吉田豪の『格闘二人祭り』。今回も健介効果もあって超満員に。次回のゲストは北斗晶か？

吉田　ようやく山本さんが到着したみたいなんで、山本さんにも壇上に上がってもらいましょう！

山本　（壇上で健介とガッチリ握手し）どうもありがとう！

吉田　山本さんは健介さんとは久しぶりなんじゃないですか？

山本　（健介を指さし）この人はあれだよ、北斗さんの旦那だよ！

吉田　知ってますよ！（笑）。

山本　北斗晶といえば、かつてボクの恋人だったんだから！

吉田　そういえば、北斗さんに恋人宣言してましたもんね（笑）。

山本　そうそうそう。だから、恋人を奪われたみたいなもんだよ。

吉田　健介さんは恋敵と？（笑）。

健介　それでボクに冷たかったんですか!?（笑）。もともと山本さんは、ボクのこと凄く心配してくれたんですよ。それが結婚したぐらいから、なんか冷たくなったなぁって思ってたんですけど、そういうことだったのか！（笑）。

吉田　とりあえず、昔はいい人だったわけですか（笑）。

山本　だって豪ちゃん、健介さんは長州さんのお弟子さんでしょ？

吉田　それも知ってますよ（笑）。

山本　接触できないんだよねぇ。

吉田　ダハハハハ！　でも、ジャパンプロレスで全日本に出てた頃は接触できたんじゃないですか？

健介　ボクは憶えてますよ、大宮であったこと（ニッコリ）。

山本　……何があったん？

健介　えっ!?　大宮で喋ってくれたじゃないですか、ボクに！

吉田　山本さんは絶対に何も憶えてないと思いますよ（笑）。

健介　憶えてないんスか!?

山本　……ボクはあったこと全部忘れちゃうから（キッパリ）。

健介　ボクはちゃんと憶えてますよ！　あの優しい言葉を。

山本　どんな言葉を言ったん？

健介　「いまは、まだ弱いかもしれないけど頑張ってれば絶対芽が出るよ」って言ってくれたんスよ。

山本　へぇ～、そんな殊勝なことよく言ったねぇ（しみじみと）。

健介　……（悲しそうに）なんだ、憶えてないんスかぁ（苦笑）。

山本　（他人事のように）でも俺って、いいこと言うねぇ（笑）。

健介　ガッハッハッハッ！　でも、そういうことがあったから凄くインパクトがあったんですよ。で、北斗からも「山本さんはいい人だよ」って聞いてたんで。

山本　でもボクは（首をかっ斬るポーズをして）長州さんにこういうふうにされたんだよねぇ……。

吉田　そうですよね（笑）。取材拒否騒動の時って、健介さんはどういうふうな感じで見てました？

健介　いや、何もあそこまでやることないなって思ってましたね。

【場内、大爆笑＆大拍手】

山本　あれはさぁ、長州さんが異常なんだよね。たった1人の人間によってすべての世界が不幸になるという典型的な例ですよぉぉ！

吉田　ダハハハ！　健介さんとしては「『週プロ』にも出たいのに」みたいな感じだったんですか？

健介　そうッスね！　でも、長州さんは我が強いし意固地なところもありますからね。ボクも今回つくづくそれを感じましたね（笑）。

【観客はもちろん大爆笑＆大拍手】

佐々木　口固いよね、みんな？

吉田　大丈夫ですよ、もう（笑）。

山本　（なぜか両手でピースサインを作り、満面の笑みで）やっぱり俺は最後に勝利するな！（笑）。

吉田　ダハハハハ！　どうしてそこで勝利宣言するんですか（笑）。

山本　でも豪ちゃん知ってる？『週プロ』で、健介さんがまだそんなに有名じゃない時に、俺は表紙にしてるんだよ！　正月号でバックが真っ青のヤツでさ。

健介　ありがとうございました！やっぱ、いい人だった（笑）。

吉田　ダハハハハ！　その山本さんが、最近は（健介が一面の『ファイト』を広げて）こんな感じなんですけど（笑）。「健介に嫌がらせ」ってコピーを付けて。

健介　ガハハハ！　ちょっと待って！　見てないッスよ、それ（笑）。

吉田　あ、知らないんですか？（笑）。「数百人の観客と一斉に健介にブーイングをしよう」って読者を煽ってたんですけど（笑）。

山本　（すっかり慌てて）いや、これは新間さんが家に電話してきて……犯人は新間さんだから。

吉田　あ、そうなんですか？（笑）。

山本　「健介が出てきたら全員ブーイングやって、試合は見ないように全員背中を向けろ」と言ったんだよね。ターザンシートでも新間シートでも全員やるからと。

吉田　で、実際やったんですか？

山本　ターザンシートを買ってくれた人にそんなこと強要できませんよ！　ただね、『週刊ファイト』のカメラマンが来た時だけは健介さんに（親指を下げて）これしようってことでやったわけですよ。

吉田　……そういうわけでやったらしいですよ、健介さん（笑）。

健介　いや、それはオッケーですよ。ブーイングは全然オッケー！

吉田　まあ、そんな山本さんも、いざ試合が終わると健介さんが良かったって言ってましたからね。

山本　いや、良かったよぉ！　1・4の永田戦は凄く良かった。

吉田　一皮剥けたっていう。

山本　大剥けですよ、あれは！

健介　えっ、ホントですか!?　あ、ありがとうございます！

山本　（突然）可愛いねぇ、キミ。

【場内、大爆笑】

吉田　最近やたらと可愛くなってるんですよね、ホントに（笑）。

山本　なんか弟にしたいよねぇ。

いまさぁ、僕は弟と妹が欲しい願望がすごく大きいんだよ……。
吉田　いいじゃないですか、義兄弟になっちゃえば（笑）。
山本　いや、だけど北斗は妹にしないよ、俺は！　うるさいから。
健介　その通り！（笑）。
吉田　あ、その通りですか（笑）。でも、健介さんの可愛さがホントに最近出てきたと思うんですよ。
健介　そうッスか？（笑）。
吉田　誌面とか通じても伝わってくるし、健介さん自身も「お茶目な部分がようやく出せるようになった」って言ってましたよね。
健介　そうッスね。いままでは自分でこれでいいんだって思ってたけど、新日本背負ってとかWJ背負ってっていう自分がいて、なんかカッコ付けてたんでしょうね。自分らしくなかったなって。
吉田　笑っちゃいけないようなキャラクターでもあったわけだし。
健介　そうッスよね。でも、しょせんレスラーは一人だし、俺は俺で自分らしく、バカも言えば怒る時もあれば泣くこともある、そういうのもありでいいんじゃないかなぁと思ってるんですよ。
山本　それでいいんだよ！　やっぱり、組織の中にいると変に頑張っちゃうわけ。型にはまって頑張っちゃうから、それはちょっとボクらには違和感があるわけですよ。一人になってやった方がよっぽどいいんだよね。ボクたちも自由にそれを加工できるでしょ？　誤解することもできるし、いろんなことが出来るわけですよ！
吉田　でも不思議ですよね、新日本を辞めた人たちって、なんでこうやって変わるんですかね（笑）。
山本　いや、新日本の世界は、もう淀んでて濁ってるんだよ……。
【場内、大爆笑】
山本　もう組織の中にガスが溜まってるんだよね。ポッと火つけたら爆発するみたいな、ガスの吹き溜まりみたいなところですよ！
吉田　そうなんですか？（笑）。
健介　その通りッス！
【場内、大爆笑&大拍手】
吉田　最近は一皮むけたせいか専門誌でも健介さんの表紙が多いですよね。『週プロ』も、札幌で雪を身体になすりつける健介さんの写真を表紙にしてましたけど。
【モニターにその表紙が映し出されると、場内は爆笑の渦】
健介　なんで笑うんスか!?（笑）。
吉田　全身から湯気を上げながら「ぬるま湯」発言ですからね（笑）。
山本　前に藤原組長の雪の札幌事件ってあったでしょ？　あれを狙ってるんだけどさ、佐藤（編集長）はホント、バカだよなぁ。もうその発想がダメなんですよぉぉ！
吉田　同じ雪の札幌でも全然違いますよね。「こんな会社辞めてやる」と、健介さんのポジティブさでは（笑）。あと、この時のコメントも最高に良かったですからね。「ナンバーワンじゃなくて、オンリーワン。特別なナンバーワンになってやる」っていう（笑）。
健介　もう俺ね、去年はケガした。ホーク・ウォリアーが死んだ。WJでもいろいろあった。それでホントに引退も考えてたんですよ。
吉田　それ以外にも、短期間でひどい目に遭いすぎましたからね。
健介　ええ。だけど、スマップのあの曲（『世界に一つだけの花』）が俺を助けてくれたんですよ。（大きな声で）「スマップ、ありがとうッ！」って言いたいッスね。
【場内、大爆笑&大拍手】
山本　……俺はいま、あの曲が一番嫌いなんだよ！　俺から言わせたら、そんなもん「スマップのバカヤロー！」だよぉぉぉっ！
【場内、さらに大爆笑&大拍手】
吉田　今日の日記で、ちょうどその話を書いてたんですよね（笑）。
山本　（話も聞かず）スマップでクイーンが有名になったって騒いでるけど、スマップとクイーンじゃ月とスッポンですよぉぉぉ！
吉田　スマップというか、木村拓哉の主演ドラマですね（笑）。
健介　この前、テレビのスタッフから電話が来たんですけど、『ぷっすま』っていう番組で草彅さんがボクのマネをするから写真を貸してくれって話で（笑）。
吉田　えっ、そうなんですか!?
健介　だから、「くれぐれもよろしくお伝えください」って言っておきました！（笑）。
吉田　本当にスマップありがとう、と（笑）。山本さんはダメなんですか、スマップは？
山本　いや、スマップじゃなくて、『世界に一つだけの花』を作ったプロジェクトチームがダメなんだよね。何あの、くっだらない歌詞！
吉田　ダハハハハ！　でも、あの槙原敬之の曲で勇気を与えられたんですよ、健介さんは（笑）。
健介　そう！　ボクはあれでね、勇気付けられたんですよ！
山本　それはね、健介さんレベルで可愛いわけですよ！
健介　それって、どっちのレベルが上なんですか？（笑）。
山本　あ、別にレベルが低いとは言ってないよ。だって、もともとポジションが違うんだから。
健介　（真剣な顔で）いや、でもちょっと待ってください！
吉田　どうしたんですか、急に？
健介　ここは、本当にいい会場ですねぇ……（しみじみと）。
吉田　ダハハハハ！　突然何を言い出すかと思ったら。ホント、健介さんは可愛いですよ（笑）。WJに入ったぐらいからだんだんわかってきたんですよね。長州さんとかが健介さんを過剰なぐらい可愛がるのは正直なんでだろうって思ってたんですけど、最近になって、可愛いんだからしょうがないんだってよくわかりました（笑）。
山本　可愛いというよりも溺れてたんだよ。溺愛したというか、ある一線を越えてしまったというか。長州さんに可愛がられたら、そりゃあ窮屈ですよぉぉ！
吉田　でも可愛がられてた割に長州さんとは、そんなに仲良く話したわけでもなかったんですよね。
健介　いや、違うんですよ。長州さんは自分のブランドをわかってるんですよね。だから、なかなか接する時間がないっていうのもあったし。でも、ボクがカラオケ歌ってると横に入ってきて一緒に歌ったりするんですけどね（笑）。
吉田　あ、そうなんですか（笑）。

スマップの曲が俺を助けてくれた。スマップ、ありがとうッ！（健介）

月刊・佐々木健介　2・1 新日本 札幌大会編

雪の札幌で健介が本音を大バックハツ！

対戦相手の永田と中西の仲間割れもあり、健介&天龍組が勝利を収めた。試合後マイクを握った健介は、リングに集結した新日本勢に向かって「俺が新日本に喧嘩売ったのか、売られたのか、どっちだよ!?」と、ナイスなひとりツッコミ

控室に戻らず屋外へ直行した健介は火照った身体を雪でクールダウンさせるという荒技を披露。そして「スマップ大好き」な健介は「俺は特別のナンバーワンでいたい」とコメント

天龍のパートナーXとして登場した健介は1・4の永田戦に続き、札幌でも狂乱ファイトを大全開。噛みつきや鉄柱攻撃で中西を大流血に追い込んだ

健介　邪魔しに来るんですよ。それもちょっとはずれた音で（笑）。

吉田　レコード出してたから、歌唱力はあったはずなのに（笑）。

山本　いや、あんな寂しがりで孤独な人いないよね。だから、健介さんが絶対必要だったんですよ。

吉田　でも、それがこういうふうに離れるなんて、正直誰も想像しなかったと思うんですすけど。

山本　いや、あれは長州さんが「もう独り立ちしなさい」というメッセージを送ったわけですよ。

吉田　あ、そうだったんですか？

山本　そうですよぉ！　そういうことを口では言わないけども、それを健介さんが理解したわけ。

吉田　そうだったんですか？

健介　う〜〜ん、どうなんスかねぇ……（と真剣に考え込む）

吉田　違うみたいですよ（笑）。

山本　ボクが言うからいいわけですよ！　本人から聞いちゃいけないわけですよ。野暮だねぇ〜っ。

吉田　野暮でしたね（笑）。まあでも、ＷＪには皆さん凄く興味あるみたいで質問がたくさん来てますよ。まず、「健介さんに質問です。ＷＪはどうしてうまくいかなかったんですか？　何が悪かったんでしょうか？」とのことですけど。どうですか、健介さん（笑）。

健介　……（下を向いてしばらく考え込み）ちょっと待ってください。（一気にビールを飲み干して）すいません、おかわり！

吉田　ダハハハハ！　飲まないと話せないわけですか？（笑）。

健介　そうッスね（笑）。まあ結局、見栄を張りすぎたんですよね。すべてにおいて。いろんなプランであり、事務所や道場にしても。

吉田　ＷＪの事務所は家賃が百万超えてたって聞いたことあるんですけど、それも凄い話ですよね。

健介　自分も初めて見た時はビックリしましたよ。……でもハッキリ言って、最初は俺が新日本辞めたらＷＪに行くってイメージがあったと思うけど、ホントのこと言って何回も断ってるんですよ。

吉田　もともと新日本に残ると公言して、実際残りましたもんね。

健介　そう。で、新日本を辞めてからもマジメに断ってたんですよ。「いまＷＪに入ったら、そのために辞めたと思われるから嫌だ」って言って。だけど、情に流されましたねぇ……。長州さんとの付き合いが切れなかったっていう自分が甘かったのかなって。

山本　いや、そんなことないですよ。人間は一回理屈を外して、情で何かを決断する時があるから。それで動いた結果こうなっちゃったわけですよ。これは拍手してやらなきゃ！（パチパチ手を叩く）。

吉田　間違ってはいないと？

山本　いや、もちろん間違ってはいるんだけども、健介さんは理屈を越えて情を最優先したわけだから、これは一番拍手ものですよ。

吉田　要するに、お前は男だ！ってことですよね（笑）。

山本　そう！　高田延彦なんて目じゃないよ！　そういうことがあって今度は自分の決断で選んだわけでしょ。だから、健介さんが長州さんにしたことはボクらにとっては嫉妬ですよ！　そうでしょ？

吉田　情があったことにですね。

山本　普通は計算してできないことを情でやられるとさぁ、これはまいるなぁっていうか、美しいなぁっていうね。だって、冷静に考えたらＷＪがダメになるのは最初からわかってたことなんだから。

吉田　健介さんも、それは入る前からわかってたんですか？（笑）。

山本　５００％わかってるよ！

健介　ガッハッハッハッハッ！　しすぎですよ！（笑）。

吉田　健介さん、そこでバカウケけ。

山本　わかっていたのにやったわけ。だから、健介さんこそラストサムライなんですよぉぉぉ！

吉田　あぁ、なるほど（笑）。

山本　負けると思ってやったわけですよ。渡辺謙の比じゃないよ！

吉田　まさに武士道ですか（笑）。

山本　そうですよ。崩壊するなんて目に見えてるでしょ。だからボクは旗揚げシリーズ全部行ったわけ。「ここしかない」って思ったから。

吉田　負け戦にあえて出ていくっていうサムライスピリットですね。次もＷＪ関係の質問で「福田社長のバブリーなエピソードがあったら教えてください」。一個５万円のメロンをスポンサー関係に配ってたとか有名ですけど（笑）。

健介　……なっ、なんでそんなことまで知ってんですか？（笑）。

吉田　いや、ある雑誌で関係者の方が告白してましたからね（笑）。

健介　ＷＪに入る前、事務所のみんなに「よ〜し、寿司食いに行くぞぉ！」とか言って、何十万とか請求来たとか、それが一回や二回じゃなかったって話はよく聞きましたけどね。俺がいる時、やってくれよって思いましたけど（笑）。

吉田　健介さんが入った頃には、風向きが変わりつつあったんですかね。最近は記者会見まで有料でやってるみたいですけど（笑）。

健介　あれ、ホントなんスか⁉　冗談かと思ってたんだけど（笑）。

チョロ　ワンドリンク付き２０００円でやってましたからね（笑）。

健介　えっ、マジメな話⁉　それ、ネタじゃないですよね⁉　長州さんは出なかったんですか？

チョロ　来ませんでしたね（笑）。

健介　●●●●●だよ！（笑）。

【場内、大爆笑&大拍手】

山本　長州さんには出て欲しかったねぇ。そういうとこに逃げないで行くと株が上がるんだけどね。

健介　で、何人入ったんですか？

チョロ　え〜と、12人の熱心なＷＪファンが来てましたね（笑）。

健介　その分の金、俺が出すから、そういうのやめて！（笑）。

吉田　ダハハハ！　でもどうですか？　久しぶりに新日本に出て。

健介　新日本ですか？　いまホント気分悪いッスね！（キッパリ）。

【場内、爆笑&大拍手】

健介　俺がいた頃っていうのは、所属してるレスラーにしても、辞めてったレスラーにしても、尊敬の気持ちは、ずっとあったんですよ。やっぱり辞めてく選手はそれぞれ事情があるし、何かあったから出ていくわけじゃないですか？

吉田　まあ、そうですよね。

健介　新日本を潰そうと思って出て行く人間はいないじゃないです

WJを選んだ健介さんこそラストサムライなんですよぉぉ!（山本）

月刊・佐々木健介 2・8 闘龍門 博多大会編

衝撃！　なんと、健介はアメリカ人だった！

敗れた健介は試合後「ワタシは博多ウマレのアメリカ人デ〜ス」と、突如外人なまりで衝撃のカミングアウト。さらに「ワタシも仲間に入れてクダサ〜イ」と、フロリダブラザーズの軍門に下ることを志願すると場内は大爆笑！

高山、天龍に続くビッグサプライズ第３弾。大歓声を受け健介が闘龍門に初登場！　ビビリまくるフロリダブラザーズ相手に仁王立ち

試合後、アメリカ国歌を聞きながら勝利を噛みしめるフロリダブラザーズを突き飛ばし、リングのド真ん中で胸に手を当てた健介。この後、アメリカ人であることを告白した健介は、控室に戻ると「正直、幸せ」とニッコリ

レフェリーのブラインドをついてダニエルが頭にイスをぶらさげるとレフェリーは健介がイス攻撃をしたと判断。「俺じゃない!!」と潔白をアピールする健介だったが受け入れられず反則負けを喫した。

正直スマン？　あれはねえ……
つうか、言い訳していい？（健介）

月刊・佐々木健介
2・11 WMF 後楽園大会編

WMFラスト興行（？）で健介がHCW王座を防衛！

この日が事実上のラスト興行となるWMF後楽園大会でミスター雁之助を敗りHCWヘビー級王座初防衛に成功した健介。この試合、血だるまになりながら健介を攻め込んだ雁之助だったが、最後はラリアットからの北斗ボムで3カウント

タイトルマッチ宣言はHCW会長の北斗晶が行った。横には元JWPのヤマモ、その隣には臨戦体勢の健介という、なんだか凄い並びである

リングサイドに観客が大挙押し掛ける中、雁之助は「一年半という短い間でしたけど今日をもってWMFは活動を停止します。でもボクは今日がWMFの第一章の終わりで第二章があると信じてます」と、事実上の活動停止を発表した

試合後、マイクを持った健介は敗れた雁之助に向かって「雁之助、よく聞け！　絶対に負けるな!!　頑張れ!!　俺も頑張る!!　お前も頑張れ!!　お前なら絶対出来るぞ!!」と健介流の絶叫エールを贈った

か？　俺はそういう気持ちがあったんで、自分が辞めていった時に、まさか選手からあんなこと言われるとは思いもしなかった……。

吉田　辞めた時、健介さんへの口撃はホント凄かったですもんね。

健介　お前たち何なんだって!?

吉田　特に永田さんは「戦力外通告だよ！」とか「怪我も嘘」とか言ってましたけど、そもそも健介さんが辞める発端になった鈴木みのる対ライガーがあったパンクラス興行の日、健介さんは永田さんの結婚式に行ってたんですよね。

健介　そうそう。だから俺、悪いけど……暴露していい？（笑）。

【場内、大爆笑&大拍手で後押し】

吉田　お願いします！（笑）。

健介　何だかんだ言っても同じリングの中で闘ってきた仲じゃないですか？　永田の結婚は、可愛い後輩だから俺は嬉しかった。だから大枚包んで持ってったんだけど、それは当たり前のこと！　で、俺は結婚式を挙げたホテルに友達がいるんですよ。それで、二次会にワインを出すってことだから、「じゃあ赤と白、ワインは全部俺が出すから。永田のお祝いだし、そうしてやってください」って言ったんスよ。俺はそこまでやったのに、あの言われようでさ（笑）。……もう、ワイン返してくれよ！

吉田　健介さん、最高です！（笑）。でも結婚式に行ってたのに、あの言われようはないですよね。

健介　もうその時、人間って信じられなくなりましたね（苦笑）。

吉田　人間不信ですか（笑）。

健介　お前、恩って言葉を知ってるのかって……（しみじみと）。

吉田　あの時の結婚式の写真を見てみると、健介さんがまた満面の笑みで写ってるんですよ（笑）。

健介　俺、ホンットに嬉しかったんですよ！　だから余計にビックリした。嬉しい分、かえってショックって凄い大きかったですよ。

吉田　そうでしょうねぇ（笑）。あれだけ祝福したのにっていう。

健介　いやぁ〜、あのワイン高かったなぁと思って（笑）。

山本　いや、永田選手がちょっと出遅れてるのは鈴木みのる選手と健介さんの件で、初めてああいうことを言えるようになったんだよね。お前、いままで何で言えなかったんだっていうさ。出て行った人間、帰ってきた人間に対して、初めて彼は言ったわけでしょ？

吉田　突然、スイッチが入って本音をブチまけ始めましたよね。

山本　それがもうサラリーマン的というか、組織の中にいる永田選手のポジションらしいんだよね。

吉田　噛み付いてもいい人には、思いっきり噛み付くって感じで。

健介　おいしいと思ってるんでしょうね。人をネタにして自分が目立とうとか思うこと自体が品がない！

山本　でも、永田選手は……いい人だよ。ボクは好きだねぇ……。

【場内、大爆笑】

吉田　健介さん、永田さんは、いい人だったんですか？（笑）。

健介　俺は可愛い後輩だと思ってたんだけど、いまはわかんない。

吉田　傷付いちゃったんですか。

健介　うん。人間不信です（笑）。

吉田　ダハハハハ！　永田さんは健介さんが戻ってきた時も、「正直、スマンの一言も言えないのか」とか言ってましたからね（笑）。

健介　あれはねえ、……つうか、また言い訳していい？（笑）。

吉田　もちろんですよ（笑）。

健介　俺ね、IWGPのベルト巻いてるってことで自分に凄いプライド持ってたし、責任持ってたんですよ。それで、藤田和之と試合やることが決まって、試合前にベルトを獲られた。これは言い訳でもなんでもないですよね、俺とすれば。ベルトを巻いて闘う予定だったのに獲られてしまった。バカかもしんないけど、それに関してスマなかったなってことですよ。……言い訳終わりです！（笑）。

【場内、大爆笑&大拍手】

山本　豪ちゃん、彼がここに来ること自体が凄いことなんだよ！

吉田　それ自体、奇跡ですよね。

山本　あり得ないことだよぉぉ！

吉田　長州さんがここに来ることはあり得ないですからね（笑）。

山本　（急に）いや、長州さんは来なくてもいいんだけどさぁ。

吉田　あ、そうでしたか（笑）。

山本　心が吹っ切れてないと、こういうアンダーグラウンドな穴蔵には来ないよぉ！　そうでしょ？

吉田　確かに、吹っ切れたことでWJの公開記者会見の何倍もお客さんが入ったわけだし（笑）。

健介　実はいま、佐々木家で禁句用語があるんですよ。それは「ド真ん中」と「あり得ない」（笑）。

【場内、大爆笑&大拍手】

吉田　長州さんの口癖ですよね。

健介　だから、佐々木家でそれを言ったら罰金だっていうね（笑）。

吉田　巡業のバスを売り飛ばした噂について「あれは整備に出してるだけ。そんなことはあり得ない」とか、長州さんは全部あり得ないで終わらせてましたよね（笑）。

健介　だから俺、あったま来たのは『ゴング』で……。すいません、元『週プロ』編集長の前で（笑）。

山本　そんなもん関係ないよ！

健介　『ゴング』の記事読んでたんですけど……。『ゴング』の記者の方は来てないですか？（笑）。

吉田　大丈夫、来てないです（笑）。

健介　ギャラ未払いどうのこうのって話が出てた時に言い切ってましたよね。「未払いはない」って。

吉田　「あり得ない」って（笑）。

健介　そんな感じで。苦しくて削減はしたけど未払いはない、と。それを見た時に（中指を突き立て）「●●●●●！」って（笑）。

【場内、大爆笑&大拍手】

健介　思わず言葉出ましたよ！

山本　俺だったら、それを表紙にしてましたよぉ！「健介、長州に●●●●●！」って！

健介　見栄を張るのは悪いと言わないですけど、ある程度は素直に言って欲しいなと思いますよね。

吉田　まあ、困ってるのはわかってるわけですからね。正直に言ってくれればまだ我慢できるのに。

健介　俺は、そういうギャラの請求はいまだにしてないですよ。

吉田　経費すらもらえないのに、地方興行にも自腹で行ったりしてたみたいですからね（笑）。

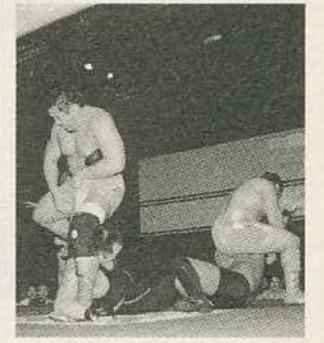
試合後
垣原、
田村
Uの

健介　全部自腹ですよ。それでね、俺、『X―1』で骨折っちゃったじゃないですか？　その治療費も全然もらえてないですからね。
吉田　うわぁ。『X―1』は金網から何から、あまりにも経費がかかってませんでしたからね（笑）。
健介　ホントだよ！　『X―1』の成功は……。いや、失敗か（笑）。失敗したのは誰のおかげだと思ってるんだよ！　俺が金貸さなきゃ興行も出来なかったんだから！
吉田　ホント、大変だったんですねぇ。せめて、そういうところで「健介、正直すまなかった」って長州さんが言ってくれれば（笑）。
健介　「正直」も付けてね（笑）。
山本　そりゃあ言えないよ。
健介　だから、こんな温厚なボクが怒るわけですよ（笑）。
【場内、大爆笑&大拍手】
山本　豪ちゃん、ＷＪの情報は楽しくてしょうがないよぉ！（笑）。
吉田　楽しいですよねぇ（笑）。でも今度の3月の一周年大会で健介さんにもオファーを出したとか永島さんが言ってましたけど。
健介　俺文句言いましたよ。「頼むから色々キレイにしてから、そういうことを言ってくれ」って。
山本　普通、そんな「出てくれ」とか言えないよ、そんなの！
健介　俺、フリーになったとき記者会見やったじゃないですか？
吉田　ああ、東京ドームホテルでやったってヤツですよね。
健介　あのときも全部、俺が金出したんですよ！　セッティングから何から、全部俺がやって。
吉田　参加者から2000円とか取らなかったんですか？（笑）。
健介　取らない取らない！（笑）。俺、ドームホテルに友達いるんで全部やってもらったんですけど、永島のオヤジなんて言ったと思います？「健介、レストランじゃダメなのか？」って（笑）。ファミレスでやろうとしたんですよ！
【場内、大爆笑】
吉田　ダハハハ！　ＩＷＡジャパンじゃないんですからねえ（笑）。
健介　「もうわかった！　俺が出す」って言いましたよ。最近は永田にいろいろ心配されて、生活苦しいだろとか言われてるけど（笑）。それでも全部出しました！
吉田　男ですねぇ（笑）。
山本　北斗は偉いね！　入団の時にビシッと、白か黒かアタシを取るか何を取るかハッキリさせたわけでしょ？　あれは言えないわけですよ、普通の日本の女の人は。
吉田　いまも、新日本に対して互角に渡り合ってますからね。
山本　答えを言わないから人間関係とかおかしなことになるわけですよ。そういう意味で、北斗はまさに最高のパートナーですよ！
健介　それはホントそうッスね！
山本　ああいう最高のパートナーがいたら人生に間違いないよ！……ただ、ボクは嫌だけどねぇ。
吉田　嫁にはしたくない（笑）。
健介　しかし、新日本がバカだなって思うのは、せっかく引退して、大人しく専業主婦で子供を育てて生活してたのに、また北斗晶の血を蘇らせてしまったな、と（笑）。
吉田　完全にデンジャラス方面で火をつけちゃいましたよね（笑）。
健介　でも、よく考えたら北斗を蘇らせたら自分が苦労するってこともわかったからね（笑）。頼むから責任取ってくれよって！
【場内、大爆笑】
山本　1つ聞きたいんだけどさ、北斗って料理は何が得意なの？
健介　料理？　これがホントに顔に似合わず何でも作るんですよ。
吉田　それがまた適当なんですよ、全部。
吉田　適当なんですか!?（笑）。
健介　量とかも適当なんだけど、でも不思議と旨いんですよ。これだけは当たったかなって（笑）。
吉田　ダハハハハ！　これだけって、他はダメなんですか？（笑）。
健介　いやいや、いいとこはいっぱいありますよ（笑）。
山本　料理するように見えないんだけど、ちゃんとやってんだねぇ。
健介　その通りです。最初、結婚する前にも……。これ、言っちゃっていいのかなぁ？（笑）。
吉田　お願いします！（笑）。
健介　「今度、料理作りに行きます」って言ってくれたんですよ。
山本　それは素晴らしいなぁ……（しみじみと）。今日、一番いい言葉だよ、それ。いいこと聞いた！
吉田　それがですか!?（笑）。
山本　まいったなぁ（なぜか照れる）。それで何作ってくれたん？
健介　いや、毎日いろんなもの作ってくれたんですよ。だからもう、頭上がらないッスよねぇ。
山本　それは凄い話だねぇ……。
吉田　ちょうど北斗さん関連の質問が来てますよ。「平壌の夜には何があったんですか？」（笑）。
健介　（即座に）何もないよ！
【場内、大爆笑】
吉田　橋本さんも北斗さんを狙ってたって話もありましたけど。
健介　誰が言ってたんですか？
吉田　当時、橋本さん自身が言ってましたよ。「北斗はもともと俺に惚れてたんや！」って（笑）。
健介　ガッハッハッハッ！　あっ、ボクもマスコミの人から聞いたんですよ。それで、北朝鮮のビデオとかあるじゃないですか？
吉田　『闘魂V』で橋本さんと北斗さんが対談してるんですよね。
健介　そうそう。それで、北朝鮮でも移動とかあるじゃないですか？　その時に絶対、北斗のうしろに橋本真也がいるんですよ。
吉田　狙ってたんですかね（笑）。
健介　だから、やっぱりホントだったのかなぁって。で、本人に「なんかあったの？　好きなの？」って聞いたら、「全然！」って。
山本　やっぱり北斗の目は確かだよ。間違ってなかったよ！
吉田　橋本さんじゃなくて健介さんを選んだのは正しかったと？
山本　プロレスラーとしても最高なんだけど、人間を見る目も確かだよね。1ミリも間違えてないというか、ぶれてないというか。
健介　でも、一言言ってましたね。「アタシはデブは嫌い」って（笑）。
吉田　そういう理由でしたか！
山本　豪ちゃん！　恋愛論から言うと、ボクらがいつも馴染んでるところから出て、国外で結ばれたってことは凄いことだよ！　もう、一瞬の秒殺みたいなもんだよ。
吉田　あれで、付き合うぐらいの

『X-1』の成功……いや、失敗か（笑）。失敗したのは誰のおかげだって！（健介）

月刊・佐々木健介 2・11 DDT 横浜大会編

健介&健心の“健健”タッグ初始動！

WMF後楽園大会が終わると、すぐさまDDT横浜大会へと移動した健介。この日、健心と初タッグを結成した健介は安生&浩一郎組と対戦。健介は健心に、お揃いのコスチュームをプレゼント。場内からは「わからない」コールが発生！

合同練習の成果か、ダブルのストラングルホールドなど息のあったところを見せた健健タッグだったが、最後は健心が浩一郎に敗れた

敗れた健心に「よく頑張ったよ。以前のお前じゃないよ」と健介が声を掛けるも健心は泣き崩れたまま。しかし涙を拭った健心は「ハワイで鍛えてください!!」と図々しいアピール

健心に続き、浩一郎と安生も健介にハワイ行きを直訴。ここで登場したHCW会長の北斗が「健介の下に付くんなら連れてってやるよ」と返答。これにより健介軍団のハワイ遠征が決定した

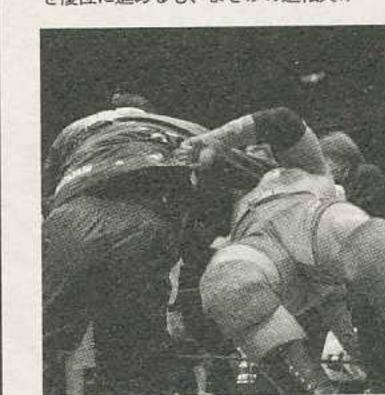
人はいても、結婚までいったのって健介さんぐらいですからね。
健介　猪木さんのおかげかな？　猪木さんがああいうことをやってくれたから、きっかけがあった。
吉田　あのときは●●さんも何かあったみたいですけどね（笑）。
健介　……（真剣に驚き）それを言っちゃダメだって!!（笑）。
吉田　いろんな人が言ってるんで、知ってる人も多いですよね？
健介　（小声で）でも、ほら。いまは結婚してんだから。ね？
吉田　ダハハハ！　じゃあ、●●さんの話はおいといて（笑）。
健介　それは、ちょっとヤバイよ！（笑）。俺が東京住んでる時に●●夫婦がウチに遊びに来た時、俺あのパネル外したんだから。
吉田　●●さんと●●さんが一緒に踊ってるヤツですか？（笑）。
健介　そう。満面の笑みで（笑）。
山本　（唐突に）あのぉ、健介さんは出産には立ち合ったん？
健介　あ、立ち合いましたよ。
吉田　そのときの話は北斗さんの出産本にも書かれてましたよね。
健介　東京第九病院ってところだったんですけど、いい病院なんですよ。そこで、ちゃんとボクは父親学級受けましたからね（笑）。
吉田　出産に向けて、父親も勉強しなきゃいけないんですよね。
健介　恥ずかしかったですよ、あれは（しみじみと）。手を挙げて「佐々木健介です！」って言わなきゃいけないんだから（笑）。
【場内、大爆笑】
健介　なんか体育座りしてるところを立って質問しなきゃいけないんですよ（笑）。それをやんないと、立ち会い出産できないんです。
吉田　まず、そのハードルを越えなきゃいけないわけですね。
健介　そう。ボクにとっては凄く高いハードルだったんです（笑）。
吉田　そうでしたか（笑）。
山本　男の子っていうのは、生まれる前からわかってたん？
健介　はい。わかりましたね。
吉田　それにしても、健之介って名前は完璧の一言ですよね。
山本　うん。あれはいいねぇ。
健介　ありがとうございます！（笑）。あれは長男しか付けれない名前だと思ったんですよ。アメリカみたいに最初は「健介」でもいいかなって思ってたんですけど。
吉田　健介二世ですか（笑）。
健介　そう。健介ジュニア（笑）。
【場内、大爆笑&大拍手】
健介　でも日本じゃダメみたいで「じゃあ健之介にしよう」ってなって。で、幼稚園に行くようになると、いろいろハガキとか封筒が届くんですよ。その宛先を見ると「佐々木健之介様　健介ちゃん」とか書いてあるんですよ（笑）。
吉田　ああ、名前を間違えられちゃうわけですね（笑）。
健介　逆だって！　健之介の方が古臭いでしょ？　それで「健介ちゃん」でハガキが届きますからね（笑）。勘弁してくれよって！
山本　今日の話は面白いなぁ！
吉田　今日は山本さんと健介さんで可愛い対決して欲しいっていうのが裏テーマだったんですけど。どっちが可愛いのかって（笑）。
山本　いや、彼の方が可愛さでも遥かにオーバーしてますよ！
吉田　負けましたか？（笑）。
山本　初めて聞く話ばっかりだよ。これもやっぱり、新日本とWJから解放されたからですよ！
健介　ガハハハハ！　……ありがとう、新日本、WJ！（笑）。
チョロ　「健心」というリングネームをプレゼントした藤沢一生さんに対してはどう思ってます？
健介　いまは2人男がいるんですけど、もし3人目が出来たら、考えてたのが、健之心とかで。
吉田　「けんのしん」ですか！
健介　それか健心でもいいかなって思ってて。で、今回、藤沢とDDTの後楽園で初めて会って、それで成田まで出迎えに来てくれた。で、ウチにも来てくれて一緒に練習したら必死に食らいついて来ましたよ。俺は息上がんなかったんですけど、向こうはヘロヘロになってて（笑）。でも彼なりに頑張ってたんですよね。だから、バーベキューして鍋作ってあげたら、その時に「名前をなんかいただけませんか？」って言ってきて。
吉田　「藤沢二世」でもいいかなって思ったんですけどね（笑）。
健介　ガッハッハッハッ！　でも、アイツはコスチュームとかからガウンや髪型も全部、俺がやったらすぐ作って、一週間ぐらい後に全部着てたみたいなんですよ。
吉田　そして坂口さんに一回本気で間違えられたんですよね（笑）。
健介　そう、自由ヶ丘で。坂口さん、お願いしますよ！って感じですよね（笑）。それで、俺のマネっていうか俺の心をマネするんだったら「健心」って付けてあげようかなって。健介の心って感じで。
吉田　美しい話ですよねぇ。
山本　いやぁ〜、今時ないよなぁ。
吉田　DDTに出た時のコメントが「正直、気持ちよかった」っていうのも抜群でしたよ（笑）。
健介　俺、「正直」って、いっつも言ってんのかなぁ？（笑）。
山本　（突然）でも、北斗が三人目の子供産んだら凄いことだよ！　もう国民栄誉賞ものだよ！
吉田　そこまでですか!?（笑）。
山本　そりゃそうですよ！
チョロ　女の子は欲しくないんですか？　「健子」ちゃんとか？
健介　なんで女の子に「健子」って付けるんだよ！（笑）。
山本　チョロ！　お前バカだよなぁ。くだらないよ、発想が（笑）。
健介　……でも、女の子が出来たらとか考えちゃうんですよね。
山本　長州さんのとこは全部女だよ！
健介　知ってますよ、それは（笑）。三人女なんですけど、だから健之介が最初に産まれて、長州さんにまず報告したら「チクショー！」とか言ったんですよね（笑）。
山本　（突然、パチパチパチと拍手をして両手でピースサイン）
吉田　なんで、山本さんがそこで勝利宣言してるんですか（笑）。
健介　それで巡業中、新幹線で移動してる時に「健介！」って呼ばれて行ったら「お前、子供の名前は、こうすけにしろ！」「光雄の光に介で光介」って言われて（笑）。
【場内、大爆笑&大拍手】

健介さんの方が可愛さでも遥かにオーバーしてますよぉぉぉ!（山本）

月刊・佐々木健介
2・15 新日本 両国大会編

健介、1回戦負けも天龍、中西と共闘宣言！

試合前から「天山のデカイ頭をかち割ってやる！」と豪語していた健介。実際、ゴングを使って天山を大流血に追い込み試合を優位に進めるも、まさかの逆転負け

納得いかない健介はリングのド真ん中を陣取り「これが新日本のやり方か!?　おいサル（真壁）、お前が敗戦のA級戦犯だ！　きっちり裁いてやる！」とマイク。これを受け、2・29名古屋大会で真壁との一騎打ちが決定。A級戦犯のサル退治なるか!?

天龍を破りIWGP王者となった天山に試合後、ラリアットを放った健介。控室では健介と天龍、そして中西が共闘を宣言。3人の合体は混迷の続く新日本にとって脅威になるだろう。間違いない！

ゴングで天山の頭を叩き割り、試合を優位に進めていた健介。しかし挑発を繰り返す真壁に気を取られ逆転負けを喫した。健介は「あのサル（真壁）の頭、必ず叩き割ってやる！」と激怒！

試合後
垣原、
田村vs
Uの新

健介　「え〜〜〜っ!?」と思って、もちろん「考えさせてくださ い」って言いましたけど（笑）。

吉田　いい話ですねぇ（笑）。

山本　今日の話は面白いよぉ！

健介　それで、女の子は欲しいんですけど、やっぱり年頃になったら心配になるじゃないですか？

吉田　なるでしょうねぇ。

健介　（観客に向かって）心配になるよ、みんなもそうなったら！

山本　心配どころじゃないよ。ヤバイよぉぉぉぉぉ！

健介　ヤバイですよねぇ。俺、言うセリフも決まってるんですよ。

吉田　なんて言うんですか？

健介　「パパに勝てる男を連れてきなさい！」って（笑）。

【場内、大爆笑&大拍手】

吉田　そこでも高い壁として立ちはだかるわけですね（笑）。

健介　……そんなこと言ってて、娘が一生結婚できなかったらどうしようかなって思って（笑）。

吉田　ホント、いい話だなぁ。あと、これはボクが個人的に興味ある質問なんですけど、健介さんはインターネットとか見ますか？

健介　ネットですか？　（言いずらそうに）あのぉ〜……見ますよ。

吉田　あ、見てるんですか？

健介　新日本辞めた頃かな？　ずっと見てたんですけど、ダメですね。あれはヘコみますよ……。

【場内、大爆笑&大拍手】

吉田　なんで、ここまで言われなきゃいけないんだと（笑）。

健介　お前たち、頼むよ！　俺の気持ちももっとわかってくれよと。ホントのことは違うんだよって、正直説明したかった（笑）。

吉田　ダハハハハハ！　つい書き込もうかと思うぐらい？（笑）。

健介　そうッスね（笑）。いまは、ちょっと怖くて見てないです。

吉田　見ない方がいいですよ、ホント好き放題書かれてますから。「健介の法則」だなんだとか（笑）。

健介　なんかあるみたいで（笑）。でも最近、永田が凄く書かれてるらしいッスよね（嬉しそうに）。

【場内、大爆笑】

吉田　ああ、最近の流れは完全にそっちですからね（笑）。

健介　俺は見るの怖いから友達に聞くんですよ。そしたら「永田のバカ」とか、たくさん書かれてるみたいで。「居場所がないのはお前の方だ！」みたいな（笑）。

吉田　書かれてますね（笑）。いまは健介さんに追い風ですよ！

健介　ありがとうございます！　応援してくださ〜いッ!!

【場内、大拍手】

吉田　まだまだ聞きたいことは、いっぱいあるんですけども、どうですか。山本さんから質問は？

山本　いや〜、新日本を出る前は、やっぱり衣を被ってたというかさ、ボクたちも全く誤解してたよ。だって、ネット見てヘコむという言葉は、なかなか出てこないもん。

吉田　正直すぎですよね（笑）。

山本　言葉によってレスラーとして能力とかレベルがわかるわけですよ。あのヘコむという発言は凄いねぇ。もう見直したというか。

吉田　いまの新日本だと、健介さんのコメントに勝てる人はまずいないですからね（笑）。

健介　ガッハッハッハッ！

吉田　なかなか言えないですよ！　試合が終わった直後に『世界で一つだけの花』の話なんて（笑）。

健介　……あのとき、なぜか言っちゃったんスよねぇ。俺、狂っちゃったのかなぁって思って（笑）。

吉田　興奮のあまり（笑）。

健介　そう（笑）。でも、あれが本心なんですよ。ホントにスマップで救われたんですよ！

吉田　全然余計なキャラを作ってないのが、またいいんですよね。

山本　やっぱり豪ちゃん、人間は自然体が一番強いよ！

健介　（突然）俺、『紙プロ』って大好きになりましたね（笑）。

吉田　ダハハハハ！　ありがとうございます！（笑）。実は読者人気も急上昇中なんですよ。

健介　えっ!?　ホント!?

吉田　最近は読者アンケートとかも毎回1位とか2位ですからね。

健介　だ、誰が!?

吉田　健介さんですよ！

健介　えっ、俺!?（疑いの目で）ホントですかぁ!? 嘘でしょ？

チョロ　まあ、つい一年前ぐらいまでは逆だったんですけど（笑）。

健介　ガッハッハッハッ！

吉田　正直な話、嫌いなレスラーのアンケートで毎回のようにベスト3に入ってましたから（笑）。

チョロ　大仁田さん、長州さん、健介さんが、ウチではワースト3の常連だったんですよ（笑）。

健介　うっそーっ!?（笑）。

吉田　もの凄い変化ですよ！

健介　それ、ヤラセじゃないですよね？（笑）。大丈夫ッスか？

吉田　大丈夫ですよ、もう（笑）。ということで、本日のゲスト、佐々木健介さんでした!!

健介　どうもありがとうございました ッ!!　今日は気持ちいいッ！

【場内、大拍手!!】

※今回掲載した内容以外にも健介の口からは、ここでは載せられないような刺激的かつチャーミングな発言が続出し、さすがのターザンも完敗宣言。健介嫌いの人も、これを読んで健介のことが好きになったはず。間違いない！　次回、ターザン山本&吉田豪の『格闘二人祭り』は4月開催です！

☆次号予告!!

初公開の衝撃ショット満載！
噂の佐々木健介邸に潜入!!

遂に明かされる佐々木家の真実!!!

もちろん、佐々木家の長男・健之介クンもヴァーッと登場！　一足早く、今号の読プレコーナーで健之介クンからの超ビッグなプレゼントを大放出！　P158へ急げ！！

おまっとさんです！　次号の『紙プロ』では、あの佐々木健介邸に潜入！　テレビや雑誌等で健介邸を見て以来、気になって夜も眠れないという人もたくさんいることでしょう。そんなアナタのために行ってきました、健介邸。埼玉の某所にそびえ立つ健介邸は何もかもがゴージャス、そして奥さんの北斗はデンジャラス・クイーン（意味なし）。「プライベートな空間なんで寝室だけは勘弁」（by北斗）とのことだが、それ以外は、リビングから健之介クンの子供部屋、リラックスルームにトイレ＆お風呂、秘密の隠れ部屋、さらには中嶋クンの部屋より大きいと噂の犬小屋から本邦初公開の健介Officeまで一挙大公開！　遂に佐々木家の真実が明かされます。ズバリ言って永久保存版!!　お楽しみに!!

帰ってきた極悪看守が語る ヒール人生20年の真実

BIG BOSS MAN

SPECIAL INTERVIEW

聞き手／阿部タケシ
構成／坂井ノブ
撮影／平工幸雄
designed by さおとめの事務所

ビッグ・ボスマン（a.k.a.ビッグ・ブーバー）が久々に日本へやってきた！しかも、登場したのは全日本プロレスが切り捨てた“外人天国”感をビンビンに感じさせてくれるIWAだ。全米を震撼させた極悪看守キャラのボスマンは、優しい笑顔でこちらを安心させたかと思えば、急に警棒で脅しをかけたり、コロコロと表情とキャラを変えながらインタビューに答えてくれた。80～90年代にトップを張り続けたヒールの貫禄をたっぷり味わってください!!

牢屋のカギを開けたり閉めたり、オレは本当に看守をやっていた

ボスマン （笑顔でニッコリしながら）ハロー。

――いきなり満面の笑みですね（笑）。こちらこそよろしくお願いします。久々の来日ですよね。

ボスマン そうだな。いままで日本に12回来てるんだ。そのほとんどがミスター・ババの団体だった。

――93年には最強タッグにも出てましたけど、その後は新日本にも上がってましたよね？

ボスマン ああ。nWoの一員として2週間ほど出場したけど、正直言って新日本では働きたくなかったな。

――どうして新日本は嫌だったんですか？（笑）。

ボスマン 俺はいつもババのために働いてきたからな。俺はスティーブと組んで、ババ&ハンセンとも闘った。ババは素晴らしいヒーローだったよ。ファンはみんな尊敬してただろ？

――全日本時代はビッグ・ブーバーというリングネームでしたよね。なんでボスマンじゃなかったんですか？

ボスマン あの時、俺はビッグ・ババ・ロジャースってリングネームだったんだ。でも、全日本にはジャイアント・ババがいたから、俺はブーバーと名乗ってた。いまじゃWWEで活躍してた頃のビッグ・ボスマンという名前で知れ渡ってるけどな（笑）。

ビッグ・ブーバーvsジャイアント・ババ!! 93年の最強タッグで夢の対戦が実現した。

――ここ最近は試合をしてるんですか？

ボスマン いや、しばらくやってなかったんだ。ここ16ヶ月、ホントにいろいろあったから（遠い目）。

――何があったんですか？ 差し支えなければ教えてください。

ボスマン OVW（オハイオ・バレー・レスリング＝WWEの下部団体）で試合をしてる時、肩の骨がポッキリ折れて、皮膚を破って突き出そうになったんだ。

――重傷ですね！

ボスマン 慌てて手で戻したよ（笑）。それから9ヶ月間は、ずっと腕を固定してたな。もともとのヒザの故障も悪化してたから、そっちも治療したんだ。俺はずっと回復を待ってた。そして、5ヶ月前。肩も回復してバイクを運転してたら、鹿が森から飛び出してきて正面衝突さ。150フィートも吹っ飛ばされたよ。

――ホントですか!? たしか、アドリアン・アドニスは同じような事故で亡くなってしまったんですよね。

ボスマン そうなのか？ 知らなかった……。まあ、俺は運が良かったんだろうな。ただ、アバラは6本も折れたんだ。

――そんなに！

ボスマン それだけじゃない。反対側の肩の骨も折れたし、腰骨も折れた。ヘルメットも割れたけど、幸い命だけは助かった。

――プロレスラーじゃなかったら確実に死んでますよ！

ボスマン いまじゃ、もうすっかり回復してレスリングもすることが出来る。

――必殺技のボスマンスラム（＝スクラップ・バスター）も……。

ボスマン ノー・プロブレムだ！ アスホール野郎のスティーブ・ウィリアムスも軽くひねってやるさ（笑）。

一目瞭然 IWA抗争図

現在、IWAのトップ・ヒールとして君臨するのは、新宿二丁目『花膳』前で浅野社長にサンマをぶちまける暴挙をはたらいた"ドクター・デス"スティーブ・ウィリアムス!! 浅野社長は「お金がもらえるかも」と淡い期待を寄せながら"ミリオンダラーマン"テッド・デビアスをコミッショナーに迎える。そのデビアスが「ウィリアムスを潰せば大金を出す」と約束して連れてきた新たなる刺客が、かつてウィリアムスとタッグを組んだボスマンなのだ。

BIG BOSS MAN

――おお、頼もしい（笑）。

ボスマン　でも、バイク事故の後、2ヶ月間は何も出来なかったし、復帰できるかどうか分からなかった。不安だったけど、今回こうやってテッド・デビアスからオファーがあり、スティーブ・ウィリアムスのケツを蹴り上げるためにカムバックすることが出来たわけだ（ニヤリ）。

――アハハハハ！　昨年、WWEのホームページに登場してインタビューに応えてましたよね？　その時、地元でいろいろチャリティをやってると語ってましたけど……。

ボスマン　ああ、たしかに地元のカウンティー・コミッション（郡自治体）でチェアマン（議長）はやってたよ。ホームタウンのために、いろいろ貢献してるんだ。俺はまだホームタウンにずっと住んでるし、学校に寄付したりもしてるぜ。俺のホームタウンで「ビッグ・ボスマン」のことを知らないヤツはいねえよ。

――リング上の極悪非道な暴れっぷりからは想像できませんね（笑）。もともと、プロレスをやる前は刑務所の看守をやっていたというプロフィールでしたけど。

ボスマン　本当にプリズン・ガード（看守）をやってたんだ。サックな仕事だったな。地元・ジョージア州の刑務所でやってたんだ。

――あれ、プロフィールにはケンタッキー州出身って書いてありましたけど？

ボスマン　それはジム・コルネットの仕業だ（※コルネットの用心棒としてデビュー）。NWAがケンタッキーにあったから、俺がケンタッキー出身にさせられたんだ。

――どういう経緯で看守からプロレスラーになったんですか？

ボスマン　看守時代は1日5時間トレーニングしながらプロレスの試合に出てたんだ。初めてTVマッチに出た時も看守をやってたんだ。3ヶ月間は掛け持ちでやってたよ。ジム・コルネットが「制服持ってるか？」って聞いてきたから、「持ってるよ」って、その制服を着てリングに上がったんだ。

――ちなみに刑務所ではどんな仕事をしてたんですか？

ボスマン　牢屋のカギを開けたり閉めたり、だな。

――まさに看守の仕事ですね！（笑）。

ボスマン　でも、当時はプロレス会場に行くためのガソリン代すら持ってなくて、ライフルを質に入れたこともある。たった400ドルにしかならなかったけど。それで「お前はレスラーとして生きるのか？　それとも看守として生きていくのか？」って上司に聞かれたから、「看守を一生やり続けるつもりはない」って答えたんだ。

――看守キャラはやり続けてるんですけどね（笑）。

ボスマン　でも、おかげでこの業界のトップ選手のほとんどと対戦することが出来た。ハルク・ホーガン、ランディ・サベージ、ザ・ロック、スティーブ・オースチン、アンダーテイカーと共に仕事をしたんだぜ？　1984年から俺は1年で8万ドルを稼ぐまでになったんだ。

――数々のトップレスラーの壁になったんですよね。

ボスマン　いまでもこの仕事を続けられて神に感謝してるよ。ダスティ・ローデスはブレイクするキッカケまで与えてくれた。最初のパートナーはブルーザー・ブロディだったな。とてもいいヤツだったよ。「試合中、もしお前の息があがったら、すぐ俺にタッチしろ」と言ってくれたんだ。

――ブロディについては、なにかと気難しい人だったという伝説も残ってますけど。

ボスマン　……ブロディについて話そう。いろんな街をサーキットで回ったが、彼は店を見つけるとすぐに飛び込んで自分の息子たちのためにキャンディを買ってたんだ。日本に来た時もお菓子を買って帰って、息子の学校にまで届けに行ってたんだ。

――学校まで！　じゃあ、ホントに家族思いの……。

ボスマン　ホントにいいヤツだったよ。大きくて強い男だったが、ホントに息子を愛してた。

――じゃあ、ブロディがプエルトリコで亡くなった時は……。

ボスマン　その時、俺はWWF（当時）に上がっていたんだが、とても悲しかった……。胸が潰されるような思いだった。こないだも、ホーク（・ウォリアー）が亡くなっただろ？　凄く仲が良かったのに……。リック・ルード、ケリー・フォン・エリック、テリー・ゴディ、そして特にカート・ヘニング！　その他にも俺のキャリアの中で亡くなった人も多いけど、こうやって雑誌に載せてもらえるせっかくの機会だから、彼らが素晴らしい人間だったということを多くの人に伝えたい。

――カート・ヘニングとは兄弟のような関係だったんですよね？

ボスマン　（目を潤ませながら）イエス。ホントに仲が良かった。「カートが生きててくれたら」と、いまでも願わずにはいられない。

1月12日、後楽園ホール大会でIWA世界タッグ選手権が行われ、王者・ウィリアムス&三宅綾が、挑戦者・“ガッチリ男気”松田慶三&テリー・テイラー（!!）からベルトを防衛。その試合直後、突如乱入しビッグ・ボスマンがウィリアムスを背後から急襲!! 往年の見事な警棒さばきを披露して殴りかかると、3月17日の後楽園大会で対戦することを表明した。

いろんなことを話して、笑ったり……（遠い目）。俺とカートとリック・ルードとリック・スタイナーで鹿狩りをよくやってたんだ。

――80年代に活躍した選手が最近は次々と亡くなってますよね。

ボスマン　つらいね……。

――僕ら日本のプロレスファンにとってビッグ・ボスマンといえばWWFで活躍してたイメージが強いんですが、最初はNWAのリングに上がってたんですよね？

ボスマン　そうだ。最初はNWAのジム・クロケットのところで2年間働いた。ミッドナイト・エキスプレス、ロックンロール・エクスプレス、アーン・アンダーソン、彼らが俺の先生だった。彼らにプロレスを教わったからこそ、俺はWWEに移ることが出来たと思ってるよ。もし、これを書きたければ書いても構わないがジム・クロケットはアス・ホールだ！　あそこのリングに上がってた選手は本当に素晴らしかったのに、アイツだけはダメだったな（キッパリ）。NWAはジム・クロケットが嫌だったから離脱したようなもんだ。

――WWFはどうでしたか？

ボスマン　世界中でベストだ！　アイ・ラブ・WWF！　クロケットは俺に訛りがあるからといってしゃべらせてはくれなかった。でも、ビンス・マクマホンは「インタビューに答えろ」と言ってくれたんだ。そのおかげで俺はプロモでしゃべれるようになった。

――一時期、WCWにも在籍してましたよね？

ボスマン　ああ。WCWもオールジャパンもナイスだったよ。特にオールジャパンはスタン・ハンセン、スティーブ・ウィリアムス、テリー・ゴディという本物のタフガイと闘うことが出来て最高だった。

――98年にはWWEでハードコア王者にも輝いています。

photo／George Napolitano

1999年3月28日のWWE『WRESTLEMANIA15』で実現したジ・アンダーテイカーvsビッグ・ボスマンのヘル・イン・ア・セル戦は衝撃的な結末で、いまでもアメプロ・ファンに語り継がれている。試合に勝ったアンダーテイカーが、なんとビッグ・ボスマンを天井からの首吊り公開処刑にしたのだ。ちなみに、オーエン・ハートが天井から吊るされて登場する際に不慮の事故が発生して転落死したのは、この約2ヵ月後のことだった。

ボスマン　マンカインドを倒して2代目のハードコア王者になったんだ。俺がベルトを持ってた頃のハードコア王座は、世界ヘビー級王者と同じぐらい権威があったんだ。俺とミック（・フォーリー＝マンカインド）とケン・シャムロックでベルトを奪い合ってたからな。

――凄いメンツですよね（笑）。マンカインドとの試合はいかがでしたか？

ボスマン　当時、ミック（・フォーリー）とやったラダー・マッチは壮絶なものだった。俺たちは毎日毎日、ハードな闘いが続いたね。

――『レッスルマニア15』でアンダーテイカーと闘ったヘル・イン・ア・セル（密閉型の金網で闘う試合形式）も壮絶でしたよね。あの首吊り処刑はとてつもなくショッキングでしたよ！

ボスマン　ああ、あれを見た人は正気じゃいられなかっただろうな（笑）。あれは本物にしか見えなかっただろ？

――ええ。ビックリしました！

ボスマン　おい、このマガジンはトリックを明かしても平気か？

――このマガジンはOKです！（笑）。それを聞きに来ましたから（笑）。

ボスマン　ハハハハ！　OK！　この試合の2～3ヶ月前に控室で「いい考えがある」って提案したんだ。「なぜ誰かを天井から吊るしたりしないんだ⁉」って。その時は、まさか自分が首吊り処刑されるとは思ってなかったけどな（笑）。

――言い出しっぺが吊るされるハメになっちゃったんですね（笑）。あの時、天井からエッジとクリスチャンが降りてきて、首吊り用のロープをリングに投げ入れたんですよね？

ボスマン　イエス！　俺のコスチュームの中にフックを引っ掛けるところがあったんだ。でも、外から見たら首をくくられて吊るされてるようにしか見えなかったはずだよ。これはイリュージョンだ（キッパリ）。みんな俺が死んだと思ったんじゃないか？

おい、このマガジンはトリックを明かしても平気か!? じつは……

——僕も思いました！（笑）。

ボスマン　上出来だったよ。ただフックで吊られてるだけなんだけどな。

——事故の可能性もあったと思うんですけど、怖くはなかったですか？

ボスマン　俺はキリスト教徒なんで、あの前には自分が今までやってきた悪いことを神に祈ったよ（笑）。

——悪いことは相当やってましたよね！　前後しますけど、アル・スノーの飼い犬〝ペッパー〟を誘拐して食べちゃうという極悪非道なプロモがありました。

ボスマン　ペッパーはステーキの味がしたな……ペッパーステーキ、なんつって！　ガハハハハ！

——アメリカン・ジョークだ！（笑）。

ボスマン　でも、食べる前には祈りを捧げたからな（笑）。

——キリスト教徒だけに（笑）。

ボスマン　『WWE　COOK　BOOK』（実況の〝JR〟ジム・ロスがアメリカで刊行した料理本のこと。WWEスーパースターにまつわるエピソードが満載）には最適だろう？　チキンの味がしたぜ。

——ハハハハハ！　あと、ビッグ・ショーの父親が亡くなったというプロモがあったんですが、抗争中だったボスマンさんが葬式に街宣車で、乗り込んで棺桶を引きずり回して走り去るという鬼畜のようなシーンもありましたよね？

ボスマン　ビッグ・ショーの本当の父親は、あのプロモをやる8年前に亡くなってるんだけどな。あの時はブルース・ブラザーズ・カー（＝街宣車）で「ビッグ・ショーの父ちゃんは死んだぞ！　二度と帰ってこないぞ！」ってガンガン流しながら葬式に乗り込んで、棺桶を車に結び付けて引きずりながら走ったんだ。ホントに悪いヤツだよな（ニヤリ）。

——あれを見てホントに引いちゃいましたけどね（笑）。

ボスマン　（警棒をペチペチやりながらギロリと睨む）ほう、そうか!?

——あ、前言撤回します（笑）。ボスマンさん自身、そういうストーリーラインには抵抗ないですか？

ボスマン　いや。面白いと思うよ。プロレスファンがTVで見る時には笑っててほしいからな。

——もの凄いブラックジョークですけどね（笑）。

ボスマン　でも、ファニーだろ？　誰しも生きていればトラブルに見舞われることはあるだろう。そんな時でも笑ったり、幸せになってほしいと思うんだ。1時間でも2時間でもプロレスを見てる間だけはトラブルを忘れられたり、少しでも気分が晴れたりしたらと願っているよ。だから、俺はこういうことをやってるんだ。俺はずっとヒールとして働いてきた。おかげでいろんな人が俺のことを知ってくれた。そしてホームタウンの人々は、俺がそういう悪いヤツじゃないということも知っていてくれる。それで十分さ。

——ヒールの方が人間性が良くて、むしろベビーフェイスの方が人間性が悪い人が多いって聞きますけど、ボスマンさんは最高のヒールですね！

ボスマン　（ギロリと睨みながら）TVで見る俺はそんなに悪く見えるか？

——アハハハハ！　人間性もムチャクチャいいですよ！

ボスマン　サンキュー。おい、ところでお前はこの雑誌で何をやってんだ？

——ライターです。

ボスマン　そうか。昔からライターはアグリー（醜い）なヤツが多い。お前もアグリー（醜い）だな。

——ぼ、ぼくもアグリーですか？

ボスマン　もう十分しゃべっただろ!?　いますぐこの部屋を出ていかねえとケツを蹴っ飛ばすぞ！（ドンと警棒を机に叩きつける）

——わ、わかりました！　今日はどうもありがとうございました！

ボスマン　（ニッコリ笑って握手を求め）サンキュー！

【1月10日、ユニバーサル本社にて収録】

PROFILE
びっぐ・ぼすまん■1963年5月2日、アメリカ・ジョージア州出身。203センチ、170キロ。初来日は1988年の全日本プロレスで、その後はWWEへ入団。ハルク・ホーガンやランディ・サベージといったベビーフェイスのトップと抗争を繰り広げ、1993年に全日本へ再登場。WCWを経て98年からは再びWWEに出場。三度、ハードコア選手権を獲得。

IWA JAPANにかつての全日本プロレスを見よ！

タイガー・ジェット・シン、スティーブ・ウィリアムス、マイク・ロトンド、バリー・ウィンダム、ジャイアント・キマラなどジャイアント馬場在りし日の時代の全日本プロレスのような布陣で外人選手を呼びまくる最近のIWA JAPAN。ボスマンも登場する3月シリーズは以下の日程で行われる。

【2004エキサイティングシリーズ】
3/12（金）大阪・デルフィンアリーナ
3/13（土）岐阜・岐阜商工会議所大ホール
3/15（月）千葉・千葉ポートアリーナ
3/16（火）東京・八王子市民会館
3/17（水）東京・後楽園ホール

●参加外国人選手
ビッグ・ボスマン／スティーブ・ウィリアムス／ザ・ファンタスティックス（ボビー・フルトン&トミー・ロジャース）／マイク・ロトンド／レザー・フェイス／フレディ・クルーガー／テッド・デビアス（コミッショナー）

●イベント情報
次期シリーズは各会場で試合前に前売り券購入者を対象とした日替わり撮影会が行われる。滅多にない貴重なチャンスを逃す手はない!!
3/12 大阪——デビアス&ボスマン
3/13 岐阜——ウィリアムス&ロトンド
3/15 千葉——ザ・ファンタスティックス
3/16 八王子——レザー・フェイス&フレディ・クルーガー
3/17——デビアス&ボスマン
※試合開始1時間前に会場入り口に集合。各会場とも先着30名限り。カメラは各自持参。

●問い合わせ　IWA JAPAN　TEL03-3352-3366

ボスマンとボス・ゆうたろうと羽田恵理香が奇跡の共演!?

1月10日、ユニバーサル本社で、刑事ドラマ主題歌のコンピレーションCD『刑事魂』の発売記者会見が行われた。110番の日にあたるこの日、刑事＝警察ということでアメリカから呼ばれたボスマン（元・看守）は、元CoCoの羽田恵理香や石原裕次郎のそっくりタレント・ゆうたろうと共にCDのプロモーション行った。奇跡の顔合わせだ!!

本誌 Back Number

no.08 '94.01

特集 さらば新日本プロレス

仁義なきワイド座談会「さらば新日本プロレス」／仰天企画・恐山旅行のついでにマスカラス＆天龍を見る／サスケが『紙プロ』初登場！ 20ページにも及ぶ大特集！

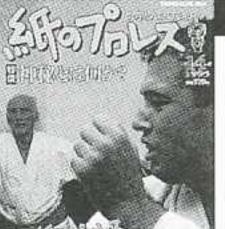
700yen⇒350yen 50%OFF

no.13 '95.03

特集 道場破りとは何か？

安生洋二が道場破りでヒクソンに返り討ち！ 山本小鉄＆上田馬之助道場破りとは何か？インタビュー／「平成ファミコン・プロレス」馳浩・スペル・デルフィン・斉藤文彦

780yen⇒390yen 50%OFF

no.14 '95.04

特集 神秘とは何か？

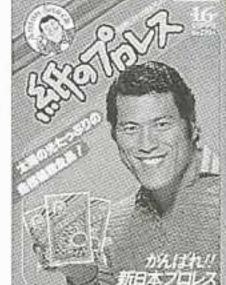
佐山聡・大槻ケンヂ・プロボディガード清水白鳳・鈴木みのるたち格闘神秘を膨らます！／日本プロレス歴史の証人・遠藤幸吉セメントロングインタビュー

780yen⇒390yen 50%OFF

no.15 '95.05

特集 インディペンデントの逆襲

あんた誰？ 山口日昇試練のインディ・レスラー10番勝負！／Ｋーとは何か？ 石井館長・ターザン山本・サダハルンバ谷川らのＫ－１三兄弟（当時）インタビュー

780yen⇒390yen 50%OFF

no.16 '96.06

特集 新日本凸凹大学校

『紙プロ』的・昭和新日本プロレス大検証！ マサ斉藤・キラーカン・田中リングアナ・破壊王・後藤達俊／ビックリ！ 糸井重里vsサダハルンバ谷川の対談が実現！

780yen⇒390yen 50%OFF

no.17 '95.07

特集 実況パワフル北朝鮮

あの北朝鮮での「平和の祭典」を語りまくる！ アントニオ猪木＆永島勝司・村松雄視・破壊王・ブル中野／バトの原点はここにある！「藤原組の逆襲」

780yen⇒390yen 50%OFF

no.19 '95.09

特集 さようなら紙のプロレス

『紙プロ』を偲んで… ターザン山本・ユセフトルコ・上田馬之助・糸井重里・サスケ＆高野拳磁／石井館長、ターザン、サダハルンバ、平仲信明たちの「負けず嫌い」座談会

780yen⇒390yen 50%OFF

極真魂溢れる16人を直撃！ 完売間近

極真とは何か？

松井章圭／磯部清次／N・ペタス／大山茂／大沢昇／ウイリー／フィリオ／村上竜司／中村誠／廬山初雄／佐藤勝昭／黒澤浩樹／竹山晴友／谷川貞治／山田英司／夢枕獏

1530yen⇒800yen 50%OFF

"燃える情念" 石川雄規、初の自叙伝!! '00.04

情念～夢一途なり～石川雄規

『紙プロ』で2年半続いたバトラーツ社長・石川雄規のドラマチックな連載エッセイに大幅加筆＋書き下ろし！ 自称"世界一の猪木信者"石川社長が、あまねく全ての人に捧げる珠玉の一冊！ 情念とは何かが分かる本である。

2100yen（送料込み）

みんなで遊べる付録付き!! '01.04

さくぼん

『PRIDE』の会場でも大人気!! サクのすべてがよくわかる桜庭和志初のインタビュー集！ 花くま先生の「サクラバの汁」、特製シールやポスター、動く必殺技「炎のコマ」「炎の人力車」、サクマシン立体組お面など付録がこれでもか！とばかりに付いています！

総238ページ

1500yen（送料込み）

インタビューという名の鉄拳史 完売間近

紙の前田日明

『紙プロ』、『リンタマ』、『紙プロRADICAL』誌上で展開された前田日明怒濤のエネルギー史！ 引退直前時のインタビューも特別収録だ。今こそ前田日明を振りかえれ！

プロレス、UWF、そしてリングスとは何か？／大山倍達とは何か？／激白！ プライドとは何か？／特別対談 撃墜王・坂井三郎×前田「勝負師とは何か？」／特別対談 イエローキャブ社長・野田義治×前田「巨丹生とは何か？」／『バカの壁』著者・養老孟司×前田「脳みそとは何か？」他、珠玉のインタビュー＆対談が多数収録!!

2000yen（税金・送料込み）

---

no.55 表紙 高田延彦&田村潔司 '02.09／880yen

高田×田村!! 夢幻大の真剣勝負が実現!!

- 「真剣勝負」発言から7年!! 田村潔司
- 実力者、遂に『PRIDE』登場! 金原弘光
- メガトン級の強さと面白さ!! ボブ・サップ
- 靖国神社で興行開催!! 佐山聡

売り切れ寸前!!

no.56 表紙 Uインター '02.10／840yen

愛すべき若気の至り!! 受け継げ、Uインターの蒼き魂!!

- 田村戦直前!! 高田の覚悟を読み解け! 高田延彦
- 蘇れ! Uインター伝説!! 安生&金原&高山
- 高田×田村、観る側の覚悟!! 浅草キッド
- 『紙プロ』に風がふくぜぇ～! 鈴木みのる

no.57 表紙 高山善廣 '02.11／840yen

一瞬の11・24!! 高田延彦引退試合を大総括!!

- サップと地球規模のタイマン勝負!! 高山善廣
- 新たなる"U"が始動!! 田村潔司
- 悪魔の書、再び! ミスター高橋×大槻ケンヂ
- "北尾戦・セメントマッチの真実" ジョン・テンタ

no.58 表紙 武藤&船木 '03.01／880yen

新春特大号!! 「明日、また生きるぞ!」な対談の大連発!!

- 夢幻のファンタジー対談 武藤敬司×船木誠勝
- Uスタイル対談 田村潔司×高阪剛
- Uインター座談会 宮戸×安生×鈴木健
- カルガリー師弟対談 ミスターヒト×ハシフ・カーン

no.59 表紙 ヒョードル '03.02／880yen

吹けよ!呼べよ嵐!! マット界新風景が見えてきた!!

- いざノゲイラ戦!! E・ヒョードル
- アメリカン・ドリーム ダスティ・ローデス
- 爆発!! WJマグマ語録
- 吉田道場の秘密兵器 中村和裕

no.60 表紙 ヒョードル '03.03／880yen

英雄、変貌好む!! 『PRIDE』RE・BORN!!

- ノゲイラ撃破!! E・ヒョードル
- 驚愕の格闘芸術対談!! 武藤敬司×須藤元気
- あのマーシーがすべてを告白!! 田代まさし
- 全日本中継の真実!! 倉持隆夫

no.61 表紙 OH砲 '03.04／880yen

5・2仁義ある闘い!! やっちゃうぞバカヤロー!!

- 裏番組をブッ飛ばせ! 橋本真也×小川直也
- 1年間の沈黙を破った!! ヴォルク・ハン
- プロレス・格闘技クロスオーバー対談 エンセン井上×金原弘光
- リングス・リトアニア特集

no.62 表紙 ミルコ '03.05／880yen

誰でもいいからミルコのクビをカッ斬ってみろ!!

- ヴァーと笑顔で初登場!! 佐々木健介
- 現役復帰間近!? 船木誠勝
- ホントに大爆発!! 橋本真也
- 新日本バードを徹底検証!!

no.63 表紙 OH砲（イラスト） '03.06／880yen

吉田秀彦が大英断! ミドル級GP出陣!

- 「お前は男だ」劇場炸裂! 高田延彦
- 『PRIDE』REBORNを大総括!!
- 憂国の虎 ザ・マスク・オブ・タイガー
- 芸能界一の川田番 ダチョウ倶楽部

no.64 表紙 桜庭&田村 '03.07／900yen

灼熱の『PRIDEミドル級GP』直前号!!

- "異次元格闘技戦戦" 田村潔司×吉田秀彦を大展望!!
- 『PRIDEミドル級GP』出場全選手インタビュー
- ミスター高橋の盟友が放つ"猪木の裏側"
- スマックガール・ビキニ特写!!

no.65 表紙 ミルコ '03.08／880yen

ヒョードル×ミルコ、闘争本能世界一決定戦!!

- "最後の皇帝"燃え上がる! ヒョードル
- "反逆の妖刀"、遂に皇帝へ!! ミルコ
- 吉田秀彦戦の"謎"に迫る! 田村潔司
- 闘魂ストーカーを捕獲! イズマイウ

no.66 表紙 ミルコ '03.09／880yen

ミルコ、『武士道』電撃出陣! もはや誰にも止められない!!

- 緊急独占インタビュー! ミルコ
- マッハの野望を砕いた "赤い暗殺者"登場!! 長南亮
- "天才空手少年"VT秒殺デビュー!! 中嶋勝彦
- 『東スポ』とは何か? 柴田惣一

no.67 表紙 シウバ&吉田 '03.10／880yen

吉田とシウバ、いざ激突!! 衣(ギ)は赤く染まるか!?

- ノゲイラ戦に向けて緊急インタビュー! ミルコ
- "柔術超獣"復活へ!! ノゲイラ
- 『PRIDEミドル級GP』決勝戦出場全選手インタビュー
- アントン"疑惑の時代"を知る男 加治将一

no.68 表紙 高田&桜庭&曙&猪木 他 '03.11／880yen

人類史上稀にみる"大晦日・格闘技大戦"!! 白黒ハッキリ決めようやーッ!!

- 大晦日三つ巴決戦に出撃宣言! 高田延彦
- 曙とは何者か!? 語ろう、曙!!
- 一年ぶりの勝利で ニコニコインタビュー 桜庭和志
- "野良犬"『紙プロ』初登場! 小林 聡

no.69 表紙 OH砲 '03.12／900yen

大晦日・格闘技大戦&1・4プロレス戦争直前!! 年末年始もドゥ・ザ・ハッスル!!

- 出てこい! 泣き虫!! 橋本真也&小川直也
- 『泣き虫』著者登場! 金子達仁
- 語ろうU-STYLE 特別ゲスト 田村潔司
- アイ アム リアルプロレスラー 美濃輪育久

no.70 表紙 ミルコ '04.01／880yen

年末格闘技大戦&1・4プロレス戦争大総括!! OH、ゴーバー登場!『ハッスル』とは何か!?

- PRIDE征服宣言! ミルコ
- シウバに宣戦布告! 近藤有己
- ド真ん中の真実を語る! 佐々木健介&北斗晶
- 発表! 紙プロ大賞&マット界語録2003

通販申し込み方法

▼バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません。

★電話注文 03-3403-5142
★メール注文（代引きになります）
kapra@kamipro.com
★郵便振替
00130-3-769154
（株）ダブルクロス
★現金書留 〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷
3-11-3-702
（株）ダブルクロス

▼郵便振替の場合は用紙の通信欄に希望号数を明記し、現金書留の場合は希望号数を書いた紙を同封して下さい。
※本誌なのかRADICALなのかを必ず明記して下さい。

▼送料 1冊＝310円、2冊＝380円、3冊～4冊＝450円 5冊＝520円、6冊以上＝700円

※代引きについてはP160を参照してください。

紙のプロレスRadical 常備店

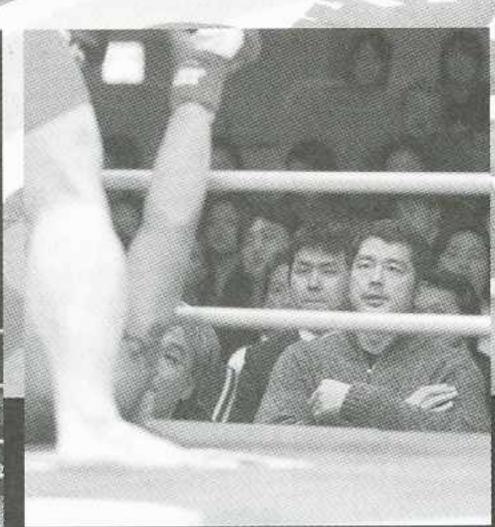
- ■アイドール新宿店
- ■新宿ファイター
- ■大山アメリカン
- ■プロレスマニア館
- ■チャンピオン
- ■リングスパレス
- ■バディスラム
- ■タコシェ
- ■レッスル渋谷
- ■レッスル池袋
- ■書泉ブックマート
- ■書泉ブックタワー
- ■書泉グランデ
- ■グレートアントニオ
- ■東京イサミ

松井、今村が揃って敗退！

どうする髙田道場!?

男を上げたのは、この人 長南亮だ!!

1·22『DEEP 13th IMPACT』
後楽園ホール

構成／松澤チョロ　撮影／乾　晋也

注目された判定結果は梅木サブレフェリーがドローと付けた以外は長南に軍配。この結果に松井は驚きの表情を見せ、裁定に不満をぶちまけると「ダメージもない。すぐにでも再戦したい」とアピール

リングサイドに陣取り、今村、松井の試合を見守った髙田道場総帥にして『PRIDE』統括本部長の髙田延彦。髙田は松井vs長南戦の３Ｒのゴングが鳴ると、判定結果が出る前に席を立ち会場を後に

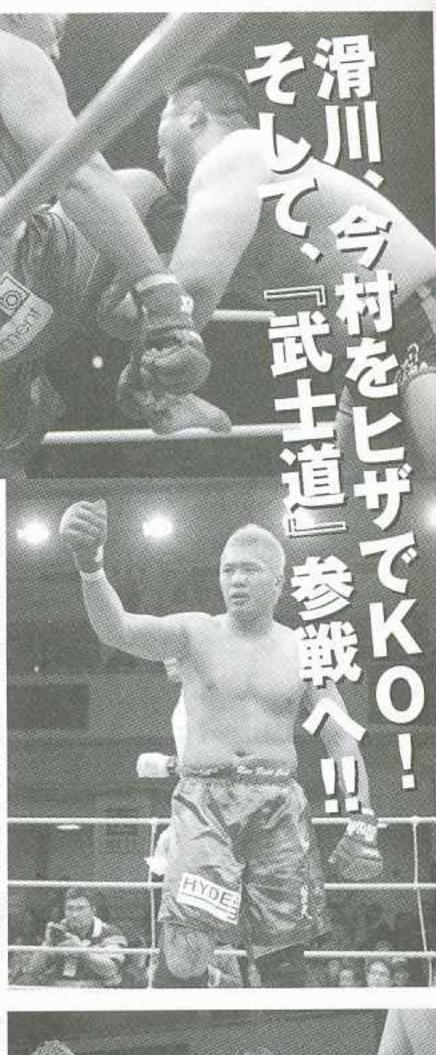
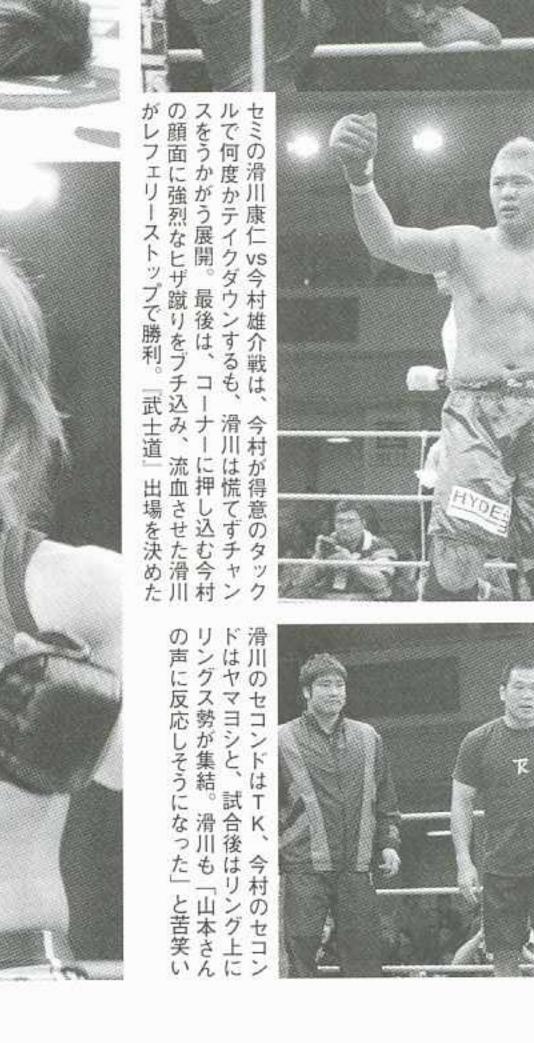
スタンドでは長南がボクシング特訓の成果を見せつけ優位に展開。さらには得意のヒザ蹴りも何発か松井の顔面を捉え、気が付けば鼻から出血が。しかし松井は「鼻血はボクにとってダメージじゃない!」

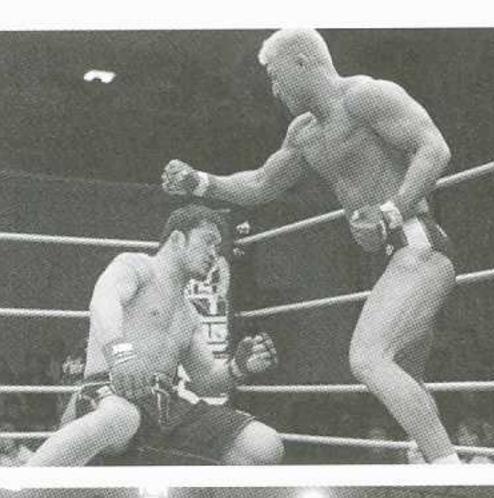
１Ｒから３Ｒまで通してテイクダウンを奪った松井だったが、そこから先の攻撃につなげることができず。逆に下からのパンチやマッハを病院送りにした顔面蹴り、三角絞めなどで長南が攻め込んだ

滑川、今村をヒザでKO！そして、『武士道』参戦へ!!

セミの滑川康仁vs今村雄介戦は、今村が得意のタックルで何度かテイクダウンするも、滑川は慌てずチャンスをうかがう展開。最後は、コーナーに押し込む今村の顔面に強烈なヒザ蹴りをブチ込み、流血させた滑川がレフェリーストップで勝利。『武士道』出場を決めた

滑川のセコンドはTK、今村のセコンドはヤマヨシと、試合後はリング上にリングス勢が集結。滑川も「山本さんの声に反応しそうになった」と苦笑い

しなしさとこ27歳『DEEP』初勝利後、キーラ・グレイシー戦をぶち上げる！

しなしさとこの『DEEP』初戦の相手は慧舟會のミニモニ戦士・大室奈緒子。試合は極めきれなかったものの終始ポジショニングで圧倒した、しなしが勝利。総合連勝記録を15と伸ばしたしなしは「キーラ（・グレイシー）と『武士道』でやりたい」とアピール

これまで総合負けなしの小野瀬哲也と、桜井隆多の一戦は開始早々、桜井が強烈な左フックを顔面に叩き込み秒殺KO！　佐伯代表のブッシュもあり、桜井が『武士道』出場をゲッツ！

イケメン対決と謳われた門馬秀貴vs池本誠知の一戦は、両者共に序盤からアグレッシブに攻め合い場内を沸かせる。最後はマウントを奪った門馬が肩固めに移行し池本から一本勝ち！

契約体重なしで行われた佐々木恭介vs鬼木貴典戦。2R、コーナーでパンチの打ち合いから体重差を活かしテイクダウンした鬼木だったが体勢を入れ替えた佐々木が腕十字を極め勝利

髙田道場の松井と今村が揃って敗退！

長南がマッハを病院送りにした昨年9月15日の大田区大会以来、約4ヶ月ぶりに行われた2004年一発目の『DEEP』。

今大会の目玉は、セミで滑川康仁、メインで長南亮が、それぞれ今村雄介、松井大二郎と激突する『DEEP』vs髙田道場の対抗戦。

休憩後には髙田道場総帥にして『PRIDE』統括本部長の髙田延彦が会場に現れ、リングサイドから今村、松井の闘いを見守った。今村と松井の2人は日本の総合格闘技の大会で『PRIDE』系の大会以外へ出場するのは初めてとあって、その闘いぶりはファンだけではなく関係者からも注目を集めていた。

ちょっと前まで『PRIDE』の常連だった松井は、道場マッチを除けば総合の試合への出場は約1年ぶり。今村に至っては道場マッチを除けば約1年3ヶ月ぶりの試合となる。髙田総帥はもちろん、本人達も、いつにも増して気合いが入っていたことだろう。

そして迎えたセミファイナル。髙田道場の先陣を切って入場してきた今村。セコンドには対戦相手、滑川康仁のリングス時代の先輩にあたる山本宜久が付いた。

一方の滑川は昨年3月の渋谷戦でヒザを痛め長期欠場。その後、韓国で試合が組まれたものの大会が中止になり総合ルールは約10ヶ月ぶり。キャリア&実績共に今村を上回る滑川だけに、確実に勝利をものにしたいところ。

いざ試合が始まると得意のタックルで何度かテイクダウンを奪った今村だったが、そこから先へ進めず、2R3分過ぎ、コーナーへ押し込んだところへ滑川の強烈なヒザ蹴りを受け顔面から大流血！　それでも無意識に滑川の足を取ろうとする今村だったが、滑川が上からパンチを叩き込むと慌ててレフェリーが割って入り試合を止めた。

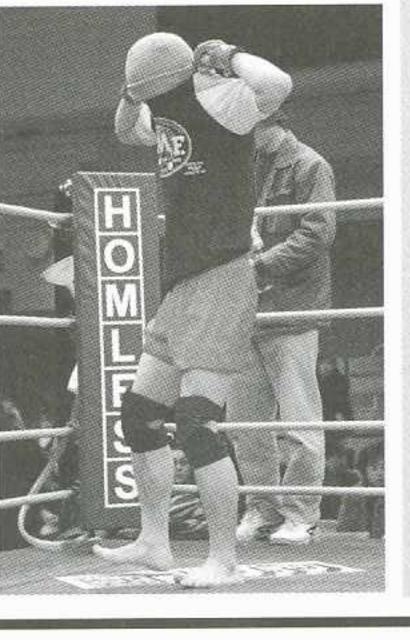
この勝利で『武士道』への参戦を決めた滑川は、勢いに乗り約3週間後に行われた『武士道』でリングス時代、敗れているヴァラビーチェスにリベンジ成功！　敗れた今村も挑戦試合という形ながら『武士道』へ参戦するもチェ・ム・べにいいところなく敗戦。明暗を分ける形となった。

そして松井が登場。相手はマッハを下し昇り調子の長南だが、通常は1階級下の相手。直前に後輩の今村が敗れ、リングサイドからは髙田総帥がギロリと目を光らせている。松井にとっては絶対に負けることは許されないシチュエーションがてんこ盛り。

しかし、時の勢いは非情。何度もテイクダウンを奪うものの、今村と同様、そこから攻めきれず、逆に長南の鋭利な打撃を喰らってしまう松井。判定で長南の勝利が告げられると驚きの表情を見せ、控室でも「取ってはないが取られてもいない」とアピールした松井だが、判定が下される前に席を立ち「あれじゃ、どうしようもない」と語った髙田総帥の言葉を重く受け止めるしかないだろう。

桜庭以外にも「お前は男だ！」と髙田総帥から言われるファイター、出てこいやーッ！

あの村田卓美クン『紙プロ』Tシャツで登場！

知らない人は各自調査

黄×黒の『紙プロ』Tシャツを着て入場したのが、数年前、読者投稿コーナーで活躍した村田卓美クン（A-3）。「各自調査」というプチ流行語を生んだ村田クンは様々な大会で活躍中なので要チェック。今号の花くま先生のコラムにも名前が出てます

フューチャーファイトに出場した村田クンは谷口友則と対戦。村田クンがチョークを極めかけるシーンもあったが相手に粘られ結果はドロー

佐伯繁関連大会情報3連発！

3・13 U-STYLE 梅田ステラホール

ROWRESTLING U-STYLE 7

3月13日（土）
大阪・梅田ステラホール
OPEN／17:00　START／18:00

■対戦カード
【U-STYLE師弟対決】

田村潔司	vs	佐々木恭介
坂田亘	vs	木村直生

【大阪vs東京 3 vs 3】

冨宅飛駆	vs	伊藤博之
三島☆ド根性ノ助	vs	大久保一樹
池本誠知	vs	クラフターM
上山龍紀	vs	原学

■入場料金
VIP ¥20.000（最前列・パーティー付）
SRS席 ¥15.000（2列目・パーティー付）
RS席 ¥8.000円
A席 ¥6.000円
B席 ¥5.000円

■問い合わせ
DEEP事務局　TEL.052-339-0303

木村直生　VS　坂田 亘

佐々木恭介　VS　田村潔司

大阪でW師弟対決実現！

田村潔司vs高阪剛の興奮が冷めやらぬまま、2度目の大阪進出を果たすU-STYLE。

今大会ではW師弟対決が実現。メインで佐々木恭介が田村に、セミでは木村直生が坂田に挑む。〝ちっちゃい田村〟こと佐々木はU-STYLE&総合で好勝負連発、さらにDDTやPWC等インディーでも活躍、闘いの幅を広げまくっている。

一方、EVOLUTION対決に挑む木村は、U-STYLEでは未勝利ながら負けん気の強いファイトで急成長中。幾多の修羅場をくぐり抜けてきた師匠相手に2人は、いかなる闘いを見せるのか？ 要注目！

同大会では大阪vs東京の対抗戦も開催。東京代表は伊藤博之、大久保一樹、そして正体不明のはずのクラフターMが、なぜか選出。迎え撃つ大阪代表は冨宅、三島、さらにU-STYLE初参戦の池本誠知が出場。池本が所属するライルーツコナンの森泰樹代表は元UWF戦士だけに、愛弟子・池本のU-STYLEでの闘いぶりに注目だ。

他にも『武士道』で完敗を喫した上山が第一試合で再出発するなど見どころ満載！ 3・13はU-STYLEでハッスル！

4・18『DEEP』 梅田ステラホール

辻結花　前田吉朗　三島★ド根性ノ助

メインは三島、セミには前田が登場！

U-STYLEに続き『DEEP』も二度目の大阪進出！ 地元出身のファイターが今回も多数出場。メインには昨年の大阪大会に続き三島が登場。対戦相手はXと現時点では未定だが、昨年10月の『武士道』以来となる総合ファイトに注目だ！

セミには先日、柔術の強豪アレッシャンドリ・ソッカを得意のパウンドで撲殺しデビュー以来の連勝記録を8と伸ばしたパンクラスの前田吉朗が待望の『DEEP』初参戦！ 対するは修斗の梅村寛ということでパンクラスvs修斗という図式になるが、果たして前田は連勝記録を伸ばすことができるか!?

そして、地元出身の辻結花が『猪木祭り』以来の登場。エキシビジョンながら、しなしさとこと激突する。現在の女子総合格闘技界を背負うトップファイター同士の闘いは見逃せない！

3月13日はU-STYLE、4月18日は『DEEP』と、大阪・梅田ステラホールで連戦を決行する佐伯繁。この春、大阪の街は佐伯色に染められる!?

『DEEP 14th IMPACT』
4月18日(日)大阪・梅田ステラホール
OPEN／14:30　START／16:00

■対戦カード

三島☆ド根性ノ助	vs	X
前田吉朗	vs	梅村寛
池本誠知	vs	長岡弘樹
奥山哮司	vs	大久保一樹
深見智之	vs	坪井淳浩

★エキシビジョンマッチ

辻結花	vs	しなしさとこ

★その他3～4試合、フューチャーファイト4試合を予定

■入場料金
VIP ¥15,000（最前列）／SRS ¥10,000
指定A ¥8,000／指定B ¥6,000
（当日は全席種500円up）

■問い合わせ
DEEP事務局　TEL.052-339-0303

3・20『ClubDEEP』 NTC放送会館 パヴェリアホール

しなしさとこ九州初見参！

大会名が示すとおりクラブでの開催ということで規模は『DEEP』本戦よりも小さいながら、その臨場感がウケて満員記録を絶賛更新中の『club DEEP』が3月20日、九州に初進出！「Team-ROKEN 鬼木祭り」との副題どおり、地元出身で『DEEP』常連の鬼木貴典を中心に、プロレスリング華☆激のKAZEらが大挙参戦！

この大会のメインには、九州初登場となる、しなしさとこが総合ルールで出場。締切ギリギリの2月23日現在、対戦相手は未定とのことだが、総合戦績16勝1分と未だ負けナシの、しなしの試合は、いつだって目が離せないって!!

Team-ROKEN 鬼木祭り
『club DEEP 6th』
3月20日(土／祝)
福岡・TNC放送会館 パヴェリアホール
OPEN／13:00　START／14:00

■出場予定選手
しなしさとこ、鬼木貴典、KAZE 他

■協　力：Team-ROKEN、総合格闘技道場タフス、パレストラ博多、総合武道FRKZ 風林火山空手道、プロレスリング華☆激
★全15～16試合予定

■入場料金
オールスタンディング ¥4,000

■問い合わせ
DEEP事務局　TEL.052-339-0303

リング内・リング外の情報を読者にお届けする
RADICAL情報局

古今東西、前田日明から怨霊までマット界の注目情報がてんこ盛り!!

すっかり春めいて暖かくなってきました。お薦め興行がぎゅうぎゅう詰めの『RADICAL情報局』をガイドに、格闘技&プロレス行脚に繰り出して下さい。担当は斎野(見習い)です。それではいきますかー! スリー、ツー、ワン、ハッスルハッスル!!

Fight & Ticket 試合・大会情報

強豪組技師たちが『ZST GT-F』に参戦!!

組技限定のフェザー級トーナメント『ZST GT-F』がいよいよ開催される。1月28日の会見には"サンボ界からの刺客"松本秀彦&若林次郎が出席。松本は"足関十段"今成正和について「ヒールホールド十段って感じ。全然問題じゃない」と辛口コメント。ギを着ての試合出場に関しても「(相手がギを着ていないと)勝手が違うかもしれないが、それぐらいのハンディは与えてあげてもいい」と強気な発言を連発した。

一方2月6日の会見には今成と所英男、そして負傷欠場中の矢野卓見が出席。サンボ勢に無関心な今成に対して、矢野は「十段(今成)が勝つ。和田(良覚)さんがボーッとしてたら若林さんが再起不能にされますよ。松本選手は朝日さんとやったら終わる」とサンボ勢全滅を断言した。また所が「朝日さんと闘いたいので、是非とも朝日さんには松本選手に勝って欲しい」と語れば、矢野は「朝日さんが勝つに決まってんだろ。失礼な!」とサンボ勢の敗退をどこまでも強調した。組技の達人がひしめくトーナメントを勝ち上がり、賞金100万円を手にする選手は一体誰だ!?

また、花くまゆうさく先生が昨年9月の『ZST 4』に続きジェネシス・グラップリングトーナメントに登場。更に"TKの弟子"渡辺悠太や"謎のミュージシャングラップラー"坂本猛など注目選手もジェネシスバウトに参戦する。

■日時 3月7日(日)
開始時間16:00(開場15:00)
※ジェネシスバウトは15:10開始

■場所 東京・お台場スタジオドリームメーカー

■チケット(当日¥1000up) VIP席 12000円/SRS席 8000円/S席 6000円/立見 4000円

■対戦カード
【ジェネシス・フェザー級グラップリングトーナメント1回戦】
◎花くまゆうさく(AXIS柔術アカデミー&一番星グラップリング) vs 網川"DOCTOR"慎一郎(SHOOTO GYM K'z FACTORY)
◎代官山剣Z(TEAM ROKEN) vs 宮川博孝(チーム・アライアンス)
◎佐藤力(SKアブソリュート) vs 加藤壮一郎(ストライプル)
◎小松俊明(ロデオスタイル) vs 岩佐貴虎(SKアブソリュート) ※トーナメントの組み合わせは後日発表。
【ジェネシス・グラップリングマッチ ライト級シングルマッチ】◎藤沢卓也(禅道会) vs 坂本猛(フリー)
【ジェネシス・グラップリングマッチ クルーザー級シングルマッチ】
◎渡辺悠太(G-スクエア) vs 野津恒行(ストライプル)
【GT-Fトーナメント1回戦】①松本秀彦(日本サンボ連盟) vs 朝日昇(東京イエローマンズ)
②所英男(STAND) vs 大石"JACKAL"真丈(SHOOTO GYM K'z FACTORY)
③ジェフ・カラン(チーム・エクストリーム) vs X
④今成正和(TEAM ROKEN) vs 若林次郎(SKアブソリュート)
【GT-Fトーナメント準決勝】⑤の勝者 vs ②の勝者…(A) ⑥の勝者 vs ④の勝者…(B)
【GT-Fトーナメント決勝】Aの勝者 vs Bの勝者
【ZSTルール】◎小谷直之(ロデオスタイル) vs X ◎レミギウス・モリカビュチス(リトアニア) vs X

■HP http://www.zst.jp/ ■問 ZST事務局 03-5321-9595

徳島県人だらけの『徳島格闘祭』開催!

新崎人生、アレクサンダー大塚、フライングキッド市原、湯浅和也、そしてK-1戦士ノブ・ハヤシと、徳島県人が多数出場のみちのくプロレス『徳島格闘祭』。メインでは人生と佐々木健介が激突する! 両者はWJで一度対戦し、そのときは健介が勝利。人生は地元で健介にリベンジできるか!? セミの湯浅 vs アレクは徳島県人対決。J-CUPにも出場し勢いに乗る湯浅と最近低迷気味ながら実力者のアレク。果たして勝負の行方は!?

■日時 2月29日(日) 試合開始14:00

■会場 徳島・アスティとくしま

■チケット(当日¥500up) 特別リングサイド 6000円/スペシャルシート 5000円/リングサイド 4000円/一般自由席 3000円/小中高自由席 1000円

■対戦カード
◎新崎人生 vs 佐々木健介
◎湯浅和也 vs アレクサンダー大塚
◎ザ・グレート・サスケ & はやて&気仙沼二郎&フライングキッド市原 vs ディック東郷&TAKAみちのく&折原昌夫&マッチョ☆パンプ
◎つぼ原人 vs お船 ◎井上治 vs 北海珍念
【スペシャル・エキシビジョンマッチ】
◎ノブ・ハヤシ(トウジョウ・チャクリキ) vs 長井満也(魔界倶楽部)

■HP http://thegreatsasuke.com

■問 みちのくプロレス 019-626-1333

パワーアップ第一弾! Girls SHOCK Ⅳ

Girls SHOCK事務局の発足、2004年度に4大会開催、会場がイッキに3倍規模にアップと勢いに乗るGirls SHOCK。ムエタイ・インターナショナル女子王者・渡邊は「次の試合は勝って当たり前」と語り、WINDY智美も「一度見に来た人が何回も見に来てくれるように頑張りたい」と意欲を見せた。 タイの美少女アイドルボクサー、ナムワンノーイも初来日。パワーアップしたGirls SHOCK第一弾を見逃すな!

■日時 3月7日(日)開始時間14:00(開場13:00)

■場所 東京・竹芝ニューピアホール

■チケット(当日¥500up) RS席 5000円/S席 3000円

■対戦カード ①星野久子(勇心館) vs 大鷹らん(AJジム)
②成沢紀予(ソーチタラジム) vs 四十内としえ(青春塾)
③渡辺亜矢子(勇心館) vs 勝山舞子(峯心館)
④正木純子(Hilltop) vs 『肉力強女』推薦選手
⑤彩丘亜紗子(S.V.G.) vs シン・ジョン(辛智英/韓国)
⑥妃口彗(S.V.G.) vs カロリン・フブレクツ(オランダ)
⑦WINDY智美(AJジム) vs GON! ASAMI(士心館)
【スペシャル・エキシビジョンマッチ】
ナムワンノーイ・サックブンマー(タイ) vs 藤井恵(GIRL FIGHT AACC)
⑧【ダブルメインイベント第1試合/日本 vs 韓国】
グレイシャアAki(彰考館) vs チョン・ヨンシル(金奷賽/韓国)
⑨【ダブルメインイベント第2試合/日本 vs 韓国】
渡邊久江(AJジム) vs サブリナ・レイ(イタリア)

■問 Girls SHOCK事務局 03-5215-2641

666興行第二弾! 暗黒プロレス再び!

耽美ゴシックレスラー・怨霊と極悪レーベル・殺害塩化ビニールのクレイジーSKBが結成したプロレス団体『666』の第二弾興行が開催決定! 前回の旗揚げ戦では目の肥えたインディーファンの心を確実に鷲掴みした。超能力や殺人行為が認められるえげつない団体666。今回はどんな予測不能の暗黒ファイトが飛び出すのか!?

■日時 2月29日(日)
試合開始17:30(開場17:00)

■会場 東京・バトルスフィア東京

■チケット(当日¥500up) 全席 3000円

■対戦カード
◎怨霊&GOEMON&666ボリショイ(JWP) vs アジアンクーガー&アジアンコンドル&ザ・グレート・タケル(IWA)
◎ザ・クレイジーSKB&サバイバル飛田(埼玉プロレス)vs 怪人X&怪人XX
◎その他参戦予定選手
BADBOY非道、藤田峰雄(WMF)、宮本裕向(WMF)、MASAMUNE、トウカイブシドー、DNA、魔餓鬼(ナイトメア)、KABUKI KID(CZW)、マグナム京都、夜影問、他

■HP http://666.thrustkick.com/

■問 666オフィス 090-3805-1892

近藤有己参戦！ 3・29パンクラス後楽園大会

昨年12月、佐々木有生をKO勝ちでくだし驚愕の実力を見せつけたデビッド・テレルが、再びパンクラスマットに登場する。迎え撃つは現在５連勝中の渋谷修身。アブダビコンバット３位、キックボクシング戦績２戦２勝とオールラウンドファイターのテレルを相手に渋谷はどう闘う!? また『男祭り』で激勝した近藤有己の参戦も決定！ 対戦相手は後日発表。

『PANCRASE 2004 BRAVE TOUR』
■日時 3月29日（月）開始時間18:30（開場17:30） ■会場 東京・後楽園ホール
■チケット（当日¥500up） SS席 12000円／A席 9000円／B席 6500円／C 5000円／D 4000円／立見 3500円
■対戦カード
⑦【スーパーヘビー級戦 5分3ラウンド】高森啓吾（パンクラスMEGATON）vs 石井淳（超人クラブ）
⑥【ライトヘビー級戦 5分3ラウンド】
渋谷修身（パンクラスism）vs デビッド・テレル（シーザー・グレイシー・アカデミー）
⑤【ミドル級戦 5分3ラウンド】石川英司（パンクラスGRABAKA）vs 北岡悟（パンクラスism）
④【ミドル級戦 5分3ラウンド】中西裕一（フリー）vs 佐藤光留（パンクラスism）
③【ミドル級戦 5分2ラウンド】長谷川秀彦（SKアブソリュート）vs 梁正基（スタンド）
②【ライトヘビー級戦 5分2ラウンド】佐藤光芳（パンクラスGRABAKA）vs 内藤征弥（A-3）
①【ミドル級戦 5分2ラウンド】久松勇二（TIGER PLACE）vs 金井一郎（パンクラスism）
■HP http://www.pancrase.co.jp/ ■問 パンクラス 03-5792-0815

ド真ん中プロレス復活！ WJ旗揚げ1周年大会開催!!

WJ旗揚げ１周年記念大会で、デビュー２ヶ月の中嶋勝彦と初代タイガーマスクが対決！ 会見では緊張気味の中嶋クンに対し、タイガーは「いま105キロあるんで彼と同じ80キロぐらいまで体重を落とそうと思ってま～す」といつも通り呑気な減量宣言。天才対決から目が離せない!! メインで長州力とTAKAみちのくがタッグ対決！ 長州は「俺の前に立ちはだかろうとするヤツは１人残らず叩きのめす！ 心してかかってこい!!」と気合十分。WJマグマ再噴火なるか!?

『WJプロレス旗揚げ1周年 in Korakuen』
■日時 3月1日（月） 開始時間18:30（開場15:30） ■場所 東京・後楽園ホール
■チケット RS席 6000円／A席 4000円／B席 3000円
■対戦カード
◎長州力&藤原喜明 vs TAKAみちのく&KAZMA
◎矢口壹琅 vs 越中詩郎
◎中嶋勝彦 vs 初代タイガーマスク
◎石井智宏 vs グラン浜田
◎宇和野貴史 vs 気仙沼二郎
◎和田城功 vs 真霜拳號
■HP http://www.wj-pro.net/ ■問 WJプロレス 03-3751-4546

全日本キックが再び 最強トーナメント開催！

小林聡と金沢久幸が敗れ、優勝・大月晴明、準優勝・花戸忍（現・白鳥忍）と劇的な世代交代があった昨年のライト級最強決定トーナメント。今年は優勝賞金が400万円、参加選手が12人に拡大されるなど、昨年に比べより過酷なトーナメントになることは必至。果たして４月16日の２回戦に勝ち残るのは一体誰だ!? 大月と白鳥は４月16日から出場のシード扱い。小林の出場は２月25日の北沢大会の結果次第。４月16日、野良犬見参なるか!?

『全日本ライト級最強決定トーナメント 2004 1st STAGE』
■日時 3月13日（土） 試合開始18:30（開場17:00）
■会場 東京・後楽園ホール
■チケット（当日¥1000up）RS席 10000円／S席 7000円／A席5000円
■対戦カード【スペシャルマッチ 57kg契約 5ラウンド】
◎山本元気（REX JAPAN）vs ラビット関（山木ジム）
【全日本フェザー級ランキング戦 サドンデスマッチ】
◎山本真弘（藤原ジム）vs 石川直生（青春塾）
【全日本ライト級最強決定トーナメント公式戦 サドンデスマッチ1回戦】
◎参加選手 増田博正（スクランブル渋谷）、山誠人（ソーチタラダ渋谷）、高谷裕之（格闘結社田中塾）、サトルヴァシコバ（勇心館）、湟川満正（AJジム）、吉本光志（AJジム）
■HP http://www.aj-kick.com/
■問 全日本キック 03-3365-1171

第二の辻結花誕生か!? スマックガール・ネクスト シンデレラトーナメント準決勝！

１回戦の激闘を勝ち抜いた高橋まり、舞、705、川畑千秋が、準決勝で再びしのぎを削る。果たして５月開催予定の決勝大会に生き残るのは誰なのか。また、SG-F7に参加する選手を募集中。応募締切は３月９日。プロ・アマは問わない。参加を希望の方は下記の電話番号に連絡とのこと。

『SMACKGIRL-F～Next Cinderella Tournament 2nd stage & SG-F7～』
■日時 3月20日（土・祝） 試合開始 15:00（開場14:30） ■会場 東京・ゴールドジム サウス東京ANNEX 7F
■チケット（当日¥500up）SRS桟敷席（1・2列目）5000円／SRS椅子席（3列目）5000円／RS指定席 3000円／スタンディング 2000円
■対戦カード トーナメント準決勝（ライト級）
◎高橋まり（パレストラ東京）vs 舞（パレストラ松戸） ◎705（パレストラ千葉）vs 川畑千秋（フリー）
◎出場予定選手 大門まい子（総合格闘技闇愚羅）、石山絵理（Red Devil KIS'S）、吉田正子（NATIVE SPIRIT）
◎SG－F7（アマチュアワンマッチ大会）
■HP http://www.smackgirl.com/ ■問 スマックガール事務局 090-1773-5647（広報・勝井）

Do FIXERとメキシコ観光＆ルチャ観戦！

Do FIXERの横須賀享＆K－ness.＆斎藤了と行く「闘龍門MEXICO自主興行応援＆ルチャリブレ観戦ツアー」が決定！ ５月15日（メキシコ時間）の闘龍門メキシコ自主興行の観戦をはじめ、道場で打ち上げパーティー、選手たちとEMLLやグルボ・レボルシオン観戦、遊園地巡りなど内容盛りだ

■日時 5月13日（木）～18日（火）の6日間 ■旅行代金 19万8000円（ローン利用可）
■締切 4月13日（火） ■問 近畿日本ツーリスト・新宿法人旅行支店 03-3341-2411

DVD&VIDEO 話題＆最新作情報

PRIDE SPECIAL 男祭り2003

DVD・本体価格 4800円（税抜）／メディアファクトリー／カラー 約168分（映像特典あり）／2004年3月26日（金）発売

純度100%、混じりっ気のない真剣勝負ここにあり！ 吉田秀彦とホイス・グレイシーが因縁の再戦！ 今度こそ完全決着なるか!? 他にも美濃輪、近藤、マッハ、田村、そして桜庭と日本人トップファイターが勢揃い！ ■問 03-5469-4880（10:00～18:00／土日、祝日は除く）

PRIDE武士道

DVD・本体価格 4800円（税抜）／メディアファクトリー／カラー約140分（映像特典あり）／2004年3月5日（金）発売

PRIDEの原点は日本人vsグレイシーの壮絶なる死闘！ 日本人チームとグレイシー一族が５vs５の対抗戦で激突する！ メインはミルコとドス・カラスJr.が異次元対決。仮面貴族の末裔に戦慄の左ハイキックが襲いかかる!!

"燃える闘魂"の集大成、アントニオ猪木全集DVD BOX発売！

DVD・本体価格 54000円（税抜） 全13枚／東北新社／カラー／約2774分／127試合完全ノーカット／3月26日発売5000組完全限定生産。

「いつ何時、誰の挑戦でも受ける」。アントニオ猪木38年に渡る激闘の歴史がここに極まる！ ゴッチ、シン、S小林、ロビンソン、アンドレ、ルスカ、ハンセン、ホーガン……今も語り継がれる伝説の闘いはもちろん、日プロ時代の若き日の激闘、そして初公開の秘蔵試合まで"燃える闘魂"の全てがここに集結。古館伊知郎の名調子や貴重な映像満載！ ここでしか見られない猪木史上最大にして最高の映像記録が遂に登場！
■TEL 03－5414－0332 ■HP http://www.tfc.co.jp/

※前号の電話番号に誤りがありました。関係者並びにお問い合せされた方々に大変ご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。

団体INDEX（50音順及びアルファベット順）

■猪木事務所
03-5468-5656
〒150-0001　東京都渋谷区東1-25-2　丸橋ビル4F
http://www.inokiism.com/

■大阪プロレス
06-6636-6672
〒556-0002　大阪府浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート2F
http://www.osaka-prowres.com

■キングダム・エルガイツ
0423-31-2797
〒206-0025　東京都多摩区永山1-17-10
http://homepage3.nifty.com/z-zone-kingdom/

■新日本プロレス
03-5468-3111
〒150-0011　東京都目黒区青葉台4丁目4番5号渋谷スリーサムビルヂング8F
http://www.njpw.co.jp/

■シュートボクシング(SB)協会
03-3843-1212
〒111-0033　東京都台東区花川戸2-2-8　ワコー花川戸ハイツ
http://www.shootboxing.org/

■聲圏道
042-544-6979
〒196-0013　東京都昭島市大神町1-2-22
http://www.seiken-do.com/

■全日本プロレス
03-3288-0610
〒102-0073　東京都千代田区九段北1-5-10　九段有楽ビル6F　http://oudou.co.jp

■全日本女子プロレス
03-3493-6541
〒153-0064　東京都目黒区下目黒2-17-17
http://www.zenjo.com

■大日本プロレス
045-937-0811
〒224-0053　神奈川県横浜市都筑区池辺町4347
http://www.bjw.co.jp/

■高田道場
03-5749-5030
〒142-0062　東京都品川区小山3丁目6-6 ワールドパレス武蔵小山1F&B1
http://www.takada-dojo.com/

■高山堂　03-5464-2806
〒150-0011　東京都渋谷区東2-17-12-501号
http://www.Takayama-do.com

■闘龍門JAPAN
078-333-9797
〒650-0004　兵庫県神戸市中央区中山手通2-3-18
メープル中山手201
http://www.gaora.co.jp/dragon/index.html

■ドリームステージエンターテインメント(PRIDE)
03-5464-1531
〒107-0061　東京都港区北青山3-12-9　花茂ビル3F
http://www.so-net.ne.jp/pride/

■バトラーツ
0489-63-0005
〒343-0807　埼玉県越谷市赤山町6-13-43
http://www.battlarts.jp/

■パンクラス
03-5792-0815
〒106-0047　東京都港区南麻布4-2-25
http://www.pancrase.co.jp/

■プロレスリング・ノア
03-3527-5311
〒135-0063　東京都江東区有明1-3-25
http://www.noah.co.jp

■冬木軍プロモーション
045-241-6381
〒231-0048　神奈川県横浜市中区蓬莱町2―247　SSビル310

■みちのくプロレス
019-626-1333
〒020-0063　岩手県盛岡市材木町9-8
http://thegreatsasuke.com

■A to Z　03-3678-7777
〒132-0013　東京都江戸川区江戸川1-6-2
http://www.AtoZ.ne.jp

■DDT　03-5360-6653
〒112-0002　東京都渋谷区千駄ヶ谷5-26-5 代々木シティホームズ1005
http://www.ddtpro.com

■DEEP事務局
052-339-0303
〒460-0071　愛知県名古屋市中区松原1-2-23 第3栄ビル2F
http://www.deep2001.com/

■FEG（K-1事務局）
03-3796-2977
〒150-0001　東京都渋谷区神宮前2-18-22 S&T神宮前ビル3F
http://www.k-1.co.jp/

■GAEA JAPAN
03-5459-3101
〒150-0036　東京都渋谷区南平台6-7　MAISON南平台1F
http://www.gaea-inc.com

■GCM COMUNICATION
03-3538-5801
〒104-0061　東京都中央区銀座1-14-10 松楠ビル9F
http://www.g-c-m.net/

■IWAジャパン
03-3352-3366
〒160-0004　東京都新宿区新宿2-15-13　第2中江ビル402
http://www01.vaio.ne.jp/IWAJP/

■JDスター
03-5524-2339
〒107-0052　東京都港区銀座1-8-21　第21中央ビル9F
http://www.jdstar.co.jp

■JWP　03-5849-2341
〒121-0052　東京都足立区六木3-6-4
http://www.jwp-produce.com/

■KAIENTAI DOJO
043-214-6960
〒260-0001　千葉県千葉市中央区都町3-4-17
http://www.k-dojo.co.jp/

■LLPW　03-5228-4331
〒112-0014　東京都文京区関口1-24-6 朝日関口マンション1001号
http://www.llpw.co.jp/

■NEO　044-422-8344
〒211-0011　神奈川県川崎市中原区下沼部1892-102
http://www.neoladies.com/

■SMACK GIRL実行委員会
090-1773-5647（担当・勝井）
〒156-0041　東京都世田谷区大原1-63-9　恒心ビル801　株式会社プロテック内
http://www.smackgirl.com/
info@smack girl.com

■U-FILE CAMP
044-932-0282
〒214-0014　神奈川県川崎市多摩区登戸1568
http://www.u-filecamp.com/

■UFO　0467-82-2034
〒253-0053　神奈川県茅ヶ崎市東海岸北3-7-25-2F
株式会社エフ企画内

■UNW　03-3362-3014
〒164-0003　東京都中野区東中野4-4-5-311

■U.W.F.
スネークピットジャパン
03-3337-1889
〒166-0002　東京都杉並区高円寺北2-15-1-2F
http://www.uwf-snakepit.com

■WJプロレス
03-3751-4546
〒146-0085　東京都大田区久が原3-31-1　いずみハイツ
http://www.wj-pro.net/

■WMF　049-239-3520
〒350-0812　埼玉県川越市下小坂536-18
http://www.e-rain.co.jp/wmf

■WWS　0495-24-6900
〒367-0052 埼玉県本庄市銀座2-5-23 レインボー本庄106

■ZERO-ONE
03-5730-3401
〒105-0014　東京都港区芝2-30-11　寿ビル601
http://www.zero-one.to/top.html

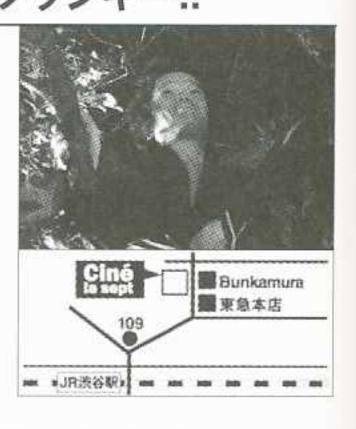
■ZST　03-5321-9595
〒106-0023　東京都新宿区西新宿3-1-2 廣川ビル4F
http://www.zst.jp/

Movie　話題&最新作情報

リトル・フランキーが映画出演！ 主演はリリー・フランキー!!

監督／脚本／撮影　石井輝男
出演／リリー・フランキー、塚本晋也、橋本麗香、藤田むつみ、丹波哲郎

鬼才・石井輝男監督の『盲獣 vs 一寸法師』に、一寸法師役で故リトル・フランキーさんが出演。今作品がリトルさんの遺作となった。江戸川乱歩の『盲獣』と『一寸法師』を融合させ、原作の魅力を損なうことなく再構築された乱歩ワールドでリトルさんが怪演を見せている。また乗船客女Ｂ役でアストレスの石川美津穂の姿も。3月中旬からロードショー。

■場所　東京都渋谷区道玄坂2-23-12　フォンティスビル3F（シネ・アミューズ下）渋谷シネ・ラ・セット
■TEL 03-5458-9267
■HP http://www.fjmovie.com/ishii/mojuvs/
■問　スローラーナー　03-3770-3717

And Others　その他情報

『紙プロ』も参戦！ 札幌で格闘技フェア開催！

札幌の『紙プロ』ファンに朗報！　中央イベント広場で開催される「武道・格闘技・プロレスフェア」で『紙プロ』バックナンバーやグッズ、Ｔシャツが買える！　貯金おろしてレッツ・ゴー!!

■期間・場所　2月16日（月）～3月7日（日）
■場所　中央イベント広場
■問　札幌市中央区北5条西2丁目JRタワー
札幌ステラプレイス5F 旭屋書店 札幌店
■営業時間 10:00～21:00　TEL 011-209-5181

長州や船木がアナタのスケジュールを管理する!!

自分好みのパートナーが動画&音声でニュースやスケジュールを案内してくれる“エンタメ★秘書くらぶ”。マット界からは長州、武藤、破壊王、大仁田、サスケ、“マッドネス”船木など超強力ラインナップ!!

■料金　月額300円（通信費用別途）　■http://e-hisyo.jp/
■利用方法
i Menu ▶ メニューリスト ▶ 辞書／便利ツール ▶ エンタメ★秘書くらぶ

骨法整体見学会のお知らせ

現在募集中の「骨法整体セミナー」。受講の前にセミナーの内容を知りたいという方のために3月7日（日）骨法會にて「整体見学会」を行う。興味のある方は下記まで連絡のこと。要予約。

■場所　東京都中野区東中野4-3-2
■問　03-3362-0010（20:00～22:30）
■HP　http://www9.big.or.jp/˜koppo/

プロレス&格闘技をぶった斬り！ ターザン山本トークライブ！

ターザン山本トークライブ『第２回静岡一揆塾』が開催される。定員40名。ターザンの言霊に酔いしれろ！

■日時　3月13日（土）開始18:30（開場18:00）　■料金　2500円
■場所　静岡市常磐町2-3-4 村上パーキングビル5Fレンタルルーム
■問　一揆塾静岡事務局 担当・吉原健一　054-268-4077

BAM BAM BIGELOWが展示会『MASCARASTERS WORLD』を開催

メキシコルチャリブレをコンセプトにしたファッションブランドMASCARASTERSが青山のヤスギャラリーで展示会を行う。春夏の新作ウエアの展示の他にも、会場限定Ｔシャツ、キャップ、トートバッグを販売！　更に来場者にはマスカラスステッカーをプレゼント！　入場無料。是非遊びに行こう!!

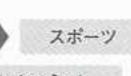
■会場　東京都渋谷区神宮前5-51-1
フィットネスプラザ1F YASU GALLARY　■03-3460-1145
■日時　2月28日（土）～2月29日（日）12:00～19:00
■http://www.bambam88.com

前田日明がパチスロ雑誌で新連載！

リアルタイムの前田日明が見られるのはココだけ！　3月発売号より『パチスロ奥義』（￥400・ぶんか社発行・毎月５日）にて、なんとアキラ兄さんの連載が決定。プロレス＆格闘技ファンなら誰もが気になる、その動向が明かされる！

■問　ブートニクデザイン　03-5472-1616

紙プロHand　更新・最新情報

宇宙一面白い携帯サイト『紙プロHand』では、365日（今年は366日）毎日休まずメルマガを配信中!!　その日に起きた大会・ニュース・事件、サイトの更新状況をお知らせしている。友達との会話がはずまない時にも便利!!　写真は2月1日アップの“イラスト・カレンダー待画”田村潔司バージョン!!　カレンダーは毎月2枚配信中だ。この他もイラスト多数、美濃輪育久やノゲイラの待画もあり!!　3月１日アップの着メロは、佐々木健介のテーマ『TAKE THE DREAM』、川田利明のテーマ『HOLY WAR 21』、菊田早苗のテーマ『Heats On Fire』の３曲!!　吉田豪コラムもスリリングに毎週更新中!!

Docomo	i Menu ▶	メニューリスト ▶	スポーツ ▶	格闘技／大相撲
au/TU-KA	トップメニュー ▶	遊ぶ・楽しむ or インターネット ▶	スポーツ ▶	格闘技
vodafone	ボーダフォンメニュー ▶	ボーダフォン・ライブ ▶	スポーツ・レジャー ▶	その他スポーツ

▶ 紙プロHand

鬼は外、福は内な読者ページ

紙プロ元気大学

こんにちは、読者ページ担当・本業は電気部のささきぃです。年が変わったばかりだというのに、マット界にはいろんな事件が起こってますねぇ。ミルコはもう2回もKOするし、新日本ではNWFが封印された上にIWGP王者負傷返上でトーナメント開催です。今更ですが、全日本の「ROD」っていうチーム名は、大声で連呼してて大丈夫なんでしょうか（スラング）。それでは、はじまりはじまり。

（神奈川県・稲葉聡）⬇GO！　後ろ髪の長い美濃輪。絵の勢いがいいのででっかく掲載です。……負けちゃいましたね。シウバ、ホントに強いなー。ちくしょう。美濃輪だったら勝っても許すつもりだったんだけどなぁ……（サク以外に勝たれると複雑らしい）。

内回校巡

『紙プロ』70号　面白かった記事

【猪木祭り大暴動】
★とにかく笑えました。ビバ猪木です。（兵庫県・高橋哲郎・34歳・病院職員）
⬇ビビッたか！　先月のアンケート第1位は舞台裏も大混乱！　イノキボンバイエ特集でした。「こんなすごい事が起こっていたのだったら見に行けばよかった（大阪府・平田和孝）」「行き当たりバッタリの雰囲気が面白い（岐阜県・恒川均）」などの意見が多く届きました。以下、順不同でお送りします。

【Let's Go健介ファミリー】
★久々に北斗の毒が味わえて最高。第2弾も期待しています。（鹿児島県・角田敏樹・35歳・会社員）
⬇私も、物事をタンターンと言い切る様が心地よいなと思っていました。第2弾はもちろん企画中。ハッキリ言ってさらなるパワーアップ。来月号は永久保存版ですよ。

【近藤有己インタビュー】
★2004年の大活躍を期待させるような内容だったから。「自分の親・子が相手でもボッコボコ」は衝撃的！（青森県・工藤要・33歳・公務員）
⬇近藤選手があまりにも普通に語っているので、選手にとって試合ってそういうもんなのかなぁと考えてしまいました（影響されやすい）。意外な一面が見られそうなので、いろんな選手に聞いてみたい質問です。さいたまアリーナから実家へ直帰した話にも驚きました。

【井上義啓〝殺し〟とは何か？】
★井上義啓さんという人が、ここまでプロレスのことを真剣に語ってくれると、プロレスファンとしてとてもうれしく思った。（東京都・浦崎賢人・16歳・学生）
⬇素直でいいなあ、16歳。井上さんはいついかなる時でも、プロレスのことを真剣に考えてくださっていますよ。もう少ししたら、違う側面からも井上さんを尊敬できるようになると思います。

【マット界語録2003】
★去年の「マット界語録2002」を読んで感動（笑）してからずっと『紙プロ』を購読しています。もちろん今年も爆笑！　藤波引退撤回、万歳!!（愛知県・永井英充・33歳・会社員）
⬇1年間ありがとうございました。今年もたくさんの名言が生まれそうな予感。でも前号の語録はホントにページが足らず、たくさんボツになった惜しい作品がありましたよ。大谷晋二郎選手の「大森、もっと心の底から笑え」とか、ウルティモドラゴン校長のサスケ問題一刀両断とか、目の前で聞いたせいもありますが、私は大好きでした。

『紙プロ』68号　つまらなかった記事

【サダハルンバインタビュー】
★なんだかターザンを応援したくなった。（山口県・福永裕二・26歳・会社員）
⬇最近恋人が出来たらしい（HPのターザンカフェ参照）ターザン山本さんは、ますます乙女度が増しているように感じます。私（28歳）より年下だそうです。それを聞いてもまだ応援できるなら、あなたの愛は本物。

★運のいい人は嫌いだから。金原選手、大好きです。（兵庫県・阿部茂・35歳・会社員）
⬇そんな言葉の続きで告白されても、つらいと思う。しかもハガキの続きには「でも好きなレスラーは高阪剛」という記載が。

「ハッスル1」への感想

★まだよく分かりませんが、興味はあります。（岩手県・千田進・33歳・自営）
⬇役員面接みたいなお答えですね。キチっとした方に興味を持ってもらえて、ハッスルも幸せだと思います。

★飲み会で、最後にハッスルポーズで締めようとしたら、誰もノッてくれなかった。（山形県・クロコ・ミルコップ）
⬇一般に向けた活動、えらい。先駆者はいつも孤独です。めげずにハッスルしてガンバレ。そのうち「ハッスルさん」というアダ名でもらえるはず。

★会場よりも家のPPVで見た方がなぜか面白かった。世間にアピールするため、ここは「リアル泣き虫」で「真・偽造王」の古賀センセイにGMに就任していただき、マイク合戦に参戦してもらいたいです。（埼玉県・矢島博司・38歳・会社員）
⬇やってほしいですねぇ。古賀センセイの「つっこみどころ」の多さは、非常に魅力的です。国会議員じゃなかったらもっといいんですけどね。

今月の『紙プロHand』調べ　好きなレスラー人気ランキング!!

1位　田村潔司
2位　桜庭和志
3位　橋本真也
4位　CIMA
5位　佐々木健介

今月も携帯サイト「紙プロHand」上でのランキングをご紹介～。結果として上位3人は不動ですが、一時はCIMAがベスト3入りでした。ちょっとの差です。そして、5位に佐々木健介が初登場！　ヴァーッ！　かつては嫌い部門に常時ランキングしていたことを考えると、スゴイ事だと思います。6位はマグナムTOKYO、続いてミルコ・クロコップ。この他、好きな団体ナンバーワンが闘龍門に！　嫌いな選手トップはヒョードルと闘った某選手でした。
（1/16～2/15アクセス分調べ）

紙プロ70号・読者が選ぶ　面白かった記事ベスト5

1位　検証！『猪木祭り』
2位　声に出して読みたいマット界語録2003
3位　健介ファミリー大集合
4位　近藤有己インタビュー
5位　田村潔司インタビュー

1位は前代未聞の大暴動が起こった『猪木祭り』奇跡の光景再録＆騒動史。「アントンが『殺すぞ』と言ったのは空耳じゃないことが分かって良かった」というお便りもありました。お役にたてて何よりです。続いて、一年をなつかしく振り返るマット界語録2003。本当に声に出して読んだ方が続出。3位はクァーッと健介ファミリー大集合。フロリダ・ブラザーズとの一戦は歴史に残る名勝負でした。4位はシウバ戦が待たれる近藤有己インタビュー、5位はたじろぐゴールドバーグインタビュー。6位に田村潔司インタビュー、リングドクター中山健児氏インタビューと続きました。

今月のステキな1枚

何の前ぶれもなくスタートする新コーナー。取材先で撮ったけど本誌では使う機会がなく、眠らせておくのが惜しい写真などを公開します。携帯サイト『紙のプロレスHand』に『今週のステキな一枚』というコーナーがありますが、あれの雑誌版だと思っていただければOK牧場です。

2月3日、池上本門寺の豆まきで撮った一枚。そうそうたるレスラーの中「座ってください」と言われたピンクパンサーがふてくされてるようで素敵でした。カズ・ハヤシ選手が完全に武藤社長の頭の陰に隠れていて申し訳ないです。（撮影者・ささきぃ）

次号からも、このくらいのテンションでステキな写真を公開します。それなりに乞うご期待。

今月のタレコミ部

54 大&レンジャー
00 お笑いＰＲＩＤＥ頂上決戦ＳＰ さまぁ～ず大爆笑！インパルスVSドランクVS長井秀和VSマギー審司 461105
54Ⓢニューステーション

（静岡県・ことだま路太郎）「『お笑いＰＲＩＤＥ』？ このメンバーならタイトルに『武士道』って付けないと！」➲最近だいぶ苦しそうなタレコミ部ですが、コメントがナイスなので採用します。がんばれ。バラエティー番組でＰＲＩＤＥの名を付けている番組をいくつか見た気がしますが、あのＭ－１っていう名前も、今更言うまでもなく明らかにＫ－１ですよね。全く関係ないのですが、昨年末放送されたＭ－１のビデオを貸してくださる方、紙プロ元気大学「笑い飯」の係までご連絡ください。年末格闘技戦争のドタバタで見逃してしまいました。ば～ばば～。

ほんとにジョーク？

（静岡県・目が覚メタロウ）➲おなじみ『ほんとにジョーク』へ届いたハガキを強奪して発表するコーナーでーす（罪の意識ゼロでかわいらしく）。肉関係はいいニュースを聞かないここ最近、焼肉屋さんは大変ですよね。ポーク＆チキンがいいので勝手に掲載します。

（愛知県・鈴木ユージ）➲服のセンスだけじゃなくて、髪型のセンスも最高なみのる様です。昔は後ろ髪長い人とかたくさんいたと思うんですが、最近の新日にはみのるヘアの人はいないのでしょうか。

（埼玉県・中川雅博）「もうドッティ選手の髪は伸びてしまいました」➲キューピー？ 天使？ 闘龍門の憎まれっ子チーム・悪冠一色のドッティ修司。私はいまの髪型のほうがいいと思います。中川画伯ファンの人は毎日更新のＨＰ「中吉」を要チェック。アドレスは「ほんとにジョーク」ページを見ましょう。

（石川県・きうちかずひろ）➲きうちさんはじめまして……って、どう見ても金ちゃんを描いた人じゃないのか。『武士道』勝ったけど納得いってない様子だった高瀬。トンがった高瀬、って、パンクラスで"極悪"とか言っていた頃のことでしょうか？

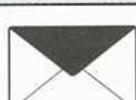
（千葉県・根本瑞穂）➲根本さんもはじめまして（だと思うのだが……）。憂いをおびた高山善廣選手。ていねいに描いてあっていいですね。また投稿お待ちしてます。

（北海道・小林少林）「シウバは強すぎます。試合を安心してみていられる」➲ということは、小林くんはシウバファン？ 次なるターゲットは近藤。近藤がちょっと幼いですね。全日本キックの藤原あらし選手に少し似てます。後ろで「ワーイ」って喜んでるホジェリオが、なんかいい。

（神奈川県・稲葉聡）➲最近精力的に作品をくださる稲葉さん。おぉー、消しゴム版画でしょうか？ サムライ・シロー。お疲れさまです。ハレルヤは何の意味？

（石川県・シーザー孝志）「不採用だったら、金ちゃんに渡してください。ファンレターということで」➲やぁ、どう見ても金ちゃんですね。『武士道』では、セコンドとして滑川の勝利を大変喜んでらっしゃいました。祈・早期復帰。

（大阪府・田中耕太郎）「ボブチャンチン、PRIDE復活!! ゆーことでミルコに勝ったら送ろうと魂込めて書いたのに…、でも大阪でやってくれました」➲初投稿の方です。はじめまして、こんにちは。昔の得体の知れない怖さが薄れてしまって、ちょい残念なボブチャンチンですが、まだまだ頑張って欲しいです。そしてまた投稿よろしくです。

（愛知県・たっつぁん）
「中川画伯、年賀状どうもありがとうございました。今年も何度ささきいさんにハガキを取られようとも『ほんとにジョーク』に出し続けますので、よろしくお願いいたします」➲だそうです、中川画伯。そう書いてあるこのハガキが『ほんとにジョーク』あて。油断もすきもありゃしませんね（人ごと？）。胆石ベルトは本当に作ってほしいなぁ。新日本の社長が体内で作った石入り。すごい。

おハガキ・お便り・メール大募集!!

皆さん、新年の目標は達成できてますか？ 私は微妙です。「私は31キロやせました」というお手紙をくださった桜庭ファンの○○さん（公開していいかわからないので伏せ字）、体調が心配ですが、方法を教えてください。『紙プロ元気大学』では皆様のお便りを募集しています。毎月10日ごろまでにいただけると、掲載される率が非常に高くなります。『紙プロ』を読んで感じたこと、ご意見、大会の感想、お便りの他、イラスト、その他すべての宛先は
メールは radical@kamipro.com
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3・11・3・702
(株)ダブルクロス 紙のプロレスRADICAL編集部 紙プロ元気大学「魔性のDDT」係まで。
★☆★携帯サイト『紙プロHand』からの投稿も出来ます！★☆★

本名NGの方はペンネームを記入するのを忘れないよーに！ プレゼントコーナーあてのハガキも、内容によっては無断でこっちに載ってしまいます。匿名希望の人はその旨明記のこと。旬のネタは掲載率が高いです。

中川雅博 爆笑連載!?

ほんとにジョーク

第32回

正直言って
イズは
どうしようもない!

今月イチバンおもしろかった作品とその作者

大阪府大阪市　ジェームス・凡人

★凡人さん、初採用おめでとうございま～す!!　「無敵に素敵にケン好きー（健介）」Tシャツ（L）？　お楽しみに!!
★プリンター壊れちゃった…。『ほんとにジョーク』Tシャツの発送が遅くてゴメンナサイ。しばしお待ちあれ。
★Mr.パーフェクトが亡くなってから早一年…一年って早いね！　中川画伯の『ほんとにジョーク』にハガキを書こう!!　抽選で5名様に「手づくり缶バッチ」、採用された方には「手づくりTシャツ」をプレゼント!!　希望Tシャツはプロレスラーじゃなくてもノー問題です。遅くてゴメンナサイ。皆さん、ハガキをビッシビシ送ってください。
★IT革命です。毎日更新。割とたくさんの人に見られてるみたい…。『中吉』http://chu-kichi.jp/

前号のTシャツ
アントン&ツッチー

応募方法　プロレスに関したものなら何でもけっこう、ジョーク、ギャグ、コント、マンガ、標語、何でもいいんだ、とにかく『ホントニ面白い』ヤツをたのむ。毎月1名の作品をこのページで掲載。このページは読者投稿ですが、めでたく掲載された方には「中川画伯オリジナルTシャツ」をプレゼント。原稿発送は紙のプロレス「ほんとにジョーク係」へ、希望選手名やサイズ（S･M･L･XL）をハガキに書いて下さい。〈例〉大室奈緒子のL

ターザン山本、抵抗勢力に阻まれ古巣復帰ならず! は〜、のんのん。

金ちゃんの *MONTHLY BOYA-KING COLUMN*

なんでそ〜なるの!?

第7回

『武士道』で郷野を破ったショーグンにブラジル秘伝の〝薬物〟疑惑浮上!?

今月は滑川(康仁)のセコンドで2・15『PRIDE武士道』に行ってきたよ。

いやぁ、『武士道』の会場って初めて行ったんだけどビックリしたね。だって俺が知らない選手ばっかりなんだもん(笑)。

控え室とかでもさぁ、若い選手が結構俺に挨拶してきたりしたんだけど、「いまの誰かなぁ。なんか格闘技雑誌で見たことあるような気がするんだけど……」っていう感じの選手が多くてね。知らない選手が多いってことは、時代は変わってきてるってことでしょ? なんか俺は長期欠場している間に時代に取り残されてるんじゃないかって、凄い焦ってきたよ!

そんな中で知ってる選手に会うとホッとするよね。小路君が俺のところに挨拶に来たんだけど、「金原さん、この間はどうもありがとうございました」って言うんだよ。なんのことかと思ったら、『紙プロ』のコラムで僕のこと書いてくれて嬉しかったですだって(笑)。そう言えば、前号のコラムで「小路晃は男の中の男だ!」って書いてたんだよね。自分ではすっかり忘れてたよ(笑)。でも、それでわざわざお礼を言いに来るんだから、小路君も律儀だよね。やっぱり彼は男の中の男だよ!

試合の方は、滑川がキッチリと一本勝ちしてくれたから良かったけど、山本(宜久)さんは残念だったね。やっぱりミルコの打撃って、想像以上に凄いらしくて、最初に食らったローキックがかなり効いちゃったらしいんだよ。それで山本さんは、わざと「効いてないよ」って笑顔でアピールして、ミルコに左ローを諦めさせようとしたらしいんだけど、それがかえって逆効果で次はもっと強烈なヤツが来ちゃったんだって(笑)。おかげで今は尻が腫れちゃって大変らしいよ。ホントにミルコは憎らしいなぁ〜、誰か日本人プロレスラーが彼を止めなきゃいけないと思うよ。かなり難しいだろうけどね。

まぁ、『武士道』は久しぶりに会場でゆっくり見れたんだけど、全11試合あった中で、俺が一番いい試合だなと思ったのは郷野選手とショーグンの試合なんだよね。

『PRIDE』初参戦でスタンド技術の高さを見せた郷野だが、ショーグンの桁外れのスタミナに轟沈。次回に期待だ!

お客さんはどう思ったかわからないけど、プロの目から見ると郷野選手は、すごくいい闘い方してるなと思ったよ。ああいうアグレッシブにパンチを振り回して来る相手に対して、パンチを交わしながらスタミナ切れを待つというね。でも、ショーグンはなぜかスタミナが切れないんだね。化け物でしょあれ? 兄貴のニンジャといいショーグンといい、あの兄弟のスタミナと体力はおかしいよ!

なんかシュートボクセ秘伝のスタミナがつく薬でもあるんじゃないかと思っちゃうよね。ブラジルのアマゾンでしか採れない、ブラジル版漢方みたいなの飲んでるんじゃないの? それぐらいあの兄弟の体力は凄いよ。

聞くところによると、ニンジャの方は4月から始まる『PRIDE無差別級グランプリ』に出るような話があるらしいけど、あいつならヘビー級相手でもかなりいいとこまで行くでしょう。っていうか、あれがミドル級だっていうのが、そもそもおかしいんだけどね。通常体重100kgだっていうんだから。

俺も体調が万全だったら出てみたいと思うけど、復帰戦がそれだとさすがにキツいよね。今はもう高田道場とかに行かせてもらって、寝技のスパーリングなんかも始めてるんだけど、まだちょっとカンが戻ってきてないから、ワンテンポ反応が遅れるんだよね。でも、それも練習していくウチに徐々に戻って来るだろうから、いよいよ俺も復帰間近ですよ。

早く試合して稼がないと、家庭が大変だからね(笑)。4月か5月ぐらいの復帰を考えているんで、金原を試合で使いたいと思ってる世界中の格闘技団体、プロレス団体のみなさんは、ゼヒご一報ください! この場を借りて、広くオファーを受け付けま〜す!

Kanehara Hiromitsu

金原弘光の打撃セミナー、次回開催スケジュール決定! 3月27日(土)、場所は『PURE BRED京都』。詳細は075・254・7777まで。皆様のご参加、お待ちしています!

『格通』選手名鑑で村田くんの顔、えらい変わったなあと不思議だったけど、まちがいだったのね

www.HANAKUMA.com

ゼブラーマン見て泣いてきました。この映画の宣伝で、2月は哀川翔テレビ出まくりでしたが、ふとあれがもうひとりのVシネ帝王・竹内力だったらと想像すると（それも岸和田少年愚連隊で中学生演じてから暴走しすぎのここ数年の竹内力バージョンで）、夢の映像がいっぱい膨らみます（ゴールデンタイムの『ぴったんこカン・カン』に竹内力、『堂本兄弟』に竹内力、など）。

特撮ヒーローといえば、2月1日後楽園にアバレンジャーショーとデカレンジャーお披露目発表会を見にいったら、グレイシー記事でおなじみの近藤（隆夫）さんらしき人も家族で来てたのを見かけました。その日は、大阪で『プライド』があったのですが、ミルコしか見所なさそうなあの日のカードでは、大阪行かずこっちにいても不思議じゃないなと納得（もしかしたら、そっくりさんかもしれない。ちがってたらごめんなさい）。あとからテレビ見たけど、ミルコよかったなあ。ノゲイラとかとやる時以外は、ミルコ応援していきます。ドスカラスJr.戦、あの美しき非情さは近来稀に見る芸術です。

特撮つながりでもうひとつ。こないだ格闘結社田中塾の練習のドキュメントをスカパーで見たけど、練習中のBGMにハカイダーのテーマが一瞬流れてたように聞え、なんだかうれしかったな。あのテーマいいんだよね、気分高まります（とくにイントロ最高）。昔、矢野さん（ヤノタク）の着メロがハカイダーのテーマでうらやましかったけど、格闘技界にはまだまだハカイダー好きはいると思う。

そんな田中塾の高谷選手が、ジョン・ホーキを追い込み凄いことになってたね、リング内も外も。遠くで見てる分にはいいと思うが、モロにあの人達と一緒の席になったらかなりきついですよ。それでも、KID対高谷になったらどうなっちゃうんだろうと、少し夢見たりしちゃうけど。

それにしても強い高谷選手ですが、パンクラス前田選手も凄いね。前にSKの梅木選手を絞め落としたの見た時、強い人出てきちゃったなあと脅威に思ったけど、バレットに続いてソッカまで撃破とは、もうグラップラーでは止められないのか？　今成選手ならと期待してしまうが、どこかで実現してくれないかな。こんな時代ですが、グラップラーにはまだまだがんばってほしい。それにしても、技術がないと言われがちなパンクラスから、こうして近藤・前田と同じスタイルの恐ろしい2大怪物が誕生したことは興味深い。たしか前田選手は、ヒクソンvs船木戦見て総合やり始めたと言ってたけど、あの日は近藤がヒベイロ倒した日でもあり、サブリミナルで自然とあのスタイルが刷り込みされていたのかも？

今成選手といえば、こんどのZSTグラップリングトーナメントで本領発揮全開に期待。若林選手との一回戦楽しみであるが、できれば一回戦は挑発してきた松本選手との対決にして欲しかったかな。トーナメント残りのひとりは誰なのかしら？　戸井田かバレットか門脇なら最高なんだけど。これに欲いえば無理だけど植松&ルミナ。この日は、近くでプロ柔術（福住vs大賀戦見てえ）もあるし、休日のお台場にカリフラワーがいっぱいだ。

大阪の『プライド』より見たいと思わせた今回の『武士道』。見終って残ったのは、岡見のパウンドはあいかわらず凄い！　ミルコすてき！　山本の嫌なんだけど不思議な魅力！　と山本について考えてしまう。山本は不思議だ。スイカに塩かけるように、カレーにソースかけるように、観客にミルコの勝利を味わい深く食べさしてくれた。もしあれで勝ってしまったら、物凄い量の塩かけたスイカ食うように、ルーより多くソースかけたカレー食うように、みんなとても困るけど。

K-1MAXにKID出場はおどろき。初戦で村浜戦ではキツいけど、どうなるのかな。試合も興味深いが、乱闘になったらどうするTBS？　リアルバージョンのガチンコファイトクラブ放送できるのか。

・BJペン凄い！　どうして一階級上でそれも相手はマット・ヒューズで、あんな圧勝してしまうのか!?　って映像見てなくて雑誌で見ただけなんだけどね。

Hanakuma Yuusaku
3・7、ZSTのジェネシスに出る予定。

●本誌NO.70での『紙プロ』大賞にて、花くま先生のMVPが編集部の不手際で抜け落ちてしまいました。花くま先生が2003年MVPに選んだのは近藤有己選手です。お詫びし訂正いたします。

男道コーチ屋稼業 掟ポルシェ（ロマンポルシェ。）の 業☆勝ちます

【プライド・ラーメン道】の巻

『プライド武士道』を観に行った。会場の横浜アリーナはほぼ満杯であったが、1万4千人も客が集まっているのだから、中には『プライド・ラーメン道』と勘違いして足を運んだ人も2～3割はいたんじゃないかなぁと思う。それもそのはず、新横浜には『ラーメン博物館』という日本中のラーメンの名店が一堂に会したテーマパークがあり、あの『ガチンコ・ラーメン道』で一世を風靡した、訳の分からないことしか言わない三白眼の親父・佐野実の店『支那そばや』が出店しているのだ。土日祝祭日には、佐野が決してまずいと言わせない強迫観念ありすぎのギラギラした眼差しで作ったラーメン一杯を食べるのに、2時間待ちもザラという盛況ぶり。シャカリキに歩けば横浜アリーナから徒歩3分程度の距離にあるだけに、あまりに行列が長すぎて横アリの『プライド』の当日券購入の列とゴッチャになってしまった可能性は拭えない。「ラーメン一杯6千円～？ おい、『スタンドA席』ってなんだ？ フランス料理店でランチが食べられる値段を払ってそれでも立ち食い？ いや、さすがは佐野……ラーメンにかけるプライドの高さが値段に表れている！ 専用入場ゲートとグッズが付いたVIP席なら5万円？ 支那そばやの暖簾（＝入場ゲート）と「帰っていいよ！」と豪快な筆文字で書かれた佐野特製携帯ストラップが付いて5万円ってことか!? そんなら断然お得じゃん！」と、親子4人分のチケット代を払ったお父さんも多かったかもしれない。確かにたった5万円×親子4人分＝20万円の上納金を払えば明日からでもあの名店・支那そばやが経営できるのだと思えば決して高くはない金額。まぁ、実際には「男の中の男」と書き殴られた謎なTシャツとかがもらえたりするだけだとは思うが、「これが支那そばやの店員のコスチュームだ」と言われればなんかそんな気もしてくるから不思議。

ラーメンを食うのにこんな広いスタジアムで？ ……いや、これもラーメンという大衆食のステータスを上げるために闘い続ける男・佐野がとったひとつの作戦なのではないか、そうだ、きっとそうに決まっている、と思うことでこの異様な光景になんとか自分なりに落とし前を付けようとする横アリに集まった2～3割の客。まぁ、店内（横アリ）にすぐに入れて意外にアッサリと席に座れたのでそれだけでも良しだろう。しかしラーメン博物館（と思われている）がホントは横アリ）の中央にはリングが設置してあり、気が付けばいつの間にか挑戦試合の今村雄介vsチエ・ム・べが始まり、ラーメンと格闘技のコラボレーションというアバンギャルドな演出を見せられ、思いっきり当惑することとなる。

「ラーメン一杯食わせるのに切った張ったの殺し合いが前座としてくっついているとは……ラーメンにかける佐野の情熱、ハンパじゃない！」と、大いに感銘を受けているであろう2～3割の客。続く雪景色の中での荘厳な和太鼓の演奏で更に支那そばやへの幻想は過剰に高まっていく。そして遂に『プライド武士道』という文字がスクリーンにデカデカと映し出されるのを見せられることになる。

「ラーメンとは、死ぬことと見つけたり！ か……。プライドの高い佐野さんらしいラーメン哲学だ。一杯のラーメンにかける意気込み、気合い、そして間合いはまさに武士が刀を抜くそれに同じ！ 刀のかわりに己のラーメンで客の舌と真剣勝負……これぞラーメン武士道也！」と、なんとなく納得させられてしまうのは、5万円という法外なラーメン代金が、これからメインで出て来るであろう支那そばやのラーメンの味に対する幻想を引き起こし、幸福なる一致を見せたからという他はない。いい加減気付けよとは思うが、5万円の力はそれだけ偉大なのでしょうがない。

しかし第4試合後の休憩時間ぐらいになると、なんか判定だらけのいなたい試合ばかり見せられて、一向にアツアツのラーメンが出てくる気配がないことにさすがに客もシビレを切らしてくるだろう。空腹に耐えかねた子供がビービー泣いているにもかかわらず、元相撲取りが髷を切って今後このリングに上がることを呑気に挨拶。支那そばやはラーメンだけでなく、フランチャイズ方式のちゃんこ鍋チェーンにも手を出そうというのか？ 空腹も相まって次第に佐野の真意がわからなくなってくる横アリの2～3割の客。ここまで来るとさすがに気付きそうなものだが、これだけ引っ張られたら一口も食わずに帰れるか！ と思うのが人情というもの。

メインでシウバが勝ち名乗りを受けた後、さぁ、遂に真打ち佐野の登場！ やっとのことで支那そばやのラーメンにありつける！ と思いきや、当然のことながらラーメンも佐野も出てこないし、弟子の今泉もTOKIOの国分太一すらも出てこない。7～8割の『プライド』観戦客がゾロゾロ帰り出すのを見て、彼等はようやく状況が飲み込めたはずだ。

「佐野はやっぱりラーメン・アーティストなんだ。常連客がみんな食わずに帰ったってことは、今日は『スープの出来が悪かったから納得いかないのでラーメン販売は無し』ってことだろうな……」と。

せっかく久々に『プライド』を生観戦したのに、なんでラーメン博物館の行列と『プライド武士道』当日券購入の行列を間違えるという絶対にありえないことで引っぱったかというと、俺の席の一個前にエンセンが座っているのが気になって、試合内容をほとんど覚えていないから。元修斗勢の試合ぶりについて迂闊なことを（独り言レベルでも）言えませんでした……。すげえ首が太くて依然として殺傷能力溢れてたなぁ……。

Okite Porushe

おきて・ぽるしぇ■『武士道』の休憩時間にスタッフパスを首からぶら下げた、選手よりもガタイのいい背広姿十坊主頭の白人バウンサーに握手を求められ、それも焦った。何事か英語でしゃべっていたが、俺そんな知り合いいたかなぁ……。それとも誰かと俺を間違えてんのか？ 武田鉄矢？ リッキーフジ？ 松浪健四郎？ 「キンパチセンセー、ミテタヨー」ってこと？

原タコヤキ君の大阪プロレスファン通信

ナニワの中のナニワな人たちがお送りするダイナマイトな関西コラム

まいど！ 今回はまさにもっと大阪を面白くすべく、全身全霊&人生賭けて、でもニコニコしながら頑張ってる素敵なアニィにご登場願います！ それにしても、やはりビジネスって人脈だなあとつくづく思う今日この頃。人との出会いは面倒臭くても大切にしましょう！ ほな行くで〜

★

——今回は編集部からのご紹介ということなんですけど、『紙プロ』に出入りしてはるのですか？

KE-IGO 吉田豪さんに山口（編集長）さんを紹介して頂いてから、よく行かせてもらっています。いい人ばっかりで、ついつい長居してしまいますね。

——いい人かどうかはわかりませんが、頭のおかしい人間が揃っていることは保証いたします（笑）。

KE-IGO 僕、頭のおかしい人好きなんですよ。自分もおかしいから（笑）。

——いやいや、何をおっしゃいますやら（笑）。KE-IGOさんといえば、スターリン、スタークラブ、そして現在コブラでドラムを叩いているという、華々しい経歴の持ち主なんですけど、格闘技との出会いはなんだったんですか？

KE-IGO 小さい頃はプロレスが好きで、猪木さんとかストロング小林さんの試合をよく観てましたね。で、ひょんなことからダイナマイト・キッドと友達になれたんですよ。

——ダイナマイト・キッドと友達！ なんでまた友達になりはったんですか？

KE-IGO いやぁ、かくかくしかじか（笑）。とにかくよく飲んで、よくイタズラしましたよ、キッドとは。

——キッドはカッコよかったですよねぇ。みちのくプロレスの『竹脇』に一度出場したじゃないですか。正直、身体もボロボロだったんですけど、佇まいはホンマ、プロレスラーそのものでしたよ。

KE-IGO そうでしたか。でも僕、全盛期の頃をよく知ってただけに、ちょっとつらくて観に行けなかったんですよ。

——なるほどねぇ。KE-IGOさんはキッド以外でも、とにかく格闘家との交友関係はやたら広いと聞いたんですけど。

KE-IGO 地元大阪では武蔵や後藤（龍治）、（中尾）受太郎なんかの酒乱チーム（笑）。パンクラスのみんなも仲いいですし、リングス時代よくチャンコを食わせてもらった和田さん、金ちゃん、横井や滑川にTK。他にも高山、加藤（清尚）、小林（聡）、ジョシュ……言いきれません。とにかくみんなホンマにおもろい。楽しいですよ。特に古い付き合いの美濃輪には無茶させてばかりでしたね。コロシアム2000って実は美濃輪vsヤマケンが内定してたんですよ。ところが僕が試合直前にライブに呼んで汗だくなってるところにガンガン飲ませたもんで、熱出して扁桃腺腫らしてしもて……。

——ほんで流れてしもたんですか？

KE-IGO ドクターストップです（笑）。さすがに僕もビビリましたが「大丈夫です！ また必ずチャンスはありますから！」なんて言ってました（笑）。

——やっぱりいいなあ、美濃輪選手（笑）。

KE-IGO 親しいというか、三島☆ド根性ノ助とはこのキングコブラ（ライブハウス）を共同経営してるんですよ。最近では三島選手と親しいとか。

——あ、ここは三島選手と共同経営してはるんですか!? 彼は経営者にはほど遠い気もするんですけど（笑）。

KE-IGO なんの欲もありませんからね。あ、食欲だけですわ。以前、ミッシェル・ガン・エレファントのライブに連れて行ったんですよ。それで一緒にライブを観てたら、いつの間にかアイツいなくなってて。ほんで探してみたら、なんとミッシェルの楽屋でケータリングをむさぼり食っていたらしくて（笑）。

——わははは！

KE-IGO 関係者に「お前、勝手になにやってんだ！ 出て行け！」って怒鳴られたらしいんですよ。ほんならアイツ、「このチキン、食べてからでいいですか？」って答えたらしくて（笑）。

——豪快ですねぇ（笑）。

KE-IGO 本人は自分でプロレスラーだと思っているようですね。とにかく身体を作って鏡で見るのが好きなんですわ。

——節制しているようには見えないですけどね。

KE-IGO あ、全然してないですね（笑）。コーラをガンガン飲んで、甘いモン食って。プロテインとか、いろんな人にもらってるみたいですけど、全部後輩にあげてますね。

——自然児なんですねえ。では最後にKE-IGOさんの夢は？

KE-IGO なんか最近、大阪がおもろないんですよ。でも、そんな愚痴言うててもしょうがないんで、ほんなら自分らが最高に楽しい場所を作ったらええねんということで、このキングコブラを始めたんですよ。ここでは僕もステージに立つけど、若い子らのプロデュースもやりたいし、一緒に熱くなれることやっていきたいんですわ。それはド根性ノ助も一緒です。アイツ、ステージで「山口百恵歌いたい」とか言うてるんで、また聴きに来てやってください（笑）。

——いやあ、最高ですよ、KE-IGOさん。今後ともよろしくお願いします！

『キングコブラ』の共同経営者・三島☆ド根性ノ助自ら建築中！ 正真正銘、手作りなのだ

▶キングコブラ　大阪は心斎橋のアメリカ村に位置するここキングコブラは、大阪人なら誰でも知ってる三角公園の真ん前にあるので絶対に見つかります。ちなみにこちらは看板娘のKiKiちゃんです！
〒542-0086　大阪市中央区西心斎橋2-18-7-3F『KING COBRA』TEL&FAX06-6211-2875 http://king-cobra.net/ もしくはhttp://subscabs.net

6th. GUEST

■KE-IGO（けいご）
スターリン、スタークラブ、コブラという華々しいバンド遍歴を持つ超絶ドラマー。高校の頃、極真空手でならした腕っぷしはいまだに健在（らしい）。順調にケンカの強い人と友達になれて嬉しい限りだ。

タコヤキ日記

1.18 sun 全日本プロレス府立体育館へ。またまた同じことを書きますが、会場が寒いと集中して試合が観られません。暖房費もバカにならないのは十分わかっているんですが、どないかならないでしょうか。

1.31 sat アレクサンダーさん、プライド参戦のため来阪。付き人の大場くんと一緒にお食事。前回この欄でご紹介した萩屋本場所に行ってきました。アレクも絶賛の美味でした！

2.1 sun プライド大阪城ホールへ。……もともとミルコ対ヒョードルやったんちゃうんかいな。プライドには物凄く期待してるんで、大阪も大事にしてほしいな〜と思いました。

2.2 mon 金玉腫らしたアレクさんが我が家へ。試合の翌日だというのに、ご飯まで作ってくれました。また来てね。

2.6 fri ノブくんの粋な計らいで、WWE大阪城ホールへ。それにしてもストーン・コールドのビールを飲むシーン（でいいのか？）ってカッコよろしいなあ。下戸の僕も、この時ばかりはビールを飲めるようになりたいと思いましたよ。

2.14 sat K-1関係者のご尽力により、僕の番組にボブ・サップ&曙が出演してくれることに。急遽沖縄に飛んでロケさせていただきました。番組名は『我が家の鍋自慢！（仮）』で3／13（土）の15：55〜の予定です。関西テレビのみですが観てやってください。それにしても横綱には、いろんな意味でかわいがってもらいました。あの前田日明デコピン事件が脳裏をかすめるほどに……。これ以上は悲しくて書けません。もう33やで、僕。

原タコヤキ君　ちっちゃい頃の『紙プロ』編集者。前田日明デコピン事件やダミー編集長就任が有名（？）。現在は地元大阪でテレビの制作会社に勤務。最近一番嬉しかったのは井上きびだんご君（Tシャツアーティスト）が車の免許を取ったこと。

“歌うシュート活字王”狂気の連載!!

タダシ☆タナカの『シュート活字劇場』

マット界舞台裏の裏（ウラ）

第7回

踏み絵を迫られたプロレス村とWWE RAWツアー

株式公開企業になってからのWWE 4度目の日本ツアーは、フジテレビで放送中の『スマックダウン』ではなくRAWチームの来襲。2・7さいたまスーパーアリーナにつめかけた満員の観客は、4時間10分に及んだアメプロの真髄を堪能した。

WWE〝ROAD TO WRESTLEMANIA〟と題されたハウスショーには、〝ストーンコールド〟スティーヴ・オースティンが急遽参加してくれた。昨年のレッスルマニア以来試合はやらないが、ビール乾杯儀式を言葉の障害なしに30分間。それはライブ・エンタテインメント出演のスポーツ芸人による、練り上げられたひとつの芸の頂点を目撃した思いであった。ツアー前2日のリアクションを踏まえて、スキッド参加者のタイミングを筆頭に、パーフェクトを目指したセグメントとなっている。

最終日なので時間の制約がゆるかったのか、この日のパフォーマーたちは耳をそばだててJAPANの反応を確かめながら、フィニッシュを急がされることなくすべてを試してみていた。

ハイライトは引退生活から戻ってきた伝説のショーストッパー、ショーン・マイケルズのメイン登場だ。WWEが90年代に飛躍する契機となったのが、低迷期を支えた愛称HBK（ハート・ブレイク・キッド）の質の高いレスリングだった。

ステロイド騒動などで同団体が世間側のメディアで叩かれ、消去法で小柄なブレット・ハートとこのショーン・マイケルズにチャンスがめぐってきた。RAWの生中継スタイルは93年にマンハッタンで月曜夜の収録が始まっている。あれから十年たって、会場音楽はガンズ&ローゼスのWELCOME TO THE JUNGLEから始まり、03年サマースラム大会の復帰戦以来、名勝負連発のマイケルズのお仕事がトリだった。僚友で弟子だったエースHHHと、古典的なアメプロ様式美を関東のファンに魅せてくれている。

じっくりと三夜連続の世界王座防衛を果たしたHHHは、AWAやNWA世界王者の正当な系譜であることを認めさせている。マクマーン一家の後継者はWWE本社ビルのあるコネティカット州出身の青年で、のちに新日本プロレスで暴れることになるチャイナ（ジョーニー・ローラー）と私生活でカップルだったが、年末に令嬢ステファニーと正式に結婚したばかりだ。

現役続行中であるらしいリック・フレアーは、中年のケツですら見世物に出来る術をWARのツアーに参加した十年前から知りつくしていた。本大会が完全放送されそうにないので、この尻出し芸スポットのステップの全容をかみしめるように記憶に焼き付けていた私は、昭和のプロレスファンである。

同じ54歳の天龍とフレアーは、今日も水平チョップを打ち続け、ゴングが鳴ってからも20分以上の肉体仕事が披露できるマット界の人間国宝だ。野球でもクレメンスが引退を撤回、アストロズと1年契約している。見納めにならないうちに〝金髪の貴公子〟は会場に見に行ったほうがよい。本編だけで10時間以上の3枚組DVD『ULTIMARE Ric Flair』も必見だ。33ドルの店頭実売価格で米国のビデオ屋の店頭に置かれている。フレアーはプロレスの生ける神となった。

北米はプロレス規模の桁が違ってしまったことに変わらない。日本は慣習を打破できなくて、最強論を欲しいままにした80年代からあっというまの転落だ。

さいたまは、入場券だけで2億円の売り上げだったという。女子試合ではアクシデント発生という設定で観客と現場監督フィット・フィンレーが知恵比べ。プロレス頭が試されていた。

新日本プロレス道場出身クリス・ベノワと〝メタル歌手〟クリス・ジェリコのカナダ師弟対決は、世界で最初に彼らを発見した日本のファンに捧げられた22分間となっている。1・25『ロイヤルランブル』でベノワが優勝、48万5千件のPPV購入があった。02年新春の記録となった67万件からは下降線であるが、専門誌に「アメプロは不振」と書かれるイメージとは違う。『EZTV!』でも年商420億円のマクマーン一家の成功が紹介されていた。

リングサイドのKONISHIKIと武蔵丸は、ストコンのビール祝杯の仲間となった。「月曜生TV戦争」をWCWから仕掛けて競合による黄金時代を謳歌したものの、やがてマンネリから番組どころか団体さえ失ってしまったエリック・ビショッフが、今大会では単なる一役者としてピエロを演じている。

NWAタイトルの名場面をちりばめたベルト防衛戦は26分15秒クリーン決着。それは〝覇者の証明〟展覧会であった。四の字固めなどでフレアーら先人たちに敬意を表したのはマイケルズの独壇場だ。乱入による不透明決着でも、格闘技の消化不良の判定勝利でもない。PRIDEの会場としても定着しているさいたまスーパーアリーナで「プロレスの教科書」は見つかった。作者は現在WWEを仕切っているHHHである。3・14『レッスルマニア20』は、HHH、HBK、ベノワのトリプルスレッド戦となった。

活字プロレスは昨年夏の三度目の来襲成功時点で、新春の東京ドーム進出を書きたてていた。RAWとスマックダウンの合同興行＝『ロイヤルランブル』などのPPV大会を東京から発信するなら、確かに集客は可能だろう。しかし、フジで放送するスマックダウンではなく、お茶の間にはなじみのないRAWで順番を守ったところに、長期で日本市場を考えている賢くなったWWEが見え隠れする。全日本プロレスやSWS（メガネスーパー）との共催で東京ドームを使った過去はあるが、これが継続にならなかったのは、お祭り興行では一回で終わってしまうこと。定期的に手堅く日本ツアーで利益を出して行くほうが賢明だ。

黒船の開国要求は、日本の団体との提携なしにいよいよ本丸に切り込んできた。それを親分ビンスが挨拶に来ないことに絡めてプロレス村が歓迎しなかった。今回も必要以上に広島や大阪の客入りを悪意で報道していた感があった。しかし満足度は、オタク優先で一見さんが行きにくい日本の団体のものとはまったく違っていたのだ。

PPV特番大会よりも、プロレスのレベルはさいたまのハウスショーのほうが高かった。ちゃんとWWEの有料番組を見ているマニアがみても、手抜きどころか特典ボーナス・アクション付だったのである。

ザ・検証

「サル～ン」ショックで、すっかり落ち込んでるコラム担当のチョロです。と言っても、ピンピネーラとのキスで落ち込んでるわけじゃない。オカマとかニューハーフは嫌いじゃないし。じゃあ何が原因かというと、その時の飲食費。なんでか3万近くいっちゃって精算してもらえるかが悩みの種。貧乏中出し！（意味なし）。

【今月の検証　椎名基樹】猪木の"道"は誰の作品か？

『PRIDE27』、『PRIDE武士道』と「外人強いな」「ミルコ、強いな」という大会であった。

『PRIDE27』のミルコの闘いぶりは、実況の三宅アナが言ったように「ミルコがアマレスベースのテイクダウンが得意なタイプ（アメリカ形バーリトゥーダー）に弱点を見せた」わけではなく、あのタイプにも充分対応できることを証明し、ミルコにとっては、実戦で最高の訓練ができた、というところだろう。

『武士道』は、外国人レベルと日本人の差を痛感する大会であった。技術的、体力的、様々な部分でレベルの違いはあるだろうが、特に、パウンドに差があるように見えた。裏切りの王者、我らがエメリヤーエンコ・ヒョードルの最大の武器は、猪木・アリ状態の上から、ガードの股の間に飛び込んでの、右ストレートだと思う。パウンド王者が、今『PRIDE』のヘビー&ミドルの二つの頂点に輝いている。

『武士道』で五味選手が、シュート・ボクセの選手に、マウントからのパウンドでTKO勝ちしたが、さして大きなダメージを負っていない相手選手は、試合後悔しさで泣きじゃくっていた。蹴りを加えた、パウンドで相手をノシてしまう闘いを信条とする、シュート・ボクセの選手が、あれくらいで止められたら、悔しがるのも無理ないかな?と思えた。きっと、練習ではもっと激しくやっていたりするだろう。

日本のジムでは、どのくらいパウンドの練習をし、シウバ型の選手を育てているのだろう?『武士道』で、日本人と外国人のパウンドの迫力の差を痛感し、そう思った。で、ここはいっちょ、『紙プロ』でもお馴染み格闘結社田中塾・塾長タナケンこと、田中健一先生をトレーナーに迎え、日本の有望な選手をコーチしてもらったらどうだろう。何せ田中先生は、J-スポーツの番組で、6年前からシウバ型選手全盛を見通していたと豪語し、その信念で選手を育て、今や修斗で旋風を巻き起こしてるのだ。さすがタナケン、カッコいいぞ！

と、『PRIDE』放談はこれくらいにし、今回は久々に「ザ・検証」のタイトル通りのことを書いてみたいと思う。今回のテーマは「猪木の詩"道"は誰の作品か？」である。なぜ今、猪木の詩について書くのかと思う人もいるだろう。猪木の詩の出典には前から疑問に思うところがあったのだが、最近再びそのことを考えさせたのは、『船木誠勝の真実』、いわゆる船木本であった。その本によると、89年に第1次UWFが船木を新日から引き抜く際、3日間12時間の話し合いがもたれたという。その時に記述に左の部分がある。

> そういえば3日目の話し合いの時に猪木さんが例の「この道をいけばどうなるものか……」で始まる「道」という詩を見せてくれた。猪木さんからあの詩を見せてもらったのは、たぶん俺が第一号だと思う。ただ、その詩を読んだら「迷わず行けよ」とか「行けばわかるさ」とか書いてあって、「じゃあ俺はUWFに行くしかないじゃないか」と思ったものだ。

最後の一節には思わず、爆笑してしまったが、船木の言うとおり、これは現在のところ確認できる、プロレス史（だれか山川出版みたいなプロレス史の教科書作って！）に登場する最初の「道」であることは間違いない。しかし、聞き込みを続ければ、もっとベテランの他の新日の選手が、気持ちよくなった猪木から聞かされている可能性は高いと思われる。

この猪木の「道」であるが、ご存じのとおり、一休禅師の作だと報道され、猪木もそう公言している。しかし、その出典をあらわした記述はお目にかかったことがない。これほど一般に浸透し話題になった詩なのにである。さらに、一休禅師の言葉だと確認できない、という話も聞く。ならば、誰の詩なのだろう？

ここで大胆な推理をしてみたい、ズバリ猪木の「道」の出典はアニメの一休さんなのではないだろうか？アニメ一休さんは、75年の10月から82年の6月にかけて、テレビ朝日系で放送されたそうである。一休さんが大好きであった、もしくは、たまたま猪木が見た、アニメ一休さんの放送にこの詩が出ていたのではないか？　筆者はそう考えるのである。89年の船木の記述とはだいぶ時間差があるが、一休さんは何度も再放送されていたと記憶するので、猪木がどこかのタイミングで、アニメ一休さんで「道」にでくわし、ピーンときちゃったのではないか？　350本くらいになるだろう、アニメ一休さんの中にあの「道」があるのではないだろうか？

「道」と言えばロス道場の壁にも、でっかく書かれてたなぁと思って探してみたら乱闘中でした

一休さんの詩といえば、「元旦は冥土の旅の一里塚、めでたくもあり、めでたくもなし」というのが有名だ。アニメでは、イクサがあるというのにもかかわらず、正月だといって浮かれる京の人々に憤慨した一休さんが、髑髏（しゃれこうべ）を棒に刺しそれを持って京の町を練り歩きながら、前記の詩を詠むと、「縁起でもねえ！」と怒った町人から石をぶつけられ流血するという、悶絶シーンがトラウマのように忘れられない。

しかし、このどこか「道」と感触を同じとする「元旦は冥土の旅の一里塚、めでたくもあり、めでたくもなし」という詩は、まるであたかも、暴動、カオス、間抜けが噴出した、大晦日の『猪木祭り』のことを歌っているようにも聞こえる。しかし、それは勿論、ただそー聞こえるというだけである。

【今月の検証　せき詩郎】中西がタクシーで向かった先はどこか?

ヒマラヤに住むと言われている雪男。イエティ、もしくはミティなどとも呼ばれているこの生物は、背が高く、全身が長い毛に覆われ、直立二本歩行する。1889年にイギリスのウォーデル大佐がシッキムの峠で雪男のものらしき足跡を発見したのを皮切りに、数多くの目撃例がある。

しかし決定的な証拠はなく、また誤認や島田洋七並みの虚言も数多く存在するため、その真偽は定かではない。だが可能性は決してゼロとは言えず、現在もなお多くの人々がその存在を調査中だ。

実際のところ雪男の正体はヒグマ説、オランウータン説、ギガントロピテクス説、中身は佐山サトル説（三沢の時もあった）などなど数多くの説が飛び交っているが、中でも特筆すべきは藤波説であろう。

昭和58年冬、厳寒の札幌で行われた藤波対長州のWWFインターヘビー級選手権試合。ファンは二人の名勝負を期待していたが、リングに向かう長州を藤原喜明が襲撃。不意を突かれた長州は大流血、試合不可能との判断から試合は不成立という結果になってしまう。

試合を壊された形となった藤波は、これに激怒。裸のまま会場の外へと飛び出した。

「こんな会社、明日にでもやめてやる!」

そう叫びながら、藤波は雪の中に消えた……。

この時の藤波の姿を見た人が、雪男と見間違ったという説が一番有力である。雪の中を裸で歩く人などなかなかいない。雪男だと思ってしまうのも当然だったのかもしれない。

また、この日、血だらけになった長州だが、彼もまた伝説の生物と見間違われたことがある。サイパン合宿で泳ぐ長州の姿を見た外国の船員が、人魚と見間違えたのだ。つまり人魚の正体は長州力。ということは、ディズニーシーでは長州のパレードが行われていることになる。

『長州の海の仲間たちと人間のお友だちを乗せた船が華やかに水上をパレード』していることになるのだ。まったく見間違えというのは怖いものだ。

もしも友達と見間違って、後ろから「よっ、元気か!」と馴れ馴れしく頭を叩いたら、それは友達ではなくミルコだったら!?「中間で俺よりいい点数取りやがって、コノヤロー!」と笑いながら乱暴にヘッドロックをかけ、グイグイ絞めながら顔を見たら、それは友達ではなくミルコだったら!?「自分だけ推薦入学を決めて、羨ましいぞ!」と後ろからズボンを下げるイタズラをしたら、それがミルコだったら!? クロアチア国旗柄のトランクス姿でミルコが怒りでわなわなと震えていたら!? ミルコが大好きなドロップと見間違えて、おはじきを口に入れてしまったら!? 少年隊のヒガシがミツコとミルコを間違えたら!?「ミルコって誰よ!? もーしらない!」とミツコが拗ねたら!? ほっぺたを膨らませて口を尖らせ「プンプン」と擬音をわざわざ口にしながらミツコが怒ったら!? ヒガシがプレゼントで機嫌を取ろうとするものの、「そんなんじゃ、騙されないぞっ」とまだ怒りながらも心の中では「もう許しちゃおうかな」と思い、「じゃあ、キスしてくれたら許してあげる」と無理難題をミツコが突きつけたら!?「えっ、ここ（ユニクロ）で!?」とヒガシが慌てたら!?

いやはや考えただけで恐ろしい。冷たい汗が体をつたっていくのを感じることだろう。

だが今年2月1日、またしても見間違いを引き起こすような事件が起こってしまった。もちろん場所はお馴染みの雪の札幌。道立総合体育センターで行われた新日の興行で、アメリカン・ドラゴンがいつになく大張り切り! じゃなくて、中西がパートナーである永田をダウンさせ、そのままの姿で会場から雪の中へと飛び出したのだ!

これがまたしても雪男伝説に新たな1ページを加えたはずだ。中西といえばたしか「野人」だかと呼ばれている。野人が裸で雪の中を歩いているのだから、雪男と見間違われても不思議ではない。むしろ見間違えないほうがおかしい。突然の雪男の出現に、その姿を見た近隣住民はさぞかし驚いたことだろう。

いや、もっと驚いたのは、中西が裸で乗り込んできたタクシーの運転手かもしれない。いきなり裸の大男が乗り込んできたのだから。裸のチョチョリーナが乗り込んできたならば、驚きと同時に多少嬉しさもあるだろうが、中西だと驚きのみだ。

やがてタクシーは動き出し、夜の暗闇へと消えた……。

本隊を離れる決断をした中西の向かうところはどこなのだろうか?

本隊を潰すための対抗勢力を作るのか、それともたった一人で新日に立ち向かっていくのか、もしくは中西の視線の先にあるのは新日ではなく他団体なのか、ただの気の迷いなのか、遅すぎる反抗期なのか、自分探しの旅なのか、誰かの気をひきたいだけなのか。はたまたタクシーの座席の前にある『レーザー治療で視力回復』の広告を見て興味を持ち、その病院へ向かっているのか。

その答えはタクシー運転手しか知らない……。

そういうわけで、今回の検証は、中西がタクシーで向かった先はどこなのかを考えてみたい。

札幌には多くの観光スポットが存在する。その中でも、試合を投げ出して裸のままでも今すぐ行きたくなっちゃう所をピックアップしてみました。札幌に卒業旅行を計画している人たちは、中西が裸のまま行ったかもしれない場所を巡ってみるのはいかがかな? きっと素敵な思い出になるはず!

北海道庁旧本庁舎

明治2年に北海道開拓使の設置に伴い政治の中枢として建てられた。しかしその後、焼失し、現在残っているのは明治21年に建築されたもの。ネオ・バロック様式で造られたレンガ造りが伝える歴史とその美しさに、訪れる人も多い場所だ。裸のままでも是非行きたいスポットだよね。

羊ケ丘展望台

札幌の南東部に位置する人気のスポット。緩やかな丘の斜面には羊たちが、そしてその向こうには札幌の街並が広がる。夜は夜景も楽しめるし、あの有名なクラーク博士の銅像もある。こんなに素敵な場所、中西が着替える暇も惜しんで駆けつけた理由もわかるよね。

時計台

札幌農学校（現北海道大学）の演武場として、明治11年に当時のアメリカ中西部の建築様式であるバルーン構造で建てられた。鐘は学生たちに始業・就業の時間を報せるとともに、札幌市民にも時を伝えていたという。札幌の広く青い空に澄んだ音を響かせる時計台の鐘。中西もそれを聞くために試合を放棄してまで駆けつけたのかも!?

RADICAL CALENDAR

02 February

27 FRI.
ZERO-ONE■東京・東村山スポーツセンター (18:00)
大日本■東京・後楽園ホール (18:30)
LLPW■東京・バトルスフィア東京 (19:00)

28 SAT.
新日本■東京・後楽園ホール (18:30)
NOAH■茨城・水戸市民体育館 (18:00)
闘龍門■千葉・千葉ポートアリーナ サブアリーナ (18:00)
U-FILE8■東京・西調布格闘技アリーナ (19:00)
大日本■茨城・ひたちなか松戸体育館 (18:30)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ (18:00)
K-DOJO■千葉・BlueField (19:00)

29 SUN.
新日本■愛知・名古屋レインボーホール (16:00)
ZERO-ONE■東京・両国国技館 (16:00)
NOAH■茨城・古河市立体育館 (17:00)
みちのく■徳島・アスティとくしま (14:00)
闘龍門■愛知・東海市民体育館 (17:00)
大日本■千葉・BlueField (15:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ (14:00)
DDT■大阪・デルフィンアリーナ (17:30)
WWS■群馬・新田町総合体育館 (18:00)
666■東京・バトルスフィア東京 (17:30)
ターザン後藤一派■埼玉・春日部インディーズアリーナ (14:00)
GAEA■大阪・大阪ドーム スカイホール (15:00)
JDスター■東京・後楽園ホール (18:30)
AtoZ■東京・後楽園ホール (12:00)
ダリアンガールズ■東京・お台場スタジオドリームメーカー (12:00)
ダリアンガールズ■東京・お台場スタジオドリームメーカー (15:00)
パンクラス・ゲート■東京・P's LAB東京 (13:00)
新日本キック■東京・ディファ有明 (16:00)

03 March

1 MON.
WJ■東京・後楽園ホール (18:30)

2 TUE.
AtoZ■福島・郡山総合体育館 (18:30)

3 WED.
NOAH■新潟・上越市厚生南会館 (18:30)

4 THU.
NOAH■福井・福井市体育館 (18:30)
闘龍門■大坂・大阪府立体育会館第2競技場 (18:30)
K-DOJO■千葉・BlueField (19:00)
修斗■東京・北沢タウンホール (18:00)

5 FRI.
新日本■新潟・新潟市体育館 (18:30)
ZERO-ONE■東京・後楽園ホール (18:30)
闘龍門X■東京・ディファ有明 (18:30)
AtoZ■愛知・豊田市体育館 (18:30)

6 SAT.
新日本■神奈川・平塚総合体育館 (18:30)
ZERO-ONE■神奈川・小田原アリーナ サブアリーナ (18:30)
NOAH■東京・日本武道館 (18:00)
みちのく■高知・南国市民体育館 (18:30)
闘龍門■埼玉・越谷桂スタジオ (18:30)
K-DOJO■千葉・BlueField (19:00)
ダリアンガールズ■東京・お台場スタジオドリームメーカー (18:00)

7 SUN.
ハッスル2■神奈川・横浜アリーナ (16:00)
新日本■東京・後楽園ホール (18:30)
みちのく■高知・高知青少年体育館 (15:00)
闘龍門■埼玉・本川越ペペホールアトラス (16:00)
大日本■福島・大熊町第2体育館 (13:00)
K-DOJO■千葉・BlueField (15:00)
WWS■東京・バトルスフィア東京 (13:00)
国際プロレス■神奈川・鶴見青果市場 (14:00)
SPWF■千葉・SPWF道場 (14:00)
東海プロ■愛知・名古屋市総合体育館 第3競技場 (13:15)
全女■東京・全女事務所ガレージ (12:00)
Diamond J■東京・後楽園ホール (12:00)
ZST■東京・お台場スタジオドリームメーカー (16:00)
Girls SHOCKⅣ■東京・竹芝ニューピアホール (14:00)

8 MON.
大日本■神奈川・川崎市体育館 (18:30)

9 TUE.
新日本■群馬・新田町総合体育館エアリスアリーナ (18:30)

10 WED.
新日本■山梨・甲府市総合市民会館 (18:00)
DDT■東京・渋谷club ATOM (19:00)
全女■東京・後楽園ホール (18:30)
AtoZ■福島・福島市国体記念体育館サブアリーナ (18:30)

11 THU.
新日本■埼玉・熊谷市民体育館 (18:30)
K-DOJO■千葉・BlueField (19:00)
PWC■東京・北沢タウンホール (18:45)
AtoZ■岩手・北上市多目的催事場 (18:30)

12 FRI.
新日本■東京・代々木第2体育館 (18:30)
ZERO-ONE■秋田・大館市民体育館 (18:30)
IWA JAPAN■大阪・デルフィンアリーナ (18:30)
AtoZ■青森・むつ市民体育館 (18:30)

13 SAT.
ZERO-ONE■北海道・函館市民体育館 (18:30)
闘龍門■北海道・札幌テイセンホール (18:00)
NOAH■東京・ディファ有明 (18:00)
U-STYLE■大阪・梅田ステラホール (18:00)
IWA JAPAN■岐阜・岐阜商工会議所大ホール (18:30)
K-DOJO■愛知・名古屋ワンダーシティー (18:00)
AtoZ■岩手・岩手県営体育館 (18:30)
ダリアンガールズ■東京・お台場スタジオドリームメーカー (18:00)
全日本キック■東京・後楽園ホール (18:30)

14 SUN.
新日本■京都・京都市体育館 (16:00)
ZERO-ONE■北海道・札幌メディアパーク・スピカ (17:00)
闘龍門■北海道・札幌テイセンホール (15:00)
K-DOJO■大阪・デルフィンアリーナ (18:00)
新宿プロレス■東京・歌舞伎町クラブハイツ (19:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ (13:00)
NEO■神奈川・川崎市体育館 (16:00)
JDスター■大阪・NGKスタジオ (16:00)
K－1■新潟・朱鷺メッセ (15:00)
DEMOLITION■東京・芝浦CLUB CUBE

15 MON.
新日本■広島・広島県立ふくやま産業交流館ビッグローズ (18:30)
ZERO-ONE■北海道・旭川地場産業振興センター (18:30)
IWA JAPAN■千葉・ポートアリーナ サブアリーナ (18:30)

16 TUE.
新日本■広島・大竹市総合体育館 (18:30)
IWA JAPAN■東京・八王子市民会館 (18:30)
NEO■東京・北沢タウンホール (19:00)

17 WED.
ZERO-ONE■福島・ビックパレットふくしま (18:30)
IWA JAPAN■東京・後楽園ホール (18:30)

18 THU.
新日本■滋賀・長浜市民体育館 (18:30)
K-DOJO■千葉・BlueField (19:00)

19 FRI.
新日本■静岡・浜松市体育館 (18:30)
大日本■茨城・北茨城市体育館 (18:30)
冬木軍■東京・後楽園ホール (19:00)

20 SAT.
全日本■東京・後楽園ホール (12:30)
みちのく■岩手・矢巾町総合体育館 (15:00)
闘龍門■新潟・長岡厚生会館 (18:30)
闘龍門X■愛知・名古屋露橋スポーツセンター (17:30)
DDT■東京・六本木ベルファーレ (14:00)
K-DOJO■千葉・BlueField (14:00)
K-DOJO■千葉・BlueField (18:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ (14:00)
リッキー・フジ興行■東京・バトルスフィア東京 (19:15)
GAEA■愛知・昭和スポーツセンター (13:30)
JWP■東京・キネマ倶楽部 (12:30)
NEO■東京・東京キネマ倶楽部 (16:30)
AtoZ■兵庫・高砂市総合体育館 (13:00)
culb DEEP■福岡・パヴェリアホール (14:00)
スマックガール■東京・ゴールドジム サウス東京ANNEX (15:00)
コンバットレスリング■東京・町田市総合体育館 (10:00)

21 SUN.
新日本■兵庫・尼崎市記念公園総合体育館 (16:00)
全日本■京都・KBSホール (17:00)
みちのく■青森・はちのへハイツ (15:00)
闘龍門■静岡・清水マリンビル (17:30)
大日本■大阪・鶴見緑地花博記念公園水の館付属展示場 (15:30)
K-DOJO■千葉・BlueField (15:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ (14:00)
GAEA■東京・後楽園ホール (12:00)
JWP■東京・JWP道場 (15:30)
AtoZ■鳥取・米子コンベンションセンター 多目的ホール (17:00)
女闘美X■東京・バトルスフィア東京 (16:00)
新日本キック■東京・後楽園ホール

22 MON.
AtoZ■山口・下松市民体育館 (18:30)
修斗■東京・後楽園ホール (18:00)

23 TUE.
全日本■富山・富山産業展示館テクノホール (18:30)
みちのく■岩手・大船渡市民体育館 (18:30)
AtoZ■岡山・岡山県卸センターオレンジホール (18:30)

24 WED.
みちのく■秋田・横手平鹿圏民体育館 (18:30)
WJ■愛知・豊橋市総合体育館サブアリーナ (18:30)
AtoZ■愛媛・テクノポート今治 (18:30)

25 THU.
全日本■宮城・気仙沼市総合体育館 (18:30)
みちのく■山形・藤島町民体育館 (18:30)
闘龍門■福島・会津若松鶴ヶ城体育館 (18:30)
K-DOJO■千葉・BlueField (19:00)
AtoZ■広島・広島グリーンアリーナ 小アリーナ (18:30)

26 FRI.
全日本■宮城・多賀城市総合体育館 (18:30)
ZERO-ONE■東京・後楽園ホール (18:30)
みちのく■福島・福島市民体育館 (18:30)
闘龍門■神奈川・横浜赤レンガ倉庫 (18:30)
WJ■群馬・館林市民会館 (18:30)
LLPW■福岡・小倉北体育館 (18:30)

27 SAT.
新日本■新潟・苗場プリンス (18:30)
全日本■宮城・石巻市総合体育館 (18:30)
みちのく■岩手・一関文化センター体育館 (18:30)
闘龍門■長野・長野市運動公演総合体育館 (18:30)
K-DOJO■千葉・BlueField (19:00)
LLPW■宮崎・日南市多目的体育館 (18:30)
K-1■埼玉・さいたまスーパーアリーナ (16:30)

28 SUN.
新日本■東京・両国国技館 (15:00)
ZERO-ONE■静岡・アクトシティ浜松 (17:00)
全日本■千葉・木更津倉形ドーム (16:00)
闘龍門■東京・ディファ有明 (16:00)
大日本■山口・山陽町青年の家 スポーツ協会体育館
LLPW■福岡・大川産業会館 (17:30)
修斗■愛知・名古屋市鶴舞公会堂 (15:00)
JDスター■東京・後楽園ホール (12:00)

29 MON.
LLPW■熊本・興南会館 (18:30)
パンクラス■東京・後楽園ホール (18:30)

30 TUE.
大日本■福岡・博多スターレーン (18:30)
AtoZ■宮城・仙台市体育館サブアリーナ (18:30)

31 WED.
闘龍門■山形・山形市総合スポーツセンター (18:30)
DDT■東京・渋谷club ATOM (19:00)

この男は一体……まさか!?
3・7は大フィーバー!!
Let's Dancing!
ハッスル2

悪魔な姿を独占入手!!

ビビッたか？
たじろいだか!!

髙田モンスター軍』を率いる

総統”真の姿だ!!

『ハッスル2』で全ボウが明らかに
真の狙いは“日本のプロレス・壊滅”か

イラスト独占入手！　ビビッたか？　たじろいだか!?　これが髙田総統〝真の姿〟だ!!

小川の要求に沿うかたちで、〝ハッスル〟の名称をＯＨにアッサリ譲り渡し、それにともない軍団名は『髙田ハッスル軍』から『髙田モンスター軍』へと変更。『ハッスル』のステージでは、自らを〝総統〟と名乗ることを宣言した髙田延彦。『ＰＲＩＤＥ』統括本部長とはまったく別人格の発動であり、その格好もいつもの背広姿とは異なってくる。モンスター軍リーダーとして、それに相応しいコスチュームに身を包むことが、本誌の独自調査で判明した！

鷹に象徴される軍団ロゴも含めてこれらのイメージイラストは、まだ最終形ではないというが、それにしても、どーですかこのビジュアルインパクト!!「……みんな壊してやる!!」と、いまにも殲滅予告しそうな魔人・加藤保憲風衣装や、まさに〝プロレス界のニュータイプ〟と断言できるシャア・アズナブル風。『宇宙戦艦ヤマト』のデスラー総統をイメージしたイラストがあるともいわれるが、ちょっと想像してみてほしい。3月7日横浜アリーナ。愛鳥の鷹を左肩に乗せて、マントをひるがえしながら、ステッキで床をコツコツ叩きつつ、威風堂々行進する総統の姿を!!

総統の手先・島田裕二は2・19後楽園大会で、ＯＨに向かって「髙田総統は完璧な人間です！」と何の疑いもなく誇らしげに語った。一部スポーツ紙はそんな島田氏を〝髙田に洗脳されてしまった〟という見解を示したが、総統の真の姿がここまで圧倒的ならば、洗脳されても何ら不思議ではない。こうして世界中から選りすぐったモンスターたちを自由自在に操っているのだ！

その『髙田モンスター軍』の目的は、総統がよく口にする「世界のプロレス」「井の中の蛙」というフレーズから推理するに、暗く内向的な〝日本のプロレス〟壊滅に違いない。総統の壊滅理由は定かではないが、総統自身にプロレスへの想いがＯＨには伝わらず、想像以上の反発を喰らっている現状がある。ＯＨと解り合い協力してのプロレス復興ができぬならば、〝日本のプロレス〟を滅ぼして、自ら新たな世界を構築しようとしてもおかしくはない。小川vs大森戦を潰してでも、小川に『ハッスル』査定試合を突きつける。まったく手段を選ばないのである。

こうして完全に悪の総統と化したわけだが、ときに悪漢というものは、圧倒的過ぎる個性を発揮することによって、善・悪を超越する存在に昇華することもある。日本マット界史上、例を見ないハイパーキャラが誕生するのは時間の問題とも言えるのだ。

そんな凄玉を向こうに回して、我らが破壊王は「デスラー総統？　そうくるんだったらな、波動砲で迎え撃つからな！」と、気分はすっかり古代進。この発言からも伺えるように、リングがお互いの人間力を試す場所ならば、破壊王もそのハードルを文句なしの飛び越えている。最近の小川の弾けっぷりも目を見張る。3月7日『ハッスル2』決戦は、どちらが凄くて熱くて面白いかを決める問いでもあるのだ。ハッスルするぞ!!

『ＯＨハッスル軍』危うし!!　『髙田
これが“髙田総

構成／ジャン斉藤　designed by hisa (Two Three)

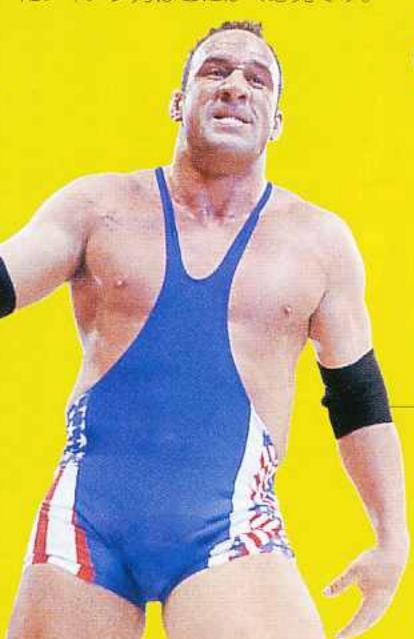
こわ〜い怪物がたくさん

『髙田モンスター軍』

日本のプロレスかい滅をねらう悪ものたちの集団です 世界各地の秘密アジトから、どんどん日本に送りこまれてきます 審判の目をぬすんで凶器攻げきやかみつき攻げき、ときにはおかねで審判を買収したりします

リアル・ドンキーコング

ケビン・ランデルマン

『髙田モンスター軍』の怪物のなかで、プロレスセンスはピカイチです。藤原先生からプロレスを教わったのに、いまでは日本のプロレスかい滅に協力する裏切り者ですが、人間ばなれしたジャンプ力はとにかく必見です。

猛牛男しゃく

ダン・ボビッシュ

マグマ世界の番人をつとめていましたが、休火山となったので『ハッスル』にやってきました。巨体をいかしたド迫力ファイトが信じょうです。

世界のスーパースター

ゴールドバーグ

超人類とよばれるアメリカマットの大物は、『ハッスル1』ではチキンをペロリとたいらげました。じつは審判を利用して、ひきょうな勝ちかたをしていたのですが、反せいする素ぶりはみせません。友だちの永田君がヒョードルにコテンパンに負けたと聞いて、本気に悲しがったりする一面はのぞかせました。

『髙田モンスター軍』リーダー

髙田総統

世界のモンスターたちをあやつる総統です。『PRIDE』という世界では、"本部長"として男たちを統括する正義の顔がありますが、『ハッスル』ではOHに対して極悪のかぎりをつくします。興ふんすると関西弁をしゃべるのが特ちょうです。

究きょくの鉄つい

マーク・コールマン

一晩に何度でもファイトができる豪けつです。腰がはいった投げ技をくらったら、OHといえどもひとたまりもありません。

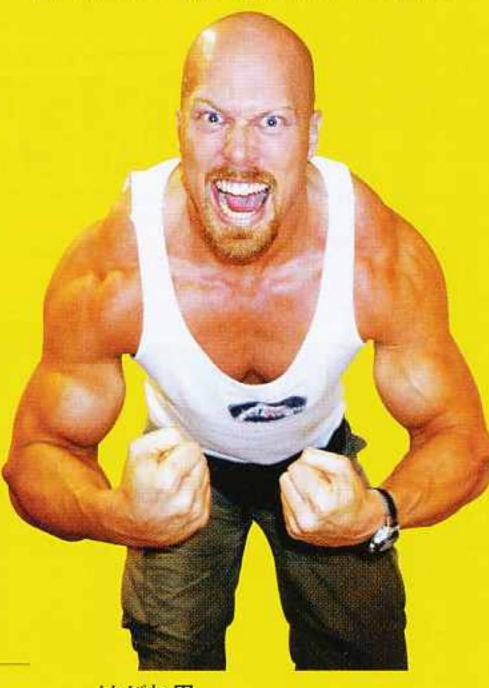
ヤドカリ

島田裕二

ごぞんじ悪の審判です。『髙田モンスター軍』が勝つためなら、タヌキ寝入りだってする小悪党です。"ヤドカリ"のあだ名どおり、いつ裏ぎるかわからないので、『髙田モンスター軍』からも信用されてません。

大男

ジャイアント・シルバ

髙田総統が大晦日の晩に発見した大男は、この巨体でなんと飛ぶことだってできるんです。緊ちょう感のないマヌケな顔立ちは、相手の怒りに火をつけるのにも十分です。

はがね男

ネイサン・ジョーンズ

WWEのツアーがイヤになり、逃げだしてしまったなまけものです。『PRIDE.1』で北尾に負けていますが、その肉体と才能を見込まれ髙田総統にひろわれました。

アルコールが友達

スコット・ホール

お酒の飲みすぎで仲間の悪ものからさえも嫌われる選手だって、『髙田モンスター軍』は大かんげいです。そのむかし、骨法道場に通っていた秘密の過去をもっています。

控室の暴れん坊

ケビン・ナッシュ

毛唐の悪党もやってきそうです。控室での政治力をつかって、イベントに混乱をまねこうとするので、悪もの軍団にはもってこいのレスラーなのです。

5歳(さい)の子(こ)どもでも丸(まる)わかり

『ハッスル』大図鑑

はっするだいずかん

構成／ジャン博士 designed by hisa (Two Three)

暴走王
小川直也

プロレス村からは誤解されていますが、プロレス復興にかける意気ごみはほんものです。髙田総統からは“背ぇ高ノッポのギョロ目”とバカにされていますが、以前も“小心者協会・会長”と散々に言われていました。

破壊王
橋本真也

ZERO-ONEという団体の代表でもあります。最近元気がないですが、底抜けに明るい性格が爆発すれば、あたりはすっかり敵なしです。髙田総統からは“ポーク”とののしられています。

敵は強大、味方はわずか

『OHハッスル軍』

髙田総統の悪企みに気つき、プロレスを守るために立ち上がったOHですが、いかんせん味方は誰ひとりいません。『OHハッスル軍』危うし!! いつの世も正義が勝つとはかぎらないのです。

敵か味方か

あやしい男たち

かれらが『OHハッスル軍』、そして『髙田モンスター軍』のどちらにつくのかは一切わかっておりません。悪の科学者としての立場があったいっぽうで、ヨロイ元帥に復しゅうをちかう『仮面ライダーV3』のライダーマン的存在なのかもしれません。

熱血青年
大谷晋二朗

「炎武連夢」が解散してひとりぼっちでも、プロレスの教科書を読めば元気がわいてへっちゃらです。髙田総統の魔の手からプロレスを守りはしますが、破壊王の命令には従いません。とにかく上の人間が大きらいなのです。

危険なK
川田利明

リングは全日本プロレス、芸能活動は太田プロを主戦場とする三冠王者です。『ハッスル1』では髙田指名試合もこなしてますが、いまのところ立場はハッキリしてません。先日出演したパチンコ番組でフィーバーはできませんしたが、『ハッスル2』では大フィーバーしてくれることでしょう。

吠えるアパッチ
金村キンタロー＆黒田哲広

『ハッスル』を変えるためにインディーの世界から飛んできました。ヤドカリから要求された出場条件も見事にクリアし、さすが芸達者ぶりをみせつけました。どこにもぞくさずハッスルしていく模様です。

小笠原版
ゼブラーマン

『OHハッスル軍』を助けたいのはやまやまなのですが、小笠原先生は自分ことだけで精いっぱいなのです。ゼブラーマンに成りきるために映画を10回以上も見に行ってます。

ぼくらのヤングマン
小島聡＆カズハヤシ

小島はほぼ出場濃厚で、カズハヤシはイケメンチームの一員として、『ハッスル1』に続いての出場となります。2人とも明るく楽しく激しいファイトで女性ファンに大人気ですが、小島は結婚した影響がジワリジワリとでてくることでしょう。

弾丸
田中将斗

ハードコアロードを歩むために、一方的に『炎武連夢』解散を宣言しました。世界のハードコア戦士を迎え撃つことになるので、基本的には『OHハッスル軍』寄りなのはたしかです。

けものの王さま
ザ・プレデター

両国大会で小川とタッグを組むことになりましたが、小川とは仲良しではないので不おんな空気が流れています。仲間われを計算に入れた髙田軍の謀りゃくかもしれません。さてさてどうなることでしょう。

ゼッタイに見逃せない

要注意アイテム

セブラーマンセット

このセットがあれば、誰もがヒーローになれるとは限りません。七難八苦をうち破る根性はもちろん必要ですが、哀川翔アニキからセットを委ねられている破壊王に認められないと、それを借りることはできないのです。

『泣き虫』

髙田総統が“プロレスの秘密”を書いたと、プロレス村では大騒ぎになりました。OHはこの本を踏んだり破ったりケナしたり、髙田総統を挑発するときにたびたび使用します。

『ハッスル』事業主任
笹原圭一

DSE社員で『ハッスル』を宣伝するため日夜がんばってますが、ヤドカリと一緒に登場することが多いので、『OHハッスル軍』からすると信用ならぬ人物です。

ZERO-ONE営業部長
中村祥之

OHvs総統の確しつに頭をかかえることがたびたびですが、じつは舌峰のするどさはマット界でも指おりです。永島専務をこらしめ、島田氏にヤドカリと命名したセンスは、次は誰に向けられるのかたいへん楽しみです。

ダンディなDSE代表
榊原信行

OHと協力して『ハッスル』をスタートさせましたが、“プロレスということで”発言で、いらぬ混乱を招いた張本人でもあります。『PRIDE』と『武士道』は、ジョルジョ・アルマーニとエンポリオ・アルマーニの関係を目指す」と解説し、そんなブランドとは一生無縁のプロレス記者をまどわすこともしばしばあります。

そのほかの秘密情報

まだまだ登場人物は増えていきそうです。ハードコアの神様やルチャドール、レジェンド（not『LEGEND』）からUWF系ファイターまでやってきます。うわさでは、『永島軍』という集団がDSEを乗っ取る動きもあると聞きました。味方はわずかの『OHハッスル軍』に加勢するレスラーはいるのでしょうか？　各自の動きに大注目です。

次のページからは『ハッスル2』までのものがたりです。
しっかりと予習、復習したい場合は『紙プロ』NO.69&70を読みましょう。
『ハッスル』の意外な秘密がたくさん載っています。

2月10日 3・7『ハッスル2』カード発表会見

社員に強制ハッスルポーズ!! ギョロ目、DSE占拠!!

構成／ジャン斉藤　撮影／平工幸雄 designed by hisa（Two Three）

〝背ぇ高ノッポのギョロ目〟（by髙田）が大暴れ！ 強制ハッスル！

3・7『ハッスル2』のカード発表記者会見が2月10日、DSE事務所にて行われた。会見には島田『ハッスル』ディレクター、笹原『ハッスル』事業主任が出席。詳しい発表内容については別ページなどを参照していただきたいが、島田氏が小川の対戦カードを発表した直後、その小川が乱入、やっぱり事件は起こった!! DSEの社員がその晩、枕を涙で濡らした小川のあんまりな仕打ちを徹底誌上再録！ ハッスルハッスル!!（涙）。

島田（以下ヤドカリ） 小川選手と橋本選手のカードを発表させていただきます。小川選手は因縁ができたジャイアント・シルバとの一騎打ちを、『髙田本部長指名試合』として行います。また、1月4日に**ベイダーとしょっぱい試合をした橋本**選手なのですが、まだシングルマッチを行えないんじゃないかという判断をコチラがしまして、タッグマッチになる可能性もありますが、現在、髙田本部長が然るべき相手を選別中であります。以上です。

笹原ハッスル事業主任（以下笹原） では、続きまして、質疑応答に移らせていただきます。

【DSE会議室の入り口が急に騒がしくなり、険しい表情の小川が藤井を連れて登場！】

小川（以下ギョロ目） オイオイ、誰に断ってやってるんだよ、オマエ。ア!?

ヤドカリ （突然の登場に怯えながら）お、小川さん……!!

ギョロ目 （島田氏に詰め寄って）ゴールドバーグとは再戦させてくれるんだろうな？

ヤドカリ お、小川さん、会見中なので……。

ギョロ目 （聞く耳持たずに詰め寄って）いつヤらせてもらえるんだよ！

ヤドカリ いや、ゴールドバーグはですね、髙田本部長もおっしゃってるように、**小川さんと違って世界的なスーパースター。小川さんのような井の中の蛙ではない**ので、今回、ゴールドバーグは不戦勝とさせてもらいます（意味不明な説明をキッパリと）。

ギョロ目 ア？ な、何言ってんだよ。何だ不戦勝って？ 意味わかんねえよ、不戦勝ってなんだオマエ？

ヤドカリ **ゴールドバーグはスーパースターなので不戦勝**とさせていただきます！（再び意味不明な説明）。

ギョロ目 不戦勝だとぉ？（さらにヤドカリに詰め寄って）

ヤドカリ （怯んで）い、いや、その代わりですね、小川さんには前回、因縁があったジャイアント・シルバを用意しましたので。小川さんはゴールドバーグに負けてますので、これをクリアしないことにはゴールドバーグと再戦させません！

ギョロ目 オイオイオイ、負けたってよう、オメエの**インチキなレフェリング**で負けたんじゃねえかよ、バカヤロウオマエ。だいたい何でどこの馬の骨かわからねえ奴とヤんきゃいけねえんだよ。オカシイんじゃねえか!?（島田氏のエリ首を掴んで凄む！）

榊原DSE代表、髙田総統が不在につき、島田氏が我が物顔で全面に立った。緊張感のない島田ボイスで大会概要を記者陣に発表していたが……。

どこで入手したのか、『ハッスル2』会見リリースを片手にいきなり乱入した暴走王!! 島田氏のトンチンカンな対応にブチ切れ！ ちなみに向かって右が笹原『ハッスル』事業主任だ。

ヤドカリ （慌てて）いやいやいや、いやっ！　ほ、本部長に聞いてみないと……！

ギョロ目 （ギョロ目をヒン剥いて）撤回しろコノヤロウ!!

ヤドカリ わかりましたわかりました！　撤回します（アッサリ承諾！）。撤回します撤回します!!　撤回しますから離してください っ!!!!（これでもかとばかりに承諾）。

【小川、島田のエリ首を離す】

ヤドカリ 撤回しますから、暴れるのだけはやめてください（汗）。ジャイアント・シルバは撤回させていただきます！　それは本部長に伝えます。でも、本部長がゴールドバーグ、ジャイアント・シルバ並のすごいモンスターを連れてきます。そのときは絶対に撤回させませんから。

ギョロ目 アン？　何を言ってるんだオマエ。オマエじゃ話なんねえよ。髙田はいんだろ、髙田は？（ギョロ目で会議室を見渡す）

笹原 本部長はいらっしゃらないです。

ギョロ目 榊原（DSE代表）はどこだ、榊原は？

笹原 榊原は……社長室です。

ギョロ目 **なぁ～にが偉そうに社長室だよ！**

ヤドカリ （笹原氏に向かって小声で）ダ、ダメだよ、言っちゃぁ……。

ギョロ目 オイ、榊原（のところ）に連れて行け。連れてけ！（と、言いながら、笹原の首根っこを掴む）

笹原 （飼い主に持ち上げられた猫のようになって）はっ、はい！　ご案内します！　案内します！

ヤドカリ ダメだよ！　社長室に行っちゃダメだよ！　**（とは言うものの、制止もせずに2人を見送る）**

【社長室に入るが榊原代表は不在】

ギョロ目 （社長室をギョロ目で見渡して）アレ？　いねえじゃねえかよ！　逃げやがったアノヤロウ！

笹原 いや、さっきまでいたはずなんですけど……。

ギョロ目 （社長の椅子に座って）え～、せっかくなんで、この場所で改めて言わせてもらいます。イベント名は『ハッスル』でい い。**すごくイイ言葉だと思う。**でも『ハッスル』という言葉に魂を入れたのは俺たちOH（砲）だろ？　髙田の〝ドゥ・ザ・ハッスル〟は魂が入ってない！　俺と破壊王がやってる〝ハッスルハッスル!!〟が魂を入れるポーズなんだよ。だからリング上で全然ハッスルしてない髙田が『ハッスル髙田軍』というのを名乗ってるのはオカシイ。『ハッスル』の名称は今日を持ってOHが頂きます!!　これからは俺たちOHが『ハッスル軍』を名乗ります！

【「ハッスル軍」宣言をした小川は、〝オーちゃんシール〟を社長室にペタペタを張り出す！　**榊原代表の机も勝手に空けて、**そこにもペタペタ貼り付けた！　満足した小川は社長室を後にし、今度は社内を見渡せるDSE専務の椅子に腰を下ろした】

ギョロ目 （社内を見渡して）**諸君、ハッスルして頑張ってるかな？（寅さんが寅屋の裏の印刷所の労働者諸君に呼び掛けるように）。**

【社内無反応】

ギョロ目 なんだよ、ハッスルしてんのか？　オマエ、ハッスル（ポーズ＝脇を締めて、思い切り腰を前後に突き出）してみろ！（笹原氏に向かって）。

笹原 **ワ、ワタシ？……ワタシだけ？（不満げに）。**

ギョロ目 みんなでやれ、みんな！　社員をみんな連れてこい！

笹原 は、はい。

【笹原氏、DSE社員を集める】

ギョロ目 せっかくだから記念撮影だな。よし来い。さ、オマエしてみろ（再び笹原氏にハッスルポーズを命令！）。

笹原 **……ハッスルハッスルゥ（不満げに小声で）。**

ギョロ目 **なんだハッスルしてねえじゃねえか、それ！**　ちゃんとハッスルしろよ。**魂入ってねえよオマエ。**ドゥ・ザ・ハッスルじゃねえぞ！

笹原 **ハッスルハッスルッ!!（友人・知人には見せられないぐらいの腰使いで！）。**

ギョロ目 おーし、次！

社員A ハッスルハッスル～!!

ギョロ目 オマエだ！

社員B ハッスルハッスルッ!!

榊原代表の椅子に座り御満悦の暴走王。後方に見える『武士道』ポスターにも“オーちゃんシール”を貼り付けた（余談だが暴走王は『武士道』の存在を知らなかったそうだ）。専務椅子に座れば過酷な臨店指導、DSE社員にハッスルポーズを強制だ！　入社2日目の女性社員が辞表を提出しなかったことがせめてもの救いである。

ギョロ目 オシ!!

社員C ハッスルハッスルゥ!!

ギョロ目 行け～～～ぇ！

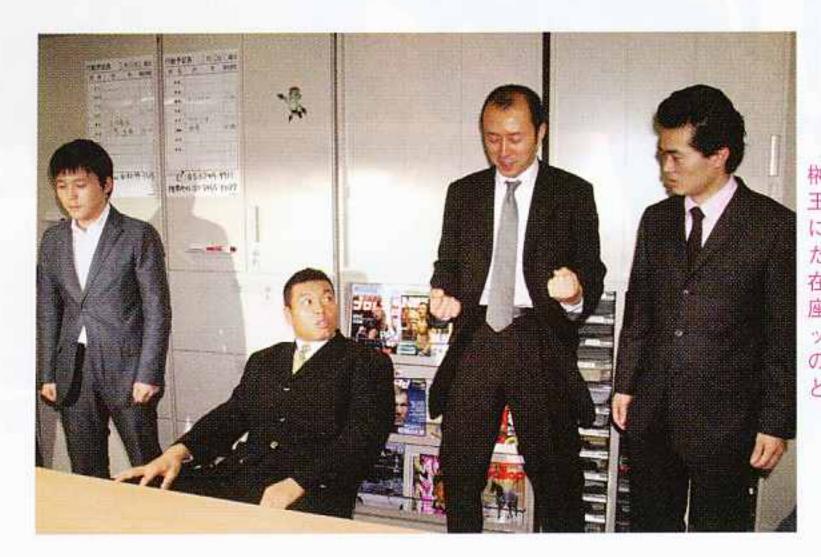
入社2日目の女性社員 **ハッスルハッスル！（DSEに入社したことを後悔するような腰使いで！）。**

ギョロ目 い、いいだろう！　行け！

社員D ハッスルハッスル!!

社員E ハッスルハッスル！

ギョロ目 **オシ！　御苦労！**　みんなで一緒に**記念撮影ハッスル**するから集合だ！　行くゾーーッ！　スリー、ツー、ワン！

ギョロ目&DSE社員 ハッスルハッスル～ッ!!

ギョロ目 **よろしくお願いします！（なぜか報道陣に深々とおじぎして）。**……ところでヤドカリはどこだ？　ヤドカリは？

笹原 まだ会議室にいっらしゃいます。

【**小川が会議室に戻ると、島田氏は部屋中を逃げ回る**】

ギョロ目 ……オイ、オマエをイジメる時間がねえから、ちょっと来い！

【島田氏、渋々ながら小川の元へ】

ギョロ目 いいか、今度ZERO—ONEに来たらただじゃ帰さねぇからなぁ！　髙田に言っとけ！　**いつまでも逃げてねえで2月29日両国、ZERO—ONEファンの前に姿を現せ**ってな。俺がひとりで乗り込んで占拠してやったよ！「男だ！男だ！」って普段言ってるなら、オマエも出て来いよ。いつも言ってんだろ？　**〝出て来いやぁ～～～ッ!!〟って、アホかオマエは！（髙田ばりに仰け反りながら、ひとりボケツッコミ）。**

ヤドカリ **伝えておきます！（忠実な部下のように）。**

ギョロ目 言っておけよオマエ！　わかったな！……（と、事務所をあとにする）。

ヤドカリ **お疲れさまでしたっ!!**……………………帰った？　帰った？

笹原 帰りました。

ヤドカリ **チンピラァ！（吐き捨てるように）。**え～、とんだ珍客が現れましたけど、会見は続きます。

記者 今回の件というのは、今日中に髙田さんに報告されるんですか？

ヤドカリ はい。伝えます。ボクも口にした以上、撤回にさせていただいて、それ以上の相手をぶつけていきたいなと。やり方がね、チンピラだよね。

笹原 そうですね。

ヤドカリ ボクはただのイベントディレクター。脅されたら変えざろうをえないじゃないですか。ゴールドバーグなんてね、**百年早い**ですよ。前回、あんな見事なまでに負けてるのに、ゴールドバーグとやらせろなんて、**ボクから言わせれば100万年ぐらい早い**ですよ。もう次も勝って次も勝って次も勝ってね、10回ぐらい勝たないとね、ゴールドバーグなんかとやらせませんよ（単位がバラバラな論理を力説）。

【笹原&記者陣ノーリアクション】

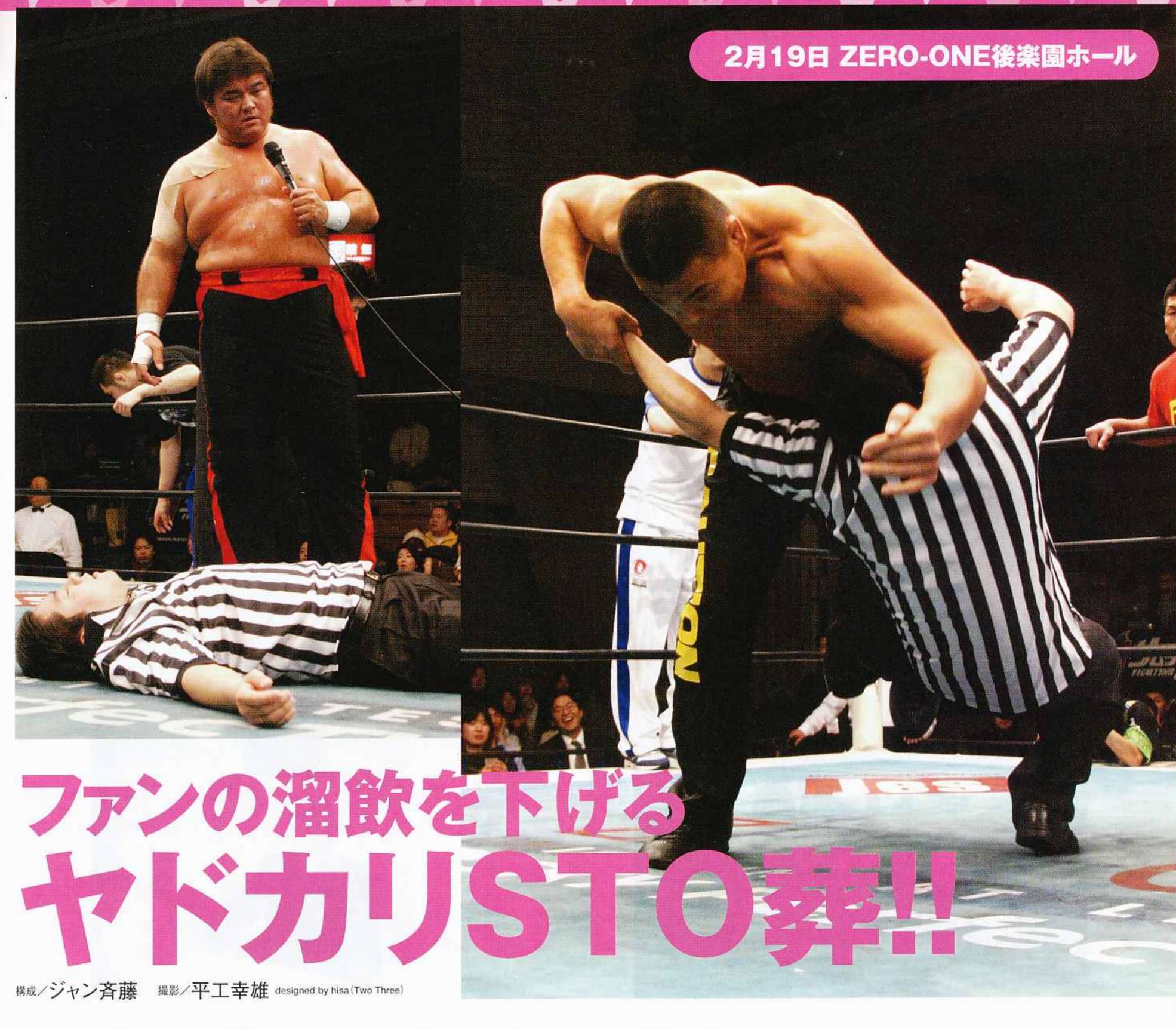
ヤドカリ あんな**小川直也なんて大したことない**ですよ。**ちょっとデカイだけ**ですよ。ね？

【笹原&記者陣ノーリアクション】

記者 ……前回の『ハッスル1』のレフェリングはインチキだと小川さんはおっしゃってたんですが、タヌキ寝入りしたように見えてたのですか、その辺は？

ヤドカリ 映像をボクも統括レフェリーとして、何回か見たんですけど、**覚えてないんですよねえ。**ただ、スリーカウントは入っていたと思いますので、小川さんの負けかなと。**不可解なところは1ミリたりともありません（キッパリ）。**

こうして今回の『ハッスル』劇場の幕は切って落とされた！　3月7日まで、まだまだ続くゾたわけがッ！

置き土産とばかりに代表室の扉、榊原代表の机に“オーちゃんシール”をベタベタ貼り付けた！　いずれは榊原代表の“ハッスルハッスル!!”も見てみたいものである。

2月19日 ZERO-ONE後楽園ホール

ファンの溜飲を下げる ヤドカリSTO葬!!

構成／ジャン斉藤　撮影／平工幸雄　designed by hisa (Two Three)

暴走王、ついにヤドカリに制裁S・T・O!!

2・19ZERO－ONE後楽園大会、破壊王×小笠原先生のゼブラーマン劇場（P138参照）終了後、控室に引き上げる小笠原先生と入れ替わるかたちで、『ハッスル』イベントディレクターの島田裕二が姿を現した！　観客はもちろん大ブーイング！　島田氏は、リング上の破壊王にあの脳天気ボイスで挑発をカマしたが……。『サムライTV！』の解説を務めた金沢『ゴング』編集長の、クールなコメントも併せてお読みください。ハッスルハッスル!!

【島田氏が姿を現す！　観客は大ブーイング！】

金沢（以下GK）　**来ました。ヤドカリが来ました。**

実況アナ　来ましたねえ！

GK　**レフェリーのような格好で来ましたよ。**何なんでしょ？（編集部注・島田氏はレフェリーです）

実況アナ　『ハッスル』ディレクターの島田さんですが……。

島田（以下ヤドカリ）（リングインせずエプロンに立ち）ZERO－ONEファンの皆さん、またまた後楽園ホールに帰ってきましたぁ！（能天気に）

観客　帰れヤドカリ!!（マジギレ！）

ヤドカリ（一向に気にせず破壊王に向かって）今日も髙田さんの名代としてやってきました。髙田さんからのメッセージがあります。『ハッスル』という名称はですね、アナタたちOHにあげますので、じゆ～うに使ってください。

観客　いらねえよバカ！

ヤドカリ　髙田さんは**『髙田モンスター軍』**を結成して、**〝髙田総統〟**になられました。私もイベントプロデューサーに承認されました。ヨロシクお願いします！

橋本（以下破壊王）　……**オイ、チンコロ！**　顔じゃねえゾ降りろコラァ！

ヤドカリ（思い切り無視して）こないだですね、DSEが会見をやったときに、アナタのパートナーの小川さんが、いや、**小川〝グン〟**ですか？　勝手にやってきてガタガタやってるんですが、今日は小川クンはいないんですか？　**小川クゥ～ン、いないんですか～～ぁ？**（場内を見渡して）。ファンの前でアナタに言いたいことがあります！

【大ブーイングが突如として大歓声に変わった。本日試合が組まれていない小川が登場したのだ！】

小川（以下ギョロ目）（島田に向かって）オイ！　何が〝グン〟だコノヤロウォ！　リングまたぎやがって、ブチ殺すぞコノヤロウ！

ヤドカリ　**またいでないです、見えないんですか？　エプロンです。ロープの外にいます。リングではありません（やけに得意げに）。**

ギョロ目　何をぉ……。

ヤドカリ（小川に向かって）アナタに一言言っておきます。イベントプロデューサーになりましたので、**自分の権限で〝査定試合〟を組みます。**まず2月27日東村山、29日ZERO－ONEさんの両国、この2試合を勝たないことにはアナタを『ハッスル2』には出場させません！

破壊王　……オイ、ウチの試合を勝手に言うなバカヤロウ！　何勝手なこと言ってんだ！

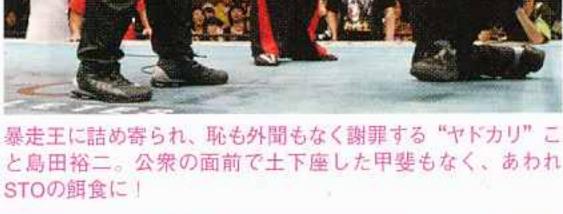
ヤドカリ　ちょっと黙っててください橋本さん！　アナタも勝手に我が**『髙田モンスター軍』のジャイアント・シルバ**を発表してるじゃないですか？

【シルバは両国大会のラインナップに名を連ねている】

暴走王に詰め寄られ、恥も外聞もなく謝罪する"ヤドカリ"こと島田裕二。公衆の面前で土下座した甲斐もなく、あわれSTOの餌食に！

みんなでヒドイ！　髙田総統に言いつけますよ！（ヤドカリ）

破壊王　何をぉコラ！　**オマエんとこが勝手に押しつけたんじゃねえか！**

ヤドカリ　ジャイアント・シルバを勝手に使うのであれば、小川さん、アナタが相手です。じゃないと、**大森戦を中止にした意味がないです、ボクらが！**

破壊王　圧力かけやがってコノヤロウ！

【両国大会で小川vs大森戦が行われることを発表されるも急遽消滅。その理由が定かではないため業界内では〝OH不仲説〟まで囁かれていた】

ヤドカリ　**そんなことはどうでもいいんです**（ホントにどうでもよさそうに）。小川クン、アナタは前回の『ハッスル1』、ゴールドバーグにコテンパンに負けたじゃないですか？　なのに、『ハッスル2』に出たいとか言ってる場合じゃないんですよ。査定試合やるんですか、やらないんですか？

ギョロ目　オイ、ヤドカリ野郎！　何が査定試合だ！　**オメエは髙田の脳ミソを査定しとけバカヤロウ！**

【観客大爆笑】

ヤドカリ　**（即座に）髙田さんは完璧な人間です！**　査定する必要はありません。アナタは査定試合をやる気はあるんですか!?　橋本さん、**ボクらはカードを変更することだってできるんですよぉ（自慢げに）。**

破壊王　コノヤロウォ！（ヤドカリに襲いかかる！）

【エプロンから離れる島田氏！　バックステージに逃げ込もうとするが坂田亘に捕獲され、再びエプロンへ。ZERO—ONE若手はヤドカリが逃亡阻止しないように各フェンス口を封鎖、逃げ場を失い思わずリングインする島田氏】

ヤドカリ　橋本さん！　みんなでヒドイじゃないですか！　**髙田さんに言いつけますよホントにぃ！**

ギョロ目　とうとう、またいだなぁ！（待ってましたとばかりに詰め寄って）。

ヤドカリ　（逃げまどいながら）か、帰ります帰ります！　すぐ帰りますから！

【観客は大「STO！」コール！　コーナーに追いつめられた**島田氏は、小川を拝みながら土下座して許しを請う。プライドのカケラもない姿をさらけだした。**小川は手を差しだし許そうとするポーズを取るが、島田が握手をした途端に蹴りを見舞う！　小川はTシャツを脱いで、ホーガンポーズで制裁コールを観客に要求】

ヤドカリに一撃喰らわし、Tシャツを脱いで制裁準備OKの暴走王は、大「STO」コールにホーガンポーズで応えた。強引にヤドカリを引きずり立たせて、“伝家の宝刀”を炸裂！　ヤドカリは失神!!

実況アナ　お〜〜っと、どうやらSTOをやるみたいですよ！

GK　**島田裕二の場合、死んだふりするかもしれないですからトドメを刺したほうがいいですよ。**

実況アナ　そうですねえ。

GK　**トドメを刺したほうがいいです（強調）。**

【小川は島田氏を無理矢理立たせSTOを炸裂させる！　島田氏は失神してリングに大の字！　観客は続いて、大「DDT」コールで破壊王にも制裁を期待するが……】

破壊王　（藤井に小川を制止するように指示して）小川、もういい。担架持ってこい早く！　ご丁重に扱え、**ご丁重に。髙田に届けろぉ！（失神中の島田氏を足蹴にしながら）。**

【担架で運び出される島田氏】

破壊王　**薄目明いてるかもしれないから気をつけろよ！**

ギョロ目　こうなりゃよ、査定試合でもなんでもやってやろうじゃねえかコノヤロウ！

【大拍手】

ギョロ目　その代わり髙田ぁ、男だったらZERO—ONEファンの前に姿を見せろよ！　**ZERO-ONEファンの前に出てこいやーーーぁ！（髙田張りに仰け反って！）。**ただしぃ、ただじゃ帰さねえぞ。

【大拍手】

ギョロ目　それではちょっと景気づけに、休憩前だけどやってもいいですか？

破壊王　また前半戦ですけど、やりますか？

【大歓声】

ギョロ目　それでは皆さん、ご起立お願いします！　**恥ずかしがらずに、思う存分、腰を振ってくださいね。**

【破壊王が思い切り腰を振る仕草を見せる。観客爆笑！】

ギョロ目　いくぞーーッ！　スリー、ツー、ワン!!

OH砲＆観客　ハッスルハッスルッ!!（思い切り腰を振って！）

実況アナ　いやあ金沢さん、和みましたねえ。

GK　最後は和んでしまいましたね。**小川直也が、いかりや長介のように見えてしまったん**ですけども。

『ハッスル』査定試合を受諾する代わりに、2・29ZERO—ONE両国大会に髙田が来場することを要求した小川。髙田のZERO—ONE〝初来場〟が現実味を帯びてきた？　ハッスルハッスル!!

たまらない表情のOH！　最後は観客と一緒にハッスルポーズ、小川はGKいわくの“いかりや長介”ばりに仕切って見せた。ハッスルハッスル!!

2・14冬木軍興行でもハッスルハッスル!!

冬木軍後楽園大会に突然、姿を現した島田氏は観客からのブーイングを気にせず、「『ハッスル2』に出たい選手がいるらしいので、その意思確認にやってまいりました！」と、『ハッスル』参戦を名乗り出ていた黒田哲広を呼び込んだ。登場した黒田は「アパッチが『ハッスル』を変えてやる！　ど〜ですか、お客さ〜ん!!」と、ノリノリでマイク。騒ぎを聞きつけ、金村キンタローも姿を現し、「オマエんとこの“弱虫”高田延彦！　“アイアム・プロレスラー”とか言いやがって、アイツが一番プロレスバカにしとるやんけ。プロレスで散々カネ稼いできたくせに！　これからはオレが“アイ・アム・プロレスラー”や!!」と宣言。島田氏は「え〜、気持ちはわかりました」と軽く受け流し、『ハッスル2』出場条件として“魂の入ったハッスルポーズ”を2人に要求。黒田＆金村は観客と一緒に見事なハッスルポーズを披露し、金村は体調次第だが『ハッスル』出場を決定付けた。

目指すは〝超人追求〟!! 小笠原和彦（44歳）がゼブラーマンに変身!!

2月19日 ZERO-ONE後楽園ホール

「小笠原先生がゼブラーマンだアーーッ!!」

突如、小笠原先生がゼブラーマンに名乗り

マジかよっ!!『ハッスル1』のゼブラーマンはニセモノだった！

2・19ZERO-ONE後楽園大会で、橋本真也＆テングカイザーと組んで、コリノ＆アンダーソン＆レジェンド組と闘った小笠原和彦。三角絞めで勝利を決めた破壊王に小笠原先生は仰天要望！　ちなみに先生が誇らしげに掲げているのが、噂の「ゼブラーマンセット」です

上が『ハッスル１』に登場した偽ゼブラーマン（not一宮）。試合を観戦した東映関係者からは「あのゼブラーマンは青い目だったよね？　ゼブラーマンは日本人じゃないの？　それに最初から、あんなに強いのはおかしくない？ あれはニセモノなんじゃないの？」とのクレームが。審議の結果、ニセモノと判明。白黒つけたぜ！

大ヒット上映中!

3・7『ハッスル2』に、いよいよ〝本物〟のゼブラーマンが登場する！

と言っても哀川翔本人がプロレスデビューするわけではない。では、何が〝本物〟なのか説明しておこう。

ことの発端は『ハッスル1』でゼブラーマンの試合を見た映画の配給元である東映側からのクレームだった。映画では哀川翔が変身してゼブラーマンになるという設定だったが、試合をしたゼブラーマンの目の色は青だったという外人疑惑。さらに「最初からあんなに強いのはおかしくない？」と、映画のストーリーと辻褄が合わないとの指摘。これを受けてハッスル側が調査したところニセモノであることがアッサリ判明。この件について2月10日、DSEで行われた会見で島田裕二ハッスルイベントディレクターは次の様に回答。「現在、本物の所在を調査中です。『ハッスル2』には何としてでも本物を連れてきます。近日中には発表したい」と、本物を見つけ次第、参戦を発表するという前代未聞の展開に。

会見後、しばらくは動きがなかったものの、2・19ゼロワン後楽園で事態は急展開。第6試合終了後、小笠原和彦がマイクを取り、思いつめた表情で破壊王にアピールを始めたのだった。

小笠原　押忍！　代表（破壊王）、頼みがあります。自分も40代超えて現役やってます。ここで一皮剥けたいです。押忍！　それにピッタリなものを昨日、観てきました。ゼブラーマンです！

【どよめく場内】

小笠原　代表！　ボクをゼブラーマンにしてください！　押忍!!

破壊王　（小笠原をキッと見据えて）先生、冗談じゃ終わらないですよ。ホントにできますか？

小笠原　押忍!!

破壊王　わかりました。じゃあ、哀川さんには俺から言っておきます！　おい、ゼブラーマンスーツ持ってこい！

【すかさず中村専務が「ゼブラーマンセット」とデカデカとラベルが貼られたジュラルミンケースを持って登場】

破壊王　（ケースからマスクを取り出し）先生、ゼブラーマンになれーッ！

小笠原　押忍！　頑張ります!!（マスクとジュラルミンケースを受け取る）

破壊王　（客席に向かって絶叫）先生がゼブラーマンだアーーーッ！（隣のテングカイザーに）お前、喰われるなよ。

テング　……（無言でうなずく）

小笠原　白黒つけます！　押忍!!

以上のように、小笠原先生が破壊王に直訴した後楽園には島田裕二氏も来場。小川直也にSTOを喰らい失神してしまったため真相は不明だが、その後、何のリアクションもないところを見ると、どうやら先生が本物のゼブラーマンだったということだろう。いささか唐突にも思えるアピールだが、よくよく考えてみると、先生ほどゼブラーマンに相応しい人間はいないのだ。

なぜなら、哀川翔演じるゼブラーマンの正体、市川新市はダメな中年教師。さらに妻は浮気、娘は援助交際、息子はイジメられっ子と家庭環境はボロボロ。実は小笠原と主人公は年齢が近く互いに〝先生〟と呼ばれているだけではなく、家庭環境まで似通っているのだ（状況は違うが）。それだけではない。ゼブラーマンの決めゼリフは「白黒つけるぜ！」。そして先生と言えば白い空手着に黒帯がトレードマーク。そう、闘う時は、いつだって「白黒つけて」きたのだ。……いまのはちょっと無理があるが、映画の中ではゼブラーマンが岩場や橋の上から飛んだりする特訓シーンが出てくる。『紙プロ』読者なら御存知のとおり、先生だって負けてはいない。山籠もりや火の輪くぐり、車飛び等の荒行を重ねているのだ。

目指すは〝超人追求〟と、かねてから公言してきた小笠原先生は〝生身の人間がヒーローになれるか？〟という映画のテーマにもピタリとハマる。

締切間近の2月23日現在、小笠原先生は〝本物〟のゼブラーマンになりきるために涙が滲むような猛特訓を三度ほど積んだのだという。その特訓内容とは……ここだけの話、映画『ゼブラーマン』を見ること（感動して涙を流しただけ？）。お披露目となる2・29ゼロワン両国大会までには、さらに倍の特訓を積む予定だという小笠原先生。

果たして、小笠原和彦は新たなヒーローとして生まれ変われるのか？　そして映画と同じく大ヒットを飛ばせるか？　合言葉は――「白黒つけるぜ！」

日本で一番熱いタッグチーム「炎武連夢」空中分解!!

田中を助けようとする大谷に対し、田中の返答は平手打ち!! 激しくやりあいながら大谷が「はっきり言ってみろよコラ!! 何がやりてぇんだ!!」と声を張り上げる。試合後も大谷は控室で暴れ回り「上等だ、上等だ!!」と絶叫した

「いつまでも上からモノ言うな、ボケ!!」と、激しい言葉で大谷を罵倒した田中。だが、控室では「約2年やってきて、炎武連夢は最高のチームやった。無駄なことは何もなかった」と、断腸の思いでの解散である様子もみせていた

マット界で最も熱い名タッグが分裂してしまった！ 2月19日、ZERO-ONE後楽園大会のメインに登場した大谷晋二郎&田中将斗の炎武連夢は、自身らの持つNWAインターコンチネンタルタッグのベルトをかけて、越中&大森組と対戦。試合中盤、田中は手にした机で大谷の脳天を一撃!!大森のアックスボンバーで3カウントを奪われた後、田中はパートナーの大谷に向かって「いつまでも上からモノ言うなよコラ。俺はオマエの下とちゃうんじゃ、ボケ!! 炎武連夢? 今日で最後や!!」と、約2年続いたタッグチームの解散を一方的に宣言した。

両者の行き違いは、13日の両国大会対戦カード決定記者会見にさかのぼる。グラジエーターとのハードコア対決を前に「待ちきれないです」と意気込む田中へ、大谷は「タッグがおろそかになったら危ない。まずは後楽園」と釘を刺した。これを聞いた田中は「そんなこと、言われなくても分かってる」と不満顔。会見場に不穏な空気が流れた。この時から、炎武連夢の間にはすでに見えない亀裂が入っていたのだ……。

突然の裏切りを受けた大谷は「橋本真也、中村祥之、オマエらもグルか!! 誰を信用しろって言うんだ、ふざけやがって、いつもいつも形が出来たものをブッ壊しやがって!!」と激昂。「田中将斗、オマエを憎んで憎んで憎しみぬいてやる。いつまでも便利屋じゃねぇぞ!!」と、苦しみの中から立ち上がることを宣言した。

『ハッスル2』でもハードコアマッチが組まれている田中は後楽園大会後、ハードコア路線の追求から金村キンタロー・黒田哲広らとの共闘へ至っているのに対して、大谷は炎武連夢として参戦が決定していた東金大会、熊谷大会を2対1という強引な形でこなしている。日高郁人、崔リョウジ、高橋冬樹らの協力を申し出る声にも耳を貸さず、孤軍奮闘中だ。

『ハッスル2』にタッグで参戦する予定の大谷。″プロレスの教科書チーム″とつけられた試合タイトルに、大谷は「ハッスルのお偉いさんに言っておく。軽々しく″プロレスの教科書マッチ″とか使うな」と、不快感を示していたが、絶対のパートナー・田中将斗不在のいま、大谷のパートナー・田中将斗不在のいま、大谷のパートナーはまさしくこのタイトルこそが物語る相手となりそうだ。

その相手とは、熱い男・大谷晋二郎の持つ「プロレスの教科書」に対して「プロレスの教典」を持つ″アチー″男、小島聡。中村専務は『ハッスル』サイドからの要請として、小島に大谷とのタッグ結成をオファーしているが、はたして小島の答えは……? ハッスルしちゃうぞバカヤロー!?

『ハッスル2』田中はハードコアマッチ、大谷は小島とタッグ結成？

『ハッスル2』の結末は？ 両国でも何かが起こる!!

小川はハッスルできるのか？ 橋本のパートナーは？

開催期日が迫るに連れ、その加速&破壊力を増していく『ハッスル2』!! ZERO-ONE両国決戦が終了すれば、それを受けて概ねのカードを出揃うはずであるが、まだまだ油断はならない。3・7まで毎日『紙プロHand』をチェックして、ハッスルな流れを完璧に把握しよう！ ハッスルハッスル!!

『ハッスル2』

【日時】3月7日（日） 16:00～ 【会場】神奈川・横浜アリーナ

【チケット】VIP席￥30000（専用入場ゲート、グッズ付き）／RRS席￥20000
スタンドS席￥10000／スタンドA席￥4000
ハッスルシート￥20000（花道横・ハッスルグッズ付き）

[4Way ハードコア]
田中将斗 vs ザ・グラジエーター vs サブゥー vs ジャスティン・クレディブル

[超獣vs猛牛]
ザ・プレデター vs ダン・ボビッシュ

[イケメントリオ vs アグリートリオ]
スパンキー&ラティン・ラバー&カズ・ハヤシ vs Lowki&ホミサイド&マイケル・シェーン

[日本のプロレスの教科書"チーム vs "世界のプロレスの教科書"チーム]
大谷晋二郎&小島聡 vs 世界のプロレス教科書タッグ

川田利明 vs「X」／ゼブラーマン vs「X」
小川直也 vs「X」／橋本&「X」vsコールマン&ランデルマン

【その他出場予定選手】
ケビン・ナッシュ／スコット・ホール／ダスティ・ローデス／スティーブ・コリノ／c.w.アンダーソン／ネイサン・ジョーンズ

長州、武藤が参戦！ 髙田総統は来場するのか!?

髙田軍の陰謀のため大森vs小川はキャンセル。超獣との不可解なタッグ結成を突きつけれた。波乱必至だ！ 長州、武藤も登場。髙田総統が小川の要求通り来場すれば、同一会場に3人が揃うのは久しぶりとなるが……。一体、何が起こるんだ!?

■2・29 プロレスリングZERO-ONE旗揚げ3周年記念興行 両国国技館 16:00～
橋本真也 vs 長州力
武藤敬司 vs 大森隆男

[『ハッスル2』査定試合]
小川直也&ザ・プレデター vs D・ローデスJr.&G・シルバ
大谷晋二郎 vs 坂田亘

[NWAインターナショナルライトタッグ選手権]
Lowki&L・スパンキーvs AJスタイルズ&フランキー

[NWA認定UNヘビー級選手権・『H』]
60分1本勝負※特別ルール適用～場外及び反則カウントなし
<王者>田中将斗 vs グラジエーター <挑戦者>
ゼブラーマン&T・ハワード vs 耕平&横井
藤原&荒川 vs 渕&栗栖
S・コリノ&CW・アンダーソン&キンタロー&黒田&佐々木 vs 高岩&星川&葛西純&日高&浪口

【問い合わせ】ZERO-ONE 03-5730-3401

2・27 ZERO-ONE東村山に『髙田モンスター軍』登場!!

小川直也が『ハッスル2』出場を懸けて闘う"ハッスル査定試合その1"。対戦相手は『髙田モンスター軍』から送りこまれてくる。両国決戦→『ハッスル2』と繋げるためにも暴走王は負けられない試合。レフェリー、相手セコンドには要注意だ！

■2月27日 東村山スポーツセンター 18:00～

[髙田Monster軍指名試合（1）]
小川直也 vs 『髙田モンスター軍』選抜

『ハッスル』直前！ ZERO-ONEが見逃せない!!

■3・5 後楽園ホール 18:30～

[3周年スペシャルタッグマッチ（2）]
橋本&D・ローデス vs 藤原&D・ローデスJr.

[3周年スペシャルタッグマッチ（1）]
T・ハワード&S・コリノ&CW・アンダーソン vs Lowki&スパンキー&ホミサイド

[01認定USヘビー級選手権]
ザ・プレデター vs 横井宏考

越中&大森 vs坂田&佐藤
大谷&X vs 金村&黒田※X不在の場合1対2ハンデ戦

[World-1世界ヘビー級選手権]
田中将斗 vs JACK VICTORY

■3・6小田原アリーナ 18:30～
橋本&高岩&テング vs プレデター&S・コリノ&T・ハワード
大谷&X vs 大森&L・スパンキー ※X不在の場合1対2ハンデ戦
【問い合わせ】ZERO-ONE 03-5730-3401

● 『ハッスル』後の日程&カードは『紙プロHand』参照だコンチクショウ!!

「今の日本マット界においてホーガンに相応しいのは『ハッスル』しかないと思う（小川）」

「ホーガンは小川直也がかわいくてしょうがないみたい（笑）（ジミー）」

DSE占拠から"ヤドカリ野郎"をSTOでブン投げたりとリング内外でハッスル中のオーちゃんと、前号で「プロレスラーとして一皮むけた」と小川を評価していたアメプロ取材の第一人者・ジミー鈴木の2人による"やっぱりプロレスがイッチバ〜ン"対談。両者共に接点があるホーガンの知られざるエピソードから、互いのプロレス論、さらに『ハッスル』の可能性まで"プロレス"にこだわりを持つ男たちが大いに語りまくった

聞き手／松澤チョロ
撮影／森"モーリー"鷹博
designed by matsu（Two Three）

アメプロ取材の第一人者

也×ジミー鈴木

オーちゃんもジミーちゃんもハッスルハッスル！

ハッスルしてるかーッ!?

“やっぱりプロレスがイッチバ～ン”対談

小川直也

──ジミーさんは今日の夜にはもうアメリカに帰られちゃうということなんで、早速、対談を始めようと思います！

小川 ジミーさん、夜に帰っちゃうの？

ジミー いや、ボクはまだ帰んないですよ。仕事だけしゃかりきにやってたから、このまま帰ったんじゃ幸せ感じないじゃん！

小川 幸せ感じるために夜な夜なね（笑）。

ジミー そうそう（笑）。でも今回のWWEはメチャクチャ幸せを感じたよ。思いっきりハッピーだったね。

小川 そうですか。俺は、すっかり忘れてたんだよね。

──気が付いたら終わってたと？

小川 そうそう。不徳の致すところだね。でも、ジミーさんとはいつぶりかなあ？

ジミー 久しぶりだよね。会ったのはニューヨークとか『レッスルマニア』以来じゃない？

──何年か前の小川さんのオランダ遠征でも一緒だったみたいですね。

ジミー そうそう。あのオランダの記事を書いたのは忘れられないですよ。葉っぱの匂いがプンプンの中で試合やったんだから。ホント危ないよ、あれは！

小川 嫌になっちゃうよね。あれは違う幸せ感じちゃったよ（笑）。

──さすがオランダですね（笑）。

ジミー 自分も25年この仕事やってるけども、その中でも強烈な思い出の一つだね。

──で、ジミーさんは今回、WWEのスーパースターと一緒に来日されたみたいですけど、いかがでしたか、今回の日本ツアーは？

ジミー もうホント幸せだったね！

小川 写真撮ってても幸せ感じるでしょ？

ジミー 感じる感じる！ 幸せの空間を共有してきたってことがいいんだよね。最終日のさいたまアリーナが終わってから選手バスで東京まで一緒に帰って来たんだけど、コの字になって大物だけ後ろにいてね、そこに俺も一緒に座ってたんだよね（ちょっと誇らしげ）。

──大物と一緒でしたか（笑）。

ジミー リック・フレアーがいて、隣にHHHがいて、ショーン・マイケルズがいて、テストがいて、ストーンコールドがいて、その横に俺がいてっていう中で帰って来たんだけど、「いやあ、今日は良かったねぇ」って話で盛り上がってさ。そこから波及して昔話からいろんな話になって。その流れで「ビル・ロビンソンと試合をしたことがあるの？」ってフレアーに聞いたら「実は彼は私のティーチャーなんだ」っていう全然知らない事実がわかったんだよね。

小川 へぇ～、それは初耳ですね。

KANE

今回のWWE（RAWブランド）日本ツアーでは、WWEのリングサイド撮影が許可されている数少ない中の1人、ジミー氏は『ゴング』のカメラマンとして大活躍【写真右】

ジミー 「2回ぐらい闘ったこともあるけどレスリングスクールで彼からプロレスを教わったんだよ」って。で、今回のツアーでフレアーがケツ出しやったでしょ？

──毎大会、ケツを出したままデッドリードライブで投げられてましたね（笑）。

ジミー 客は爆笑の渦だったんだけど「あれってマードックがよくやってたよね」って言ったら「ユーは何を考えてるんだ。オレなんかいろんなヤツのコピーをしまくって人生渡ってきたんだ」って言うわけ（笑）。

小川 自分でそんなこと言うんだ（笑）。

ジミー ホント、あれだけの人からそんな話も出てきたから。普段はプライド高いからそんな話は絶対出て来ないんだけど、よっぽど機嫌も良かったんだろうね。

小川 フレアーって、いいとこ取りだったんだ。もちろん、いい意味でだけど（笑）。

──お客さんだけじゃなく選手もみんな満足してたわけですね。

ジミー もうストーンコールドなんて凄いハッピーよ。「早く日本に戻って来たい」って心から思ってたからね。あ、そういえば、小川選手の出てるドラマを見ましたよ。

小川 （照れ臭そうに）いやぁ、見ないでくださいよ（苦笑）。

ジミー 出てるの知らないで偶然見たんですよ。俺が住んでるダラスの日本食料品店でビデオのレンタルしてるんだよね。そこで半年に一回ぐらい借りるんだけど、ボーリング場がストーリーのヤツあったじゃない？

小川 ああ、『ゴールデンボウル』ね。あれはもうホント大変だったからね。リアクション王だからね（笑）。

ジミー 「なかなか喋んないなあ」って思って見てたんだけど、溜めて溜めて最後にボンと言ったから、すげえインパクトあった。これってプロレスと一緒だなと思って。

小川 脚本の野島（伸司）先生にあとから聞いた話なんだけど、「この役はこの人」って決めてかかって書くらしいんですよね。いまやってる『プライド』っていうドラマも野島先生が書いてるんですけど、人気凄いですよ。木村拓哉と坂口会長の息子が共演してて（笑）。

──女の子には、たまらないですよね（笑）。

ジミー でも、あれ見ちゃうと小川選手って怖いなって世間の人は思うんじゃない？ ビジネス的には正解なのかもしれないけど。

小川 いや、ビジネスとか関係なく、みんなに知ってもらうことが大事ですからね。

ジミー でも、あれ見たら大概怖くてそばに近寄れないでしょ（笑）。

小川 イメージはそうなっちゃうけど、まあプロレスラーはしょうがねえかなと（笑）。もう少し認知されれば違ってくるんじゃないですかね。

ジミー でも仏頂面してたのが最後に人間出すでしょ。あの溜めはホント良かったですよ。

小川 あ、ありがとうございます！ でも、みんなには「下手クソ！」って言われてるんですよ（苦笑）。

ジミー そういうもんじゃないよ。やっぱ、プロレスの世界と相通ずる部分がありますよ。

小川 それはボクもそう思ってたんですよ。やられてやられて最後にドンと出すっていうね。それに自分の中で偏っちゃいけないっていうのが頭にあるんですよ。プロレスラーはこうしなきゃいけない、ああしなきゃいけないっていう定義付けなんかなくなっちゃったんだから。いまは『プロレスラーだから何でもできるんだよ』っていうふうに思ってなくちゃダメなんじゃないかなって。そういう意味では、ああいうドラマとかの経験を『ハッスル』とかで活かせればなって思ってるし、スキット作るのにも役に立ってるなって感じますよね。

ジミー そういった世界から学ぶもんって凄いあると思いますね。

小川 最初に出たドラマで『歓迎！ ダンジキ御一行様』っていうのがあって、中村雅俊さんとか泉谷しげるさんにいろいろ教わったんだけど、カメラアングルとか計算しながら喋ってるから、あれは凄いなって。俺なんかどこで撮られてるかも最初知らないでさ、慣れてからはこういうもんなんだなって思ったけど。

──そういう意味では、橋本さんなんかはカメラとかは気にしないんじゃないですか（笑）。

小川 橋本さんは勝手に我が道行ってカメラがそれに合わせてやってるから（笑）。

──さすが破壊王ですね（笑）。

小川 逆に俺なんかはカメラに合わせて動こうとするから大変なんだよね。

ジミー WWEなんかはそうですからね。

小川 そうなんですよね。そういう面でドラマに出て勉強になりましたね。

──前号も聞きましたが、ジミーさんは『ハッスル』は、どう捉えてますか？

ジミー　俺は出入り禁止なんだろ、あれ？

――何かありましたっけ？（笑）。

ジミー　いろいろと髙田延彦のことボロクソに言ってるから出入り禁止だと思うよ（笑）。ただ気に入らないのは気に入らないよ！

――それは『ハッスル』ではなく髙田さんが気に入らないってことですよね？（笑）。

ジミー　気に入らない。やっぱり俺も信念持ってこの仕事してるじゃん。だから退けない部分とか、そういうもんはあるよね。

小川　でも『ハッスル』＝髙田じゃないからね。それに、そんなこと言ったら俺だってボロクソ言ってますから。……ボロクソ言われたりもしてるけど（笑）。

ジミー　小川選手は髙田延彦から豚と何とかって散々言われてるんだよね（笑）。

小川　ポークとチキンですよ。ポークが破壊王で俺がチキンなんですけど（笑）。

ジミー　ひでえこと言うよなあ（笑）。

――ポーク＆チキンって最初に言ったのは天山さんなんですけどね（笑）。

小川　もっと言えば、俺なんか銭ゲバ呼ばわりされてましたからね（笑）。K―1の元社長だか元館長に。

ジミー　あったよねぇ（笑）。「銭ゲバ」云々っていうのはギャラ8千万って言ってきたのに、「1億出さないと嫌だ」って言って断ったんでしょ？　正解ですよ、それは。

小川　いやいや、正解も何も「1億出す！」って言ったのは向こうだったからね。それが「いま出せないから、何とか8千万に負けてくれ」って言ったのが●●王なんですよ。

――アハハハハ。●●王ですか（笑）。

小川　暴走王に対して失礼ですよ。金がないならわかるけど、あるのにできるかって話でさ。

ジミー　渋るなよって（笑）。

小川　こっちは絶対出ないって言ってるんじゃないのにさ。結局、あったっていうのが3年後にわかったわけでしょ。オチ付けちゃいけないんだけど（笑）。

――アハハハハ！

小川　あれ以来「銭ゲバ」って言われないからね。まあ、『紙プロ』のいまの力じゃ、どこまで載せられるかわかんないけど（笑）。

小川選手は髙田延彦から豚とか何とかって散々言われてるんだよね（笑）

もっと言えば、俺なんか銭ゲバ呼ばわりされてましたからね（笑）。K-1の元社長だか元館長に

小川直也×ジミー鈴木

――ちょっと協議してみます（笑）。

小川　そういうことも平気で載っけられる雑誌になって欲しいよね。

ジミー　俺なんか「私利私欲のために本なんか書きやがって」とか言っちゃったからなぁ（笑）。

小川　そんなもん私利私欲以外に何があるんだよ。大体、本なんか儲かるから書くんだよ。だったらそのギャラ全部寄付するのかって言ったらしないわけでしょ？　まあでも、俺から言わせたら、髙田の本は暴露本じゃないんだよ。

――と言うと？

小川　自分に都合のいい自伝だよ。

ジミー　髙田延彦に会ったら殴られるのかなぁ？

小川　でもジミーさん、殴られた方がいいよ、一回ぐらい（笑）。

――殴られた方がいいですか（笑）。

小川　俺はジミーさんの株が上がると思うよ。だって殴られる筋合いないもんね。ホントのことを書いて何が悪いんだって。

ジミー　確かに暴露本じゃないのかもしれないけど、書くべきじゃないところまで書いてる本だっていうのは事実だからね。

――ジミーさんは、そういう部分では評価は出来ないけど、『ハッスル』での髙田さんは評価してるんですよね。

ジミー　いや、道は正しいと思うよ！　そういう意味ではプロレスは何でも有りだと思うし、それがプロレスの楽しいところじゃん。何でも有りの中でいい味を出しかけてる気がするんですよね。それと、小川選手にリベンジしてもらいたいなって思ったぐらいだからね。

小川　リベンジって誰にですか？

ジミー　髙田が北尾にやったのと一緒のことをね。他の人にやったらプロレスラーとしてとんでもないって疑われると思うけど、やったヤツにやるのは有りじゃねえかなって思うんだよな。自分がやったしっぺ返しは回り回って自分のところにやってくるっていう、これは人生において必ずあるはずだからね。

小川　逆に言えば自分のやってることは報われるってことでしょ？　それの逆バージョンだよね。

ジミー　そう！

小川　だからいつかは誰かにやられると。

ジミー　そういうのも含めて小川選手っていいプロレスラーになってきたなって思うんですよ。

小川　え、そうですか？

ジミー　プロレスラーって何が大事かって言うと、ファンの想像力を掻き立てるっていう部分だと思うんだよね。『紙プロ』の読者とかも小川選手に総合に出てもらいたいって思ってるの？

――そういう声はいまだに多いですね。4月に『PRIDE』ヘビー級グランプリがありますけど、出て欲しい選手を聞くと小川選手の名前が必ず挙がりますからね。

ジミー　あのね、真実の世界っていうのは、いくら大きくたって（両手を広げて）こんだけ大きくならない！　夢の世界っていうのはその1000万倍も1000万倍も大きくなる。俺は小川選手って凄い強い選手だと思うよ。だけど、生身の身体で生身の人間なわけじゃん。じゃあ、総合に出て行って100試合やって100試合勝ちましたって、そんなことは想像や空想でしかないわけでしょ。

――さすがに、それは不可能でしょうね。

ジミー　やっぱり、プロレスファンだったら「いざとなったら小川がリベンジしてくれる」、「ミルコだって一発でやっつけちゃう」とか、そういうふうな夢っていうのは取っとかないと。いまのプロレス界って何でも実現しちゃうじゃん。蝶野vs小橋とか、業界が苦しいもんだから本来は実現しなくてもいいものもやっちゃうわけでしょ。

小川　それが夢のカードなのかなぁ？

ジミー　馬場さんと猪木さんも最後までやらないから良かったんですよ。それがポンポン実現しちゃうからビジネスとして下がっちゃうんだよ。そういう意味で小川選手が出て行った場合に大きいものにはなるかもしれないけど無限のものにはならないですよ。俺は小川直也っていう存在は、プロレスラーの実力者として夢をファンに与え続けるほうが大事なんじゃないかなって気がしますよ。

小川　まあ、とりあえず格闘技は、いまブームですからね。ブームと、あと人気があるっていうんでテレビ局の食いもんになっちゃってるじゃないですか？　オモチャというか。

ジミー　そうそう。食いもんにされたらたまんないよね。

小川　プロレスって、元々テレビが食いついた方じゃないですか？　力道山が始めたものをみんな街頭テレビで見てさ。それがいつの間にかテレビ主導になっちゃってるでしょ。

ジミー　テレビの言いなりにならないといけない業界になったよね。

小川　そういうやり方じゃいけないなっていうのが、いま掲げてるプロレス復興っていうテーマの一つですよ。で、これからは運がいいのかもしれないけど、地上波放送がなくなってデジタル化してくるじゃない？　そこでもう一つ、いろんなチャンネルが立ち上がってくるでしょ。そういった中でソフト不足が絶対出てくるだろうし、アメリカなんか、いい例じゃないですか。

ジミー　そうそう。

小川　WWEもJスカイでずっとやってた流れの中でのものだし、そういう流れが来てるんだから、もうちょっとプロレスに関わってる人もね、いま苦しいのはわかるんだけど、そこをどう乗り越えるかっていうのが一番の頑張りどころだと思うんだよね。

ジミー　夢のカードを片っ端から実現したら小さいものになっちゃいますよ。

小川　夢のカードとは思わないけど、ファンの掌に乗っけられてやってるというかね。ドームとか大きいとこ押さえて苦しいもんだから、目先の興味を惹くために仕方なく組んだり、そんなことばっかりでしょ。

ジミー　それはあるよね。

小川　しかも一年とか二年とか長いスパンで物事を考えてないからね。「チケットが売れない。さあ、どうしよう？」って感じで、全部、後から後からでしょ。

ジミー　バンソウコウ貼りまくってるイメージだもんね。

小川　一番いい例が去年の大晦日だよね。さっきも言ったけど、俺は数年前に「銭ゲバ」って言われてさ、どっちが「銭ゲバ」だったかって後でわかることなんだけど（笑）、それで結局、また銭の奪い合いやってるからね。

――いまだにギャラがもらえてない人もいるみたいですけどね（笑）。

ホーガンは小川選手がオーガンをやってることが凄く嬉しかったみたいですよ

これがジミーがホーガンを独占取材した時の『週刊ゴング』（NO.990）。9年振りの日本マット復活を前に日本メディアとして初めてホーガン邸に招待されたジミー氏。自身のHP上の「想い出に残る仕事」にも、この時の取材をあげている

ジミー　やっぱりプロレスの基本ってさ、アメリカで言うところのビルドアップしなきゃいけないってことでしょ。要は積み重ねだよね。積み重ねてビッグビジネスしましょうって話なのに、切羽詰まり過ぎてるからなのか積み重ねが何もないんだよね。『レッスルマニア』だってドンドン積み重ねていくでしょ。

小川　そうそう。『ハッスル』で、ああいう流れを作っていきたいんだよね。

ジミー　あ、『レッスルマニア』で思い出したけど、ハルク・ホーガンは小川直也がかわいくてしょうがないみたいね。

小川　あ、そうなんですか（笑）。

ジミー　10月頃に家庭訪問に行ったんだけど、インタビューの中で小川選手の話が出まくったんだけど、俺はそのまま書いたの。そしたらクレームついちゃってさ（苦笑）。

――どこからクレームが来たんですか？

ジミー　いや『ゴング』も俺が書いたことだったらいいだろってことで書いたら、新日本の方からクレームがついてね。でも、それは筋が通ってたから俺も譲ったんだけど、「俺らの金で呼ぶのに、なんで小川の宣伝をしなきゃいけないんだ」って言われたら、それはごもっともなんですよ。

――まあ、そうですよね。

ジミー　だけど、ホーガンは小川選手がオーガンをやってることが凄く嬉しかったみたいですよ。

小川　あ、ホントですか？（笑）。ありがとうございます！

ジミー　やっぱり男と女の関係も一緒だけど、相手が好みのタイプじゃなくても、人間って「好きだ」って言われたら悪い気しないでしょ。二束三文のレスラーにやられたとしても悪い気はしないと思うんだよ。それが柔道のトップを張った小川選手がやったら悪い気はしないって。

小川　嬉しいなぁ。怒ってるんじゃないかなって思ってたから（笑）。

――アハハハハ！

小川　俺としたら『ハッスル』がもう少し早ければホーガンもこっちを選んでくれたのかなって気がしてるんだけど、その時は新日本っていう選択しかなかった。まあギャラの関係もあるだろうけど、ホーガンなんて思いっきり『ハッスル』に来なきゃいけない人だと思うしね。

――ホーガンはイメージ的にもハッスルって感じがしますよね（笑）。

小川　ホーガンと自分の積み重ねもあるしね。日本でも向こうでもちょっと握手したりとか。それにホーガンのHを取って日米OH砲とかもできたわけじゃないですか。ちょっとタイミングが悪かったね。でも、まだチャンスはあるから。

――小川さんが構想中の『ハッスルマニア』が正式決定したらぜヒ呼んで欲しいですね。

小川　大物助っ人としてね。ていうか、それぐらいのステージをこっちが作っていかないとホーガンに失礼じゃないですか。

ジミー　ホーガンが一番気にするのはギャラだけじゃないんですよ。自分がリングに立ってどんだけ幸せになれるか、どんだけの舞台を用意してくれて、どういう対戦相手と、どういうコンセプトでどういう形で自分のプライドを満足させてくれるんだい？っていうところが大事なんですよね。

小川　俺もホーガンはお金じゃないってわかってますよ。だけど呼ぶ方としてはホーガンに対しての価値ってあるじゃないですか。それを「金がないんで」って言うのはマズイでしょ。やっぱりホーガンって特別な人なんだよっていうぐらいのステージを『ハッスル』で築ければいいかなって。ホーガンが相応しい場所って『ハッスル』しかないんじゃないかなって思うんだよね、いまの日本の市場においては。

ジミー　それはうまく噛み合うと思いますよ。

小川　いまの新日本にしてもそうだけど、ホーガンを活かしきれる団体はまずないよ。もし『ハッスル』に呼ぶんだったら、ホーガンが一番光って、ファンもみんな納得する中で、最大の助

っ人としてリングに上がってもらおうと思ってるからね。それまでのステージを作るのはこっちの仕事だから。

ジミー　さっき言った、削られた部分って何かって言ったら「日本に着いてから練習はどうするんですか?」って聞いたんだけど「蝶野戦に向けて小川直也と毎日一緒に練習するんだ」って言ったんだよ。

小川　えっ、そんなこと言ったんだ（笑）。

ジミー　でもそれがヤバかったんだよね（笑）。ウチで金払って呼んでんのにそれはないだろうって。俺にしたらホーガン自身が言ったことだから自分自身も削りたくなかったんだけどね。

小川　ジャーナリストはそうですからね。向こうが「書いてくれ」って言った以上は書かなきゃいけないですからね。

ジミー　それで俺は1回書いたんだけど、そういうふうに削られたんだよね。いま明かしてみればそういう事情があったの。

――ホーガンと言えば、ここ最近、引退説とかも出てますけど、実際どうなんですか?

ジミー　俺が聞いた情報だと子供のためみたい。娘が役者というかシンガーというか、タレントとしてデビューするみたいなことで、第二のブリトニー・スピアーズを目指してウォルト・ディズニーと結託して大々的にビッグプロモーションをやって売ろうと。で、ホーガン自身はその後押しに自分の身も心も全部捧げて娘を売り出そうとしてるからプロレスはいまできないよって話なんだよね。

小川　いずれ、また戻ってくるんですよね。

ジミー　娘はブルック・ホーガンって名前でやるみたいなんだけど、ああいうのは、うまくいって火がついちゃえば早いからね。そしたらホーガン自身も心のゆとりが出るだろうし、さあ何やろうって気持ちになると思いますね。

小川　『ハッスル』に来て欲しいなぁ。WWEだったら忙しいけど、日本だったら拘束もないし可能性はあると思うんだよね。ホーガンは、よく「フロリダに遊びに来い」って言ってくれるんだけど、それこそ『ハッスル』に打診する時は行かなきゃね。

ジミー　いっぺん行った方がいいよ。ホーガンの家は、とにかく大豪邸だったよ!

あ、ホントですか? 嬉しいなぁ。怒ってるんじゃないかって思ってたから（笑）

昨年8月10日の『01world』に初参戦しプレデターからUSヘビー級王座を奪取（すぐさま剥奪）したハルク・オーガン。その後は消息不明だが、ホーガンが『ハッスル』へ参戦するようなことがあれば、再び、その姿を現すことだろう。間違いない。

――ジミーさんも、いろんなプロレスラーの豪邸は見てると思うんですけど、やっぱり全然違うもんなんですか?

ジミー　いや、もう凄いね! 確かに豪邸は見てきましたよ。ジェリー・ジャレットの家は凄かったし、バーン・ガニアもフリッツ（・フォン・エリック）も凄かったし、そういう中で史上第二位だよ。

小川　第一位は誰ですか?

ジミー　タイガー・ジェット・シン!

小川　ああ、カナダの。

ジミー　あれは凄い。ただタイガーの所は土地が全然安いところの凄さだから。やっぱりホーガンの所は億万長者しか住まない所で、小さな街の中でポリスステーションがあって、その街がポリスの給料を払ってるような世界だから、住民の車とか顔とか大体ポリスは知ってんのね。だから、よそもんが入ってくるとすぐに尋問されるんだよ。俺はジミー・ハートと一緒だったから大丈夫だったけど、そのくらい凄い所に住んでるんだよね。

小川　へぇ～、行ってみたいなぁ。

――日本のプロレスラーもホーガンのような豪邸に住めるような存在になってもらいたいところですけどね。

小川　なってもらいたいというか、ならなきゃいけないんだけどさ。プロレス見てる人もやろうと思ってる人にも夢を与えていかなきゃいけないからね。馬場さんなんかは特にそういうことを考えてた人でしょ。

――ハワイに別荘を持ってたり、いろいろ伝説もありますからね（笑）。

小川　そうそう。だけど猪木さんの場合は全然違ったからね。いまでも「電気、電気」で追い求めてるから（笑）。

――ある意味、夢はありますけどね（笑）。

小川　あの歳まで夢があるんだなって。

ジミー　子供の時に『プロレス入門』って本を読んだんだけど、それに馬場さんの話が書いてあって、「ハワイに別荘、寿司は100個、特製ジャイアントスープ一杯1万円」とかさ（笑）、そういうのを読みながらプロレスにハマっていたよね。そういうのは凄い大事だと思う。

小川　俺もそういうふうになりたいなと思うし、しなきゃいけないなって思ってるし。ある意味、破壊王なんかそうですよね。

――そうですよね。格好とかも含めて（笑）。

ジミー　プロレスラーってそういう部分でファンに夢を与えていくって凄い大事だと思うんだけど、全く逆の話で小川選手と最初にロスだかで会った時に「この人、いい人だな」って思ったの。何があったかって言ったら「店内で牛丼食えるのが嬉しいんですよ」って言ったんだよね。覚えてる?

小川　覚えてますよ。でもダメですよ、そんなこと言ったら! いま牛丼食えなくなったんですから（笑）。

――日本では食べられなくなってきてますからね。

ジミー　なんかそうみたいだね（笑）。でも、その時、小川選手は「俺なんか吉野屋とか入れないですよ。だけどここだったらバレないしアリでしょ」って、アスレチッククラブの向かいにある牛丼屋に行って嬉しそうに食べてるのを見て、とっても気持ちがわかったっていうかね。やっぱり天下の小川直也がその辺の牛丼屋で食ってたらカッコ悪いじゃない?

――それは言えますよね。

ジミー　だけどロスでだったらアリじゃないかってことで、凄い嬉しそうに食ってたんだよね。それが凄く印象に残ってる。

小川　懐しいねぇ。やっぱり、世代的にマックとかより牛丼で育ってきた世代だから、たまに食いたくなるのよ（笑）。でも弁当は嫌なのよ! お店の茶碗で食いたいんだよね。

ジミー　弁当だとフヤけちゃうからね。

小川　そうそう。ジミーさんと行ったとこは茶碗じゃなくて紙のヤツだったんだけど、目の前でそのまま食えるから、あれは嬉しかったね!

ジミー　そういう小川選手を見て、人柄もわか

小川直也×ジミー鈴木

ったたし、親しみを感じたっていうかさ。

小川　所詮、人の子ですからね、俺も（笑）。

――アハハハハ！

ジミー　ずっと我慢して我慢して、その後に食った時ってボワ〜ンって行くんですよ。やっぱプロレスと一緒ですよね。

小川　そうそう。でも最近、そういうプロレス観がわからない人が多いですからね。

ジミー　プロレス観って言うと、小川選手のスタートの時って、強いだけのイメージがデカくて、まだ欠けるものはあるなって正直心の中で思ってたんですよ。俺なんかは、例えば天下のチャンピオンが命からがら防衛してベルトはしっかり守ってるんだけど、リング上にブッ倒れて、その腹の上にベルトが乗っかってるっていう、そういうこともバリエーションの一つとしてできるようになれば凄いレスラーだって思ってて。でも最近は、そういうところも含めてレスラーとして幅が出てきたんじゃないかなって。

小川　あんまりそういうのはこだわらない方だと思ってたんですけど、要するに積み重ねがなく唐突にっていうのが多いじゃないですか、ある団体なんか特に。

――ある団体ですか（笑）。

小川　どことは言わないけどさ（笑）。それは冗談じゃないよって。でも、ちゃんとわかる話だったら、こっちも全然こだわらないし、面白いのは面白いと思うからね。

ジミー　ほとんど雑誌で見るぐらいなんだけど、そう感じる部分は出てきたなっていうね。

――そういえば、つい最近『週刊モーニング』で「プロレスは地上最高のショーである」とカミングアウトした漫画がミスター高橋責任編集で始まったんですけど、ご存知ですか？

ジミー　なにィ、ミスター高橋が絡んでるの？　そんなもん中指ぶったててやれよ！

――ファック・ユーですか（笑）。その主人公のモデルがおそらく小川さんなんですよ（笑）。柔道の実績があった人がプロレス界に入ってきてっていう。

小川　あ、そうなの？　モデルにされちゃったのか俺は。やだねぇ（苦笑）。

ジミー　モデルは金取れねえもんなあ。名前変えちゃったりなんだかんだしたら。

小川　まあ、ある意味のプロレスの宣伝だからそれはそれでいいんじゃないですか。それに「プロレスは地上最高のショーである」っていうけど、野球だって何だって要はショーだしエンターテインメントじゃないですか。

ジミー　政治や経済もみんなエンターテインメントですよ。これちょっと勉強させてね。今度、ボロカス言ってやるよ！

小川　でもさ、この人は「プロレスは真剣勝負じゃありませんから」って、それはおかしいよね。どの世界もみんな真剣勝負なんだから。撮る方だって見る方だって真剣勝負だし、俺だってリングに上がる以上、真剣勝負してるんだしさ。

ジミー　思いっきり真剣勝負ですよ！

小川　あえて、一言言わせてもらうと、じゃあ、この人はレフェリングする時は真剣勝負じゃなかったの？って。

ジミー　それだけ、やってる当時は目の前の仕事しかしてない人なんだよ。大体、外人レスラーに言わせたらさ、当時、ミスター高橋のことをみんな嫌ってたよ！「ジョー樋口はなんていい人で、ミスター高橋はなんてとんでもない野郎だ」ってのが業界の定説。

なにィ、ミスター高橋が絡んでるの？　そんなもん中指ぶったててやれよ！

――あ、そうでしたか（笑）。

小川　どの世界でもみんな真剣に生きて真剣に自分の職業に立ち向かってるんだからさ、この人は違った意味でカミングアウトしちゃったね。自分の人生を否定しちゃってるよ。

ジミー　頭が悪いからそういう書き方しかできないんだよ。

小川　まあでも、いい言葉だよね。「プロレスは地上最高のショーである」って。

――言葉自体は間違ってないと？

ジミー　日本で言う「ショー」っていうのは曲がった見方をされてるというか、「プロレスってショーなんでしょ？」って普通の人が言った時に蔑の言葉というか、他にいい表現があってもいいのかなって。アメリカで「ショー」って言ったら、とっても楽しいものでポジティブなイメージがあるんだよね。

――格闘技の世界でも「この試合はプロレスでしょ？」って悪い意味で使われたりする場合が多いですからね。

小川直也×ジミー鈴木

ジミー　うん。じゃあ、武藤敬司は自分の試合を評して「俺の試合は芸術作品……」という言葉を使うんだけど、これは非常にきれいな言葉だと思うけどね。

小川　どんな試合だろうが自分でやって自分で作るものだからね。……まあ、ショーでいいんじゃない？　でも感覚的に見ると総合格闘技も、ある意味でのショーだよね。

――それはどういう意味でですか？

小川　だってルールをいろいろひいてるけど、根本的にアマチュアの世界でも柔道の世界でもドーピング問題とかあるじゃない？　結局、マーク・ケアーだって、そこまで、さらけ出してやったわけじゃない。

――ステロイド使用をカミングアウトしましたからね。『PRIDE』での復帰戦は1人DDTで自滅しちゃいましたけど。

小川　結果はともかく、そういうもの自体がちょっと？だよね。要するに筋肉増強剤とか使うっていうのはオリンピックだったら絶対タブーじゃん。そういうものをやってる人が最高峰だったりするわけでしょ？

ジミー　いや、だから競技を楽しむんだったらアマチュアを見ろよって話でさ。

小川　そういうこと。ホントに強いんじゃなくて薬漬けになった人間同士の強さを見せ合うというか、俺なんかアマチュア経験してるから、なおさらそれを感じるんだよね。だって、ある意味ルール違反じゃん。

ジミー　バレたらペナルティー取られちゃうしね。

小川　そういう世界だからね。例えば、50メートルのプールの中に一滴たらしてもそれすら見つけるんだから。その場で言い訳は通じないよって世界。確かに総合は流行ってるのかもしれないけど、そういう部分は目ぇ覚めてんのかよ？って思うよね。どう見たって、「お前、ステロイド打ってるだろ？」ってヤツいっぱいいるよ。

――誰とは言いませんけど、素人目にもわかる人もいますよね（笑）。

小川　そういう意味では、前にヒクソンが「誰とやりたい」って聞かれて「人間とやりたい」って答えてたことがあったんだけど、いい表現だなあって思ったよね。

――わかる人にはわかるというか。

小川　そうそう。俺は人間じゃないんだけど、総合に上がってる一部の選手は人間じゃないんだよ。だからこの間の『PRIDE男祭り』で「格闘技ファンの皆さん、目を覚まして下さい！」って言ったのは、そういう意味もあったんだよね。

――ちゃんと理由があったんですね。

小川　そりゃそうだよ。まあ金欲しさってのもあるだろうけど、現にケアーなんか俺とプロレスやってるし、闘ってる中でアイツの性格とかわかってるしね。その中でプロレスで自分をさらけ出したからわかってるんじゃないかな。プロレスをやらなかったらあそこまで自分の格闘技人生をさらけ出す発想にならなかったと思うよ。そういう意味では彼の選択は凄く素晴らしいと思う。誰かが言わなきゃいけないことを先頭切ってやったんだから。やったもん勝ちじゃないけど、もうタブーじゃなくなったからね。

ジミー　うんうん。アメリカでもUFCとかあるけど総合はメジャーになれないんだよね。今回もWWEの選手と話したら「なんで日本人はそんな残酷なショーが好きなんだ？」って不思議がってたからね。

小川　日本人は文化が違うって言ったって、結局は怖いもの見たさなんですよ。人間が殴られるって実世界にないものじゃないですか。いまの日本人って働く時も余裕を持っちゃって、ストレスって出てくるわけじゃん。俺たちの子供の頃のオヤジたちって月曜から土曜まで働いてさ、毎週日曜日は寝て、高度成長期はそんな生活だったからストレスなんて感じる暇はなかったよね。それがいまは「余裕があるから仕事しちゃいけません。お金は払えません」とかって、ストレスが溜まる一方だからさ、それを晴らすのは何かって言ったら、残酷なショーを見たいのかなって。

――非日常的なものを望んでるというか。

小川　だからそういうものを見たいファンっていうのは、ある意味、病んだ人たちなのかなって。だから「目を覚ませよ」っていう意味もあるんだけどね。

ジミー　いまの総合って「どっちがいっぱい薬を打ったの？」って部分が大きいよね。

小川　そういうことなんですよ。だからヒクソンとやりたいなって思ったのはアイツの考えもわかった上で出てる言葉だよね。俺も柔道の世界からこっちに来たけど、やっぱり違う部分って、そういうのが大きいんだよね。

――ヒクソンは混じりっ気のありそうな大会には絶対に出ないって言いますからね。

小川　俺もそれはよくわかるんだよね。混じりっ気のない純度100%の総合格闘技っていうのはどっかにねえのかなあ（笑）。よく高田総統とやらが言ってるじゃない？

――言ってますね（笑）。2人が共通する考えというのは「プロレスは地上最高のショー」というか、ホーガン流に言えば「プロレスがイッチバ～ン！」って感じですか。

小川　蔑んだ見方っていうか、いまはそう見られてるけど、数年先には「プロレスは凄いショーだよ」とか、いい意味でのショーって取られればいいかなって思うよね。

ジミー　WWEがあそこまで支持されたっていうのは前にも言ったことがあると思うけど、リング上の洗練された素晴らしいリングアクションを見せるだけじゃなくて、要はその裏ではこんな苦労があって、こんな感動があってっていうことをうまくファンに伝えたんだよね。ちょっと落ちたりはしてもビッグビジネスには変わりないからさ。そういうことをうまく世間に知らしめたのが凄く大きいよね。

でも感覚的に見ると総合格闘技も、ある意味でのショーだよね

ZERO-ONE&『ハッスル2』日程

★問い合わせ：ZERO-ONE　TEL.03-5730-3401

『EMBERS』※社会福祉チャリティ興行
■2004年2月27日（金）
東京・東村山スポーツセンター（18:00）
※小川直也出場

『MANIFESTO-1』
■2004年2月29日（日）
東京・両国国技館（16:00）
※小川直也出場

『Sweep Away』
■2004年3月5日（金）
東京・後楽園ホール（18:30）
■2004年3月6日（土）
神奈川・小田原アリーナ サブアリーナ（18:30）

『ハッスル2』
◆2004年3月7日（日）
神奈川・横浜アリーナ（16:00）
※小川直也出場
■2004年3月12日（金）
秋田・大館市民体育館（18:30）
■2004年3月13日（土）
北海道・函館市民体育館（18:30）
■2004年3月14日（日）
北海道・札幌メディアパーク・スピカ（17:00）
■2004年3月15日（月）
北海道・旭川地場産業振興センター（18:30）
■2004年3月17日（水）
福島・ビックパレットふくしま（18:30）

小川　そうだね。ただ、いまは『ハッスル』なんかでも、すぐ、高田vs小川戦ってなるじゃない？　俺がホントにやりたいことは違うんだって。何度も言ってるようにカードありきじゃないからね。高田云々じゃなくて究極の目標はプロレスっていうものが立ち上がってくれるってことだから。その辺がまだわかってないなって。

ジミー　怖いからゴールドバーグをタッグでくっ付けてくるんだろうな、高田は。

小川　上がらないと思うよ、この調子だったら。上がれば御の字と思っとかないと。

ジミー　そんな気もするね。

小川　だけどね、『ハッスル』を立ち上げた以上は成功させたいからね。まず、いまは方向性をしっかりさせないと。

ジミー　方向性は面白いですよ、ホント。

小川　ただ、いまは邪魔なものが多いんですよ。新しいものに対して業界の常っていうの？　すぐ「ダメだダメだ」って。じゃあ、お前らが支持してるものがどれだけいいんだよって話でね。

ジミー　自分らが支持してるものがうまくいってないから余計に目くじら立ててるところもあるんだろうけど。『ハッスル』ってのは、プロレスって、もっと違うアプローチの仕方もあるんじゃないかってコンセプトだよね。

小川　プロレス界のことを考えてやってるんだけど、やっぱり新しいもんだから、そういう人たちは何だかんだ言って怖いのかなってまあ、そんなもんには負けないけどね。ジミーさんもハッスルしましょう！（笑）。

ジミー　あれ、どうやってやるの？

小川　大丈夫、あとで教えますから。で、今日のお題って何だったの？

ジミー　やっぱ「プロレスLOVE」でしょ！　違う？

――それでいきましょう！（笑）。

【2月8日／東京・渋谷『竹園』にて収録】

1.30『01U$A 2004』
大阪府立体育館第2競技場

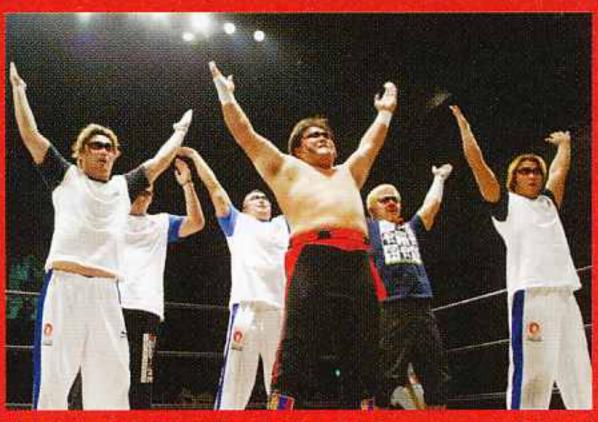
1.31『01U$A 2004』
ディファ有明

最後の01U$Aでハシフ・カーン、大ハッスル!!

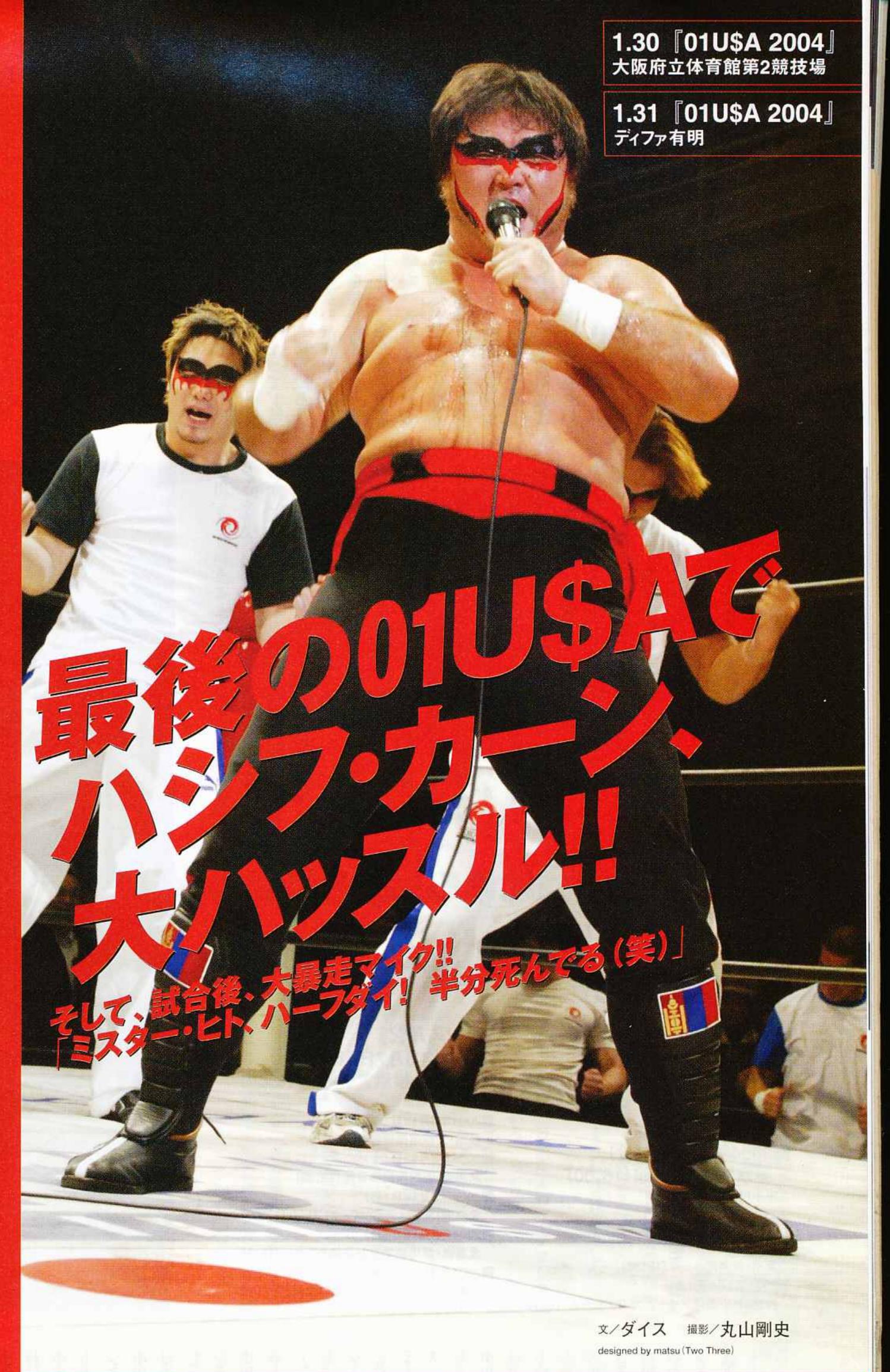
そして、試合後、大暴走マイク!!「ミスター・ヒト、ハーフダイ！ 半分死んでる（笑）」

ハワイでマグマな上に「勝ったら株を51％よこせ」と言い出したりしたので、「もしかして笑顔のステキなあの方か？」と妄想も広がったが、正体はチョップ一発で場内をどよめかすイキな犯罪者（前科30犯）であった。

モンゴル人なのに、なぜかブルース・リーばりの奇声を発して攻め込むハシフ。しかしモンゴルの大草原で育まれたパワーは、細かい突っ込みをすべて受け流すパワーに満ち溢れているのであった。決して笑わないように。

使いの伝書鳩まで食べてしまうほど食欲旺盛なハシフだが、その食欲を満たすよりも、偉大なる師匠ミスター・ヒトの不在を嘆く男ぶりを見せていた。いや、ガチで連絡取れないらしいんですが、ヒトさん。ちなみにサムライTV!からの勝利者賞は黒豚10頭！

試合中もハシフと共に闘っているかのように、セコンドでモンゴリアンチョップの構えを見せていた愛弟子たち。師匠の勝利を我がことのように喜び、深い絆を感じさせる、というか、腹の底から楽しそうで何より。そして最後はハッスルポーズで締め！

文／ダイス　撮影／丸山剛史

designed by matsu（Two Three）

もはや伝説となった狂乱のZERO―ONE★U$Aから1年とちょっと。伝説の団体が再び日本に帰ってきた。悲しいことにこれが最終興行だというけれど、それならば、なおのこと祭りを楽しもうではないか。こちとらジャンキーなのでプロレス観戦は晴れのお祭りではなく、単なる日常なんだけど、それでもU$Aの会場には、ジャンキーの心すらとろかせる甘い香りが漂っている。

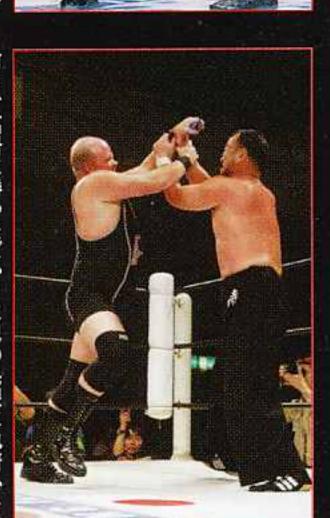
祭りの音色にあわせてなつかしい顔も戻ってきた。世界最大のプロレス団体・WWEのバックステージにZERO―ONEのTシャツを着て登場し、おまけにそれを脱ぎ捨ててすべてを丸出しで走り回った色男レオナルド・スパンキーだ。自意識過剰気味にリングサイドのオネエちゃんをテイクアウトして、やりたいことだけやったら、あとはポイだ。そういうところも大物っぽいね。長らく獄につながれていたネイサン・ジョーンズも近々、トーサン、カーサン、ジーサン、バーサンらを引き連れて一家で戻ってくるという。お楽しみはこれからだ。

今年はオカマとゲイもやってきた。特にメヒコの大物ピンピネーラはあまりにもなまめかしい腰つきで、渋い大人の魅力をかもし出す村山レフェリーに襲い掛かっていく。そっかー、ああいうタイプはオカマ受けしそうだよねえ。村山さんも女子と男子だけでなく、オカマまで裁く貴重な経験を手に入れた。さらに、「ホモに捨てるとこなし」との格言どおり、あまりにも男性ホルモンの塊なディック東郷や可愛い日高郁人にはC・S・Cが狙いを定める。タイトルは取れなかったけど、もっと大事なものは手に入れた（のか？）。

そしてモンゴルからは、あの遊牧王ハシフ・カーンが再びやって来た。友人のハルク・オーガンにセコンドを頼んだも

アンダーソン、髪切りマッチ2連戦敢行!!

2日連続でカベジェラ・コントラ・カベジェラを行うことになってしまった、CW・アンダーソン。人間、いさぎよさが必要だ。いずれ来る毛根との別れに備えて覚悟だけはしておこう。

前日、高岩に勝ったばかりに己の毛根に執着心を持ってしまったアンダーソンが、メヒコで緑の人と別れて風になった男ことサムライ・シローにハサミを突き立てるが、鋼鉄のケツにはアンダーソンもかなわず。

ハードゲイ&オカマが01U$Aに上陸!!

当然のように「YMCA」で入場するハードゲイコンビC.S.C。次回来日時は「どんなときも」あたりで入場か?　正面からの同士討ちも熱いラブシーンに変えるホンモノぶりが恐ろしい。

なまめかしい足取りでロープ渡りを披露するピンピネーラ。その腰つきはやはり本物の迫力に満ち溢れすぎている。サル・ザ・マンに改造されたオータニ。その改造が何かの役に立ったかは不明。

初来日ながら東郷＆日高の持つNWAインター・ライトタッグ王座への挑戦権を得たハードゲイ・タッグ“Christpher Street Connection”バフィーとメイス。世にもおぞましい連携技を連発！

「いただきま～す♥」という声が聞こえてきそうな表情で星川の股間にかぶりつくピンピネーラ。硬派でならす番長・星川に未体験の恐怖が襲い掛かる。村山レフェリーも見てみぬふりだ！

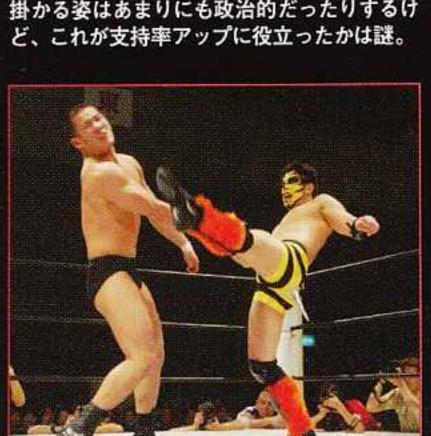
長州力、サルとの遭遇

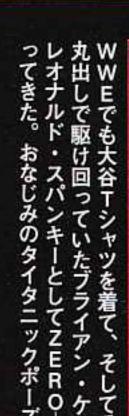
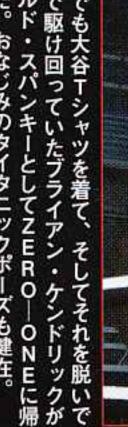
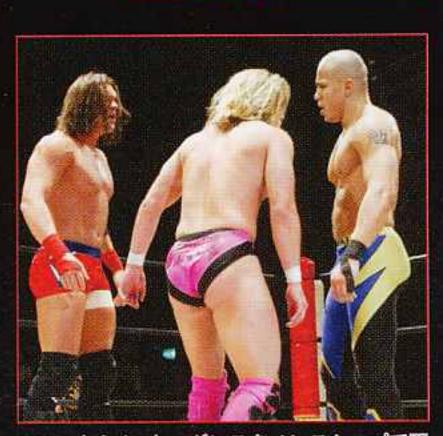
U$Aに長州は不要ではという声も一部にはあったが、尻尾つきレスラー・葛西との遭遁となれば話は別。デスマッチのド真ん中を歩いてきた男の猿知恵による挑発を見て、長州力は何を思う。引っかき傷ぐらいは残せたかな。

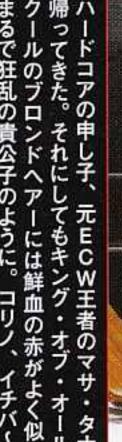
ついに両国での一騎打ちが決定！　はやる気持ちを抑えきれずに橋本真也のすべてを長州にたたきつけてる、負傷を感じさせない破壊王モードが全開だ！　長きに渡る、ガチな因縁に決着がつく日まであとわずかだ、コラァ！

深刻極まりない表情でリングサイドに駆け寄る平成の仕掛け人、中村専務。ロボットでマシーンだから涙を流さないはずのマシンダーZ”も、対戦相手不在という緊急事態には怒りの感情がこみ上げているような気がする。多分。結局、この日はハッスルできず。

対戦前夜に南の島からお台場に上陸した亀路だったが、試合開始予定時刻には会場へ向かう陸橋の前までしかたどりつけなかった（大会終了後、到着）。確かに、国際展示場からディファ有明まで結構遠いんだよなあ。陸橋のエレベーターは使ったのであろうか。

アラブのお金持ちとグリーンベレーの因縁の対決。インチキなマネージャーと共に、襲い掛かる姿はあまりにも政治的だったりするけど、これが支持率アップに役立ったかは謎。

どこの国から来たかは知らないが、中身はだいたい知っている。怪しい蹴り技と飛距離が不安定な飛び技が得意な謎の昆虫バンビーが坊主頭の新人を襲ったり、襲わなかったり。

WWEでも大谷Tシャツを着て、そしてそれを脱いで丸出しで駆け回っていたブライアン・ケンドリックがレオナルド・スパンキーとしてZERO－ONEに帰ってきた。おなじみのタイタニックポーズも健在。

3Wayならぬ3キーダンスをノンストップで駆け抜けた3人。試合後はがっちり握手。スパンキーのWWE入りで立ち消えになったキー軍団も始動。リングアナのオッキーも加入か?

ハードコアの申し子、元ECW王者のマサ・タナカが帰ってきた。それにしてもキング・オブ・オールドスクールのブロンドヘアーには鮮血の赤がよく似合う。まるで狂乱の貴公子のように。コリノ、イチバ～ン！

UNヘビー級王者となったタナカに襲い掛かるナチュラル・ボーン・プロレスラーのコービー君（7歳）。最強の遺伝子は多分持っていないけど、深い親子の愛があればノー問題！

崔リョウジ、地元・大阪で復活宣言!!

頼もしい後輩の復帰を温かく見つめる炎武連夢。だが、“死神”ジェラルド・ゴルドーと破壊王の遺伝子を非常にタチの悪い形で受け継いだ崔リョウジの復帰は、渦巻き寮の若手選手を恐怖のズンドコに叩き落すこと間違いなし！

のの、来場していなかったのは連絡用の伝書鳩をすべて食べてしまったからとの噂もあるが、不思議なことに入国審査を潜り抜けた前科30犯の男マグマ・ザ・キラウェアを圧殺。そして、ラストは、ちょっぴり橋本真也も顔を出し、ハッスルポーズで祭りを締めた。

最後の01U$Aも終わった。祭りの終わりは寂しいけれど、これで終わったわけじゃない。真の01U$Aとでも言うべきコリノの新団体WORLD－1もアメリカで旗揚げされた。一試合で伝説を作り上げたAJスタイルズも、ついに日本への再上陸が決定した。亀路の到着が間に合わなかった非常事態に、血相を変えて本部席へやってきた中村専務はさらに真剣な表情で世界中を駆け回っているハズだ。すべてはジャンキーたちに一夜の夢を見せるため。

最高にふざけた祭りを最高に真剣な気持ちで作り出そう。我らに残された最後の安息の地、ZERO－ONEの作り出す祭りを信じよう。どれだけ多くを望んでも、多分、きっと大丈夫。すべてを飲み込む破壊王の雄大な腹は、まだまだいくらでも膨らむはずだから。

それじゃ皆さん行きますよ～！　3、2、1、ハッスル、ハッスル!!

川田利明

『紙プロ』初降臨

Toshiaki Kawada

デンジャラスK、遂に『紙プロ』降臨！　本誌63号でダチョウ倶楽部の3人が川田伝説について語ってくれたことがあったのだが、まさか本人が登場するとは……。もう、言葉はいらないでしょう！　「俺だけの王道」120％全開のスペシャル・インタビューをさっそく堪能してください！

聞き手／坂井ノブ　撮影／黒田史夫　試合写真／平工幸雄
designed by hisa（Two Three）

――はじめまして。『紙のプロレス』という月刊誌の取材なんですけど、ご存知ですか？

川田　読んだことありますよ。通な人にはいいんじゃないですか？

――あ、ありがとうございます（笑）。川田さんには初めて出て頂くので、川田さんの人となりといった部分から、幅広く聞いて頂けたらと思うんです。ダチョウ倶楽部さんに、いろいろ川田さんの伝説もうかがったりしたんですけれども……。

川田　あ、そうなんですか？

――ええ。で、このインタビューの前に行われた記者会見で橋本戦が発表されましたね。

川田　この試合が決まってから一度流れてますからね。長かったですよ。

――会見では「闘う直前まで何も考えない」とおっしゃってましたけど、こういう大一番の時は感情のもっていき方って難しくないですか？

川田　感情は、その大一番のリングに上がって出すものだから。それまでは考えないようにしてますけどね。考えるとダメなタイプなんで（笑）。

――じゃあ、むしろ大一番の前は積極的に何も考えないようにしよう、と。

川田　何か別のことを考えるわけじゃないですけどね。リングの中と外ではスパッと切り替えないと疲れちゃうんで。

――リングの上での川田さんはピリピリしてて刺激的ですよね。

川田　逆に普段はリラックスしていた方がいいんです。リング上の状態でいつも生活してるヤツなんていないでしょう。そんなの新崎人生ぐらいでしょ？（笑）。

――ハハハハハ。川田さんって割と寡黙なイメージで受け取られがちじゃないですか？

川田　どういう風に？

――雑誌とか新聞で「寡黙な王者」って書かれてることも多いし、ペラペラじゃべるタイプでもないと思うんですよ。でも、リング外の川田さんは決して寡黙じゃないわけですよね？

川田　そうですね。言われてるほどじゃないと思いますけど。

――川田さんのトークってかなり貴重だと思うし。復帰直前に下北沢の映画館でトークショーに出られてましたよね？（2003年3月8日）。あの時もファンの期待って凄かったですからね。

川田　どういう期待感ですか？

――川田さんがしゃべるってことに対する期待感ですよね。

川田　（不服そうに）なぜか、そういうイメージで捉えられちゃうんですよね。しゃべらないで変わってるヤツだってイメージを持ってる人は多くて、インタビューする方もそういうイメージを持ってる方がいるし。話してみると「あ、普通の人なんですね」って。

――「普通の人」って言い切られちゃうのも、どうかと思うんですけど（笑）。

川田　プロレスラーをやってるのに、普通の人でいるってこと自体が変わってるのか

プロレスラーは変わった人ばかりだから逆に普通の人が「変わってる」と思われる

もしれないですけどね。プロレスラーは変わった人ばっかりなんで。

――そうですよねぇ。

川田　変わった人ばかりだから、逆に普通の人が「変わってる」と思われるのかもしれないですね。

――川田さんから見て、一番変わってるなぁと思った人は誰ですか？

川田　どうでしょうねぇ？　有名なレスラーは個性の強い人ばっかりですから。個性がなかったら上に立ってはいられないと思うから。それはそれでいいことだと思うし。誰が一番っていうのは……。俺だって変わってるところもあると思うんだけど、普通に話すと「あ、普通の人なんですね」って必ず言われますから（笑）。

――裏を返せば、それだけリング上でのイメージが強烈だってことですよね。

川田　そうなんですかねぇ。別に考えてやってるわけじゃないんですけど（笑）。自分のプロレスを出してるだけだから。

――でも、いきなり現在の川田利明が完成したわけではないですよね？　デビューして、キャリアを積んで、段々といまの川田さんが形成されていったと思うんです。

川田　まあ、考えた時期もあったんですけど、考えなくなってからのほうが自分のプロレスが固まってきたかな。

――それはいつ頃ですか？

川田　超世代軍とか言われてた頃ですかね。余計なことを考えなくなると、試合でも無駄なことをやらなくなりますから。

――無駄なこと!?

川田　お客さんが欲しがるものって、派手な技だったり、パフォーマンスだったり……。そういうものがなくなっていってから、いまの自分が定着してきたんじゃないかな。

――つまり川田さんの中では無駄だったということですよね？

川田　そうです。

――いま、パッと思い浮かんだんですけど、川田さんの対極にいるのは間違いなく馳（浩）さんですよ（笑）。

川田　でも、アピールが彼のイメージに合ってるし。それはそれでいいと思いますよ。僕にそういうアピールが合わなかっただけで。

――川田さんが馳先生みたいに腰を振ってる姿は考えられないですもんね。

川田　ハハハハ。でも、それは出来ないわけじゃないですよ。やらなきゃいけなくなった時には、「いつでもやりますよ」って。ただ、いまはやろうとも思わないし。そういう時と場所が来れば、やる可能性もありますし。まあ、いまは必要ないですけど（キッパリ）。

Toshiaki Kawada

――無駄なものをそぎ落としていくと、92年にプロレス大賞を獲ったスタン・ハンセンとのシングルマッチみたいに、ひたすら殴る、蹴るだけの試合になりますよね。

川田　ああいう試合をやるようになって、認められてきたかなって手ごたえもありましたから。

――下手にマイクでしゃべるよりも、パンチ一発の方が多くを伝えることが出来ると？

川田　それでお客さんに伝わればと思いますけどね。

――年末の小川直也戦も、かなり削ぎ落とされた試合でしたよね。

川田　それも考えてやってるわけじゃないんで。彼（小川）も考えるような人間じゃないだろうし（笑）。

――過去にはゲーリー・オブライト戦や高山善廣戦がありましたけど、川田さんが初対決の相手と闘うときは、ムチャクチャ刺激的ですよね。川田さんの場合は、自らそういう場所に進んで行きますよね。

川田　そのかわり、辛いですけどね。怖いし。だけど、お客さんが新鮮なものを望んでて喜んでもらえるなら……。自分にとっても新鮮だし。毎日、同じ相手と試合してると嫌になっちゃいますからね。自分がそういう気持ちの時は、お客さんだって嫌だろうし。いつも思うのは、メジャーな団体だろうと、小さいインディ団体だろうと、『PRIDE』だろうと、結局はお金を払って観に来てくれたお客さんが満足して帰ってくれればいいってことなんです。

――小川戦は、最初両者リングアウトで消化不良で終わりましたよね？　そこで川田さんが珍しくマイクを持って試合続行を宣言したわけですけど。

川田　リングアウトで試合が終わった時に、「俺はこの試合を見るために金を払って来たんだ！」っていうお客さんの声が聞こえたんですよ。「このまま終わらせたらいけないな」と思ったんで……。

――それが「小川、お客さんが待ってるぞ！」ってマイクに繋がったんですね？

川田　そう言ってたみたいですけど、頭打ってたみたいで自分では、そのセリフまでは覚えてないんですよね。ただ、そのお客さんの声は覚えてます。

――よっぽど、その声が川田さんに響いた

んでしょうね。
川田　そうですね。ボーっとしてる瞬間に頭に入ってきましたから。でも、いくら頑張ったからって、満足してもらう試合が出来るとは限らないのが難しい部分ですけどね。
――そうですね。川田さんも出場した『ハッスル1』は、大会自体の評価が賛否両論が分かれてます。
川田　まあ、（髙田延彦）指名試合うんぬんっていうのは、自分はよく分からないですけどね。
――ああいう舞台はいかがですか？
川田　あんまり自分には合ってないように思いますけど、周りがどうであれ自分の試合をやればいいんだって思いました。
――試合前の演出だとか、ああいう部分はどう感じましたか？
川田　別にいいと思いました。リングに行くまでが長いし、階段を降りてから花道を歩くんですけど「ここでコケたらどうしよう？」とか心配しましたよ（笑）。
――ハハハハ！　対戦相手のマーク・コールマンはいかがでしたか？
川田　ちょっと体調を崩してて、身体も落ちてたんじゃないかな？　でも、そっちの世界の一線で活躍した選手ですから。
――『PRIDE』でのコールマンの試合もご覧になったことは？
川田　ありますよ。
――レスリング出身の選手ですから、川田さんと同じバックボーンですよね。
川田　僕がレスリングをやってたのは高校の頃ですから、かなうもんじゃないですよ。
――川田さんがレスリングをやってたのは、プロレスへの筋道だったわけですよね？
川田　そうですね。
――最近はレスリングを経て総合格闘技に出るという選手が多くて、総合格闘技からプロレスに来る選手も増えてます。
川田　やれる時に、やりたいことをやればいいんじゃないですか？
――逆に川田さんが総合格闘技の試合を見て、刺激を受けたりする部分もありますか？
川田　ああいうことをやりたかった時代に、ああいうものがあったらなぁと思いますよ。
――やりたかった時代！　川田さんにも、そういう時期があったんですか？
川田　プロレスで自分の名前も何も売れない頃ですね。20代半ばの頃かなぁ。
――まだK―1も何もない時期ですね。当時はUWFもありましたけど。
川田　UWFのいちばん最初はラッシャー（木村）さんとか、マッハ（隼人）さんとかいましたよね？
――いましたね、なぜか（笑）。

プロレスで自分の名前が売れない頃ああいうこと（総合格闘技）をやりたかった

Toshiaki Kawada

川田　これ、言っていいのかどうか分からないんですけど、マッハさんはウチの会社から偵察として出したんですよ。
――え～っ!?　いわゆるスパイですか？
川田　まあ、「様子を見てこい」と。そしたら、帰ってこなくなっちゃったんですけど（笑）。『紙プロ』を読む人は、そういう話が好きなんでしょ？
――ありがとうございます（笑）。話は戻りますけど、『ハッスル1』では川田さんとは別のところで、髙田さんや小川選手が記者会見とかで激しくやりあって、ハッスル劇場なんて言われてますけど……。
川田　あんまり見てないから分からないんですよ（苦笑）。仮に、それを見て喜ぶ人がいるならいいんじゃないですか？
――川田さんは？
川田　僕には出来ないでしょうけど（笑）。価値観の問題ですよね。
――なるほど。川田さんが守ってる価値観を支持してる人はかなり多いと思うんです。
川田　僕がいまのままでいることは大変なんですよ。でも、変わらないでいることが僕なんだろうし、さっきも言ったように変わることはやろうと思えばいつでも出来ると思うんで。
――武藤さんが社長になったりして、「全日本は変わった」と言われることが多いですよね。武藤さん自身も「変わることも必要だ」と言ってますけど。
川田　それは僕も間違ってないと思います。でも、その中で僕が変わらなければ目立つと思うんで（笑）。「変わった全日本がいい」というファンもいれば、「昔の全日本がいい」というファンもいますよね。僕は「昔の全日本がいい」というファンの心の拠り所であれたらいいな、と。
――変わらないものを見たいヤツは俺のとこに来い、と。
川田　そこまでは言い切れないですけどね（笑）。昔から応援してくれるファンは大事にしたいです。
――やはりファンの期待は裏切れない？
川田　この世界は何が裏切りなんだかよく分からないですけどね。その裏切りを喜ぶファンもいるし。この世界ぐらいですよね、裏切って会社を出て行った人がまた戻って来れるのって（笑）。一般社会ではあり得ないことでしょ？　裏切った人が得するような世界ですからね。
――そういうのって、川田さんの価値観の中では許せないことですか？
川田　……正直言って、うらやましい時もありますよ。その方が得なんですもん。金銭面も含めてね。ただ、自分がやってきたことを曲げちゃった時に、いままで応援してくれたファンをガッカリさせちゃうの

もどうかと思いますね。

――自伝の中で、自分のことを「雑草」と書かれてましたけど……。

川田 雑草はほっといても生えてくるし、踏みつけられても平気だったり、いろんな意味がありますよね。

――日陰にずっと根を張ってるのも雑草だし。

川田 陽の当たるところだけを選んでタイミングよく花を咲かせるヤツが一番おいしいですよね。

――でも、いまの川田さんのポジションって、おいしくないですか？

川田 え、どうして？（笑）。

――たとえば全日本から選手が大量離脱した時、残ったのが川田さんと渕さんだけですよね？

川田 メチャクチャきついですよ。試合数も減っちゃうし、いつまで団体が続いていくのか分からない状況ですから。「おいしい」とは言い切れないですよ。ああいう形で新日本のドームに上がれたのは、おいしかったのかなとは思いますけど……。いま、いて楽しい団体はここかなって。そう思わなきゃいけないと思うし、実際にそう思える時もあるし。

――それはどんな時ですか？

川田 やっぱり自由ですよね。マッチメイクとか会社に制限されますけど、伸び伸びいられる団体の方が、僕はいい試合が出来るんじゃないかと思います。上から締め付けられちゃうとダメなタイプなんで。高校のレスリング時代も2年生まではいい成績が取れなかったですから。

――なるほど。先輩の選手はほとんどいなくなっちゃいましたからね。馬場さんというのは、どんな存在でしたか？

川田 凄く気を使ってくれましたよね。会社にお金がなくても給料だけは出してくれましたから。信用がない人が多い世界で、ものすごく信用がありましたよ。

――川田さんも信用をすごく大事にしてますよね。

川田 人間として当たり前のことですよ。

――裏切るのが生き甲斐みたいな人もいますけどね（笑）。

川田 裏切られた方が楽ですよ（笑）。

――笑顔で言い切れますか？

川田 ホントに。裏切ることほど辛いものはないですよ。裏切っちゃったら周囲に苦しむ人が増えるでしょ？ まあ、プロレス界はそれで回ってるようなもんですけどね。裏切られた瞬間は苦しいけど、忘れるしかないもん。裏切られたら自分だけが苦しめばいいわけですよ。

――裏切られたからこそ、川田さんは信用を大事にしてるわけですね。

【04年1月20日、都内全日本プロレス事務所にて収録】

1963年12月8日、栃木県下都賀郡出身。1982年10月4日、千葉・大原町消防署前グラウンド大会、vs冬木弘道戦でデビュー大量離脱後の全日本プロレスを支える屋台骨であり、「俺だけの王道」をひた走る三冠ヘビー級王者。最近は太田プロにも所属する。身長183センチ、体重105キロ。著書は自伝『俺だけの王道―川田利明自伝 Dangerous K』（小学館）。得意技は顔面へのハイキック、ストレッチプラム。キャッチフレーズは「デンジャラスK」。

川田利明がプロデュース！ 鹿児島芋焼酎「俺の王道」発売！

デンジャラスKが芋焼酎をプロデュース！ 『週プロ』選手名鑑の趣味に「美食」と書くほど、味にはうるさい男・川田利明。そんな川田が芋焼酎をプロデュースすることになった。プロレス、総合格闘技などの有名選手がプロデュースするお酒の新ブランド「格闘技酒」の第一弾として川田利明が登場することになった。「芋焼酎って独特のクセがあるんですけどね。これは飲みやすさを重視して作りましたから」とのこと。2月より店頭販売が予定されている。

第3回武藤塾開催！ 男も女もプッシュアップ！

今回のテーマは「男は逞しく、女は美しく」。当日はプッシュアップボード(￥5250)を使った自宅でできるトレーニングを中心に講義します。「事前にLEGLOCK HPで購入して頂き持参するか、当日会場で購入後受講することをお勧めします。※プッシュアップボードをお持ちでない方も参加可能です」とのこと。終了後、ヘルシーちゃんこパーティー開催!!

【日時】3/14(日)15:00～18:00
【場所】千葉・ゴールドジム行徳千葉店
(千葉県市川市湊新田1-6-8スーパーセレクション2FTEL.047-390-3434)
【料金】￥5000(税込)
【チケット販売】チケットぴあ/ゴールドジム行徳千葉/レッグロック
【塾長】武藤敬司
【講師】桑原弘樹(江崎グリコ株式会社)
【アシスタント】カズ・ハヤシ、河野真幸、おコジ
【お問い合わせ】レッグロック TEL.03-3234-0969

全日本プロレス大会スケジュール

『HOLD OUT TOUR 2004』

全日本プロレスが『HOLD OUT CUP』と題した時代を担う若手・中堅選手の活性化を目的とするリーグ戦を開催。なお、ジュニア・ヘビー級選手を対象にしたリーグ戦を別の機会に行うため、今回はヘビー級選手のみの参加となる。

【参加選手】奥村茂雄、平井伸和、保坂秀樹、本間朋晃、宮本和志、河野真幸
【試合形式】リーグ戦はPWFルールによる20分1本勝負、優勝決定戦は無制限1本勝負とする。

3月20日から開幕する『HOLD OUT TOUR』の3・20後楽園ホールより3・27石巻総合体育館の日程で6選手による総当たりリーグ戦を行い、得点上位2選手が最終戦3・28倉形ドーム(木更津)にて優勝決定戦を行う。優勝者は『チャンピオン・カーニバル2004～PLEASURE6～』への出場が認められる。組み合わせについては後日発表。

■3月20日（祝）東京・後楽園ホール（12:30）
特別席￥7000／A指定席￥5000／B指定席￥4000／
一般立見￥2500（当日のみ）／小中高立見￥1000（当日のみ）

■3月21日（日）京都・KBSホール（17:00）
S席￥7000／A席￥5000／
一般立見￥4000（当日のみ）／小中高立見￥1500（当日のみ）

■3月23日（火）富山・富山産業展示館テクノホール（18:30）
特別リングサイド￥7000／リングサイド￥5000／指定席¥4000
小中高生立見￥1000／一般立見￥3000（当日のみ）

■3月25日（木）宮城・気仙沼市総合体育館（18:30）
特別リングサイド￥6000（当日￥500増）／A指定席￥4000（当日￥500増）／
一般立見￥3000（当日のみ）／小中高生立見￥2000（当日のみ）

■3月26日（金）宮城・多賀城市総合体育館（18:30）
特別リングサイド￥7000／リングサイド￥5000
一般立見￥3000（当日のみ）／小中高生立見￥2000（当日のみ）

■3月27日（土）宮城・石巻市総合体育館（18:30）
ロイヤルシート￥10000／特別リングサイド￥8000／
リングサイド￥6000／A指定席￥5000／2階特別席￥5000／
2階自由席￥3000（当日のみ）／2階小中高生自由席￥1500（当日のみ）

■3月28日（日）千葉・木更津倉形ドーム（16:00）
S席￥10000／特別リングサイド￥6000（当日￥1000増）／
指定席￥4000（当日￥1000増）／一般立見￥3000（当日のみ）／
小中学生立見￥3000（当日のみ）

問　全日本プロレス　03-3288-0610

2・22全日本プロレス日本武道館にひと区切り

また会う日まで……会えるときまで……

破壊王の挑戦を退け、「僕は武道館が大好きです。またここに戻ってきます！」とマイクアピール、客席を見渡した川田。事実上最後の武道館大会には16000人超満員のファンが詰めかけた。これには川田も「久しぶりに武道館だな、という気がしました」と感慨深げ。川田vs橋本には往年の四天王時代のような熱狂的な声援が送られた。敗れた橋本も「全日本を守ろうという気があった」と川田の気迫を認めた。

橋本が川田の足に袈裟斬りチョップを叩き込めば、その足で川田は橋本の顔面を蹴りまくる。試合中、橋本は仁王立ちのまま、目をカッと見開いて後ろに倒れ込む衝撃シーンも！

♪また会う日まで〜、会えるときまで〜、と尾崎紀世彦の『また会う日まで』が聞こえてきそうなリング上だった。頑なに伝統を守り続けてきた全日本プロレスが、路線改革の一環として2月22日の大会を最後に聖地・日本武道館から撤退する。観客動員、経費などを考えての一時撤退で「これが最後というわけではない」と武藤社長も繰り返すのだが、16000人（超満員）のファンは名残を惜しむかのように武道館へ詰めかけた。

「オレの歴史が武道館の歴史だと思ってる」と川田が言うように、昔から全日本プロレスは武道館で幾多の名勝負を重ねてきた。そして、この日も最後にふさわしい激闘がメインイベントで繰り広げられた。川田利明vs橋本真也の三冠ヘビー級選手権試合はお互いの身体を切り刻むような試合展開だった。

とはいえ、チャレンジャーの橋本は万全な体調でなかった。バックドロップを放った際に負傷していたさらに肩を痛め、そこをストレッチ・プラムで集中的に攻められて苦悶の表情。それでも意を決してギブアップだけはしない破壊王に代わり、最後はZERO-ONE中村祥之専務が若手のTシャツを脱がせてリングに叩き付けることで試合を終わらせた。

「何も弁解はございません」試合後、破壊王はいさぎよく負けは認めたものの、これで終わりとはならなかった。「体調が戻ったら、今度はオレが破壊する番だ!!」また会う日まで、会えるときまで、破壊王とデンジャラスKの因縁は続いていく。

そして、セミではボブ・サップが武

武藤とサップは試合終盤に見事な連係プレーを披露してRO&Dを撃破!! 試合後、乱入したTAKAみちのくは「お前、外人だろ？RO&Dに入れ!!」と勧誘するがサップは「NO WAY!!」と拒否!! さらにフォーク片手にブッチャーまで乱入するなど、風化寸前のW-1がプレイバックする乱闘劇となった。「アメリカからRO&Dとのパッケージでオファーも来てる」と武藤は手応えを感じている。

ドゥ・ザ・レッスル!!

武藤&サップ

「チームW-1」本格始動

これが全日本の近未来型なのか!?

NOSAWA&MAZADAが全日本に初来日!! ターメリックとのハードコア戦ではバケツいっぱいに凶器を詰め込んで大暴れした。大日本出身の本間は花道にテーブルをセットすると、花道上のゲートからの攻撃を狙うが、逆にNOSAWAに突き落とされて墜落!! しかも机を飛び越えて花道に落ちた。まさにハードコア!!

絶賛座礁中のW-1から国宝クラスのレア・グッズ“渕印籠”持参でブルーKが参戦……かと思ったら、試合前にマスクを脱ぐと現れたのはTAKAみちのくだった。ジュニア王座はカズが奪取。

北斗晶、全日本に登場!! 天龍のセコンドとして花道を歩いてやってきたが、レフェリー・和田京平が「京平ブロック」でリングインは阻止!! 試合中、ちょっかいを出した北斗に退場も命じた。

昔ながらの全日本を知る天龍と渕がラスト武道館で一騎打ち!! 激しい乱打戦で渕の白い身体は真っ赤に腫れ上がる!! 天龍は53歳とパワーボムで勝利。この2人でアジアタッグの王座に挑む！

小島はかつてのタッグパートナー太陽ケアと流血の遺恨マッチ!! この大会後、ZERO-ONE中村専務は大谷のパートナーとして小島にオファーを出したことを明かした。『ハッスル2』に出場!?

藤とタッグを組んで大暴れ！ WWEスーパースター・リキシの実弟に当たる超巨漢ジャマールと肉弾戦を繰り広げ、最後は武藤とのシャイニング・ウィザードの競演までやってのけた。試合後、RO&Dと乱闘になると控室から小島聡とアブドーラ・ザ・ブッチャーまで飛び出してきて、チームW－1をアピール！ 大会としてのW－1は暗礁に乗り上げたままの状態だが、チームとしてのW－1は武藤&サップを軸に本格的に動き出す模様。サップは、今後の予定として「ビーストはIWGPを獲る！ その後に戻ってくる」と全日本再登場を明言した。また会う日まで、会えるときまで、W－1は全日本の中で続いていく。

過去、現在、そして未来が大きな玉ねぎの下で交錯した武道館大会は川田がマイクで締め括った。「僕は日本武道館が大好きです！ また、ここに戻ってきます！」また会う日まで、会えるときまで、全日本プロレスは代々木第二体育館を本拠地として新たなるスタートを切る。

（坂井ノブ）

大会終了後、会場内には爆風スランプの「大きな玉ねぎの下で」が流される粋な演出も。全日本は数々の名勝負を生み出してきた日本武道館での歴史にひとまず区切りを付けた。

次号、噂の健介邸をヴァーッとクァーッとたっぷり紹介!

大好きッ! 健介ファミリーspecial!!

01★健介スパッツ(サイン入り)【健介提供】
02★レイナ・フブキマスク(サイン入り)【北斗晶提供】
03★陶器の犬【誠之介くん提供】
04★オモチャ多数【健之介くん提供】

コレ!

KENSUKE FAMILY

世界一素敵な家族・健介ファミリーが『紙プロ』読者のためだけに目ン玉飛び出るような超豪華プレゼント! WJ旗揚げ当時に使用していたスパッツ&"北斗のもう一つの顔"レイナ・フブキマスクの激レアグッズ!! 更には誠之介くんの手に握られている陶器の犬、健之介くんのオモチャ約30体! 家族総出で太っ腹なことこの上なし! 衝撃の健介宅訪問の詳細は次号掲載。お楽しみに!

各1名様

まだまだプレゼントを物色中の健之介くん。最終的には約30体ものオモチャを提供! そのビッグハートぶりには既に大物の片鱗が……。

MICHI-PRO

FECや外敵にいじめられがちなみちプロ正規軍。これを着てサスケ会長及び『若草杯』出場(なぜだ!?)の沼二郎を応援しよう!
[TEL] 019-626-1333 [URL] http://www.michipro.net/www/

各1名様

5名様

★みちプロ携帯電話クリーナー ¥500

★気仙沼二郎Tシャツ ¥2000

★サスケTシャツ ¥2000

AAA

大好評に終わったAAA日本上陸。現在は入手困難となったSOLLUNA&紙プロ・コラボTシャツと、AAAの詳細を紹介したDVDパンフレットをプレゼント! DVDにはピンピネーラ&チャーリー・マンソンのサイン入り! 【SOLLUNA提供】
[URL] http://www.sollunawwe.com/

★AAA INVADING JAPAN ロゴTシャツ(『紙プロ』ロゴ入り限定Ver.) ¥3000

★AAA INVADING JAPAN DVDパンフレット ¥2000

セットで1名様

HAOMING

色褪せることのない存在感！ インテリジェンスモンスターをこれでもかと言わんばかりにリスペクトした逸品が、お馴染みハオミンから登場！ 耳を澄ませば、ほら"移民の歌"が……。【HAOMING提供】
[TEL] 03-3452-3666 [URL] http://www.haoming.jp

★AAA MEXICO
WHITE ¥4200
SIZE S SIZE M SIZE L SIZE XL

★ブロディフェイス
WHITE,SAFARIGREEN ¥3900
SIZE S SIZE M SIZE L SIZE XL

★ブルーザー・ブロディTシャツ
BROWN,GREY,WHITE ¥3900
SIZE S SIZE M SIZE L SIZE XL

各1名様

BAMBAM BIGELOW

ステキな新作が続々登場！ YASU GALLARYで展示会「MASCARASTERS WORLD」も開催。詳しくは情報ページ、もしくは下のアドレスにレッツ・アクセス!! 入場無料なので遊びに行こう！
【BAMBAM BIGELOW提供】[TEL] 03-3460-1145 [URL] http://www.bambam88.com

★マスカラス・トートバッグ
RED ¥4500

★マサ・サングラスパーカー BROWN ¥8800

各1名様

INOKI BOM-BA-YE

ギャラ問題や関係者失踪の噂など、未だに混乱続行中&話題沸騰中の『猪木祭り』。貴重なINOKI BOM-BA-YE スタッフジャンパーを辻ちゃんが提供してくれました！ もちろん辻ちゃんのサイン付き!!【辻結花提供】

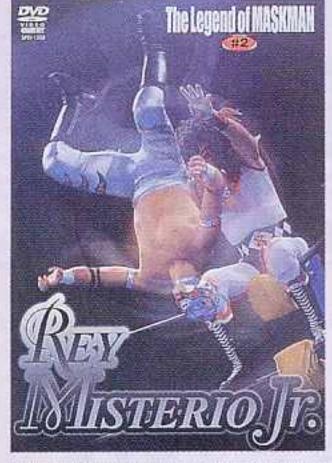
★INOKI BOM-BA-YE 2003 スタッフジャンパー

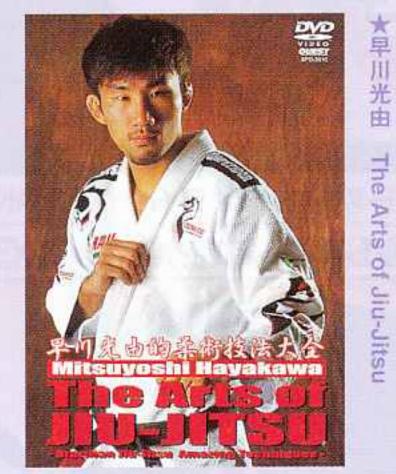
1名様

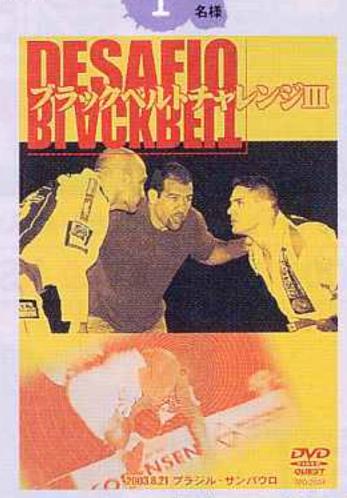
QUEST

クエストがプロレス&格闘技のDVDを紙プロ読者にドドーンとプレゼント！ ルチャ、女子キック、はたまた柔術まで、その幅の広さに脱帽です。【クエスト提供】
[TEL] 03-3360-3810 [URL] www.queststation.com

各1名様

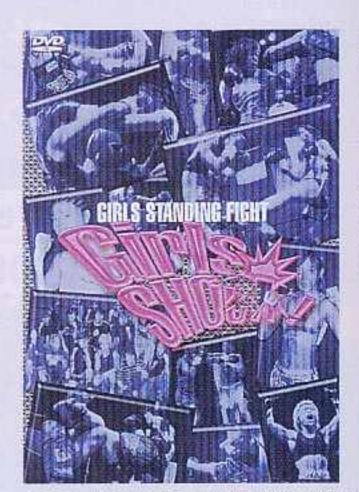
★仮面伝説#2 レイ・ミステリオJr.

レイ・ミステリオJr.vsフーベントゥ・ゲレーラ、ウルティモ・ドラゴンvsライオン・ハート、そしてミステリオvsウルティモ他、貴重な映像が満載！ ライガー、サスケ、大谷、外道らも登場。(219分)

★早川光由 The Arts of Jiu-Jitsu

平直行に師事し、他競技との交流により独自の柔術を築き上げた"技のおもちゃ箱"早川。その驚愕のテクニックの数々を早川自身が初公開する！ (240分)

★ブラックベルトチャレンジIII

2003年8月21日、ブラジル・サンパウロに柔術界で最も旬な男6人の世界柔術王者が集結！ そしてメインにはホナウド・ジャカレイが登場！ 超豪華カード12試合を完全収録。(159分)

★第3回女子レスリングワールドカップ

昨年10月に日本で開催された世界のトップチームによる総当たりリーグ戦。日本は伊調姉妹、吉田沙保里、浜口京子、そして山本姉妹の最強軍団で3連覇に挑む！ (227分)

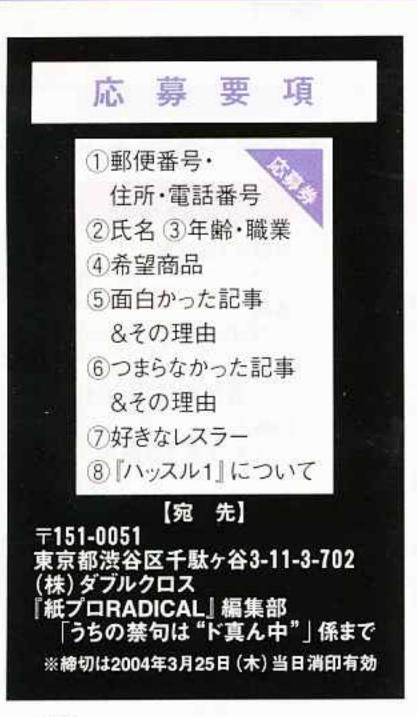
★Girls SHOCK!

女子キックの最高峰！ WINDY智美、渡邉久江、ジェット・イズミ、NORIKO、グレイシャアAkiらが女の闘いを繰り広げる。第2回&第3回大会全試合、第1回大会のダイジェストを収録!! (120分)

応募要項

①郵便番号・住所・電話番号
②氏名 ③年齢・職業
④希望商品
⑤面白かった記事&その理由
⑥つまらなかった記事&その理由
⑦好きなレスラー
⑧『ハッスル1』について

【宛 先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「うちの禁句は"ド真ん中"」係まで
※締切は2004年3月25日(木)当日消印有効

DEKA-KON

1名様

★刑事魂
〜DEKA Compilation〜 ¥2500

業界初・刑事ドラマソングのベスト版が登場！ 過去に放送された刑事ドラマの中から、誰もが知る名曲や初CD化の曲などを惜しげもなく完全網羅！ 発売イベントに参加したビッグ・ボスマンのサイン入りCDをプレゼント！【ユニバーサル・ミュージック提供】
[URL] http://www.universal-music.co.jp/dekacom/

BODY PLANT

「燃えよ！ドラゴン」上映30周年記念を祝して、ブルース・リー出演映画のサントラをカバーしたCDが発売！ 初回限定版には死亡遊戯トラックスーツ風ロングTシャツ&ボディプラント六本木「JKDエクササイズ」体験券付き！【ボディプラント提供】
[TEL] 03-5772-2791 [URL] http://www.bodyplant.com

1名様

★The Dragon's "Walk On" ¥3980

DSE

各1名様

グッズの中のグッズたちよ、出てこいやぁ！ といわけでDSEから数々の男アイテムが登場。これを身に付ければ男度数アップ間違いなし！ 3点揃えれば男の中の男だよ、サムライだよ！【DSE提供】
[TEL] 03-5464-1531 [URL] http://www.so-net.ne.jp/pride/

★男ストラップ(右) ¥1000
★男初段黒帯ストラップ(中) ¥1000
★男キーホルダー(左) ¥1000

No.71
2004年3月26日発行

No.72は
3月下旬発売予定!
※地域によっては多少発売日が遅れます。

STAFF

編集兼発行人
山口日昇

編集スタッフ
松澤チョロ
堀江ガンツ
ジャン斉藤
八木賢太郎（ヤドカリ野郎にブチ切れたため非番）

見習い
斉野政智

スーパーバイザー
吉田豪

助っ人
片山ボン
ジャイ子

電気部
ささきぃ
スモーノブ

アートディレクター
出田さん（TwoThree）

デザイン
ヒサくん
マツくん
タニやん
ブンちゃん
ノグッチー
しらき（以上TwoThree）

トメさん
はなえちゃん
黄川田洋志（以上さおとめの事務所）

カメラマン
斉藤ユーリ
森鷹博
遠藤政文
戸成嘉則
松本崇
丸山剛史
吉場正和
福島俊彦
福島勝儀

試合写真
平工幸雄
乾晋也
吉澤晃

お勘定&衣料部
林“ヘックション”一枝

体調
プリン体・入江（TwoThree）

印刷
図書印刷株式会社

印刷人
大杉すぎすぎ昌也

ハリトーノフ、『PRIDE.27』で激勝!
RTT（ロシアン・トップチーム）が『PRIDEヘビー級GP』を席巻する!!

セルゲイ・ハリトーノフ

『紙プロ』通販グッズは電話注文できます!!
TEL.03-3403-5142
【平日15:00～22:00】

『紙プロ』通販方法

★TPOにあわせて選べる通販方法
★消費税サービス
★全国どこでも送料一律500円（離島、山間部は除く）
★代引御支払は、現金、デビットカード、クレジットカードの中から選べます。
★通販は「紙プロHand」でも可能です。

代引 郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯）、商品名、サイズ、枚数、年齢を書いたメールを

kapra@kamipro.com

まで送り下さい。
申し込みメール確認後、佐川急便にて発送。代金引換でのお受け取りになります。商品代金のほかに送料一律¥500（何枚でも可。離島、山間部は除く）。代引手数料約¥315がかかります（代引金額によって異なります）。御支払は、現金、デビットカード、クレジットカードの中から選べます。

現金書留 希望商品の代金＋送料一律¥500（何枚でも可。離島、山間部は除く）を現金書留で

〒151-0051
東京都渋谷区
千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス

まで送り下さい。郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯）、商品名、サイズ、枚数、何故か年齢を必ず表記してください。

郵便振替 希望商品の代金＋送料一律¥500（何枚でも可。離島、山間部は除く）を郵便振替で送り下さい。

郵便振替の宛先は
00130-3-769154
（株）ダブルクロス

郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯）、商品名、サイズ、枚数、何故か年齢を必ず表記してください。

電話注文もできます!!
平日15:00～22:00
（株）ダブルクロス 03-3403-5142

ロシア『RTT』Tシャツ〈レッド〉
¥3,800 S or M or L or XL

ロシア『RTT』Tシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or L or XL

ロシア『RTT』Tシャツ〈グレー〉
¥3,800 S or M or L or XL

ヒョードル「ラスト・エンペラー」Tシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or L or XL

ヒョードル「ラスト・エンペラー」Tシャツ〈ブラック〉
¥3,800 S or M or L or XL

エメリヤーエンコ・ヒョードルTシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or L or XL

エメリヤーエンコ・ヒョードルTシャツ〈ネイビー〉
¥3,800 S or M or L or XL

『ヒョードル』キーホルダー
¥1,200

『ロシアン・トップチーム』キーホルダー
¥1,200

ロシアン・トップチームTシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or L or XL

ロシアン・トップチームTシャツ〈レッド〉
¥3,800 S or M or L or XL

通販完売商品は直販店にある!?
【『紙プロ』ウェア常備ショップ】★チャンピオン（TEL.03-3221-6237） ★東京イサミ（TEL.03-3352-4083） ★リングソウルZ神戸（TEL.078-393-3514） ★宮城・スクワット（TEL.022-264-8160） ★大阪・少年ジェッター（TEL.06-6541-3551） ★福岡天神ビブレGROUND COBRA（TEL.092-711-1021） ★三恵格闘技SHOP長崎（TEL.095-824-8658） ★三恵格闘技SHOP諫早（TEL.0957-22-4646） ★浜松市・Buddy（TEL.053-450-7888）

紙のプロレス RADICAL
WANIMAGAZINE MOOK 243
2004 NO. 71
『PRIDE・GP』超濃密先取り情報!!
平成16年3月25日発行　編集発行人／山口日昇
発売元：(株)ワニマガジン社　〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地　電話／03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス　〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702　電話／03-3403-5188
ワニマガジン社　定価：本体838円＋税

9784898297230
ISBN4-89829-723-4
C9476 ¥838E
1929476008381
雑誌 69860—43

印刷：図書印刷株式会社